令和５年度

笠岡市施策評価報告書

令和５年９月

笠岡市施策評価委員会

笠岡市の施策評価の実施にあたって，施策評価委員会による評価を行い，その結果を報告書としてとりまとめましたので，報告します。

笠岡市長　小　林　嘉　文　　殿

令和５年９月１日

笠岡市施策評価委員会
委員長　小　林　正　和

1　笠岡市の行政評価について

笠岡市では，行政サービスに対する市民ニーズが多様化・高度化する中で，行政が進める政策を実現するための施策について，客観的な指標等をもとに行政評価（施策評価）を実施し，事業効果の検証や進行管理を行うことで，施策の見直しや改善につなげています。

行政評価制度を確実に実施することにより，指標実現に向け職員自らが取り組む業務を常に見直し，自らが課題を見つけ，そして改善に繋げ，行政運営全体の質的な向上が大きく促進されます。そして結果を公表して説明責任を果たすことで行政活動の透明性が高まり，市民の満足度の向上へとつながります。

2　施策評価について

平成 19 年度から施策評価を導入し，総合計画とも連携した新たな仕組みづくりが進められ，平成 23 年度から，施策評価委員会を設置して施策評価を実施しています。

平成 30 年度から始まった第 7 次笠岡市総合計画では，市民意識調査の満足度・重要度の調査結果を踏まえ，施策ごと，目標ごとに，計画期間中に実現を目指す指標を設定し，ＰＤＣＡサイクルを確立して適切な進捗管理を行うことにしています。施策評価では，指標を評価の核として，その達成状況から結果にこだわって施策の進捗状況をチェックし，各施策の方針や今後の展開を明確にしていくこととしています。

3　施策評価委員会の設置について

(1)目的

施策の実施担当部局が行った自己評価に基づき，有識者及び市民の代表者と行政組織の職員により，総合計画の進捗状況を市民の目線で評価していただくことで，施策評価の妥当性・透明性を確保し，信頼性を高めることを目的としています。

（２）委員構成

施策評価に対する共通認識を深めるため，外部委員と内部委員の混合で構成します。（合計８名）

外部委員：

第７次総合計画審議会の会長・委員，笠岡市人権施策推進委員会の委員長（計４名）

内部委員：

地域包括ケア推進室長，商工観光課課長補佐，政策部長，総務部長（計４名）

委員名簿は別紙のとおり

４　評価対象施策について

施策評価は，第７次笠岡市総合計画の基本計画を構成する 36 施策を評価対象としています。

○経営戦略：　　６施策
○活性化戦略：　８施策
○未来戦略：　　６施策
○安定戦略：　　12 施策
○計画推進戦略：　４施策

５　評価の方法等について

（１）評価の方法

①評価の方法

令和４年度における取組について，施策実施担当部局が作成した施策評価シート及び関係資料に基づく書面評価と，委員会でのヒアリングを実施しました。

②評価の観点

施策評価の仕組みをより信頼性の高いものとするため,

・指標の達成状況から見た現状分析が妥当であるか

・施策を構成する事業の進行状況の現状認識が妥当であるか

・これらを踏まえた改善策が適切に方向付けされているか

・総合評価としての認識が妥当であるか

といった視点で評価を行いました。

③委員会の開催結果

日　　時	内　　容
８月９日（水）	施策評価委員会 評価方法及び進め方等の確認 施策評価シートヒアリング及び評価・協議・まとめ

(２)評価の結果

①総評

委員会としては,

Ａ：計画どおり進行している。

Ｂ：おおむね計画どおり進行している。

Ｃ：計画より一部遅れている。

Ｄ：計画より遅れている。

の４段階で評価を行いました。

ヒアリングした施策は 10 施策中，Ａ評価が０，Ｂ評価が 10，Ｃ評価が０，Ｄ評価が０であり，ヒアリングをしなかった施策は書面だけで行い，26 施策中，Ａ評価が５，Ｂ評価が 21，Ｃ評価が０，Ｄ評価が０となりました。この結果，全 36 施策中，Ａ評価が５，Ｂ評価が 31，Ｃ評価が０，Ｄ評価が０となりました。

（評価結果一覧表は別紙のとおり）

今年度のヒアリング施策の選定方法は，下記の 2 つで行いました。

ａ）ヒアリングの日程

ヒアリングの日程については，昨年度は 3 日間で行いましたが，今年度は 3 日間の日程では長いため，1 日で実施することになりました。

ｂ）ヒアリング施策の選定方法

ヒアリング施策の選定方法については，昨年度はＣ評価とここ 2 年間ヒアリングをしなかった施策，市民意識調査において重要度が高く，満足度が低いものを中心に 17 施策で行いましたが，今年度は 1 日で実施するため，重要度が高いものを中心に 10 施策を選定しました。

この 10 施策のうち，新たな施策は 2 つ（1-2 農業振興，4-5 高齢者福祉・介護の充実），残り 8 施策は昨年に引き続きの施策でした。

今年度は第 7 次笠岡市総合計画の 5 年目の中間評価となっており，施策評価シートは，今年度も非常に見やすいものになっています。

またヒアリングでの事業説明はポイントを掴んでの発表で，持ち時間 5 分程度でほとんどの施策は終わりました。またその後の質疑も概ね時間内に終わり，活発な質疑となりました。

各施策に対する意見等は，それぞれの評価シートに記載のとおりです。

今年度は，全 36 施策の内，Ａ評価は 5 施策，Ｂ評価が 31 施策，Ｃ評価は 0 施策となりました。

昨年度は，Ａ評価は 3 施策，Ｂ評価が 29 施策，Ｃ評価は 4 施策となっており，比較するとＡ評価が 2 つ増加，Ｂ評価も 1 つ増加，さらにＣ評価が 0 となり，非常に高い評価結果になりました。

Ａ評価は次の 5 施策です。

ⅰ）「2-3 道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備」（昨年Ａ），ⅱ）「2-8 広域連携の推進」（昨年Ｂ），ⅲ）「3-4 スポーツの振興」（昨年Ｂ），ⅳ）「3-5 歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用」（昨年Ｂ），ⅴ）「4-7 身近な上水道」（昨年Ａ）

また昨年度から評価が上がった施策と下がった施策は以下の通りです。

○評価が上がった施策:7 施策（Ｂ評価からＡ評価へは 3 施策「2-8」「3-4」「3-5」，
　Ｃ評価からＢ評価へは 4 施策「1-4」「2-2」「2-7」「3-2」）

○評価が下がった施策：1 施策（Ａ評価からＢ評価への「4-3」）

今回，最終的な協議で各委員の評価が分かれたのは，次の 6 施策です。

1）から 5）までは評価点が 1 点違えば，評価が変わる施策でした。

6）は，1 点以上の差があるが，指標の達成率が反対になっているのではないかということで，再度検討をしたものです。

結果として，次の 2 施策の評価が変更となりました。

Ｂ評価からＡ評価へ上がった施策：１施策「3-5」

Ａ評価からＢ評価へ下がった施策：１施策「1-6」）

『評価点が 1 点違えば，評価が変わる施策』

1）1-6「干拓地農業の活性化」（書面審査）：Ａ評価→Ｂ評価

Ａ評価が 3 人，Ｂ評価が 3 人で，Ｂ評価に近いＡ評価でしたが，ⅰ）数値はおおむね達成しているものの，ⅱ）牛の臭気や寺間遊水地のＣＯＤが問題となり，委員の 2 人がＡ評価からＢ評価に変更となったため，最終的にＢ評価となりました。

2）2-3「道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備」（書面審査）：Ａ評価

Ａ評価が 3 人，Ｂ評価が 3 人で，Ｂ評価に近いＡ評価でしたが，ⅰ）数値は未達成のものがあるが，おおむね達成している，ⅱ）今後改善の余地がある，ⅲ）書面審査なので理由を聞くことができない等により，Ａ評価のままとなりました。しかし，スマートインターチェンジ等が市民にまだ周知ができていないため，今後周知をしていただきたいという要望がありました。

3）3-4「スポーツの振興」（書面審査）：Ａ評価

Ａ評価が 3 人，Ｂ評価が 3 人で，Ｂ評価に近いＡ評価でしたが，ⅰ）数値は

おおむね達成している，ⅱ）コロナ禍の中，よく頑張っている等により，Ｂ評価の委員３人全員がＡ評価に変わり，６人全員がＡ評価になりました。Ａ評価自体は変わっていません。

4）3-5「歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用」（書面審査）：
Ｂ評価→Ａ評価

Ａ評価が２人，Ｂ評価が４人で，Ａ評価に近いＢ評価でしたが，ⅰ）竹喬美術館が 40 周年記念事業とはいえ，来館者が多かった，ⅱ）よく頑張っている等で，委員の１人がＢ評価からＡ評価に変更となりました。その結果Ａ評価が３人，Ｂ評価が３人となり，最終的にＡ評価となりました。

しかし，竹喬美術館の目標人数が高いのではないか，見直しをしていただきたいという要望がありました。

5）5-2「健全な財政運営」（ヒアリング審査）：Ｂ評価

Ａ評価が２人，Ｂ評価が４人で，Ａ評価に近いＢ評価でしたが，ⅰ）数値は概ね達成しているが，もう少し頑張ってほしい，ⅱ）運営については多くの課題がある。努力をしてほしい等の意見があり，Ｂ評価のままとなりました。

『指標の達成率が反対になっている施策』

6）4-3「医療・救急体制の整備」（書面審査）：Ｂ評価（ただし自部署はＣ評価）

Ａ評価１人，Ｂ評価４人，Ｃ評価１人でＢ評価でした。しかし，「救急隊が救急患者へ接触するまでの時間」や「救急搬送人員に占める軽傷者の割合」の目標・実績達成率の数値を調べてみると，達成ではなく未達成となっていました。書面審査なので，この達成した数値に引っ張られてＢ評価にした委員１人がＣ評価に変更にしたため，結果は変わらないもののＢ評価となりました。

また自部署の評価についてですが，Ａ評価をしたのは２部署「1-6」「2-8」，Ｂ評価は 33 部署，Ｃ評価は１部署「4-3」となっていました。この自部署の評価結果も最終的な評価決定に若干影響があったかと考えます。

特にＣ評価をした部署は，取り組みに自信を持って上位の評価をつけること

ができるように，今後も取り組みに頑張っていただきたいと考えます。

②改善を望む項目等

【評価シート】

１）シートの作成にあたって

今回使用の施策評価シートは，引き続き見やすいものになってきています。さらに，的確に事業内容等が書かれていることなどは，評価できると考えます。

【評価の方法】

評価にあたっての総括，課題は，下記の項目が挙げられます。

１）施策評価が大幅に上がった

Ａ評価が 5 施策，Ｂ評価が 31 施策，Ｃ評価が 0 施策と，大幅に評価が上がったことが挙げられます。令和 4 年度はコロナ禍の終息時期ですが、数値目標をある程度達成している施策があり，良い結果となったものと思われます。

２）書面評価が多く，直接説明が聞けない

書面評価が多く，直接説明が聞けないため，評価が難しいことが挙げられます。

３）1 日での評価のみで，ヒアリング施策が少ない

昨年度は 3 日間で 17 施策の評価，今年度は 1 日間で 10 施策とヒアリングが少なかったことが残念です。

４）目標・実績達成率の数値が逆になっている

目標・実績達成率の数値が，単純にエクセルで計算しているため，実際には悪い数値なのに良い数値（逆もあり）になっていることがありました。この数値が評価に少なからず影響しています。今後は目標・実績達成率をよく見て正確な数値を出していただきたい。

今年度は第７次笠岡市総合計画の５年目ですが，今回の点を勘案して，来年度は今年度以上に上位の評価になるように，引き続き施策の充実に積極的に取り組んでいただくよう期待します。

施 策 評 価 結 果

■ 経営戦略

１－１	企業誘致の推進と雇用創出		B		
１－２	農業振興		B		
１－３	商工業振興		B		
１－４	水産業振興		B		
１－５	観光振興		B		
１－６	干拓地農業の活性化		B		

■ 活性化戦略

２－１	魅力的で快適に暮らせる都市形成		B		
２－２	定住・住宅対策		B		
２－３	道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備	A			
２－４	利用しやすい公共交通システムの構築		B		
２－５	離島振興		B		
２－６	市民参画・協働の推進		B		
２－７	多様な交流の促進		B		
２－８	広域連携の推進	A			

■ 未来戦略

３－１	子ども・子育て環境の整備		B		
３－２	学校教育の充実		B		
３－３	生涯学習の推進		B		
３－４	スポーツの振興	A			
３－５	歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用	A			
３－６	人権・男女共同参画・平和		B		

■ 安定戦略

４－１	地域福祉の推進		B		
４－２	健康づくり		B		
４－３	医療・救急体制の整備		B		
４－４	障がい者・障がい児福祉の充実		B		
４－５	高齢者福祉・介護の充実		B		
４－６	社会保障		B		
４－７	身近な上水道	A			
４－８	健全な下水道運営		B		
４－９	消防体制の整備		B		
４－１０	地域防災の推進		B		
４－１１	防犯・交通安全の環境づくり		B		
４－１２	廃棄物・環境保全		B		

■ 計画推進戦略

５－１	情報・プロモーションの推進		B		
５－２	健全な財政運営		B		
５－３	財源の確保		B		
５－４	計画管理		B		

計	5	31	0	0

Ａ：計画どおり進行している
Ｂ：おおむね計画どおり進行している
Ｃ：計画より一部遅れている
Ｄ：計画より遅れている

令和５年度　施策評価委員名簿

役　職	氏　名	団体・役職等	備考
委員長	小　林　正　和	元福山大学 教授 第７次笠岡市総合計画審議会 会長	外部委員
	髙　田　正　宏	笠岡市人権施策推進委員会 委員長	外部委員
	玉　置　裕　美	第７次笠岡市総合計画審議会 委員	外部委員
	東　山　琴　子	笠岡市教育委員会委員 第７次笠岡市総合計画審議会 委員	外部委員
	村　上　佳　代	笠岡市地域包括ケア推進室　室長	
	藤　川　博　敏	笠岡市商工観光課　課長補佐	
オブザーバー	大須賀　寿樹	笠岡市政策部長	
オブザーバー	辻　田　尚　史	笠岡市総務部長	
事　務　局	山　田　真　二	笠岡市政策部企画政策課長	
〃	関　　麻　美	笠岡市政策部企画政策課課長補佐(兼)係長	
〃	関　藤　文　弘	笠岡市政策部企画政策課主事	

施　策　評　価　シ　ー　ト

令和５年９月

笠　岡　市

施 策 評 価 シ ー ト 目 次

経営戦略“稼ぐ”

1-1　企業誘致の推進と雇用創出…… 1
1-2　農業振興……6
1-3　商工業振興…… 15
1-4　水産業振興…… 20
1-5　観光振興……26
1-6　干拓地農業の活性化……33

活性化戦略“賑わう”

2-1　魅力的で快適に暮らせる都市形成…… 38
2-2　定住・住宅対策…… 44
2-3　道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備……51
2-4　利用しやすい公共交通システムの構築……57
2-5　離島振興……61
2-6　市民参画・協働の推進……66
2-7　多様な交流の促進…… 71
2-8　広域連携の推進…… 76

未来戦略“輝く”

3-1　子ども・子育て環境の整備…… 80
3-2　学校教育の充実…… 93
3-3　生涯学習の推進…… 105
3-4　スポーツの振興…… 112
3-5　歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用……118
3-6　人権・男女共同参画・平和…… 125

安定戦略“安らぐ”

4-1　地域福祉の推進…… 133
4-2　健康づくり…… 139
4-3　医療・救急体制の整備……144
4-4　障がい者・障がい児福祉の充実…… 152
4-5　高齢者福祉・介護の充実…… 159
4-6　社会保障…… 164
4-7　身近な上水道…… 171
4-8　健全な下水道運営……176
4-9　消防体制の整備…… 181
4-10　地域防災の推進…… 190
4-11　防犯・交通安全の環境づくり…… 196
4-12　廃棄物・環境保全……200

計画推進戦略

5-1　情報・プロモーションの推進…… 206
5-2　健全な財政運営…… 213
5-3　財源の確保…… 218
5-4　計画管理…… 224

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	1－1	施策名	企業誘致の推進と雇用創出	主担当課	商工観光課
戦略の柱	経営戦略　“稼ぐ”				
基本方針	“地元で働けるまち”を目指し，企業誘致等により雇用の場を拡大・確保するとともに，こうした市内の雇用の場と市民とのマッチングを推進します。			関係課	建設管理課 建設事業課 農政水産課 都市計画課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
1億円以上の設備投資企業数	単位	目標			33	36	40
	企業／年	実績	29	24	28	—	—
		達成率			84.8%	—	—
床面積1,000㎡以上の建物を新たに取得した企業数	単位	目標			8	9	10
	企業／年	実績	6	3	2	—	—
		達成率			25.0%	—	—
「企業誘致・雇用の創出」の満足度（市民意識調査）	単位	目標			△ 20.0	—	△15.0(R6)
	%	実績	△ 24.8	—	△ 29.5	—	—
		達成率			67.8%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	企業誘致の推進（※①②③④）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
県営笠岡港（港町地区）工業用地での新規操業開始企業数（企業誘致に関する奨励金等交付企業数）	単位	目標		1	1	1	1
	企業／年	実績	1	1	1	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
その他の場所での新規操業開始企業数（企業誘致に関する奨励金等交付企業数）	単位	目標		2	1	1	1
	企業／年	実績	1	1	0	—	—
		達成率		50.0%	0.0%	—	—
事業用地造成促進奨励金支給件数	単位	目標		1	1	1	1
	件	実績	0	0	0	—	—
		達成率		0.0%	0.0%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	43,633	千円	159,490	千円	203,161	千円	185,989	千円
うち一般財源	43,233	千円	159,490	千円	203,161	千円	184,989	千円

1 企業誘致促進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
企業	市民の働く場所を確保するために，市内の適地に優良企業を誘致する。	・企業誘致を積極的に推進する。 ・企業誘致促進のための助成制度，優遇措置等を充実するとともに，企業誘致体制の強化を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●県営笠岡港(港町地区)への優良企業誘致 ●工業用地適地調査業務委託の実施 ●民間活力を活用した工業団地造成 新設土地造成促進奨励金等のPRと活用 ●産業シンポジウムの開催 ＜企業立地促進奨励金交付件数:1件＞	⇒ ⇒ 笠岡市企業立地ガイドの作成 ＜企業立地促進奨励金交付件数:6件＞	⇒ ⇒ ⇒ ＜企業立地促進奨励金交付件数:5件＞	⇒ ⇒ ⇒ ＜企業立地促進奨励金交付件数:5件＞ 広域交通結節拠点周辺開発・整備構想検討業務委託の実施

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	32,779	千円	決算額	149,776	千円	決算額	158,026	千円	決算額	129,590	千円
	うち一般財源	32,379	千円	うち一般財源	149,776	千円	うち一般財源	158,026	千円	うち一般財源	128,590	千円

2 (創) 新設工場等設置奨励事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
企業	市民の働く場所を確保するため，市内の適地に優良企業を誘致する。	企業誘致をした後の企業に対する経営負担を軽減する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●民間活力を活用した工業団地の造成 新設工場等の奨励金のPR ●優遇制度のPR 笠岡市のホームページに掲載とパンフレットによるPR活動 ＜補助金交付件数:5件＞	⇒ ⇒ ＜補助金交付件数:6件＞	⇒ ⇒ ＜補助金交付件数:13件＞	⇒ ⇒ ＜補助金交付件数:15件＞

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	10,152	千円	決算額	9,005	千円	決算額	44,426	千円	決算額	55,690	千円
	うち一般財源	10,152	千円	うち一般財源	9,005	千円	うち一般財源	44,426	千円	うち一般財源	55,690	千円

3 (創) ☆企業・雇用情報の提供システム構築事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市内に住居及び就職先を探している人，企業進出を検討している企業	市内企業の情報を公開することで，①移住・定住を希望する利用者の利便性が向上し，定着人口の増につながる。②企業の活性化，企業誘致につながる。	市内の企業の企業情報，雇用情報を公開する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	地域企業ポータルサイト・かさおか夢ワークの運用 市内事業所の新規登録依頼	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	702	千円	決算額	709	千円	決算額	709	千円	決算額	709	千円
	うち一般財源	702	千円	うち一般財源	709	千円	うち一般財源	709	千円	うち一般財源	709	千円

【達成目標2】	地元での就業機会の拡大（※④）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
笠岡市の年間有効求人倍率（就業地別）	単位	目標		1.40	1.35	1.55	1.40
	倍	実績	1.05	1.39	1.52	—	—
		達成率		99.3%	112.6%	—	—
高校生出張企業ガイダンス参加企業数	単位	目標			37	45	40
	社	実績	35	39	44	—	—
		達成率			118.9%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	45,148	千円	44,919	千円	40,247	千円	33,335	千円
うち一般財源	44,977	千円	44,883	千円	39,851	千円	33,335	千円

4	勤労者福祉事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
市内勤労者	社会環境の整備及び福祉の向上	労働者福祉センター（サンライフ笠岡）及び勤労青少年ホーム（バグース笠岡）でのスポーツ・レクリエーション，文化教養サークル活動の育成，充実を図る。勤労者の生活の安定と福祉の増進を図るため，笠岡市勤労者融資貸付事業を実施する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●3館の利用の促進 スポーツやレクレーション，文化教養サークル活動のPR活動を行う バグース備品購入			⇒			⇒ サンライフ笠岡Wi-Fi設置 労働福祉会館閉館（R3年度末）			労働者福祉センター（サンライフ笠岡）及び勤労青少年ホーム（バグース笠岡）の利用促進 勤労青少年ホーム（バグース笠岡）廃止。サンライフ笠岡の多目的ホールとして設置（R4年度末）		
直接事業費	決算額	44,747	千円	決算額	44,883	千円	決算額	40,236	千円	決算額	33,335	千円
	うち一般財源	44,747	千円	うち一般財源	44,883	千円	うち一般財源	39,840	千円	うち一般財源	33,335	千円

5	地元企業雇用促進事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
市内の高校生 市内の事業者	高校1年生の生徒に対して企業説明を行うことにより，市内事業所の認知度向上を図るとともに，今後の進路選択及び就職先選択をする際の一助とする。また，地域産業の担い手の発掘につなげる。	笠岡市内の高等学校に在学する1年生を対象に，市内事業所の企業ガイダンスを行う。会場は各高等学校とし，事業者が高校に赴いて，企業説明を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●モノづくり企業高校生長期インターンシップ事業 ＜受入事業所数 6社 インターンシップ学生数 13名＞			●出張企業ガイダンス事業 ＜参加高校：3校，参加事業所：延べ55社＞			⇒ ＜参加高校：3校，参加事業所：延べ55社＞			⇒ ＜参加高校：3校，参加事業所：延べ44社＞		
直接事業費	決算額	401	千円	決算額	36	千円	決算額	11	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	230	千円	うち一般財源	36	千円	うち一般財源	11	千円	うち一般財源	0	千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	88,781	千円	204,409	千円	243,408	千円	219,324	千円
うち一般財源	88,210	千円	204,373	千円	243,012	千円	218,324	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

「都市計画マスタープラン」を策定しているので，安心がありますが，このマスタープランに沿って活動をお願いします。 また新な工業団地の開発を進めているということですので，新たな企業誘致をお願いします。	→	今年度，商工観光課で取り組んでいる委託業務を足掛かりに，広域交通結節拠点周辺の土地利用について検討を進め，新たな企業誘致に努めてまいりたいと考えております。
都市計画マスタープランに沿った事業を進め，市民の雇用がより一層拡大されるよう努められたい。	→	企業誘致関連の補助金には，市民の雇用を促進する要件もあり，活用する企業には奨励してまいりたいと考えております。
企業誘致も，毎年少しずつであるが，すすんでいるようで努力が実をむすびつつあります。今後は，市民の関心がたかまっている「篠坂スマートインター」工事の着工だと思います。完成の暁には周辺の工場用地・住宅用地の開発に拍車がかかると考えられます。	→	今年度，商工観光課で取り組んでいる委託業務を足掛かりに，関係課と緊密な連携を図りながら広域交通結節拠点周辺の土地利用について検討を進め，新たな企業誘致に努めてまいりたいと考えております。
工業用地不足解消は大変な課題かと思いますが，誘致可能な用地確保，また2025年度末予定の国道2号バイパス開通に向けて，市にとって有益となる企業誘致を引き続きお願いします。 さらに，求人につきましては有効倍率も上がり素晴らしいです。ニーズにあったものが増えると若者の転出も減るのではないでしょうか。また広報かさおかの「笠岡で頑張る若者たち」のような記事を見る機会が増えると，地元で働くというイメージが具体的に伝わりやすいと感じます。 来年度施策評価から総合指標が変わります。合わせて雇用者数の実績もお示しいただけると評価しやすいと思います。	→	今年度，商工観光課で取り組んでいる委託業務を足掛かりに，関係課と緊密な連携を図りながら広域交通結節拠点周辺の土地利用について検討を進め，新たな企業誘致に努めてまいりたいと考えております。 また，雇用者数の実績については，把握が困難なため，ハローワークが公表する求人数，求職者数の情報を参考としてお示しすることも検討してまいりたいと考えております。
コロナ禍で2年連続中止となっている事業はオンラインの活用等で取り組んでいただきたい。また新規操業開始企業数も減少しているため，コロナ禍で新規操業や継続事例をもとに増やしていただきたい。	→	コロナ禍においても，安易に事業を中止することなく，様々な手法を活用して実施に向けて検討してまいりたいと考えております。 また，新規操業や継続事例についても，企業コーディネーターと連携して把握に努めてまいりたいと考えております。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A：施策を構成する事業が順調に進行している。 B：施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C：施策を構成する事業が一部遅れている。 D：施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【1億円以上の設備投資企業数，床面積1,000㎡以上の建物を新たに取得した企業数，「企業誘致・雇用の創出」の満足度，その他の場所での新規操業開始企業数，事業用地造成促進奨励金支給件数】 令和4年度は，地場産業に大きな影響を及ぼすような企業誘致がなく，また，そうした操業開始企業も少なかったことから，指標を達成することができなかった。今後も，日々工事の進捗を感じる，令和7年度末に建設予定の（仮称）篠坂PAスマートICや国道2号笠岡バイパスといった交通インフラの充実を訴えながら企業誘致や事業用地の造成促進に努めてまいりたい。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・有効求人倍率が伸びていますが，正社員としての雇用が増えているのでしょうか。 ・今後，企業誘致を進めていくということなので，その推移を見守りたいと思います。また年間有効求人倍率が大きくなってきているので，就職希望者にとっては良いのですが，企業にとっては人材の確保が難しくなっています。 ・市民意識調査「企業誘致・雇用の創出」の満足度がR2より下がりました。関係課との連携体制で進められる広域交通結束拠点周辺の土地利用や企業誘致により，市民の満足度が上がることを望みます。企業誘致と雇用の相関関係・税収の増加なども今後分かれば評価しやすいかと思いますがいかがでしょうか。また，県外大学生のUターン，Iターン就職も促進し，定住にも繋がればと思います。若者，まだまだお元気で働きたい高齢者，育児中の隙間時間に働きたい方，障害者の雇用など，ニーズに合った細かなサポートがあれば良いと思います。 ・篠坂パーキングのスマートインターの設置が決まり，早数年たちます。工事開始の促進と，今，調査検討されている周辺の工場誘致，団地造成などの計画も推進していってほしい。 ・経営戦略”稼ぐ”所にご尽力いただきありがとうございます。新設工場等設置奨励事業では補助金交付数が15件にのぼり，市民に優良企業を誘致ししていただきありがとうございます。干拓地も完売されたとのことで，広報にも掲載されておりこれからが楽しみに感じました。一方で企業誘致しどのくらい継続される予定なのか。また，就職されている人は増えているのか。地元企業用促進事業の参加事業所が減っている。しっかりと企業の良さが伝わるように。最終的には転出要請につながっているので数値を明確にしていただき，企業の感想も収集するなどして取り組んでいただきたい。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	1－2	施策名	農業振興	主担当課	農政水産課
大項目	活気あるまちづくり				
基本方針	笠岡市の特色や強みを活かした第1次産業の活性化に向けて，農業・畜産業の振興に関わる多様な支援を行うとともに，新たな担い手の確保，農業用地・施設の適正な維持管理，鳥獣被害対策等に取り組みます。			関係課	定住促進センター 地域福祉課 建設管理課 建設事業課 商工観光課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
市内農業産出額（農水省市町村農業産出額推計）	単位	目標	669	1,026	1,026	1,026	1,026
	千万円／年	実績	870	942	未公表	—	—
		達成率	130.0%	91.8%	—	—	—
「農業振興」の満足度（市民意識調査）	単位	目標	△ 16.0	—	△ 19.0	△ 17.0	—
	%	実績	△ 21.0	—	△ 26.2	—	—
		達成率	76.2%	—	72.5%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	地域の特色を活かした農業・畜産業の活性化（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
市内農作物の産出額（野菜・果実）（農水省市町村農業産出額推計）	単位	目標		289	289	289	289
	千万円／年	実績	124	120	未公表	—	—
		達成率		41.5%	—	—	—
市内農作物の産出額（花き）（農水省市町村農業産出額推計）	単位	目標		17	17	17	17
	千万円／年	実績	13	13	未公表	—	—
		達成率		76.5%	—	—	—
市内農作物の産出額（米）（農水省市町村農業産出額推計）	単位	目標		45	45	45	45
	千万円／年	実績	37	31	未公表	—	—
		達成率		68.9%	—	—	—
牛の飼養頭数（笠岡市内全体／乳用牛・肉用牛）	単位	目標		10,000	10,100	10,100	10,100
	頭	実績	9,564	10,169	10,571	—	—
		達成率		101.7%	104.7%	—	—
採卵鶏の飼養羽数	単位	目標		642,000	650,000	650,000	650,000
	羽	実績	609,362	642,137	622,134	—	—
		達成率		100.0%	95.7%	—	—
かさおかブランド「食品部門」認定件数（笠岡産農水産物による）	単位	目標			13	15	16
	件／年	実績	11	17	15	—	—
		達成率			115.4%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	221,265	千円	40,523	千円	33,600	千円	76,442	千円
うち一般財源	28,374	千円	32,688	千円	25,617	千円	21,243	千円

1 (創) 道の駅整備・運営事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
国道2号笠岡バイパス利用者及び道の駅利用者	道の駅の目的である休憩・道路情報の提供だけでなく，地元，笠岡市の新鮮な野菜・魚介類等の販売，地元食材を使った食事の提供，観光情報など，笠岡の良さを広範囲にPRできる一大情報発信基地とする。	①地域振興施設として道の駅を運営する。 ②道の駅周囲の農地を利用して景観作物を咲かせ，また，農業体験施設等でイベントなどを開催する。 ③道の駅の利用者を二次的に笠岡市内の施設及び飲食店等へ誘客し，経済効果を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	○道の駅整備 (創)・景観作物の作付 ・イベントの実施 ・新聞折込チラシの配布 ・施設の整備・管理 ・道の駅臨時駐車場場内歩行者通路(北側)修繕工事 ・景観作物の栽培管理の委託 ・景観作物畑排水対策工事	⇒ ⇒ ・イベント中止 ・イベント中止 ⇒ ・直売所等の老朽化した備品の買換え，新型コロナウイルス感染防止のため道の駅店舗レイアウト変更に伴う修繕工事実施 ・道の駅駐車場目隠しシート修繕工事 ⇒	⇒ ⇒ ・イベント中止 ・イベント中止 ⇒ ・道の駅展望台通路修繕工事 ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ・花の見頃に合わせ年2回イベントを実施 ⇒ ・新型コロナウイルス感染症対策のためPOSレジシステム等備品を購入 ・老朽化した展望台を作り替えた。 ・繁忙期に併せ駐車場警備員を配置 ⇒ ⇒
直接事業費	決算額 46,074 千円 うち一般財源 20,598 千円	決算額 36,166 千円 うち一般財源 30,182 千円	決算額 30,755 千円 うち一般財源 23,276 千円	決算額 46,777 千円 うち一般財源 17,900 千円

2 畜産業振興事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
干拓地内の畜産農家	・定期的な環境巡回調査を行い，適切な糞尿処理や水質浄化を指導する。 ・干拓地臭気対策チームによる検討会を開催し，干拓地内の糞尿や堆肥による悪臭対策を検討する。 ・パーラー排水などの畜産排水について，現状把握と排水対策を検討し，浄化施設の設置に向けて検討を行う。	・環境巡回指導 ・干拓地内における悪臭対策の検討 ・干拓地内における畜産排水浄化処理施設設置の検討 ・畜産クラスター事業の実施

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●環境巡回指導 ・県と合同による環境巡回指導の実施。 (創)・悪臭対策の具体化検討及び「臭気対策研究会」の設置にかかる協議。 ●笠干資源循環型農業推進事業 ●粗飼料基地の貸付 ●排水浄化施設設置の推進施設設置のための方策を検討。 ●新造共同堆肥舎の堆肥を有効運用し，完熟した良質な堆肥の生産を促進するとともに，併せて臭気対策も図る。 ●干拓地の各畜産農家が臭気低減資材を使用することにより，地域一体で臭気低減を図る。 ●笠岡市酪農・肉用牛近代化計画の策定(H27～R7) ●悪臭対策に向けた環境改善検討会の設置 ●畜産クラスター事業による，牛舎及び鶏舎の規模拡大	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ●飼料高騰対策支援事業
直接事業費	決算額 175,191 千円 うち一般財源 7,776 千円	決算額 4,357 千円 うち一般財源 2,506 千円	決算額 2,845 千円 うち一般財源 2,341 千円	決算額 29,665 千円 うち一般財源 3,343 千円

【達成目標2】農業者の担い手・後継者の確保と育成（※③）

達成目標2の指標

指標名	単位		目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
認定農業者数	人	目標		90	90	90	90
		実績	90	90	88	—	—
		達成率		100.0%	97.8%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	42,500	千円	14,398	千円	16,346	千円	38,006	千円
うち一般財源	11,048	千円	3,215	千円	6,561	千円	4,057	千円

3 農業振興事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
農業者新規就農希望者	農業者の規模拡大，経営の効率化を図る。 新規就農者により農業人口を増加させる。	認定農業者制度を活用した農家の育成 干拓地を生かした大規模農業の推進

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	○農産物のブランド化 ○認定農業者認定・支援事業 ○担い手確保・育成・支援事業 ○新規就農者支援事業 ●農道離着陸場の多面的利用 延べ日数 208日 ・産地パワーアップ事業 ・「食と農村」交流推進事業 ・被災者向け経営体育成支援事業	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 174日	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 178日	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 246日 ・産地パワーアップ事業 ・肥料価格高騰対策支援事業 ・燃料価格高騰対策支援事業

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	42,500	千円	決算額	14,398	千円	決算額	16,346	千円	決算額	38,006	千円
	うち一般財源	11,048	千円	うち一般財源	3,215	千円	うち一般財源	6,561	千円	うち一般財源	4,057	千円

【達成目標3】農業用地・施設の維持管理（※④⑤）

達成目標3の指標

指標名	単位		目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
市内耕作放棄地面積	ha	目標		337	335	333	329
		実績	339	719	743	—	—
		達成率		46.9%	45.1%	—	—
中山間地域等直接支払制度協定締結面積	ha	目標		15.9	15.9	15.9	15.9
		実績	15.9	17.1	17.5	—	—
		達成率		107.5%	110.1%	—	—
多面的機能支払交付金事業を活用する認定農用地面積	ha	目標		756.7	808.8	808.8	808.8
		実績	808.8	809.8	818.0	—	—
		達成率		107.0%	101.1%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	195,686	千円	204,601	千円	249,334	千円	295,325	千円
うち一般財源	76,099	千円	87,518	千円	90,328	千円	87,800	千円

4 農業用施設維持管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
農業用施設利用者	農業用施設利用者が安全・安心して利用できるようにする。	・農林水産業施設管理事業 ・農林水産業施設維持事業 ・農林水産施設(単独)災害復旧事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●農業水利施設整備事業 ・ため池ハザードマップ作成(尾坂池及び防災重点ため池等) ・国営応急対策事業(寺間排水機場) ・排水機場事業系各協議資料作成(北川第1) ・ため池改修事業計画書作成(岩神池)	⇒ ・ため池ハザードマップ作成(防災重点ため池10カ所) ・国営応急対策事業(寺間排水機場) ・排水機場事業計画書作成(北川第1) ・農道橋梁点検	⇒ ・ため池ハザードマップ作成(防災重点ため池14カ所) ⇒ ・農道橋事業計画書作成(笠岡湾干拓2号橋)	⇒ ・ため池ハザードマップ作成(防災重点ため池14カ所) ⇒ ⇒ ・笠岡湾干拓地内排水路設置

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	106,732	千円	決算額	120,976	千円	決算額	137,507	千円	決算額	198,561	千円
	うち一般財源	62,225	千円	うち一般財源	77,069	千円	うち一般財源	71,861	千円	うち一般財源	69,731	千円

5 農業振興地域整備関連業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	農業振興地域整備計画を見直し，都市的土地需要との土地利用調整を行う。	農業振興地域の整備に関する法律(昭和44年法律第58号)に基づき，国・県及び市町村が一体となって農業振興を図るべき地域の整備や保全を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	○農業振興地域整備事業 ・農業振興地域整備計画見直し業務 . 農業振興地域農用地区域図面作成業務	⇒	⇒	⇒(令和5年度へ繰越)

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	176	千円	決算額	130	千円	決算額	2,237	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	47	千円	うち一般財源	130	千円	うち一般財源	2,237	千円	うち一般財源	0	千円

6 農業委員会業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	農業生産の基盤となる優良農地の保全，有効利用するための取り組み，耕作放棄地，遊休農地の解消	農業委員会の開催(12回)。農地法に基づく農地の利用状況等調査等。農地法関連業務。広報紙等による啓発。農業者年金制度の普及啓発。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●農地法の厳格な運用 ●農地利用状況調査の実施 ●農地利用意向調査の実施	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	13,982	千円	決算額	11,820	千円	決算額	16,710	千円	決算額	18,632	千円
	うち一般財源	9,311	千円	うち一般財源	7,160	千円	うち一般財源	11,001	千円	うち一般財源	11,924	千円

7 耕作放棄地解消事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
農地所有者	農業者の高齢化・後継者不足により耕作放棄地が増えつつある中，担い手への農地集積を進め，農地の荒廃化を防ぐ。	中間管理機構を通じた利用権の設定等により，担い手への農地の集積・集約化を促進する。 ほ場整備等，集積した田を整備することにより，大型農業機械の利用促進を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●中間管理事業 ●耕作条件改善事業	⇒ ⇒	⇒	⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	2,348	千円	決算額	2,137	千円	決算額	1,200	千円	決算額	1,200	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

8 農業用施設新設改良事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
農業従事者及び関係者	農産物生産の向上と安定化及び農地の保全	ため池，井堰，用・排水路の整備及び農道の新設改良を行うための計画，調査，設計，積算，工事監督を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●農業用施設改良事業 ・非補助農道改良事業 ・非補助農道舗装事業 ・非補助かんがい排水事業 ・単市土地改良事業 ・団体営かんがい排水 ・ため池防災環境整備事業(行長池)	⇒ ⇒ ・小規模かんがい排水(皿出井堰) ⇒ ⇒ ・団体営ため池整備事業(岩神池) ・ため池防災環境整備事業(行長池・コウセンボウイケ)	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・ため池防災環境整備事業(コウセンボウイケ) ・団体営かんがい排水事業 ・緊急水管理システム整備事業	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・ため池防災環境整備事業(当摩上池) ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	72,297	千円	決算額	69,346	千円	決算額	91,599	千円	決算額	76,808	千円
	うち一般財源	4,365	千円	うち一般財源	2,967	千円	うち一般財源	5,148	千円	うち一般財源	6,021	千円

9 (創) バイオマスタウン推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
笠岡湾干拓地 営農者 市民	笠岡湾干拓地の特性を生かしたバイオマス資源の利活用を図りながら，地域農業の活性化を目指すとともに，環境にやさしい農業を推進し，持続可能な循環型社会の形成に資する。	笠岡湾干拓地域バイオマスタウン構想のもと，バイオマス資源の利活用について，産学官による協議を行い，牛ふん堆肥の利活用などに取り組む。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・牛ふん堆肥の利活用の検討 ・畜産クラスター協議会活動	⇒	⇒	⇒ ・バイオガス発電施設整備計画への支援

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

10	(創) 笠岡湾干拓地水質浄化対策事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
笠岡湾干拓地 営農者 市民	笠岡湾干拓地の水環境を改善する取組を行うとともに，環境にやさしい農業を推進し，持続可能な循環型社会の形成に資する。	笠岡湾干拓地及び周辺地区の農業関係者，市民及び行政が連携して環境負荷の低減に努め，干拓地の水質保全対策の推進を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・負荷削減活動の推進 ・耕畜連携による堆肥の適正処理 ・茂平地区下水道の整備	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	151	千円	決算額	192	千円	決算額	81	千円	決算額	124	千円
	うち一般財源	151	千円	うち一般財源	192	千円	うち一般財源	81	千円	うち一般財源	124	千円

11	農業生産継続支援事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
農地 営農者	農地の保全及び農業用施設(ため池，水路等)の維持管理活動を通じて，農業生産活動の継続に資する。	農業者を中心とした活動組織が行う，農地の保全及び農業用施設(ため池，水路等)の維持管理や農業生産に係る活動に対して補助金を交付するもの。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	中山間直接支払制度事業 多面的機能支払交付金事業	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	37,768	千円	決算額	37,212	千円	決算額	33,438	千円	決算額	33,749	千円
	うち一般財源	8,836	千円	うち一般財源	9,443	千円	うち一般財源	7,551	千円	うち一般財源	8,441	千円

【達成目標4】鳥獣被害の減少と森林整備の推進(※⑥)

達成目標4の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
防護柵補助件数	単位	目標		30	200	100	100
	件／年	実績	310	168	167	—	—
		達成率		560.0%	83.5%	—	—
駆除班員数	単位	目標		26	21	25	20
	人	実績	21	21	24	—	—
		達成率		80.8%	114.3%	—	—
地域住民組織数	単位	目標			16	20	18
	件	実績	12	16	18	—	—
		達成率			112.5%	—	—
捕獲頭数(市全体)	単位	目標			750	1000	750
	頭	実績	747	829	1574	—	—
		達成率			209.9%	—	—

達成目標4の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	10,718	千円	17,716	千円	10,238	千円	7,318	千円
うち一般財源	2,310	千円	671	千円	9,074	千円	2,130	千円

12	森林保全事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
森林所有者及び 周辺住民 農林業者等	松くい虫による被害防止とともに，森林資源の保全と国土の保全を図る。 農作物の被害の防止及び生活環境の改善。	・ヘリコプターによる薬剤の空中散布及び地上散布。また，空中・地上散布区域周辺の伐倒駆除及び道路沿いの危険木処理。 ・有害鳥獣の駆除。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●有害獣被害防止対策事業 ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数253件 合計補助金額10,166,539円	危険木伐倒駆除 ・道路沿線における危険木の伐倒駆除を行う。 市内5か所　80.00㎥ ⇒ ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数310件 合計補助金額14,195,172円 ⇒ ・私有林人工林の現状を把握し，現地調査及び意向調査行う。 市内2か所　6.7ha	危険木伐倒駆除 ・道路沿線における危険木の伐倒駆除を行う。 市内9か所　30.00㎥ ⇒ ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数168件 合計補助金額8,793,623円 ⇒ ・私有林人工林の現状を把握し，現地調査及び意向調査行う。 市内2か所　15.5ha	危険木伐倒駆除 ・道路沿線における危険木の伐倒駆除を行う。 市内4か所　10.00㎥ ⇒ ・有害獣による農作物の被害防止のための柵等の設置に補助金を支給する。 補助件数167件 合計補助金額7,024,926円 ⇒ ・私有林人工林の現状を把握し，意向調査及び集積計画策定を行う。 市内2か所　9.3ha

直接事業費	決算額	10,718	千円	決算額	17,716	千円	決算額	10,238	千円	決算額	7,318	千円
	うち一般財源	2,310	千円	うち一般財源	671	千円	うち一般財源	9,074	千円	うち一般財源	2,130	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	470,169	千円	277,238	千円	309,518	千円	417,091	千円
うち一般財源	117,831	千円	124,092	千円	131,580	千円	115,230	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
市内耕作放棄地が昨年の倍近くになっています。どのようなことか教えていただきたいです。また，畜産振興事業で，牛の臭気対策をさらにしていただくようお願いします。	→	耕作放棄地の面積に関しましては，令和3年度から利用状況調査と荒廃農地調査が統合されたことにともない，改めて過去の調査対象等を精査したところ，本来調査すべきであった対象地の多くを調査対象地から除外していたことが判明しました。そのため，調査実施要領に基づく適切な調査とするべく，改めて調査対象地を精査したうえで実施した結果，前年度までの面積よりも耕作放棄地の面積が大幅に増加したものです。 笠岡湾干拓地をはじめ市内の畜産業の振興を図るととともに，臭気低減への取り組みを推進して参ります。
発表されていない指標があるが，牛と鶏の飼養数が増えており，引き続き，工夫を重ねながら，指標の達成及び解決に向けて努力されたい。	→	R3実績が未発表となっている数値に関しましては，国の公表時期が約2年後と遅いためです。 環境対策を実施しながら畜産振興を推進して参ります。
干拓地の活用も軌道にのり，新しいブランドづくりに挑戦されたり，新しい各種の作物も栽培されています。また，牛糞対策に課題が残っていますが，バイオマスプラントとしての活用がはじまるようで期待しています。	→	牛糞対策については，引き続き畜産農家と連携して課題解決に努めて参ります。バイオガス発電施設の建設については，令和6年4月の稼働に向けて市としてもバックアップして参ります。
牛，鶏卵鶏の飼養数が増え活気付いており嬉しく思いますが，昨年度より牛糞の臭気が気になる回数が増えた様に感じています。一市民として気付いた時はスマホでお知らせすることで協力したいと思っています。定住促進のネックになる部分でもありますので，改善に向けて引き続きご尽力願います。 鳥獣被害については島嶼部でも困られていると耳にします。よい手立てはないでしょうか。 ふるさと納税返礼品として果物などが人気だった様で良いニュースです。検証をしつつ更なる新規開拓をお願いします。口コミ，レビューなどを見ると自治体への応援メッセージが書かれており誇らしいです。引き続き笠岡市のファンを増やしていける様お願いします。	→	干拓地の臭気対策としては，各農家における飼養管理の基本動作の徹底や定期的な立入調査等により臭気低減を進めてまいります。臭気報告アプリの運用により，以前よりも広範囲（場所・時間）での臭気を捉えることができるようになりました。収集したデータと天候及び畜産農家の作業等を合致させることにより，臭気の原因を追及しております。収集したデータを分析し畜産農家への的確な指導を実施して参りたいと考えています。 島しょ部の鳥獣被害対策としましては，北木島，真鍋島，白石島の3島で地域ぐるみでイノシシ駆除を行う地域住民組織が設立されております。市は，令和3年度から組織に対して協力金を支出しており，組織の活動を支援しております。組織の設立がない島につきましては，市委託の捕獲員及び職員がわなを設置し，捕獲を行っております。

＜6.令和4年度の振返り＞（担当部署自己評価）

施策の進捗度	A：施策を構成する事業が順調に進行している。 B：施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C：施策を構成する事業が一部遅れている。 D：施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【「農林業の振興」の満足度】 ・付加価値につながる6次産業化やふるさと納税返礼品への採用により農作物のブランド化，ふるさと納税の推進 ・畜産物の高付加価値化の取組の推進 【採卵鶏の飼養羽数】 ・機械導入等による労力軽減化を推進し経営の効率化と飼養羽数の増加を図る。 【認定農業者数】 ・新規就農者の掘り起こしと補助制度の活用による支援を行う。 【市内耕作放棄地面積】 ・耕作放棄地の面積に関しましては，令和3年度から利用状況調査と荒廃農地調査が統合されたことにともない，改めて過去の調査対象等を精査したところ，本来調査すべきであった対象地の多くを調査対象地から除外していたことが判明した。そのため，調査実施要領に基づく適切な調査とするべく，改めて調査対象地を精査したうえで実施した結果，前年度までの面積よりも耕作放棄地の面積が大幅に増加したもの。担い手へ集積を促進するほか，草刈用農機具の貸付事業を進め，遊休農地の解消を推進していく。 【防護柵補助件数】 ・広報誌・ホームページ等で周知を行うとともに，防護柵販売店でチラシを配布し，防護柵補助件数の増加を図る。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・牛の臭気対策は進んでいると思いますが，引き続き対策をお願いします。鳥獣被害については，捕獲頭数が増加しているので，今後も引き続き対策をお願いします ・増え続ける市内耕作放棄地を更なる体験型農園，市民農園として活用することは難しいのでしょうか。R3で就労継続新事業所と連携している（農福連携）の農業者数が10箇所あるようになっていますが，目標値に達成していないところをみるとご苦労があるのかと思います。高齢者のデイサービスや福祉団体との更なる連携，また健康目的や生きがい目的として農作業を活用したいといった新たなニーズはないのでしょうか。随分改善されたと感じますが，臭気対策が今年度も評価のネックとなりました。臭気対策アプリの見直しもされているとのこと。市民の協力あってのことですので広報などで呼びかけていただき，市民との協力体制で改善していければと思います。また酪農業の見学など再開されると牛の可愛さに触れ，酪農業への理解，協力に繋がるのではないでしょうか。 ・牛の臭気対策，鳥インフル，鳥獣被害，耕作放棄地の増大など，多くの課題を抱え，日々奮闘しておられると感じています。少しでも苦労が軽減されることを願います。 ・耕作放棄地もよく見かけますが，地域によっては，まちづくりの一環として，耕作努力しているのも見かけます。また，防災の視点からも地域で草刈をして焼畑にする活動も見かけます。悪臭対策の努力は見えるものの，天候によっては，市街地や城見地域にまで及んでいます。一層の努力をお願いします。 ・活気あるまちづくりにご尽力いただきありがとうございます。達成目標の地域の特色を生かした農業・畜産業の活性化の，市内農産物の産出額（野菜・果実）についてです。その他の花き・米も同様に数値が出ていませんが，昨年度を見ても野菜と果実が半分以下であること。こちらは目標設定が高すぎるのか，コロナの影響があるのでしょうか。ふるさと納税でも米に次いで人気のある果物と聞いています。農作物のブランディングも必要で並行していただき，作られている方や作りたくなる若者を高校生などにもお声掛けしていただきたいです。また採卵鶏の飼養羽数についてです。鳥インフルエンザが毎年猛威を振るっており，笠岡のおいしい卵を増やすためにもそこにもご尽力いただけたらと思います。前任者のことでわからないかもしれませんが，すみませんが真摯に答えようとしていただきたいです。 ・すでに様々な対応をされていますが，引き続き，イノシシ被害の拡大により，耕作意欲が減退しないように努めてください。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	1－3	施策名	商工業振興	主担当課	商工観光課
戦略の柱	経営戦略　“稼ぐ”				
基本方針	行政，市民，事業者及び笠岡商工会議所等の協働による商工業の振興を進めるとともに，既存の事業者・新規創業者の自助努力，創意工夫及びデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を支援します。			関係課	

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
総人口1人当たりの市民所得	単位	目標		2,700	2,700	2,710	2,730
	千円	実績	2,711	2,784	2,805	—	—
		達成率		103.1%	103.9%	—	—
従業員4人以上の製造業の事業所数（工業統計調査）	単位	目標		110	110	110	110
	事業所	実績	廃止	廃止	廃止	—	—
		達成率		—	—	—	—
従業員4人以上の製造業の従業者数（工業統計調査）	単位	目標		5,266	5,300	5,300	5,300
	人	実績	廃止	廃止	廃止	—	—
		達成率		—	—	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	生産・販売力の強化（※①②③⑤）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
従業員4人以上の製造品出荷額等（工業統計調査）	単位	目標		205,183	170,000	170,000	170,000
	百万円	実績	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止
		達成率		—	—	—	—
従業員4人以上の粗付加価値額（工業統計調査）	単位	目標		61,554	54,000	54,000	54,000
	百万円	実績	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止
		達成率		—	—	—	—
かさおかブランド「産業・技術部門」認定件数	単位	目標		2	5	4	6
	件／年	実績	4	3	1	—	—
		達成率		150.0%	20.0%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	7,160	千円	4,562	千円	4,860	千円	44,688	千円
うち一般財源	7,160	千円	4,562	千円	4,860	千円	4,199	千円

1	商工業振興事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市内企業・商店	企業・商店が活発に活動・発展することにより，市内環境や市民生活を活性化する。	・工業振興において，経営の近代化や情報通信技術の活用等による円滑な発展に努める。 ・中小企業の経営の安定化を図るため，小規模企業対策資金保証融資制度の充実を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●笠岡市小規模事業対策資金保証融資制度 ●中小企業信用保険法に基づく認定 ●産業活動の支援 ●新たな産業づくりへの支援 (創) ・小規模事業者経営改善資金利子補助金 ＜補助金交付件数:106件，新規24件，継続82件＞ ⇒ ＜融資利用件数:53件＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜補助金交付件数:108件，新規25件，継続83件＞ ⇒ ＜融資利用件数:7件＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜補助金交付件数:72件，新規8件，継続64件＞ ⇒ ＜融資利用件数:30件＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜補助金交付件数:52件，新規4件，継続48件＞ ⇒ ＜融資利用件数:25件＞

直接事業費	決算額	7,160	千円	決算額	4,562	千円	決算額	4,860	千円	決算額	44,688	千円
	うち一般財源	7,160	千円	うち一般財源	4,562	千円	うち一般財源	4,860	千円	うち一般財源	4,199	千円

【達成目標2】	創業・事業承継の支援(※④⑤)

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
創業支援・空き店舗等活用事業費補助金(新規創業)認定件数	単位	目標		8	3	3	3
	件／年	実績	3	5	4	—	—
		達成率		62.5%	133.3%	—	—
創業支援・空き店舗等活用事業費補助金(空き店舗等活用)認定件数	単位	目標		1	1	1	1
	件／年	実績	4	1	1	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
事業承継支援補助金交付件数	単位	目標		2	1	1	1
	件／年	実績	0	0	0	—	—
		達成率		0.0%	0.0%	—	—
笠岡商工会議所青年部の会員数	単位	目標		74	71	72	74
	人	実績	69	72	72	—	—
		達成率		97.3%	101.4%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	10,925	千円	9,742	千円	12,038	千円	8,994	千円
うち一般財源	8,294	千円	7,382	千円	3,897	千円	1,043	千円

2 商店街振興事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市内商店・商店街	市内商店・商店街の発展を支援することで，市内環境や市民生活の活性化を図る。	市内商店・商店街の振興を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●各種イベントの開催 ●空き店舗の有効利用 中心市街地空き店舗登録件数:10件 空き店舗補助金申請件数:5件 (新規3件，継続2件)	⇒ ⇒ 中心市街地空き店舗登録件数:12件 空き店舗補助金申請件数:4件 (新規1件，継続3件) ・新型コロナによりいちょう祭り中止 ・代替事業として，ぐるぐる商店街の実施	⇒ ⇒ 中心市街地空き店舗登録件数:13件 空き店舗補助金申請件数:2件 (新規1件，継続1件)	空き店舗等活用事業費補助金交付件数 1件 中心市街地空き店舗利用促進補助金(店舗賃借料補助)交付件数 1件
直接事業費	決算額 7,712 千円	決算額 5,529 千円	決算額 4,599 千円	決算額 5,945 千円
	うち一般財源 5,281 千円	うち一般財源 3,169 千円	うち一般財源 2,239 千円	うち一般財源 643 千円

3 (創) 起業支援

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
新規創業者	新規創業者に対して，市内産業の振興，雇用の促進及び定住を勧める。	これから市内で起業する人を対象に，起業にかかった経費の一部を事後的に補助する。新規起業者を支援することで市内産業の振興・雇用創出を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	創業サポートセンターかさおか創業サロンの運営補助 ＜補助金交付件数:新規1件＞ ＜サロン来客数:273人＞	⇒ ＜補助金交付件数:新規3件＞ ＜サロン来客数:282人＞	⇒ ＜補助金交付件数:新規5件＞ ＜サロン来客数:504人＞ 創業サポートセンターかさおか創業サロンの運営補助終了	⇒ ＜新規創業者支援事業 補助金交付件数:新規4件＞
直接事業費	決算額 2,813 千円	決算額 3,813 千円	決算額 7,039 千円	決算額 2,649 千円
	うち一般財源 2,813 千円	うち一般財源 3,813 千円	うち一般財源 1,258 千円	うち一般財源 0 千円

4 (創) 創業塾支援事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
笠岡商工会議所	笠岡商工会議所が主催する創業塾を笠岡市が支援することで，より内容の充実した創業セミナーを開催することが可能となる。その結果として，起業予定者の起業の実現性を増大させ実際の起業へとつながることを目的とする。	笠岡商工会議所が行う「かさおか創業塾」に対し，運営費の一部を補助し，内容の充実した創業塾とさせる。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	インターネット，チラシによる受講者募集のPRを行う。 ＜受講者数:7人＞	⇒ ＜受講者数:14人＞	⇒ ＜受講者数:16人＞	⇒ ＜受講者数:25人＞
直接事業費	決算額 400 千円	決算額 400 千円	決算額 400 千円	決算額 400 千円
	うち一般財源 200 千円	うち一般財源 400 千円	うち一般財源 400 千円	うち一般財源 400 千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
直接事業費	18,085 千円	14,304 千円	16,898 千円	53,682 千円
うち一般財源	15,454 千円	11,944 千円	8,757 千円	5,242 千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
創業者への手厚いサポートを継続され，商工業の振興を図り「稼ぐ」を進めてほしい。	→	創業サポートセンターと緊密な連携を図りながら，笠岡市の創業支援の補助金などの広報に努め，創業者の支援に尽力し，商工業の振興に努めてまいりたいと考えております。
商工会の青年部会員もあまり減少せずに，自分たちの仲間づくり・絆づくりにニュースポーツを取り入れたりして頑張っておられます。先輩たちの築いてきた商店街の活性化に向けてその活動を引継ぎがんばっていただきたい。	→	引き続き商工会議所と緊密な連携を図りながら市内商工業の振興に努めてまいりたいと考えております。
事業承継支援補助金交付0が2年続いています。高齢の方の持たれているオンリーワンの技術などが廃るのは残念でなりません。希望されているところには何とかスムーズに承継できるようお願いしたいと思います。 2021年アンケートによると7割の事業所がコロナによるマイナスの影響があったと回答しています。井原市ではプレミアム付き商品券がR4にも人気を博しており，一部笠岡市民にも好評のようです。飲食業界については岡山県が出されましたので，他業界で必要性があるようでしたら，費用対効果を検証され市外を巻き込む方法も考えられないでしょうか。 高校生や小規模団体で場所を借りたいと希望されるところがあれば，商店街の空き店舗を利用してもらう中で，話題性のあるイベントや販売などしていただけると活気付きませんか。	→	事業承継については，企業コーディネーターが市内事業所を訪問し，岡山県事業承継・引継ぎ支援センターや福山ビジネスサポートセンターなどの関係各所と連携しながら，円滑な事業承継を支援してまいりたいと考えております。 プレミアム商品券については，令和2年度にコロナ対策として実施し，好評を博したところですが，今後，実施の必要があればご提案の方法も含めて検討してまいりたいと考えております。 商店街の空き店舗の利用については，笠岡市でも補助金を設け対策を図っておりますが，ご提案の件についても，各商店街の代表者が集まる場で検討いただきたいと考えております。
企業支援の方法を変え，対策を講じられ素晴らしいと思う。コロナ禍でも創業塾等のPRを引き続き行い，起業支援をお願いしたい。	→	引き続き創業塾を実施している笠岡商工会議所と緊密な連携を図りながら，笠岡市の創業支援の補助金などの広報に努め，創業者の支援に尽力してまいりたいと考えております。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	HPやSNS，パンフレット等をとおして，かさおかブランドの認知を図り，認定価値の向上を繋げる。 事業承継支援補助金交付件数については，制度の周知を図ると共に，利用促進のため内容を検討したい。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・進捗状況が把握しやすい指標の設定をぜひお願いします。 ・最近の電気代等の高騰によりエネルギー対策費が大幅に増えていますが，仕方のないことだと思います。今後も着実に進めていただくようお願いします。 ・かさおかブランドの認定件数が伸び悩んでいます。認定されるメリットが企業側にあまりないのでしょうか？例えば消費者からすると「笠岡　土産　特産」と検索し，まとめて画面が出てくると，笠岡市の公認商品なのだと理解し購入に繋がります。販売に繋がりやすいと認定者にとっても「かさおかブランド」の価値が上がり登録数も必然的に増えるのではないでしょうか。市民も他市町の方に聞かれた時，即答でお勧めできる「かさおかブランド」となればと願います。また「笠岡　土産　特産」の検索でヒットする市役所HPの画面があまりインパクトがないので，例えば「FUKUYAMA BRAND」「あさくちブランド　浅口の幸」（商工会）のようにイメージアップをされると良いと思います。みよしブランドについては「認証品カタログ」など作成していますので参考にされてはいかがでしょうか。 ・商業対策には発想の転換をして，いろんな事例を研究してみることも必要ではないか。他都市へ出向いての研修も計画してほしい。観光地と商業地の連携を図り，それぞれの相乗効果を期待したい。 ・経営戦略”稼ぐ”にご尽力いただきありがとうございます。とても分かりやすい説明で助かりました。すでにされていらっしゃるとのことですが創業塾など事業所に委託されている場合，しっかりとした情報共有と今後の考察に繋がるようにお願いしたいです。また総合指標2の指標が廃止ばかりだとせっかくの努力が数値化されませんので，第7次総合計画に準じたものでぜひ時代に合わせた指標に変更をお願いします。事業継承補助金ですが，ご家族でいないのは残念だと思いました。事業を継承するのは他人も家族も同じようにハードルが高いように思います。継続してほしい笠岡ラーメンの食文化など廃れていただいたら困るものたくさんあります。ご検討の程お願いしたいです。また観光協会との役割の分業化と観光とともに笠岡ブランドの周知や継承に繋げていただけたらと思います。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	1－4	施策名	水産業振興	主担当課	農政水産課
戦略の柱	経営戦略 “稼ぐ”				
基本方針	海に臨む笠岡市の特色ある産業として水産業を振興するため，水産資源の増加，担い手の育成とともに，安くて新鮮な笠岡の水産物を広く提供するための取組を進めます。			関係課	

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
漁獲量（海面漁業）	単位	目標		500	500	500	500
	t／年	実績	未公表	493	398	—	—
		達成率		98.6%	79.6%	—	—
漁獲量（養殖漁業）	単位	目標		500	500	500	500
	t／年	実績	未公表	396	713	—	—
		達成率		79.2%	142.6%	—	—
「水産業の振興」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	△ 8.5	—	△7.0（R6）
	%	実績	△ 16.5	—	△ 21.7	—	—
		達成率		—	39.2%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	水産資源の回復（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
漁獲量（海面漁業）	単位	目標		500	500	500	500
	t／年	実績	未公表	493	398	—	—
		達成率		98.6%	79.6%	—	—
漁獲量（養殖漁業）	単位	目標		500	500	500	500
	t／年	実績	未公表	396	713	—	—
		達成率		79.2%	142.6%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	8,248	千円	5,791	千円	5,574	千円	5,750	千円
うち一般財源	5,973	千円	5,041	千円	4,824	千円	5,000	千円

1	水産業振興事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
漁業者及び市民	漁家経営が安定及び維持できるよう事業実施を行い，漁業振興を図る。	・漁業振興特別対策事業 ・海洋牧場管理運営に対する補助 ・漁業近代化資金に対する利子補給 ・漁船保険に対する補助

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	★〇漁業振興特別対策事業 ・大島美の浜漁協へ漁船漁具保全施設(船台)を設置 ・大島人工干潟におけるアサリ増殖調査事業 ・漁業者の研修会実施 (テーマ:「里海シンポジウム」) ※コロナにより延期 ・浜の活力再生プランの改訂，前年度評価，実施，及び中間報告 ・広域浜プランでの取組 ・播種法を用いたアマモ場造成 (市内2漁協による取組) 美しく豊かな海づくりに関する協定の締結(H28.5.26) ★〇漁業近代化資金に対する利子補給 ・件数　延べ6件 〇海洋牧場管理運営に対する補助 ★〇漁船保険に対する補助 ・件数278件(徴収保険料の25%)	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・浜の活力再生プラン前年度評価，実施，及び中間報告 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・件数　延べ4件 ⇒ ⇒ ・件数278件(徴収保険料の25%)	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・件数　延べ5件 ⇒ ⇒ ・件数278件(徴収保険料の25%)	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・件数　延べ4件 ⇒ ⇒ ・件数278件(徴収保険料の25%) ★〇漁業用燃料に対する補助 ・件数50件 ★〇高圧洗浄機の導入に対する補助 ・件数1件
直接事業費	決算額　8,248　千円	決算額　5,791　千円	決算額　5,574　千円	決算額　5,750　千円
	うち一般財源　5,973　千円	うち一般財源　5,041　千円	うち一般財源　4,824　千円	うち一般財源　5,000　千円

【達成目標2】	漁業者の担い手・後継者の確保と育成(※②)

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
新規就業者数	単位	目標		2	2	2	2
	人／年	実績	1	1	2	—	—
		達成率		50.0%	100.0%	—	—
漁業体験者数	単位	目標		120	120	120	120
	人／年	実績	0	0	95	—	—
		達成率		0.0%	79.2%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
直接事業費	716　千円	0　千円	0　千円	866　千円
うち一般財源	1　千円	0　千円	0　千円	0　千円

2	漁村整備・交流事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
漁業者及び市民（主として小学生）	漁家経営が安定及び維持できるよう事業実施を行い，漁業振興を図る。 海辺の体験学習を通じて担い手を増やす取組を進める。	・海辺の体験学習

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	★●海辺の体験学習 ・都市漁村等交流推進事業の実施 白石島親子ふれあい地引網 参加者 50人 大島海辺の教室（神内小） 参加者 73人			⇒ ・都市漁村等交流推進事業の実施 白石島親子ふれあい地引網 参加者 0人※コロナで中止 大島海辺の教室 参加者 0人※コロナで中止			⇒ ・都市漁村等交流推進事業の実施 白石島親子ふれあい地引網 参加者 0人※コロナで中止 大島海辺の教室 参加者 0人※コロナで中止			⇒ ・都市漁村等交流推進事業の実施 白石島親子ふれあい地引網 参加者 39人 大島海辺の教室 参加者 56人		
直接事業費	決算額	716	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	866	千円
	うち一般財源	1	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

【達成目標3】	新鮮な地魚の提供（※③）

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
直売所の販売額（道の駅・大島朝市・美の浜朝市）	単位	目標		163,000	163,000	163,000	173,000
	千円	実績	147,888	145,876	164,300	—	—
		達成率		89.5%	100.8%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	300	千円	400	千円	278	千円	161	千円
うち一般財源	300	千円	0	千円	278	千円	161	千円

3	水産物流通促進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
漁業者及び市民	漁家経営が安定及び維持できるよう，また，新鮮な魚の提供，直販体制の充実を図る。 レシピ作成を支援し，新鮮な魚による料理の普及を図る。	・新鮮な魚の販売ルート開拓，直販体制の支援 ・レシピ作成への支援

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	★●販売ルート開拓，直販体制の支援 ・漁協による直販体制及び魚まつり（かさおか鮮魚市かき祭り）支援 ・笠岡市漁協荷さばき施設における笠岡諸島の漁獲物の取扱量の増加と販路拡大，「朝市」を週1回継続開設と販売促進PRの取組支援 ・備後圏域の地魚のブランド化における広域連携推進のための協議・検討 ・漁協イベントの支援，備後フィッシュガイドブックの配布及び「備後フィッシュの食べられる店」の登録店舗の拡大，備後フィッシュフェスへの出店 ★●レシピ作成への支援 ・生活交流グループ協議会による魚食普及及び魚利活用メニューの検討・試作	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・漁協イベントの支援，備後フィッシュガイドブックの配布及び「備後フィッシュの食べられる店」の登録店舗の拡大（12店舗），備後フィッシュフェスへの出店 ※コロナで休止 ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・漁協イベントの支援，備後フィッシュガイドブックの配布及び「備後フィッシュの食べられる店」の登録店舗の拡大，備後フィッシュフェスへの出店 ※コロナで休止 ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・漁協イベントの支援，備後フィッシュガイドブックの配布及び「備後フィッシュの食べられる店」の登録店舗の拡大，備後フィッシュフェスへの出店 ⇒ ⇒
直接事業費	決算額 300 千円	決算額 400 千円	決算額 278 千円	決算額 161 千円
	うち一般財源 300 千円	うち一般財源 0 千円	うち一般財源 278 千円	うち一般財源 161 千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
直接事業費	9,264 千円	6,191 千円	5,852 千円	6,777 千円
うち一般財源	6,274 千円	5,041 千円	5,102 千円	5,161 千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
令和3年度の養殖業業の実績が，令和2年度の半分ほどになっているのはやはりコロナの影響でしょうか。飲食店への納入が少ない影響が出ているのではないかと思います。	→	新型コロナの影響もありますが，海水温上昇や栄養塩減少などにより，養殖ができる時期が短くなってきていることが大きな原因と考えられます。引き続き美しく豊かな海をよみがえらせる活動に関係団体等と共に取り組んで参ります。
原油高等により漁獲量が減少している。原油高ゆえに漁に出ないという選択ではなく，後継者問題と併せて対策を検討されたい。	→	今年度，コロナ禍における燃料価格の高騰の影響を受けた漁業経営者に対し，漁船用燃油に要する経費の一部を助成することとしています。今後も担い手確保も含めた持続的な漁業の振興に取り組んでまいります。
新規水産業就業者を増やす取り組みや漁業体験者を増やすためには，何か起爆剤が必要かと思います。研究施設や大学などの実習施設などを誘致できないだろうか。	→	研究施設や学校の誘致については，自治体の負担が大きいことからも難しいものと考えていますが，施設設置にとらわれず，漁業体験や海洋学習の場を提供して参りたいと思います。 また，笠岡諸島において，海洋教育の推進を目的に「渚の交番事業」を進められており，この事業がそういった学習の場のひとつとなることを期待しております。
養殖漁業の漁獲量がかなり落ち込んでいるのが気になります。海面漁業の漁獲量も年々減っています。環境変化，原油の高騰など理由があるのでしょうが，水産業は笠岡の強みだと思います。子どもたち，市民にとっても知らなくてはならない現実だと思います。協力できるところは広く呼びかけ，持続可能な水産業となるようご尽力ください。	→	全国における漁業・養殖業生産量は，地球温暖化による海洋の環境変化が原因と考えられ，魚の数が減少傾向となっています。 魚を増やし漁業を成長産業にすることを目的とした改正漁業法が施行されるなどの動きもあります。 本市では，漁業者，住民組織及び企業等と連携し，美しく豊かな海をよみがえらせることを目的として，アマモ場の再生，稚魚放流，海ゴミ回収の活動を通年行っております。今後もアマモ再生の先進地自治体である備前市（日生）や地元高校などの連携を通じて，豊かな漁場が取り戻せるよう進めてまいります。
コロナ禍で事業を進めることは大変だと思うが魚が，とれない時こそできる対策を講じていただきたい。	→	また，都市漁村交流事業等において，こどもたちに漁業体験のみならず水産業の現状等について学習できるよう工夫して参りたいと思います。

＜6.令和5年度の振返り＞（担当部署自己評価）

施策の進捗度	A：施策を構成する事業が順調に進行している。 B：施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C：施策を構成する事業が一部遅れている。 D：施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【漁獲量（海面漁業）】 地球温暖化により，海の環境が変化してきているため，「美しく豊かな海づくりに関する協定」によるアマモ場の再生活動などを行い，海の環境改善や水産資源の保護に取り組んでいきたい。また，備後フィッシュの食べられる店などで若い世代に食してもらうとともに魚をもっと知ってもらい，鮮魚の付加価値の向上，魚の美味しさなどを知ってもらう活動を引き続き推進していきたい。 【漁業体験者数】 コロナの関係もあり，白石島親子ふれあい地引き網などの参加人数を減らして実施した。令和5年度からは参加者人数のの見直しを行うなど開催ができる形に変え，漁業体験を通じて海や漁業へ関心を持ってもらえるよう継続して，事業を実施していきたい。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	C
コメント	・水産業には厳しい時代だと思いますが，よく健闘されていると感じました。市民意識調査の満足度が低いのは，小売店で笠岡産の魚の存在が身近に感じにくいからでしょうか。笠岡で獲れた魚を笠岡でおいしく食すという地産地消の動きが進んでほしいです。 ・漁獲高については，海面漁業の漁獲高が少なくなり，養殖漁業の漁獲高が令和4年度はおよそ倍になっています。今後も環境変化等により海面漁業は少なくなると思いますので，養殖漁業の支援に力を入れていただきたいと思います。令和3年度の評価がCだったので，新規就業者が2名と増え，漁業体験者は目標には届いていないですが，頑張っているのではないかと思います。 ・海面産業の漁獲量は減りましたが，養殖漁業の漁獲量はかなり増え安心しました。市民の満足度はさらに下がりましたが，新規就業者が二人も増えたことは喜ばしいことです。コロナ収束に伴い，漁業体験者数も来年度はさらに増えることを願います。魚を食べる機会は家庭より給食の方が多いご家庭もありますので，給食時に魚（備後フィッシュ）や漁業についての紹介をしてもらい，笠岡の水産業を持続可能なものにしてほしいと思います。 ・笠岡市民（特に小学生）の海辺学習は推進されていますが，山村の子どもたちへの取組はできないでしょうか。県北へのプレゼンテーションを計画していただきたい。 ・経営戦略”稼ぐ”にご尽力いただきありがとうございます。総合指数の海面漁業の漁獲量に関しましては，今後もアマモ場の再生活動と共に様々な団体とともに周知や募集をかけていただき，今後もアマモ場の聖地である岡山の備前や笠岡から全国に発信できるようにお願いいたします。また市民調査での水産業の振興の満足度ですが，コロナ禍ではありましたが，数値が低いように思いますし，基本方針に書かれている安くて新鮮な笠岡水産物のイメージが市民として湧きません。コロナにおける事業の縮小は緩和されています。漁師さん主役で全国で開催されているフィッシャーマンズフェスティバルなどいかがでしょうか。積極的なPRもお願いします。2漁村整備・交流事業に関してです。市民や子供たちが漁師さん達と触れ合う場として設けていただいてありがとうございます。同じ市内でも海の近くの小学校区しか体験していないこともあるように感じています。教育委員会やこども部との連携も必要かもしれませんが，地域学として近隣を知ることも大切ですが，笠岡市のよさを知れるように市内全域でも経験の機会を増やしていただきたいです。そして，そこで笠岡のお魚を食べさせてほしいです。レシピ作成への支援についてです。レシピはどこで確認できますか。市民にも共有していただける仕組みづくりがあると嬉しいです。 ・チヌによるノリの食害や，クラゲの大量発生による漁獲への影響等，様々な課題がありますが，沿岸地域や島しょ部にとって，水産業は主要産業です。引き続き水産業振興に努めてください。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	1－5	施策名	観光振興	主担当課	商工観光課
戦略の柱	経営戦略　“稼ぐ”				
基本方針	観光振興は，本市の産業振興施策において重要な柱の1つです。「瀬戸内海・笠岡諸島」，「笠岡湾干拓地」といった本市の特徴・地域資源を活かして，本市の観光分野の魅力を発信し認知度を高めるとともに，国内観光客やインバウンドの誘致等，観光客及び交流人口の増加を図ります。			関係課	企画政策課 定住促進センター 建設管理課 農政水産課 生涯学習課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
観光客数（1～12月）	単位	目標		100	126	150	198
	万人／年	実績	98	91	103	—	—
		達成率		91.0%	81.7%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	観光素材の商品化及び販売（※①②⑦）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
かさおかブランド認定件数	単位	目標		39	40	41	43
	件	実績	38	32	31	—	—
		達成率		82.1%	77.5%	—	—
カブトガニ博物館入館者数	単位	目標		45,000	56,000	65,000	70,500
	人／年	実績	32,523	38,542	59,368	—	—
		達成率		85.6%	106.0%	—	—
竹喬美術館入館者数	単位	目標		13000	17,000	15,000	20,000
	人／年	実績	11,767	11,333	11,439	—	—
		達成率		87.2%	67.3%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	3,094	千円	3,969	千円	3,142	千円	8,785	千円
うち一般財源	3,094	千円	0	千円	0	千円	350	千円

1	観光イベント開催事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
観光客 伝統芸能関係者	各イベントへの観客の増員，地域伝統芸能の継承・発展を通じて市の活性化を図る。	・笠岡湾干拓地内景観作物圃場への「四季の花」の植栽事業及び花イベントの実施 ・道の駅笠岡ベイファームへの集客施策の実施。 ・市内で開催される伝統継承活動への助成。（ひったか・おしぐらんご，白石踊，大島の傘踊り） ・笠岡市観光連盟が主催するツアーへの助成。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●観光メニューの整備 ・島と陸との連携による体験メニューの促進			新型コロナウイルスの影響により中止			⇒			市内で開催される伝統継承活動への助成（ひったか・おしぐらんご，白石踊）		
直接事業費	決算額	540	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	350	千円
	うち一般財源	540	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	350	千円

2	(創) 笠岡ぐるっと博

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民・商店街 飲食業関係者	地域の魅力(＝地域資源)を再発見するとともに，市全体がお客様をもてなす環境を作り出し，経済的な部分も含めた地域活性化を図る。	市内の飲食店を周り，スタンプを集め応募してもらう。 500円以上の飲食購入につき1つ押印 応募の際のスタンプの数は1店舗1個とする。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・街ラリー(スタンプラリー形式にて市内飲食業店を周る。) ・ぐるっとガールによる笠岡ぐるっと博加盟店のSNSを用いたレポートをしてもらい積極的な情報発信を図った。 <参加店舗 80店舗，ラリー応募数 1,474通>	⇒ ⇒ ・コロナ禍の外出自粛により打撃を受けている飲食店を支援するため，感染対策の徹底を周知するとともに，市外からの参加を促すため，新聞折込やフリーペーパーへの掲載を行った。 <参加店舗 94店舗，ラリー応募数 3,142通>	⇒ ・コロナ禍の外出自粛により打撃を受けている飲食店を支援するため，感染対策の徹底を周知するとともに，市外からの参加を促すため，新聞折込やフリーペーパーへの掲載を行った。 ・ぐるっと博10周年記念として「全店舗達成賞」と「2人で仲良く70店舗ペア賞」を取り入れ，賞品の質を上げたことで，参加者増につながった。 <参加店舗 100店舗，ラリー応募数 3,858通>	⇒ ・SNSで参観店舗情報を発信 ・モバイルスタンプラリーを導入 既存の冊子と併用して実施 <参加店舗 105店舗，ラリー応募総数 5,336件(冊子：4,966件，モバイル370件)>
直接事業費	決算額 2,554 千円	決算額 3,969 千円	決算額 3,142 千円	決算額 8,435 千円
	うち一般財源 2,554 千円	うち一般財源 0 千円	うち一般財源 0 千円	うち一般財源 0 千円

【達成目標2】	観光客受け入れ体制の整備(※②③④⑦)

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
地域産業魅力づくり応援事業 (観光商品・観光サービス開拓事業)	単位	目標		1	1	1	1
	件／年	実績	0	0	1	—	—
		達成率		0.0%	100.0%	—	—
宿泊施設数	単位	目標		20	21	22	22
	軒	実績	20	20	21	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
直接事業費	11,855 千円	24,704 千円	40,443 千円	17,957 千円
うち一般財源	10,601 千円	11,193 千円	6,845 千円	3,777 千円

3 観光施設整備事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
観光客	・快適な環境での海水浴 ・観光施設の安全性，快適性の確保 ・歩きやすい遊歩道の整備	・白石島，北木島海水浴場の水質検査 ・観光便所等観光施設の清掃管理 ・観光案内看板等観光資材の管理 ・神島遍路道の改修事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●受け入れ体制の整備 ・研修会の開催による人材の育成 ・神島天神社，真鍋島等観光トイレ修繕 ・観光トイレブロック塀改修工事	・高島港待合所トイレ洋式化 ・真鍋島ふるさと村資料館解体 ・真鍋島(本浦)観光トイレ地質調査及び測量(次年度の観光観連施設の整備に向けたもの)	・白石島観光トイレ解体事業 ・真鍋島(本浦)観光便所新築工事 ・北木島観光トイレ(金風呂)簡易水洗化	・観光駐車場舗装工事

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	4,905	千円	決算額	13,470	千円	決算額	38,456	千円	決算額	15,391	千円
	うち一般財源	3,651	千円	うち一般財源	8,034	千円	うち一般財源	6,845	千円	うち一般財源	3,774	千円

4 日本遺産推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
観光客 観光団体	令和元年度に日本遺産に認定された笠岡諸島の観光施設の整備，観光客の安全性・利便性の向上	・看板，トイレ等の整備 ・遊歩道の整備 ・構成市町との連携

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・仮設トイレ設置・管理 ・観光トイレ修繕 ・北木島遊歩道整備 ・島内案内看板デザイン制作 ・誘導看板設置 ・せとうち備讃諸島日本遺産推進協議会への負担金	⇒ ・景観維持管理 ・六島遊歩道整備 ・島内案内看板設置 ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ・六島灯台ライトアップに伴う電気整備工事 ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	6,950	千円	決算額	11,234	千円	決算額	1,987	千円	決算額	2,566	千円
	うち一般財源	6,950	千円	うち一般財源	3,159	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	3	千円

【達成目標3】観光情報の積極的なPR(※②⑤⑦)

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
観光資料配布数	単位	目標		16,500	31,500	32,000	33,000
	部／年	実績	16,005	13,526	19,367	—	—
		達成率		82.0%	61.5%	—	—
観光ホームページアクセス数	単位	目標		660,000	810,000	815,000	825,000
	件／年	実績	659,871	678,598	686,077	—	—
		達成率		102.8%	84.7%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	11,671	千円	10,514	千円	27,934	千円	41,262	千円
うち一般財源	8,161	千円	10,453	千円	27,456	千円	19,958	千円

5 観光振興事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
観光客 観光団体	様々な地域資源の魅力を外部に発信し，地域の活性化を図る。	・観光情報を発信する。 ・観光関連団体と連携を図る。 ・修学旅行誘致を推進する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●積極的な観光PR ・パンフレットの作成 各種パンフレットの改訂版の作成 ・ウェブページの改訂 ・セールス活動 修学旅行誘致活動含む ・地域ブランドによる経済活性化を図るため，地域資源の発掘・ブラッシュアップの検討等を行った。 ・笠岡駅から，カブトガニ博物館，竹喬美術館及び道の駅をめぐる「いいとこめぐりバス」を運行した。 ・かさおかブランド市民アンケートを行った。 ・笠岡諸島観光パンフレット，アクセスガイドを作成	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・観光振興ビジョン策定	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・笠岡市観光振興ビジョンをもとに実施する本市の観光振興施策の担い手に対し，組織の運営及び観光振興事業の実施に必要な費用等について，補助金を交付した。	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・市内宿泊施設の利用者に対し，宿泊クーポンを発行した。 ・市内観光施設等を含んだ行程の団体旅行を催行する旅行会社に対し，補助金を交付した。 ・地元産品を販売PRするため笠岡フェアを実施した。
直接事業費	決算額 9,501 千円 うち一般財源 5,991 千円	決算額 9,670 千円 うち一般財源 9,670 千円	決算額 27,155 千円 うち一般財源 27,155 千円	決算額 37,672 千円 うち一般財源 18,578 千円

6 日本遺産PR事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
観光客 観光団体	令和元年度に日本遺産に認定された笠岡諸島の魅力を外部に発信し，地域の活性化を図る。	・日本遺産認定の普及啓発・情報発信をする。 ・観光関連団体と連携を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・かさおか観光応援サポーター養成講座を行った。 ・リーフレット，のぼり等普及啓発物品を制作した。 ・笠岡市観光ガイドブック(英訳版)の版下を作成した。 ・日本遺産認定記念ツアーを実施した。	・リーフレット，クリアファイル等普及啓発物品の制作 ・日本遺産地域活性化応援事業補助金	⇒ ⇒	・リーフレット，マスキングテープ等普及啓発物品の制作 ⇒ ・観光雑誌へ日本遺産広告を掲載した。 ・笠岡諸島スタンプラリーを実施した。 ・笠岡諸島周遊ツアーを実施した。
直接事業費	決算額 2,170 千円 うち一般財源 2,170 千円	決算額 844 千円 うち一般財源 783 千円	決算額 779 千円 うち一般財源 301 千円	決算額 3,590 千円 うち一般財源 1,380 千円

【達成目標4】	道の駅の効果的な運営（※⑥）

達成目標4の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
来場者数（1～12月）	単位 千人／年	目標		765	780	780	825
		実績	763	696	724	—	—
		達成率		91.0%	92.8%	—	—
販売額（1～12月）	単位 千円	目標		468000	470,000	473,000	476,000
		実績	466,942	421,610	465,813	—	—
		達成率		90.1%	99.1%	—	—

達成目標4の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	46,074	千円	36,166	千円	30,755	千円	46,777	千円
うち一般財源	20,598	千円	30,182	千円	23,276	千円	17,900	千円

7	道の駅整備・運営事業（再掲）

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
国道2号笠岡バイパス利用者及び道の駅利用者	道の駅の目的である休憩・道路情報の提供だけでなく，地元，笠岡市の新鮮な野菜・魚介類等の販売，地元食材を使った食事の提供，観光情報など，笠岡の良さを広範囲にPRできる一大情報発信基地とする。	①地域振興施設として道の駅を運営する。 ②道の駅周囲の農地を利用して景観作物を咲かせ，また，農業体験施設等でイベントなどを開催する。 ③道の駅の利用者を二次的に笠岡市内の施設及び飲食店等へ誘客し，経済効果を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	○道の駅整備 (創)・景観作物の作付 ・イベントの実施 ・新聞折込チラシの配布 ・施設の整備・管理 ・景観作物の栽培管理の委託 ・景観作物畑排水対策工事	⇒ ⇒ ・イベント中止 ・イベント中止 ⇒ ・直売所等の老朽化した備品の買換え，新型コロナウイルス感染防止のため道の駅店舗レイアウト変更に伴う修繕工事実施 ・道の駅駐車場目隠しシート修繕工事 ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ・イベント中止 ・イベント中止 ⇒ ・道の駅展望台通路修繕工事 ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ・花の見頃に合わせ年2回イベントを実施 ⇒ ・新型コロナウイルス感染症対策のためPOSレジシステム等備品を購入 ・老朽化した展望台を作り替えた。 ・繁忙期に併せ駐車場警備員を配置 ⇒
直接事業費	決算額 46,074 千円	決算額 36,166 千円	決算額 30,755 千円	決算額 46,777 千円
	うち一般財源 20,598 千円	うち一般財源 30,182 千円	うち一般財源 23,276 千円	うち一般財源 17,900 千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	72,694	千円	75,353	千円	102,274	千円	114,781	千円
うち一般財源	42,454	千円	51,828	千円	57,577	千円	41,985	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
日本遺産に認定され，これから観光客が増えるという時にまたコロナ禍となり，なかなかうまくいかないようです。しかしその中で各島のトイレ事業の修繕等を進めているので，コロナ禍以降にこれが活きてくればと思います。	→	引き続き観光トイレの修繕等を計画的に実施し，観光客の利便性及び満足度の向上を図って参りたいと考えております。
新型コロナの感染拡大が長引いており，アフターコロナを見据えてではなく，ウイズコロナの取組を行っていく必要がある。引き続き，笠岡市の観光事業がさらに発展するよう尽力されたい。	→	今後も続くことが予想される，ウイズコロナ時代に対応するため，引き続き，個人や少人数での旅行（マイクロツーリズム）に対応した施策を実施して参りたいと考えております。
干拓の道の駅や日本遺産の島を通しての観光事業を推進していただきたいと思っています。また，篠坂スマートインターの設置決定から，取付道路やパーキング施設も充実させて，土産物・農産物・観光パンフなどをおいて笠岡の西玄関口として啓発していったらどうでしょうか。	→	笠岡市の観光資源の中核である，道の駅や日本遺産認定を受けた島しょ部の魅力を活かした観光事業を推進してまいりたいと考えております。また，篠坂スマートインターチェンジの供用開始に合わせ，インター利用者に向けた観光PRを積極的に推進して参りたいと考えております。
観光施設整備が進み，島民の皆様，観光客にとって便利になったことは喜ばしいことです。観光客を受け入れる環境は整いました。コロナの影響はまだ続くのでしょうが，一人でも多くの観光客に来てもらい楽しんでもらえるよう，ソフト面での考案や効果的なPRもしていただきたいと思います。ワクワクを感じる観光地笠岡！となることを願います。太陽の広場や島にある見応えのある数ある石彫や，話題性のある撮影スポットがあるようです。バイクやレンタル自転車で撮影スポットを回りながら，飲食，買い物，体験もできると家族や恋人，友達でも楽しめる笠岡になるはず。魅力あるかさおかブランドもPRを更に工夫すると話題性があると思います。今あるもので観光に結び付けられるものは活用し，足りない要素は企業，団体と組みながら稼げる観光地となることを願います。 笠岡ぐるっと博は参加者も増え，大好評ですばらしいです。担当課のご尽力の賜物です。 カブトガニ博物館の入場者増に反し，竹喬美術館入場者数が減っています。日本画は若者，子どもには少し縁遠いところがあるように感じます。絵本，切手，MT（マスキングテープ）などの作品展など難しいでしょうか。	→	ご指摘いただいたとおり，一人でも多くの観光客に来てもらい楽しんでもらえるように，宿泊施設や飲食店等の事業所や，各種団体と連携することにより，観光客のニーズの把握に努め，今ある観光スポットの発信はもちろん，新たな観光客を誘客するために，ソフト面での効果的なPRをしてまいりたいと考えております。 笠岡ぐるっと博につきましては，例年参加店舗へ丁寧な説明をすることにより信頼関係を築いております。また，賞品の選定につきましても，地域内経済循環を考慮しつつも趣向を凝らしております。引き続き，参加意欲の向上を図って参りたいと考えております。 竹喬美術館につきましては，竹喬を顕彰し，研究する美術館として，日本画家である竹喬の周辺に関する展覧会を多く開催してきましたが，今後は，絵本展を始め，若い人に興味をもってもらえるような企画を検討することとしています。
取組内容がとても分かりやすく，コロナ禍でも具体的に推し進められたことがよく分かり，素晴らしいと思いました。観光における必須の待合やトイレの整備など，今後も滞りなく行っていただきたい。	→	ご指摘いただいたとおり，引き続き観光施設の修繕等を計画的に実施し，観光客の利便性及び満足度の向上を図りたいと考えております。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	達成目標2の魅力づくり応援事業については，かさおかブランド認定事業者等，機会を捉えて積極的に事業のPRを行い，制度の周知に努めます。 その他の未達成指標については，新型コロナウィルスの収束を前提に目標設定を行っていましたが，R4も継続して影響を受けたことにより厳しい状況となっておりますが，ウィズコロナ及びアフターコロナを見据えた施策をより充実させ，目標の達成に向け取り組んでまいります。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	・料金を含めたサービスが充実していれば市内宿泊施設の利用が増えるようですので，今後の観光施策の立案に活かしてほしいです。 ・観光客数，カブトガニ博物館や竹喬美術館等の入場者数が増加しています。今後はウイズコロナによる復活に是非とも力を入れてください。 ・風光明媚な笠岡諸島の観光施設整備は整ったようです。市内の子ども，子育て世帯を対象にしたイベントも好評です。市外からも観光客を呼べるようなイベントで，リピーターが増えるような魅力ある観光要素(ソフト面)にも工夫していただきたいです。また効果的なPRをし笠岡ファンが増えることを願います。島一周ウォーキングやサイクリングなど運動要素と，歴史紹介など文化的要素を合体し，美味しい地場料理が食べれるようなツアーなら健康志向の高齢者にも人気かと思いますが。島内には土産を購入する場所がないのでイベント時には簡単に買えると便利かと思います。笠岡ならではのスイーツなど食べることはできるのでしょうか？楽しめる要素が増えるとよいと思います。カブトガニ博物館の入場者は目標値に達しましたが，来年度は更に高い目標値をたてられています。頑張ってください。竹喬美術館については市内の子供向けの企画は充実してきており，市民には嬉しい美術館になってきています。両館ともグッズが人気です。引き続き，市外からも継続して来館してもらえるような企画で盛り上げていただきたいと思います。 ・北木島観光に行きました。心躍る景色に感動しましたが，案内用の小さな看板が目につきにくく，手作り感があったので，地域の方々が作られたのでしょう。一目で目立つような看板を行政の方で設置できたら，観光客もゆっくり散策できると思います。 ・経営戦略”稼ぐ”にご尽力いただきありがとうございます。かさおかブランドの認定件数が刷新されているということで今後新たな区切りから誇りをもって薦められるものを楽しみにしております。ふるさと納税と密接することになると思いますので，期待しております。カブトガニ博物館は子供のお手紙からも魅力的な告知をいただき，人気が高まっていることも肌で感じます。竹喬美術館に関しても高い数値になりますが様々なクリエイティブなイベントを開催されていえるので今後に期待しています。重複するかもしれませんが観光協会との役割の分業化をしていただき，観光振興ビジョンからの交通費や宿泊費の補助を行い多職種・公民一体とした連携の事業としてみんなで盛り上げられるシステムの構築をお願いしたいです。また，笠岡市内や井笠地域，日本遺産関連などの連携されたイベントを笠岡市の飲食店などと連携されるようなものを楽しみにしています。今後もウィズコロナ・アフターコロナを見越した施策に期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	1－6	施策名	干拓地農業の活性化	主担当課	農政水産課
大項目	活気あるまちづくり				
基本方針	長い年月をかけて，先人の知恵と工夫によってつくられた干拓地を有効活用するため，農地のより効率的な利用と，干拓地農業の周知を進めるとともに，環境負荷に配慮した持続可能な循環型農業の実現を目指します。			関係課	建設管理課 商工観光課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
人・農地プランにおける中心的経営体数（法人） ※干拓地内	単位	目標			26	27	29
	法人	実績	24	24	24	―	―
		達成率			92.3%	―	―

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	農地の有効利用（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
耕作面積率 ※作付調査等から算出（耕種・園芸エリア及び北端エリアの一部から，遊休農地等を除いた面積 363ha）	単位	目標			95	95	96
	%	実績	94	90	93	―	―
		達成率			98.2%	―	―

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	42,522	千円	14,398	千円	16,346	千円	38,026	千円
うち一般財源	11,070	千円	3,215	千円	6,561	千円	4,077	千円

1	干拓地有効活用推進事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
笠岡湾干拓地 営農者 市民	笠岡湾干拓地が有効活用され活性化する。	干拓地遊休地（民地）等の有効活用を図るため，営農希望者の斡旋等を行うと共に，粗飼料基地北端エリアに参入する農業法人の基盤整備を進める。併せて干拓地情報の発信に努め，干拓地の活性化を図る。

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
取組内容	・民有農地の有効利用支援と調整 ・粗飼料基地の貸付 （新規に144haの公募貸付を実施） ・粗飼料基地北端エリアの企業誘致に係る農業基盤整備事業の実施		⇒ ⇒ ⇒		⇒ ⇒ ⇒		⇒ ⇒ ⇒	
直接事業費	決算額	22 千円	決算額	0 千円	決算額	0 千円	決算額	20 千円
	うち一般財源	22 千円	うち一般財源	0 千円	うち一般財源	0 千円	うち一般財源	20 千円

2	農業振興事業（再掲）

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
農業者新規就農希望者	農業者の規模拡大，経営の効率化を図る。 新規就農者により農業人口を増加させる。	認定農業者制度を活用した農家の育成 干拓地を生かした大規模農業の推進

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	○農産物のブランド化 ○認定農業者認定・支援事業 ○担い手確保・育成・支援事業 ○新規就農者支援事業 ●農道離着陸場の多面的利用 延べ日数 208日 ・産地パワーアップ事業 ・「食と農村」交流推進事業 ・被災者向け経営体育成支援事業	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 174日 ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 178日	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 延べ日数 246日 ・産地パワーアップ事業 ・肥料価格高騰対策支援事業 ・燃料価格高騰対策支援事業

直接事業費	決算額	42,500	千円	決算額	14,398	千円	決算額	16,346	千円	決算額	38,006	千円
	うち一般財源	11,048	千円	うち一般財源	3,215	千円	うち一般財源	6,561	千円	うち一般財源	4,057	千円

【達成目標2】 干拓地農業と農産物の周知（※③）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
道の駅来場者数（1～12月）	単位	目標		765	780	780	825
	千人／年	実績	763	696	724	—	—
		達成率		91.0%	92.8%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	46,074	千円	36,166	千円	30,755	千円	46,777	千円
うち一般財源	20,598	千円	30,182	千円	23,276	千円	17,900	千円

3	(創) 道の駅整備・運営事業（再掲）

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
国道2号笠岡バイパス利用者及び道の駅利用者	道の駅の目的である休憩・道路情報の提供だけでなく，地元，笠岡市の新鮮な野菜・魚介類等の販売，地元食材を使った食事の提供，観光情報など，笠岡の良さを広範囲にPRできる一大情報発信基地とする。	①地域振興施設として道の駅を運営する。 ②道の駅周囲の農地を利用して景観作物を咲かせ，また，農業体験施設等でイベントなどを開催する。 ③道の駅の利用者を二次的に笠岡市内の施設及び飲食店等へ誘客し，経済効果を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	○道の駅整備 (創)・景観作物の作付 ・イベントの実施 ・新聞折込チラシの配布 ・施設の整備・管理 ・景観作物の栽培管理の委託 ・景観作物畑排水対策工事	⇒ ⇒ ・イベント中止 ・イベント中止 ⇒ ・直売所等の老朽化した備品の買換え，新型コロナウイルス感染防止のため道の駅店舗レイアウト変更に伴う修繕工事実施 ・道の駅駐車場目隠しシート修繕工事 ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ・イベント中止 ・イベント中止 ⇒ ・道の駅展望台通路修繕工事 ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ・花の見頃に合わせ年2回イベントを実施 ⇒ ・新型コロナウイルス感染症対策のためPOSレジシステム等備品を購入 ・老朽化した展望台を作り替えた。 ・繁忙期に併せ駐車場警備員を配置 ⇒

直接事業費	決算額	46,074	千円	決算額	36,166	千円	決算額	30,755	千円	決算額	46,777	千円
	うち一般財源	20,598	千円	うち一般財源	30,182	千円	うち一般財源	23,276	千円	うち一般財源	17,900	千円

【達成目標3】持続可能な循環型農業の確立（※④）

※COD（科学的酸素要求量）とは，水質汚濁の指標の1つで，水中に有機物等の物質がどれくらい含まれるかを，酸化剤の消費量を酸素の量に換算したもので，値が大きいほど水質汚濁の程度が大きいことを示します。

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
共同堆肥舎の牛糞堆肥搬出量	単位	目標		12,000	12,000	12,000	12,000
	t／年	実績	12,768	9,635	10,441	—	—
		達成率		80.3%	87.0%	—	—
寺間遊水池のCOD※	単位	目標		16	16	16	15
	mg／L	実績	22	19	17	—	—
		達成率		84.2%	94.1%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	151	千円	191	千円	192	千円	124	千円
うち一般財源	151	千円	191	千円	192	千円	124	千円

4 (創) バイオマスタウン推進事業（再掲）

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
笠岡湾干拓地 営農者 市民	笠岡湾干拓地の特性を生かしたバイオマス資源の利活用を図りながら，地域農業の活性化を目指すとともに，環境にやさしい農業を推進し，持続可能な循環型社会の形成に資する。	笠岡湾干拓地域バイオマスタウン構想のもと，バイオマス資源の利活用について，産学官による協議を行い，牛ふん堆肥の利活用などに取り組む。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・牛ふん堆肥の利活用の検討 ・畜産クラスター協議会活動			⇒			⇒			⇒ ・バイオガス発電施設整備計画への支援		
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

5 (創) 笠岡湾干拓地水質浄化対策事業（再掲）

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
笠岡湾干拓地 営農者 市民	笠岡湾干拓地の水環境を改善する取組を行うとともに，環境にやさしい農業を推進し，持続可能な循環型社会の形成に資する。	笠岡湾干拓地及び周辺地区の農業関係者，市民及び行政が連携して環境負荷の低減に努め，干拓地の水質保全対策の推進を図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・負荷削減活動の推進 ・耕畜連携による堆肥の適正処理 ・茂平地区下水道の整備			⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	151	千円	決算額	191	千円	決算額	192	千円	決算額	124	千円
	うち一般財源	151	千円	うち一般財源	191	千円	うち一般財源	192	千円	うち一般財源	124	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	88,747	千円	50,755	千円	47,293	千円	84,927	千円
うち一般財源	31,819	千円	33,588	千円	30,029	千円	22,101	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
昨年はA評価だったのですが，今回はB評価となっています。まだ牛ふんの臭気があるということが評価の一つだと思いますが，これを簡単に取り除くことは難しいと思います。今後も牛ふんの有効利用を取り組んでいただきたいと思います。	→	牛から排せつされる糞尿については，各農家で堆肥化処理させることにより堆肥を生産し，干拓地内の耕種農家が使用したりトウモロコシなどの牛の餌を生産するためにほ場に散布することで循環型農業が営まれております。堆肥を生産する過程とほ場に散布した堆肥から臭気が発生していることが考えられ，干拓地内だけでなく地域外への堆肥利用についても畜産農家や岡山県と連携しながら進めて参りたいと考えています。また，バイオガス発電施設についても民間事業者により建設されておりますので，市としても事業が円滑に進められるようバックアップして参ります。
寺間遊水地の環境問題や牛糞の活用等に今以上に取り組まれ，持続可能な循環型農業の実現に尽力されたい。	→	寺間遊水池の水質改善については関係者と連携しながら，引き続き排水路の浚渫や畜産農家への指導を実施して参ります。
バイオマスタウン構想も立ち上げ，いよいよ事業が推進されることと思いますが現段階での予算計上はなされているのでしょうか。長年の牛糞対策としての課題とされていたバイオマス事業を確実に進めていっていただきたい。	→	バイオガス発電施設については民間事業者により建設が進められております。市としても干拓地の臭気対策の観点から可能な限り支援して参ります。
農業法人数が目標値を達成しており順調ですが，コロナの関係で道の駅来場者，視察の受け入れが減りました。感染症予防対策を行った上で回復を目指して欲しいと思います。 牛糞の臭気対策・寺間遊水池のCOD水質保全対策については，より細かな対策をもって目標値に向けて改善していただきたく願います。	→	視察の受入れに関しましては，視察希望者や農家の事情もあるため，感染予防対策を行い，実施できるように考えていきます。 牛糞の臭気対策については資材による化学的な対策や各農家での基本動作の徹底等，様々な対策を合わせ技で実施することで改善に努めて参ります。寺間遊水池の水質改善については関係者と連携しながら，引き続き対策を実施して参ります。
コロナ禍でのイベントの中止が目立ちます。まずは農業に関心を持っていただいたり，干拓を誇りに思えるように引き続き策を講じていただきたい。農地の有効利用も干拓で行いたいと思えるメリットを打ち出したり支援したりと対策をお願いしたい。	→	干拓地では大規模で先進的な農畜産業が営まれており，笠岡市においては重要な農業生産地となっております。感染症予防対策を行いながらイベントや視察を実施し干拓地をPRできる取組みを考えていきます。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	A

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【人・農地プランにおける中心的経営体数（法人）】 ・個人経営を行う経営規模の大きな農業者に対して法人化を推進する。 【耕作面積率】 ・規模拡大を希望する農業法人等への貸付を促進し，遊休農地の解消を図る。 【共同堆肥舎の牛糞堆肥搬出量】 共同堆肥舎を管理している関係団体と協議を図るとともに，堆肥利用業者に利用を推進する。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・臭気対策はいろいろ試みておられますが，効果はどの程度出ているでしょうか。また，市外でも臭気が感じられているようですが，近隣市町との連携はなされているでしょうか。 ・担当部署の自己評価で，1-2の農業振興がB，この1-6の干拓地農業の活性化がA評価となっています。内容的にはほぼ同じで，部署も中心が農政水産課となっていますが，どうして差が出てきているのでしょうか。頑張っていると思います。 ・干拓地農業，道の駅来客数などコロナ禍でもほとんどの項目でほぼ改善をされていたのでA評価にしましたが，話し合いの結果，臭気問題と寺間遊水池のCODの指摘がありBになりました。民間事業者ではありますがバイオマスやスマート農業の見学受入れなど可能でしたら，教育機関と連携をされてはいかがでしょうか。牛糞の臭気対策・寺間遊水池のCOD水質保全対策については，より細かな対策をもって目標値に向けて改善していただきたくよう願います。 ・干拓地内での農業には，動きがみられ，活性しているように感じます。ただ，将来的に持続可能な家族構成ではない方もいらっしゃるようで，今後の農業経営の研究が大切だと思う。 ・活気あるまちづくりにご尽力いただきありがとうございます。難しい言葉の補足を付け足してくださりありがとうございます。指標は順調に進まれていますが，ずっと横這いなので未達成の対応策として挙げられていた法人化を個人の負担がかからない程度にコミュニケーションを図りながら勧めていただけたらと思います。市民としては駅周辺でお買い物をして干拓の牛舎のにおいでむせるのは悲しいと思いました。必ずしも市民がアプリで教えてくれる訳ではないので引き続き臭気問題も積極的にお願いいたします。また水質についても農薬や除草剤など気になります。環境負荷とともに市民が安心して暮らせるように汚染に関しても引き続きご尽力お願いいたします。 ・干拓地農業は，収穫量の面でもDXを活用した先進性の面でも，笠岡市だけではなく，岡山県でも有数の農業地域になりました。あとは，牛ふんを起因とする臭気の対策だけだと思います。バイオガス発電に牛ふんを使用することによる臭気の軽減を期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	2－1	施策名	魅力的で快適に暮らせる都市形成	主担当課	都市計画課
戦略の柱	活性化戦略 “賑わう”				
基本方針	市民の豊かで快適な暮らしを守り，子育て世帯の居住を誘導するため，「住みやすい」「楽しめる」「発進力ある」まちづくりを目指して，中心市街地では都市機能の確保と居住誘導の推進により本市の魅力を活かした「都市機能の拠点」及び「歩いて暮らせるまち」を形成し，地域においては恵まれた自然環境や田園風景と調和させながら地域特性にあった土地利用の活性化に取り組みます。			関係課	全庁

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
人口集中地区の人口比率（国勢調査基準に準ずる）	単位	目標		36.0	36.5	37.0	38.0
	%	実績	34.3	34.5	34.9	—	—
		達成率		95.8%	95.6%	—	—
「公共交通の利便性の向上」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	△ 33.0	—	△27.0(R6)
	%	実績	△ 40.1	—	△ 40.1	—	—
		達成率		—	82.3%	—	—
「魅力的で快適に暮らせる都市形成」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	△ 28.0	—	△24.5(R6)
	%	実績	△ 31.5	—	△ 37.0	—	—
		達成率		—	75.7%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	地域の特性を活かした個性あるまちづくり（※①③）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
「公共交通の利便性の向上」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	△ 33.0	—	△27.0(R)
	%	実績	△ 40.1	—	△ 40.1	—	—
		達成率		—	82.3%	—	—
地域公共交通の利用者数	単位	目標		1,734	1,734	1,736	1,740
	千人／年	実績	1,730	1,482	1,531	—	—
		達成率		85.5%	88.3%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	303,212	千円	360,469	千円	262,217	千円	346,384	千円
うち一般財源	255,122	千円	303,341	千円	210,352	千円	255,627	千円

1 土地利用の規制業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市内の土地所有者又は土地利用者	土地の利用方法を規制することで，健全で均等のとれたまちづくりの誘導を図る。	・良好なまちづくりを推進するため，土地利用についての規制を適切に行う。 ・がけくずれ等のおそれが著しい市街地等の区域内において，宅地造成に伴う災害防止のために必要な規制を行う。 ・公共事業の用地を確保するため，また，土地を総合的・計画的に利用するために，一定面積以上の土地取引を監視する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●開発行為などの許可 ・土地造成及び建築行為の規制 ・危険度が高い地区の宅地造成の規制 ・一定面積以上の土地利用の監視	⇒ 開発行為許可申請 3件 開発行為等事前協議 58件	⇒ 開発行為許可申請 2件 開発行為等事前協議 54件 ●大規模盛土造成地変動予測調査	⇒ 開発行為許可申請 5件 開発行為等事前協議 46件 ●大規模盛土造成地変動予測調査

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	211	千円	決算額	222	千円	決算額	2,964	千円	決算額	3,984	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	1,331	千円	うち一般財源	1,503	千円

2 建築物等の設置規制に関する業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市内に建築行為を行う物および建築物を所有する者	・市民の生命・財産を保護し，公共の福祉の増進を図る。 ・災害時における被害を未然に防ぎ，被害拡大の防止を図る。	・建築確認申請の受理，許可 ・建設リサイクルに関する受理 ・岡山県福祉のまちづくり条例に関する物件の受理 ・建築物耐震診断事業に関する補助 ・木造住宅耐震改修事業に関する補助 ・住宅リフォーム助成 ・空き家等除却事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●建築確認及び指導 ●建築物の耐震診断，耐震改修事業 ●建築物の耐震診断，耐震改修に関する普及啓発事業 ●住宅リフォーム助成 218件 ●空き家等除去事業 ●アスベスト改修事業	⇒確認申請受付 市11件・民143件 ⇒耐震診断助成 6件・耐震改修助成 1件 ⇒ ⇒住宅リフォーム助成 191件 ⇒空き家等除却助成 10件 ⇒アスベスト改修助成 1件	⇒確認申請受付 市14件・民165件 ⇒耐震診断助成 9件・耐震改修助成 2件 ⇒ ⇒住宅リフォーム助成 181件 ⇒空き家等除却助成 4件	⇒確認申請受付 市 10件・民 121件 ⇒耐震診断助成 8件 耐震改修助成 1件 ⇒ ⇒住宅リフォーム助成 102件 ⇒特定空家等除却助成 3件

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	40,022	千円	決算額	42,484	千円	決算額	30,314	千円	決算額	28,574	千円
	うち一般財源	34,631	千円	うち一般財源	32,755	千円	うち一般財源	7,138	千円	うち一般財源	9,712	千円

3 都市計画策定業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
都市計画区域内に在住の市民	・健全で均等のとれたまちづくりの誘導を図る。 ・効率的な道路網を形成し，便利で安全な道路の整備を促進する。	・都市計画法の主旨を遵守し，健全なまちづくりを誘導する。 ・地方分権時代に対応した，地域の特性に適合した健全なまちづくりを誘導する。 ・都市計画審議会の健全な運営に努力し，都市計画への反映に努める。 ・見直しを行った一部の都市計画道路について，今後の整備手法について検討する

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●用途区域の一部見直し及び地区計画の決定に向けた手続き ●JR笠岡駅鉄道利用者等動向調査及び交通結節点分析業務 ●笠岡市立地適正化計画居住誘導区域設定に関する支援業務	●都市計画マスタープラン一部見直し業務の実施 ●都市・地域総合交通戦略策定調査業務の実施	⇒見直し完了 ⇒	●都市・地域総合交通戦略策定調査業務の完了 ●駅周辺整備事業の実施

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	9,993	千円	決算額	14,763	千円	決算額	8,548	千円	決算額	18,190	千円
	うち一般財源	4,613	千円	うち一般財源	7,661	千円	うち一般財源	3,191	千円	うち一般財源	12,689	千円

4 公営住宅管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市営住宅居住者	建物や設備等の周辺環境を良好な状態にし，入居者のより良い居住環境を維持する。	・市営住宅の維持・管理・家賃の決定・家賃の徴収 ・入居者の異動管理 ・入居者の募集

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●笠岡市公営住宅等長寿命化計画事業 ・一番町団地C-2棟外部改修工事 ・本町ビルEV改修工事	⇒ ・長寿命化計画改定 ・一番町団地C-1棟外部改修工事	⇒ ・一番町団地A6・A7棟外部改修工事 ・小黒崎団地A1・A2棟外部改修工事	⇒ ・一番町団地A8・B11棟外部改修工事 ・小黒崎団地A3・B3棟外部改修工事 ・小平井団地外部改修工事 ・樋守団地68号バリアフリー工事 ・十一番町団地エレベーター改修工事

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	56,287	千円	決算額	57,326	千円	決算額	28,270	千円	決算額	48,884	千円
	うち一般財源	28,533	千円	うち一般財源	33,188	千円	うち一般財源	16,049	千円	うち一般財源	24,712	千円

5 景観の規制業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	健全で均整のとれたまちづくりの誘導を図る。	・景観法の主旨を遵守し，健全なまちづくりを誘導する。 ・地方分権時代に対応した，地域の特性に適合した健全なまちづくりを誘導する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●屋外広告物の許可 ・屋外広告物の規制・誘導 ・違反広告物のパトロール	⇒新規 42件・更新 272件・変更 9件 ⇒ ⇒	⇒新規 73件・更新 274件・変更 10件 ⇒	⇒新規 82件・更新 201件・変更 10件 ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	159	千円	決算額	105	千円	決算額	97	千円	決算額	84	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

6	公園管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
公園・緑地利用者	公園・緑地利用者の施設利用に関する利便性や満足度の向上を図る。	・公園・緑地施設の充実や適切な維持管理に努め，安心で快適な施設利用を推進する。 ・関係法手続の高度化処理により，利用者の利便性向上を図る。 ・関係情報の開示などにより，利用者の満足度の向上を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●小規模公園整備 ●公園の指定管理者 ●公園の里親制度 ●公園施設の改修及び機能の充実 ●公園施設の老朽化に伴う安全対策 ●緑と水の回廊づくり ●緑化の推進	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ●笠岡市公園施設長寿命化計画策定	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒●笠岡市公園施設長寿命化対策事業	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	182,272	千円	決算額	232,234	千円	決算額	177,778	千円	決算額	232,419	千円
	うち一般財源	173,077	千円	うち一般財源	216,402	千円	うち一般財源	168,397	千円	うち一般財源	192,762	千円

7	街路樹管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
道路利用者と周辺に居住する市民	道路利用者及び周辺住民の利便性や満足度の向上を図る。	・街路樹の適切な維持管理に努め，安心で快適なみどりのあるまちを推進するとともに，道路周辺の生活環境の向上を図る。 ・街路樹に関する苦情，要望に迅速に対応し，利用者のニーズを満たすことで満足度の向上を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・街路樹の適切な維持管理	⇒	⇒	⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	14,268	千円	決算額	13,335	千円	決算額	14,246	千円	決算額	14,249	千円
	うち一般財源	14,268	千円	うち一般財源	13,335	千円	うち一般財源	14,246	千円	うち一般財源	14,249	千円

【達成目標2】	産業振興に向けた調和ある土地利用(※②)

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
笠岡港工業用地以外での新規操業開始企業数	単位	目標		2	1	1	1
	企業／年	実績	1	1	0	—	—
		達成率		50.0%	0.0%	—	—
事業用地造成促進奨励金支給件数	単位	目標		1	1	1	1
	件	実績	0	0	0	—	—
		達成率		0	0.0%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	75,390	千円	3,980	千円	17,620	千円	980	千円
うち一般財源	75,390	千円	3,980	千円	17,620	千円	980	千円

8	新設土地造成促進奨励事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
開発面積1，000㎡以上の住宅用地又は3,000㎡以上事業用地を開発する者	民間の資本による開発を奨励し，公共用施設の整備推進を図る。	市内の土地の開発許可を受けて，公共用施設として建設した道路，公園，緑地，配水施設，排水施設及び下水道施設を市に寄付した者に対して奨励金を交付する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●民間活力を活用した住宅団地・工業団地の造成 新設土地造成奨励金のPR ＜奨励金交付件数＞ 住宅用地3件，工業用地1件 ●優遇制度のPR 笠岡市のホームページに掲載によるPR活動			⇒ ＜奨励金交付件数＞ 住宅用地1件，工業用地0件 ⇒			⇒ ＜奨励金交付件数＞ 住宅用地2件，工業用地0件 ⇒			⇒ ＜奨励金交付件数＞ 住宅用地1件，工業用地0件 ⇒		
直接事業費	決算額	75，390	千円	決算額	3，980	千円	決算額	17，620	千円	決算額	980	千円
	うち一般財源	75，390	千円	うち一般財源	3，980	千円	うち一般財源	17，620	千円	うち一般財源	980	千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	378，602	千円	364，449	千円	279，837	千円	347，364	千円
うち一般財源	330，512	千円	307，321	千円	227，972	千円	256，607	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
都市計画マスタープランの策定，実行により，来年度以降もよくなると考えます。	→	本市におけるまちづくりの方向性や施策，社会経済情勢の変化等に対応した都市計画マスタープランの見直し，一般国道2号笠岡バイパス，山陽自動車道篠坂PAスマートIC（仮称）の事業完了を見据えた産業振興等地域の活性化を促進するための土地利用の検討，立地適正化計画における誘導区域への居住・都市機能施設の誘導などの方針位置付けました。この方針に従い，各種事業を実施し，魅力的で快適に暮らせる都市形成を実現します。
駅周辺の市街活性化について，いろんな意見・考えがなされていますが，目に見える進展がありません。令和9年度に向けての推進マニュアルなど作成されていますか。	→	個別・具体のマニュアルは作成していませんが，令和9年度を目標として，軸となる事業（駅周辺整備の基本設計，実施設計等）に係る年次計画，社会資本整備総合交付金，補助金等を活用するに当たっての各種計画を策定している段階です。引き続き，南改札口や橋上化を見据えた南北自由通路等の整備や国道2号をまたぎ笠岡港や西ノ浜までが一体的となるペデストリアンデッキ等の整備による駅南北の一体化，回遊性を向上することができるよう着実に進めていきます。
予定される駅周辺の整備は，駅南北地区の一体化や回遊性の向上といったメリットは理解できるのですが，にぎわいの創出となる起爆剤のようなものを考えられているのでしょうか。地域の活性化に繋がるイメージが具体的に伝わるとありがたいです。誰もが快適に暮らせる都市形成をお願いします。 公共交通の利便性の向上については，一人も乗っていないバスをよく目にします。利用状況を検証し，無駄なく，ニーズにあった持続可能なシステムをお願いします。	→	一般国道2号笠岡バイパスの整備により通過交通が減少し，笠岡駅周辺における慢性的な交通渋滞が解消することが見込まれます。この機会を捉え，本市の社会・経済を牽引してきた市の中心部である駅周辺に人が集う場をつくり，回遊性・滞在性を高めることにより，にぎわいを創出し，このにぎわいが市全体に波及することが期待され，にぎわいのある活気あふれる都市を構築できると考えています。 公共交通の利便性向上について，路線バスを含め各交通モードの乗降情報などの需要を把握し，利用者のニーズあった効率的な運行を図ってまいります。

地域公共交通に関して切実な思いで運営してくださっており，様々な対策や魅力もある。そこを取り上げ広報に力を入れていただきたい。笠岡の魅力を伝えるにはかかせない所だと思う。都市計画も順調で素晴らしいが，市民への理解が進むように，これからもしっかりと努めていただきたい。	→	新型コロナウィルス感染症拡大により，各交通事業者は厳しい経営状況となっている中で，今後，市と各交通事業者等においてそれぞれの経営改善の取り組みや利用促進策を発信し，利用者増へ繋げてまいります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	笠岡市立地適正化計画に基づく各施策に一層取り組むことで中心市街地の魅力を高め，居住の誘導を図るとともに，JR笠岡駅周辺整備基本構想に基づく笠岡駅整備事業等の各種事業を着実に進めることにより，駅周辺地域における低未利用地の有効活用等によるにぎわいの創出，地域資源等を活用した地域の活性化，適切な土地利用等を図り，市民満足度の向上につなげる。 また，笠岡港工業用地以外での新規操業開始企業数及び事業用地造成促進奨励金支給件数の未達成指標については，日々工事の進捗を感じる，令和7年度末に建設予定の(仮称)篠坂PAスマートICや国道2号笠岡バイパスといった交通インフラの充実を訴えながら企業誘致や事業用地の造成促進に努めてまいりたい。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	・駅周辺整備は市民にとって身近で関心が高いと思うので，進捗状況を分かりやすく発信していただきたいです。 ・いろいろな事業(国道2号笠岡バイパス，篠坂PAスマートIC等)が順調に進んでいるように思います。今後は笠岡駅の整備の実施に是非とも取り掛かっていただきたいと思います。 ・市民意識調査の満足度が更に下がりました。原因分析などされていたら教えてください。また居住の誘導に関してはどのくらい進んだかの評価が難しいので，住宅リフォーム助成金制度利用の際の「居住誘導区域内の場合」の数値などもあればよいかと思いますがいかがでしょうか。公営住宅管理については老朽化が進み修繕が大変かと思いますが，今後もニーズは増えてくるのでしょうか。入居者の高齢者世帯の割合が増加し孤独死など心配です。社会情勢の変化に伴う市営住宅全体の再編，規模の最適化について今後の方向性をお示しください。 ・笠岡市内の開発申請の動きもあるようです。行政としてしっかり指導して，開発事業が途中止めにならない事を望みます。また，バイパス，篠坂インター周辺の研究継続もよろしくお願いします。 ・活性化戦略”賑わう”にご尽力いただきありがとうございます。住みやすい・楽しめる・発信力のもとになる公園整備をありがとうございます。ぜひ整備された公園からの住みやすさの発信が子育て世代の居住に繋がることを願っています。また，交通の利便性に関して抜本的な考え方も必要な時期に来ているように思います。駅周辺とともに市街地となる居住区の方々が孤立しない都市形成に今後も期待しています。 ・各種計画の策定等，水面下では進んでいますが，進捗状況が市民にとっては見えにくいと思います。何か工夫をしていただければ助かります。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	2－2	施策名	定住・住宅対策	主担当課	定住促進センター
戦略の柱	活性化戦略 “賑わう”				
基本方針	市民と協働しながら，市政のあらゆる分野で定住促進事業を展開することによって，市民一人一人が笠岡に住んでいて良かったと幸せを実感できるような，「住みたい 住み続けたいまち 笠岡」を目指します。			関係課	全庁

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
社会動態人口年間増減数	単位	目標		△ 160	△ 90	0	0
	人／年	実績	△ 205	△ 303	△ 122	—	—
		達成率		52.8%	73.8%	—	—
20～39歳の女性婚姻率	単位	目標		2.00	2.22	2.44	2.88
	‰	実績	1.91	1.60	1.97	—	—
		達成率		80.0%	88.7%	—	—
これからも笠岡市に住み続けたいと感じている市民の割合（市民意識調査）	単位	目標		—	60.0	—	60.0(R6)
	%	実績	58.9	—	58.2	—	—
		達成率		—	97.0%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	若者を中心とした地元定着・移住促進（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
地域おこし協力隊員数	単位	目標		17	19	21	21
	人	実績	15	17	23	—	—
		達成率		100.0%	121.1%	—	—
若者会議延べ参加者数	単位	目標		160	160	160	160
	人	実績	155	126	268	—	—
		達成率		78.8%	167.5%	—	—
市内高校生の通勤圏内就職率	単位	目標		82	83.0	83.0	84.0
	%	実績	82.4	71.3	77.7	—	—
		達成率		87%	94%	—	—

※笠岡商業高校と笠岡工業高校の就職希望者のうち井笠・倉敷：福山地域への就職率

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	22,467	千円	34,900	千円	40,231	千円	52,225	千円
うち一般財源	21,366	千円	32,414	千円	35,225	千円	50,292	千円

1 創 若者会議開催事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市内在住の若者	18歳から40歳くらいまでの人を対象に若者会議を開催し，若者が意見を出し合い，若者が住みやすいまちづくりを進め，地元定着を促進するとともに，笠岡の未来を担う人材を育成する。	若者会議を開催し，コーディネーターの指導の下，若者が考え，若者が企画し，若者が実行するプロジェクトの実現に向けた支援を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・若者会議開催事業 ＜登録者数：77人＞ ＜開催回数：11回＞ ＜出席者：延180人，16.4人/回＞ ＜プロジェクト数：4＞			⇒ ＜登録者数：78人＞ ＜開催回数：11回＞ ＜出席者：延155人，14.1人/回＞ ＜プロジェクト数：3＞			⇒ ＜登録者数：74人＞ ＜開催回数：11回＞ ＜出席者：延126人，11.5人/回＞ ＜プロジェクト数：3＞			⇒ ＜登録者数：74人＞ ＜開催回数：12回＞ ＜出席者：延268人，22.3人/回＞ ＜プロジェクト数：2＞		
直接事業費	決算額	2,343	千円	決算額	1,578	千円	決算額	1,694	千円	決算額	1,513	千円
	うち一般財源	2,343	千円	うち一般財源	1,578	千円	うち一般財源	1,694	千円	うち一般財源	1,513	千円

2 創 地域おこし協力隊事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市内各地域	都市部から隊員を受け入れ，地域協力活動に従事してもらうことで，新たな担い手として地域を活性化し，移住・定住を推進する。	「時代に合った特色ある地域をつくる。」，「笠岡への新しいひとの流れをつくる。」という創生総合戦略の目標達成に向け，地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこしの支援や，農林水産業への従事，住民の生活支援などの地域協力活動に興味を持っている都市部の若者を地域おこし協力隊に委嘱した。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・地域おこし協力隊事業 ＜R1年度活動　5人＞ 全域1，神外1，大島1， 白石1，飛島1 ＜R1年度採用　1名＞ ※R1.10.1付け委嘱 1人			⇒ ＜R2年度活動　6人＞ 全域1，神外1 飛島1，高島1，真鍋2 ＜R2年度採用　3名＞ ※R2.6.1付け委嘱 3人			⇒ ＜R3年度活動　8人＞ 全域1，神外1，大島1，白石1， 飛島1，高島1，真鍋2 ＜R3年度採用　2名＞ ※R3.5.1付け委嘱 1人 R4.3.1付け委嘱 1人			⇒ ＜R4年度活動　13人＞ 全域5，神外1，大島1，白石2，高島1，真鍋2，北木1 ＜R4年度採用　6名＞ ※R4.4.1付け委嘱 1人，R4.9.1付け委嘱 2人，R4.11.1付け委嘱 1人，R4.12.1付け委嘱 1人，R5.2.1付け委嘱 1人		
直接事業費	決算額	20,124	千円	決算額	33,322	千円	決算額	38,537	千円	決算額	50,712	千円
	うち一般財源	19,023	千円	うち一般財源	30,836	千円	うち一般財源	33,531	千円	うち一般財源	48,779	千円

【達成目標2】結婚応援・子育て支援（※②）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
多世代同居等支援事業	単位	目標		40	35	35	35
	件／年	実績	32	20	19	—	—
		達成率		50.0%	54.3%	—	—
新婚世帯家賃助成新規認定件数	単位	目標		25	25	25	25
	件／年	実績	21	14	14	—	—
		達成率		56.0%	56%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	4,724	千円	6,185	千円	5,072	千円	3,900	千円
うち一般財源	4,724	千円	6,185	千円	5,072	千円	3,900	千円

3 (創) 結婚応援事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
独身の男女	結婚成立を促進することにより，未婚・晩婚化対策を図る。中期的な視野として少子化・人口減対策を図る。	結婚相談所を設置し，まじめに結婚を考えている独身の男女を対象に，希望する相手を紹介する。 H27年度から市主催や社会福祉協議会主催でカップリングイベントを実施。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・結婚相談 ・カップリングイベント ・カジュアルパーティ 【結婚相談】 ＜登録者数:84人＞ ＜成婚数:1組＞ 【イベント】 ＜開催回数:3回＞ 内ｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ3回 ＜参加者数:53人＞ ＜カップリング数:9組＞	⇒ ⇒ ⇒ 【結婚相談】 ＜登録者数:88人＞ ＜成婚数:0組＞ 【イベント】 ＜開催回数:1回＞ 内ｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ1回 ＜参加者数:23人＞ ＜カップリング数:5組＞	⇒ ⇒ ⇒ 【結婚相談】 ＜登録者数:526人＞ ※令和3年12月から倉敷・高梁川流域マリッジサポートセンターと連携 ＜成婚数:0組＞ 【イベント】 ＜開催回数:1回＞ 内ｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ1回 ＜参加者数:22人＞ ＜カップリング数:4組＞	⇒ ⇒ ⇒ 【結婚相談】 ＜登録者数:415人＞ ※令和3年12月から倉敷・高梁川流域マリッジサポートセンターと連携 ＜成婚数:0組＞ 【イベント】 ＜開催回数:0回＞ ＜参加者数:0人＞ ＜カップリング数:0組＞ ※新型コロナ感染拡大の影響により開催中止
直接事業費	決算額 9 千円	決算額 3 千円	決算額 45 千円	決算額 0 千円
	うち一般財源 9 千円	うち一般財源 3 千円	うち一般財源 45 千円	うち一般財源 0 千円

4 (創) 井笠圏域結婚推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
独身の男女	結婚を考えている人に，出会いの場を提供したり婚活研修会を開催することにより，交際発展への一助となるようにしたい。	カップリングパーティーをはじめとした出会いの場の提供や婚活研修会等の結婚推進事業について，井笠圏域3市2町が共同で事業を実施する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・カップリングイベント ・広報強化事業 【カップリングイベント】 ＜開催回数:2回＞ ＜参加者数:72人＞ ＜カップリング数:14組＞	⇒ ⇒ 【カップリングイベント】 ＜開催回数:2回＞ ＜参加者数:47人＞ ＜カップリング数:10組＞ ＜成婚数:1組＞	⇒ ⇒ 【カップリングイベント】 ＜開催回数:1回＞ ＜参加者数:22人＞ ＜カップリング数:4組＞ ＜成婚数:0組＞	⇒ ⇒ 【カップリングイベント】 ＜開催回数:0回＞ ＜参加者数:0人＞ ＜カップリング数:0組＞ ＜成婚数:0組＞ ※新型コロナ感染拡大の影響により開催中止
直接事業費	決算額 120 千円	決算額 50 千円	決算額 28 千円	決算額 0 千円
	うち一般財源 120 千円	うち一般財源 50 千円	うち一般財源 28 千円	うち一般財源 0 千円

5 (創) 多世代同居等支援事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
新たに多世代同居等のために転居する人	親等と直系の子や孫が多世代で同居又は近隣に居住するための住宅の取得や転居等の費用に対して助成を行うことにより，多世代家族の形成と子育て支援を促進し，家族の絆の再生と定住促進を図る。	親等と直系の満50歳以下の子や孫が多世代で同居，又は1㎞以内に近居するための住宅の取得や転居等の費用に対して助成を行う。 H28年度から交付要件を，三世代から多世代(二世代も可)に緩和した。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・多世代同居等支援事業助成金交付事業 ＜助成金交付件数:25件＞ ＜異動人数:72人＞ ＜うち転入者数:53人＞73.6%	⇒ ＜助成金交付件数:33件＞ ＜異動人数:102人＞ ＜うち転入者数:79人＞77.5%	⇒ ＜助成金交付件数:20件＞ ＜異動人数:68人＞ ＜うち転入者数:48人＞70.6%	⇒ ＜助成金交付件数:19件＞ ＜異動人数:52人＞ ＜うち転入者数:48人＞92.3%
直接事業費	決算額 2,520 千円	決算額 2,879 千円	決算額 2,015 千円	決算額 1,800 千円
	うち一般財源 2,520 千円	うち一般財源 2,879 千円	うち一般財源 2,015 千円	うち一般財源 1,800 千円

6 創 新婚世帯家賃助成事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市内の賃貸住宅に入居する新婚世帯	若者世代の市外流出に歯止めを掛けるとともに，市内外の新婚世帯の本市への居住の契機とし，定住につなげることにより，定住人口の確保と世代間の人口構成のバランスを図り，まちのにぎわいと市内経済の活性化に資する。	実質家賃負担額3万円を超える部分について，月額1万円を上限に最長24カ月分，市内共通商品券により助成する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・新婚世帯家賃助成金交付事業 ＜助成金交付件数：33件＞ ＜うち新規認定：18件＞ ＜異動人数：32人＞ ＜うち転入者数：21人＞65.6%			⇒ ＜助成金交付件数：38件＞ ＜うち新規認定：16件＞ ＜異動人数：31人＞ ＜うち転入者数：15人＞46.9%			⇒ ＜助成金交付件数：39件＞ ＜うち新規認定：11件＞ ＜異動人数：22人＞ ＜うち転入者数：9人＞40.9%			⇒ ＜助成金交付件数：30件＞ ＜うち新規認定：10件＞ ＜異動人数：28人＞ ＜うち転入者数：16人＞57.1%		
直接事業費	決算額	2,075	千円	決算額	3,253	千円	決算額	2,984	千円	決算額	2,100	千円
	うち一般財源	2,075	千円	うち一般財源	3,253	千円	うち一般財源	2,984	千円	うち一般財源	2,100	千円

【達成目標3】多様な住宅供給と住宅取得支援（※③④）

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
住宅新築助成金交付件数	単位	目標		60	55	55	55
	件／年	実績	52	32	24	—	—
		達成率		53.3%	43.6%	—	—
空き家バンク物件契約件数	単位	目標		60	60	60	60
	件／年	実績	51	50	51	—	—
		達成率		83.3%	85.0%	—	—
定住化土地造成促進奨励金交付件数	単位	目標		3	3	3	3
	件／年	実績	1	2	1	—	—
		達成率		66.7%	33.3%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	115,204	千円	66,263	千円	39,471	千円	33,216	千円
うち一般財源	112,002	千円	62,888	千円	36,482	千円	22,564	千円

7 創 住宅新築助成金交付事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
40歳以下の住宅を新築した者	子育て世代の定住促進と人口増を図る。また，近隣自治体への転出防止を図る。	市内へ住宅を新築する40歳以下の人を対象に，最大100万円の住宅新築助成金を交付する。さらにH28.4以降の契約分から中学生以下の子ども一人につき10万円（最大30万円）加算する。終期をH33.5.31までに延長した。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・住宅新築助成金交付事業 ＜助成金交付件数：88件＞ ＜異動人数：316人＞ ＜うち転入者数：99人＞31.3% ＜加算した子の人数：134人＞			⇒ ＜助成金交付件数：52件＞ ＜異動人数：186人＞ ＜うち転入者数：90人＞48.4% ＜加算した子の人数：75人＞			⇒ ＜助成金交付件数：32件＞ ＜異動人数：102人＞ ＜うち転入者数：32人＞31.4% ＜加算した子の人数：39人＞			⇒ ＜助成金交付件数：24件＞ ＜異動人数：80人＞ ＜うち転入者数：68人＞77.3% ＜加算した子の人数：38人＞		
直接事業費	決算額	101,400	千円	決算額	53,800	千円	決算額	26,300	千円	決算額	20,600	千円
	うち一般財源	101,370	千円	うち一般財源	53,800	千円	うち一般財源	26,160	千円	うち一般財源	20,600	千円

8 (創) 定住促進に係る固定資産税相当額一部助成金交付事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民及び市外居住者	市内に住宅を取得する際に優遇措置(固定資産税の一部助成)を行うことによって他都市との差別化を図り，定住への機運を高め，社会動態人口の減少に歯止めをかける。	H26.1.1～H32.1.1に新たに固定資産税が賦課される新築住宅(住宅新築助成金交付対象者を除く)，中古住宅，分譲マンション等を取得した所有者・購入者に対して，固定資産税額の1／2に相当する額を3年間助成する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・固定資産税相当額一部助成事業 ＜助成金交付件数:161件＞ ＜うち新規認定:50件，161人＞ ＜うち転入者数:46人＞28.6%			⇒ ＜助成金交付件数:153件＞ ＜うち新規認定:54件，168人＞ ＜うち転入者数:18人＞10.7%			⇒ ＜助成金交付件数:104件＞ ※令和2年度課税までが対象。令和3年度以降は新規認定なし。			⇒ ＜助成金交付件数:54件＞ ※令和2年度課税までが対象。令和3年度以降は新規認定なし。		
直接事業費	決算額	5,993	千円	決算額	5,506	千円	決算額	3,583	千円	決算額	1,778	千円
	うち一般財源	5,993	千円	うち一般財源	5,506	千円	うち一般財源	3,583	千円	うち一般財源	1,778	千円

9 (創) 定住促進情報集約提供事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市内に住居及び就職先を探している人	移住・定住を希望する利用者の利便性が向上し，定着人口の増につながる。	専用HPにおいて，空き家・不動産・就職等の情報を一元化して発信してきたが，笠岡市HPリニューアルに伴い，専用HPを閉鎖し笠岡市HPの特設ページとして開設した。 また，移住希望者へ笠岡暮らしを体験できる施設(お試し住宅)を貸出する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・空き家有効利用対策事業 ・オール不動産情報集約提供事業 ・UIターン就職情報提供事業 ・お試し住宅事業 【空き家バンク】 ＜新規登録件数:72件＞ ＜契約件数:50件＞ ＜異動人数:105人＞ ＜うち転入者数:59人＞56.2% 【お試し住宅】 ＜利用件数:20件，90泊＞ ＜利用者数:32人＞ ＜うち転入者数:3世帯3人＞			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 【空き家バンク】 ＜新規登録件数:64件＞ ＜契約件数:51件＞ ＜異動人数:103人＞ ＜うち転入者数:48人＞46.6% 【お試し住宅】 ＜利用件数:34件，164泊＞ ＜利用者数:64人＞ ＜うち転入者数:3世帯8人＞			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 【空き家バンク】 ＜新規登録件数:71件＞ ＜契約件数:50件＞ ＜異動人数:77人＞ ＜うち転入者数:29人＞37.7% 【お試し住宅】 ＜利用件数:30件，303泊＞ ＜利用者数:60人＞ ＜うち転入者数:世帯2人＞			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 【空き家バンク】 ＜新規登録件数:45件＞ ＜契約件数:51件＞ ＜異動人数:117人＞ ＜うち転入者数:36人＞30.8% 【お試し住宅】 ＜利用件数:30件，502泊＞ ＜利用者数:54人＞ ＜うち転入者数:2世帯5人＞		
直接事業費	決算額	7,811	千円	決算額	6,957	千円	決算額	9,588	千円	決算額	10,838	千円
	うち一般財源	4,639	千円	うち一般財源	3,582	千円	うち一般財源	6,739	千円	うち一般財源	186	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	142,395	千円	107,348	千円	84,774	千円	89,341	千円
うち一般財源	138,092	千円	101,487	千円	76,779	千円	76,756	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
毎年C評価となり，今回も担当部署の自己評価がC評価になっています。人口減は全国で進んでいますので，なかなかB評価に上がるのは難しいと思いますが，頑張ってください。	→	ありがとうございます。今年度に入り，コロナの反動もあるかと思いますが，社会動態が今年度前半プラスで折り返しています。外国人の影響だけではなく，県外からの転入者が相当数あるので，状況を分析しながら手を打っていこうと考えております。
人口減は笠岡市だけの問題ではないが，多くの事業を工夫して行っている。少しでも笠岡市の良さを知って一人でも多く定住してもらえるように，引き続き尽力されたい	→	いろいろ手数を出していこうと考えています。まず，笠岡に興味を持っていただき，交流人口を増やすための取り組みを中心に取り組んでいきます。
高齢社会をむかえ，空き家がふえています。定住促進事業としての空き家バンク登録件数も増え，また，契約件数も順調にのびています。これからも，事業の継続よろしくお願いします	→	今年度も明や契約件数は順調に推移しており，前年度プラスの実績になりそうです。一方で，空き家の増加件数もそれ以上あると考えられており，今後も有効な対策を考えていかなければならない状況です。
市内高校生の通勤圏内就職率，20-39歳の女性婚姻率の減少は問題です。近隣の市に比べ人口の減少率が高いように思います。多くの施策を構成する事業をしてくださっていますが原因は何なのでしょう？ 地域おこし協力隊は地域を盛り上げてくださっている様子をもう少し細かに紹介してくださると更に地域も活性化し，市外の方の目にもとまるのではないでしょうか。若者会議は様々な年齢層の若者がバランスよく在籍されているということでしたので，若者が住みやすいまちづくりにお力を発揮していただきたいと思います。シティープロモーション事業により笠岡市のイメージアップに繋がっているとのこと喜ばしいことです。観光，定住に対する効果の検証を続けてお願いします。 空き家バンク，お試し住宅については定着してきて素晴らしいと思います。空き家バンクの転入者の割合が減っていますが，市民にも好評ということかと思います。	→	生産年齢人口前期の特に女性の転出が多いのが課題です。転出される際のアンケートを見ると，仕事を理由に転出されている割合が圧倒的に高いので，求人倍率は笠岡もそこそこありますが，仕事のマッチングがうまくいっていないと思われます。小さくても，若者の新規起業意欲も年々高まっているようなので，こうした事業を呼び込むことができれば，可能性は広がりそうです。 協力隊の活動については，女性隊員の割合が増えており，SNS等への情報発信が徐々に増えている状況です。特に若者にリーチするようなものを活用して，情報発信を促したいと思います。
コロナ禍においてもVRやオンラインを活用し，定住に努められていて素晴らしいと思った。イメージ等も良くなり，県外へシティープロモーションを発信されており今後も定住促進につなげていただきたい。人口減少に対する関係人口の増加，「かさおかファン」をつくるための対策を今後も期待します。	→	ありがとうございます。シティープロモーション事業による効果が出てきており，狙った層の笠岡ファンが増えていると考えられます。外部の人材の知識や経験をうまく生かしながら，特徴的な事業を進めており，メディアに取り上げられる頻度も増えています。持続的に取り組んでいこうと考えています。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	第7次総合計画後期基本計画に併せて，指標の見直しを行いながら現実的な目標数値を指標として定め，また新たな視点からの指標の設定も行います。 特に，生産年齢前期層の転出抑制，転入促進を進めるために，全庁的に連携を進めていきたいと考えています。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	C

コメント	・ここ数年は定住・住宅支援よりも，地域おこし協力隊などの事業の方が目立っているように感じます。転出抑制，転入促進に資する新たな取組が求められます。 ・社会動態人口年間増減数等の多くの指標が良くなっている（一部はまだですが）と感じます。一昨年の評価はCだったのですが，良くなってきているのではないかと思います。人口減は笠岡市だけでなく全国的な現象ですが，いろいろな対策をお願いします。 ・社会動態，20-39歳の女性婚姻率，市内高校生の通勤圏内就職率など改善し喜ばしい。多世代同居等支援事業，新婚世帯家賃助成，住宅新築助成金交付事業については目標達成には届かないが転入者の率が上がってきています。空き家バンク，お試し住宅については市民にも定着してきて空き家対策としても成果があると思いますが，空き家バンクは転入者率が下がりつつあるので，転入者の選択の幅を狭めていないのか気になりました。結婚応援事業についてはコロナも収束しつつあるので積極的に頑張ってください。 ・コロナ禍で事業実施できなかったカップリングイベントを是非，今後実施していただき，笠岡の定住促進を図っていただきたい。 ・活性化戦略”賑わう”にご尽力いただきありがとうございます。総合指標の実績も上がり，今後もたくさんの事業を進めることも大変と思いますが，市民が笠岡に住んでいてよかったと思える，住み続けたいまちにご尽力ください。 ・社会動態の改善は，日本全体の課題でもあり，各自治体が知恵をしぼっている中，速効性がある施策は行いにくいと思います。しかし，JFEエンジニアリングの工場設置は，雇用が生まれ，定住促進につながる大きなチャンスであると思いますので，対策をお願いしたい。

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	2－3	施策名	道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備	主担当課	建設管理課 建設事業課
戦略の柱	活性化戦略　“賑わう”				
基本方針	☆利用者が円滑に移動できる効率的な道路網を形成するとともに，安心して利用できるように道路や橋梁の安全性を高めます。 ☆防波堤等の港湾・漁港施設を整備することによって，港を利用する船の出入や人の乗降を容易にし，乗客や漁船員の安全を確保するとともに，港の利便性を高めます。			関係課	都市計画課 農政水産課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
「道路の整備」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	△ 8.0	—	△6.0(R6)
	%	実績	△ 10.4	—	△ 8.8	—	—
		達成率		—	90.9%	—	—
「港湾・漁港の整備」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	2.5	—	3.5(R6)
	%	実績	1.8	—	2.5	—	—
		達成率		—	100.0%	—	—
修繕橋梁数（累計）	単位	目標		64	79	93	105
	橋	実績	50	64	71	—	—
		達成率		100.0%	89.9%	—	—
港湾施設長寿命化実施率	単位	目標			76	83	97
	%	実績	52	69	79	—	—
		達成率			103.9%	—	—
漁港施設長寿命化実施率	単位	目標			64	73	100
	%	実績	48	59	64	—	—
		達成率			100.0%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	道路の整備と維持管理（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
「道路の整備」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	△ 8.0	—	△6.0(R6)
	%	実績	△ 10.4	—	△ 8.8	—	—
		達成率		—	90.9%	—	—
修繕橋梁数（累計）	単位	目標		64	79	93	105
	橋	実績	50	64	71	—	—
		達成率		100.0%	89.9%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	1,045,458	千円	961,679	千円	1,248,554	千円	1,282,363	千円
うち一般財源	459,207	千円	372,423	千円	445,834	千円	440,430	千円

1 バイパス等整備促進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民及び国道2号利用者	国道2号の渋滞の解消，利便性の向上，地域発展のためにバイパスの早期完成を目指す。	・国道2号玉島笠岡間整備促進協議会事務局事務

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●国道2号玉島笠岡間整備促進協議会要望活動等			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	294	千円	決算額	111	千円	決算額	55	千円	決算額	55	千円
	うち一般財源	294	千円	うち一般財源	111	千円	うち一般財源	55	千円	うち一般財源	55	千円

2 道路新設改良事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
道路を利用する利用者と付近に在住の市民	道路を整備することにより，道路の利便性及び安全性・経済性の向上と付近に在住する市民の生活環境の改善を図る。	計画の策定，要望書の受理，測量・調査・設計業務の発注，地元説明会の開催，用地の取得，物件の補償，工事の発注，工事の監督監理，検査確認

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●道路整備事業 要望受理・現地調査・道路改良工事着手			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	415,440	千円	決算額	381,031	千円	決算額	635,068	千円	決算額	675,727	千円
	うち一般財源	39,843	千円	うち一般財源	61,505	千円	うち一般財源	38,431	千円	うち一般財源	37,395	千円

3 橋梁新設改良事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
橋梁を利用する利用者と付近に在住の市民	橋梁を整備することにより，橋梁の利便性及び安全性・経済性の向上と付近に在住する市民の生活環境の改善を図る。	計画の策定，要望書の受理，測量・調査・設計業務の発注，地元説明会の開催，用地の取得，物件の補償，工事の発注，工事の監督監理，検査確認

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●橋梁整備事業 ・要望受理・現地調査，橋梁改築工事着手 ●橋梁長寿命化事業 ・定期点検 ・補修(補強)設計 ・補修(補強)工事			⇒ ⇒			⇒ ⇒			⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	220,749	千円	決算額	214,806	千円	決算額	153,041	千円	決算額	154,818	千円
	うち一般財源	12,318	千円	うち一般財源	11,670	千円	うち一般財源	6,646	千円	うち一般財源	9,166	千円

4	土木施設維持管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
土木施設利用者	土木施設利用者が安全・安心して利用できるようにする。	・生活道路の維持修繕管理（市道認定，廃止，変更など）事業 ・橋梁の維持修繕，管理事業 ・河川・排水路の維持修繕，管理事業 ・交通安全施設修繕，整備事業 ・土木施設（単独）災害復旧事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・アダプト団体の募集 ●夏目水門ﾎﾟﾝﾌﾟ場更新工事 ●真鍋島水門ﾎﾟﾝﾌﾟ場発電機設置工事 ●美の浜1号排水ﾎﾟﾝﾌﾟ場更新工事	⇒	⇒ 河川緊急浚渫	⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	408，975	千円	決算額	365，731	千円	決算額	460，390	千円	決算額	451，763	千円
	うち一般財源	406，752	千円	うち一般財源	299，137	千円	うち一般財源	400，702	千円	うち一般財源	393，814	千円

【達成目標2】港湾・漁港の整備と維持管理（※③④⑤）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
港湾施設長寿命化実施率	単位	目標		69	76	83	97
	%	実績	52	69	79	—	—
		達成率		100.0%	103.9%	—	—
漁港施設長寿命化実施率	単位	目標		55	64	73	100
	%	実績	48	59	64	—	—
		達成率		107.3%	100.0%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	145，214	千円	284，243	千円	274，004	千円	260，715	千円
うち一般財源	28，785	千円	22，860	千円	35，813	千円	57，652	千円

5	(創) 漁港施設新設改良事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
漁業従事者及び漁港利用関係者	漁業活動における利便性の向上と労力の省力化を図る。	漁港施設の改良工事に伴う工事，調査，設計，積算，監督，検査を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	★●高島漁港改修事業 ・防波堤設計 ・防波堤工事 ・横江漁港改修事業 ・浮桟橋設計	⇒ ・防波堤設計 ・防波堤工事 ・横江漁港改修事業 ・浮桟橋製作設置	⇒ ・防波堤工事	⇒ ・防波堤工事

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	95，084	千円	決算額	247，139	千円	決算額	196，484	千円	決算額	166，611	千円
	うち一般財源	9，272	千円	うち一般財源	11，463	千円	うち一般財源	11，688	千円	うち一般財源	5，167	千円

6 港湾施設新設改良事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
港湾利用者及び付近に在住の市民	港湾施設の整備により船舶の安全な係留，運航を確保するとともに，地域住民の安全と財産を守る。	外郭施設(防波堤，護岸等)，係留施設(物揚げ場，浮桟橋等)，水域施設(航路，泊地)の新設改良を施工するための設計・積算・工事監督を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容												
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

7 漁港・港湾施設修繕事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
漁協組合員及び地区住民，海岸背後地に在住の市民	漁業活動の軽労化と利便性の向上を図るとともに，船舶の安全な運行と係留を確保する。	各漁港と港湾施設の機能保全と機能回復を図るため工事，計画，設計，積算，工事監督

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	○漁港6港，修繕工事 ・設計積算及び工事監督 ○港湾6港，修繕工事 ・設計積算及び工事監督 ●水産基盤ストックマネジメント事業 ・物揚場修繕 ・浮桟橋修繕(塗装) ・防波堤，係船岸修繕			⇒ ⇒ ⇒ ・物揚場修繕 ⇒ ・浮桟橋，物揚場修繕			⇒ ⇒ ⇒ ・物揚場修繕 ⇒ ・防波堤，護岸修繕			⇒ ⇒ ⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	46,283	千円	決算額	32,785	千円	決算額	73,384	千円	決算額	89,808	千円
	うち一般財源	17,183	千円	うち一般財源	8,505	千円	うち一般財源	21,455	千円	うち一般財源	49,636	千円

8 漁港・港湾施設維持管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
漁港・港湾施設利用者	漁港・港湾施設を適正に管理することにより，利用者が安全・安心して利用できるようにする。	・漁港施設，港湾施設，海岸保全施設の管理事業・台帳整理 ・漁港，港湾の港勢調査

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・港湾，漁港，海岸保全施設の維持管理 伏越フェリー乗り場トイレ水洗化			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	3,847	千円	決算額	4,319	千円	決算額	4,136	千円	決算額	4,296	千円
	うち一般財源	2,330	千円	うち一般財源	2,892	千円	うち一般財源	2,670	千円	うち一般財源	2,849	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
直接事業費	1,190,672	千円	1,245,922	千円	1,522,558	千円	1,543,078	千円
うち一般財源	487,992	千円	395,283	千円	481,647	千円	498,082	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
港湾・漁港の整備には，進展が見られます。これらの事業効果がどのように高まっているのかも検証していただきたい。また，スマートインターチェンジや国道バイパスの整備も令和7年度に完成となる予定であり，まじかに迫ってきました。それらから波及する効果を期待します。	→	港湾・漁港の整備により，港内の静穏度が向上し，荒天時においても船舶が安全に係留できるなど，安全性の向上や作業環境の改善ができています。また，今後も施設の長寿命化により延命化を図ることで，適切な維持管理に努めてまいります。
未達成指標がないということで全員一致でAとなりました。国道2号バイパスの完成，篠坂スマートインターチェンジという笠岡市にとって大きなプラス要素に期待がかかります。 周辺エリアを含めた産業振興，地域の活性化促進のための土地利用について進捗状況を教えてください。	→	都市計画マスタープランの一部を見直し，山陽自動車道笠岡インターチェンジ，篠坂パーキングエリアスマートインターチェンジ(仮称)，国道2号笠岡バイパスの笠岡東，笠岡西インターチェンジ(仮称)周辺の市内4か所について，住環境や農業環境との調和に配慮しつつ，どのように土地利用を行うのが効果的になるのかを検討する「土地利用検討エリア」を設定しました。令和4年度において，このエリアにおける将来の土地利用の在り方を検討しています。
今後も滞りなく事故等なく整備を行っていただきたい。長期に渡る整備は，市民の生活に負担もかかっていることを忘れず，すすめていただきたい。	→	御意見にございますように，道路整備，及び港湾・漁港整備につきましては，多大な費用が必要となり，また，整備期間は，長期に渡るものが多くなります。その間，市民の皆様に御不便・御協力をいただいておりますが，一旦事故が発生すると現場作業が止まり，さらに完成時期の延期が余儀なくされるところでございます。そのことを常に意識し，また，安全管理を徹底し，早期完成に努めてまいります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	修繕橋梁数の項目で，資機材の高騰等により計画どおり修繕の実施ができていない状況ですが，橋の健全度等を考慮し修繕を実施していくことで安全性を向上させていきます。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	A	（参考） 昨年度の評価結果	A
コメント	・指標の未達成理由が「資機材の高騰」だけであれば致し方ないと思いますが，他の理由はあったのでしょうか。 ・指標を見ても順調に推移しています。担当部署の評価はBとなっていますが，Aでも良いのではないかと思います。 ・評価はAとB半々でした。道路の整備，港湾・漁港の整備に対する市民の満足度も少し上がり，港湾施設長寿命化の実施率，漁港施設長寿命化も目標値を達成したことでA評価と判断されました。。唯一，未達成の修繕橋梁数も利用者の安全のため引き続きよろしくお願いいたします。笠岡市にとって大きくプラスに変わる機会です。市民にも笠岡がどのように魅力的に変わっていくのか引き続き教えていただきたいと思います。また市外にも大きく打ち出して稼ぐ笠岡に繋がることを期待します。 ・道路の整備や港湾の整備については，多くの市民が満足されているようです。今後は，早急に篠坂スマートインター及び周辺の社会環境の整備，また，笠岡バイパスに伴う西入口のスムーズな国道への連結に力を注いでいただきたい。 ・活性化戦略”賑わう”にご尽力いただきありがとうございます。バイパス工事もおおむね順調に進めてくださりありがとうございます。修繕橋梁数についてはコロナ禍の影響でしょうか。自然災害も起こりうる日本でライフラインの道路の分断にならないようこれからもご尽力願います。 ・（仮称）篠坂PAスマートICや国道2号バイパスの整備が進み，企業誘致や社会動態の改善にその効果が現れはじめています。引き続き期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	2－4	施策名	利用しやすい公共交通システムの構築	主担当課	企画政策課
戦略の柱	活性化戦略 “賑わう”				
基本方針	鉄道，路線バス，タクシー，旅客船，フェリー等の多様な交通モードを連携し，市民の利用ニーズはもちろん交流人口の増加に資するため，観光客等のニーズにも適した利用しやすい公共交通システムを構築します。			関係課	都市計画課 商工観光課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
地域公共交通の利用者数	単位	目標		1,734	1,734	1,736	1,740
	千人／年	実績	1,730	1,482	1,531	—	—
		達成率		85.5%	88.3%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】市民が利用しやすい公共交通システムの維持・構築（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
路線バス等の利用人数	単位	目標		440,000	440,000	440,000	440,000
	人／年	実績	367,000	385,870	363,863	—	—
		達成率		87.7%	82.7%	—	—
路線バス運行に係る市の負担額の水準維持	単位	目標		45,000	45,000	45,000	45,000
	千円	実績	52,576	23,862	48,988	—	—
		達成率		188.6%	91.9%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	63,822	千円	75,727	千円	54,219	千円	80,524	千円
うち一般財源	41,685	千円	53,996	千円	31,941	千円	52,052	千円

1　陸上交通事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
マイカーなどによる移動手段を持たない人など市民	バスや鉄道などの公共交通を必要としている人など市民の移動手段を確保する。	・路線バス，デマンド型乗合タクシー，過疎地有償運送の運行に要する経費への補助金を支出する。 ・井原鉄道の基盤設備の維持に要する経費への補助金を支出する。 ・公共交通に関する意識啓発，利用促進を図るとともに，必要に応じて運行ルート・ダイヤの見直しを行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	創 ●補助金交付 〇4月から新ダイヤでの運行 創 ●デマンド型乗合タクシーの運行　利用者数 1,516人 〇総合時刻表の配布 創 ●公共交通に関する意識啓発 創 ★〇交通空白地有償運送の維持 〇高齢者タクシー料金助成事業（制度拡充）利用者数　1,609人 利用件数　40,255人	⇒ 〇6月からダイヤ改正での運行 ⇒利用者数 1,560人 〇総合時刻表の配布 ⇒ ⇒ 〇高齢者タクシー料金助成事業（制度拡充）利用者数　2,162人 利用件数　41,205人	⇒ 〇10月からダイヤ改正での運行 ⇒利用者数 1,508人 〇総合時刻表の配布 ⇒ 〇運行形態に区域運行を追加 〇高齢者タクシー料金助成事業（制度拡充）利用者数　2,612人 利用件数　51,765人	⇒ ⇒利用者数 1,095人 〇総合時刻表の配布 ⇒ 〇区域運行の運行日に火・木・祝を追加 〇高齢者タクシー料金助成事業（制度拡充）利用者数　2,959人 利用件数　53,438人
直接事業費	決算額 63,822 千円	決算額 75,727 千円	決算額 54,219 千円	決算額 80,524 千円
	うち一般財源 41,685 千円	うち一般財源 53,996 千円	うち一般財源 31,941 千円	うち一般財源 52,052 千円

【達成目標2】	交流人口の増加等に向けた公共交通システムの構築（※③④）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
旅客船の利用人数	単位	目標		130,000	130,000	130,000	130,000
	人／年	実績	127,148	127,046	129,721	—	—
		達成率		97.7%	99.8%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	74,374	千円	92,890	千円	39,844	千円	48,892	千円
うち一般財源	22,910	千円	13,334	千円	34,120	千円	39,971	千円

2	離島航路事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
・旅客船を利用する人 ・旅客船で運搬される生活必需品	島しょ部と本土を結ぶ唯一の生活航路を維持し，島民の生活の安定と利用者の利便を確保する。	・国庫補助対象航路へ補助金を支出する。 ・運行事業者と連携して利用促進を図るとともに，必要に応じて運行ルート・ダイヤの見直しを行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	(創) ★●補助金交付	⇒	⇒	⇒
	(創) ★●離島航路の国庫補助化	⇒	⇒	⇒
	(創) ★●笠岡港（住吉港）の維持管理	⇒	⇒	⇒
	○白石島の待合所整備	⇒	○駐輪場施工	○舗装工事施工

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	74,374	千円	決算額	92,890	千円	決算額	39,844	千円	決算額	48,892	千円
	うち一般財源	22,910	千円	うち一般財源	13,334	千円	うち一般財源	34,120	千円	うち一般財源	39,971	千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	138,196	千円	168,617	千円	94,063	千円	129,416	千円
うち一般財源	64,595	千円	67,330	千円	66,061	千円	92,023	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
路線バス運行に係る負担額が令和3年度は少なかったのですが，来年度の負担がかなり多くなると聞きました。負担額は今後も増え続けるのかと考えると大変だと思います。	→	路線バス運行に係る市の負担額の水準維持を目標として，路線バスの運行方法の見直し等により，最適化していくことで，健全化を図ります。
人口減少が進む中でも車も持たない高齢者と若者が利用しやすく，住みやすいと感じられるようにさらなる工夫に期待する。	→	自ら移動手段を持たない高齢者や学生等が移動できるよう，路線バスについては利用者のニーズを捉え最適化し，高齢者タクシー料金助成事業や生活支援訪問サービス制度等を組み合わせながら，総合的に移動支援の確保に努めてまいります。
路線バスの達成目標に年間440,000人を数年継続して掲げています。令和1年には実績が456,772人。それ以後何故下がっていったのでしょうか。その検証はどうだったのでしょうか。	→	路線バスの利用者数の減少について，新型コロナウィルス感染拡大の影響による通勤・通学や外出自粛によることが大きな要素と考えております。今後，感染対策が進み，利用の回復が見込まれる中で，市民の利用ニーズはもちろん，移動人口の増加に資するための観光客等のニーズにも適した路線バスとなうよう公共交通システムを構築してまいります。
公共交通の利便性の向上については，利用者数が年々減少している理由を踏まえ，市民が必要とするサービスとなるよう変革して欲しい。バスを利用したくてもバス停まで距離がある高齢者は年々増加すると思います。不安の声などはないでしょうか？脆弱な立場にある人々，障害者及び高齢者のニーズへ特に配慮した，安全かつ安価で容易に利用できる，持続可能なシステム（国の推進するMaaS）のようなものができると夢のようですが。誰もが快適に暮らせる都市形成をお願いします。	→	バスを利用したくてもバス停まで移動が困難とのお声は高齢者等の方から届いております。そういった方に対し，高齢者タクシー料金助成事業や障害者交通費助成事業，生活支援訪問サービス制度等を組み合わせて総合的に，ご意見にもあります，持続可能で安全かつ安価な，利用しやすい移動支援を構築してまいります。
公共交通の利用者数が横ばいであるが，パンデミックは落ち着いてもウィズコロナである中，積極的なプロモーションを図り，市民のニーズに合った策を講じていただきたい。	→	新型コロナウィルス感染症が収束した後も，公共交通を利用いただくため，バスや船の分かりやすい時刻の周知や，乗りやすい車両や運賃の導入などの利用促進を図ってまいります。

＜6.令和4年度の振返り＞（担当部署自己評価）

施策の進捗度	A：施策を構成する事業が順調に進行している。 B：施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C：施策を構成する事業が一部遅れている。 D：施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	地域公共交通の利用者数については，新型コロナウィルス感染症拡大の影響,のよる,利用減少からの回復が見られる中で，新たな生活スタイルに合わせた，ダイヤ調整などで市民ニーズと合致させ，そのうえで利用促進を実施し，利用者数増を図ります。観光客のニーズを踏まえた市内の主要な観光施設等へのアクセシビリティを高める公共交通システムを構築し，観光客を中心に利用者数増を図ります。 路線バス等の利用人数については，新型コロナウィルス感染症拡大の影響により利用減少がありますが，利便性の向上を図り，市民も観光客も利用しやすい路線バスを検討・構築し，路線バス運行に係る市の負担額の水準維持については，国・県等補助を有効活用し，負担額の維持します。 旅客船の利用人数についても，新型コロナウィルス感染症拡大の影響により利用減少がありますが，島しょ部住民も観光客も利用しやすい運賃やダイヤ調整，待合環境について検討・構築します。また，陸上交通においては，予約したら自宅付近まで送迎してくれるドアツードアの乗合タクシーなどの需要も検討します。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・便利で経済的な公共交通システムの構築を期待しています。 ・地方公共交通の利用者数や路線バス等の利用人数が低迷しています。笠岡市だけでなく，路線バスの便数が減ったりと他の市でも同じようになって，厳しい状況です。改善するのはなかなか大変だとは思いますが，これ以上悪くならないようにしてください。 ・路線バス，デマンド型乗合タクシーの利用人数が減少し，高齢者タクシー料金助成事業は利用者が年々増えています。高齢者からは「バス停までは歩けないので公共バスは使えずタクシーを利用しているが補助があっても回数が嵩むと経済的負担が大きい・・・。」逆に，「車を持っていたら公共交通は滅多に使わないので路線バスは要らないのでは？」などいろいろな声を耳にします。今後を見据えた，誰もが快適に暮らせ，利用者も市の負担も軽く済むような継続可能な公共交通となることを願います。 ・旅客船については，島民の方々や最近の観光客の増加により，ほぼ目標値に達していますが，今，一番の課題は，バス交通についてと思われます。便利さを追求するならば，山間部の自由乗降などはどうでしょうか。難しくても乗降する場所を増やせば，もっと利用しやすくなるのではないでしょうか。 ・活性化戦略”賑わう”にご尽力いただきありがとうございます。重複しますが公共交通の抜本的な改革も必要になっているように思います。とはいえ今後も新たな生活スタイルと市民のニーズに合わせた利用促進も進めていただきながらご検討お願いします。 ・カラで走る路線バスの対応をお願いします。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	2－5	施策名	離島振興	主担当課	企画政策課
戦略の柱	活性化戦略 “賑わう”				
基本方針	住民，民間団体，行政との協働を通じて地域コミュニティの継続的な維持や公共サービスの提供，道路や港等の整備を図ることで，いつまでも安心して離島で住み続けることができる環境を実現します。また，島の魅力を発信し，観光客を増やします。			関係課	関係課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
離島の人口減少の割合（対前年比）	単位	目標		△ 5.0	△ 5.0	△ 5.0	△ 5.5
	%	実績	△ 4.5	△ 6.2	△ 3.7	—	—
		達成率		80.6%	135.1%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】計画的な離島振興の取組推進（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
「離島の振興」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	△ 5.0	—	△4.0(R6)
	%	実績	△ 5.2	—	△ 5.0	—	—
		達成率		—	100.0%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	1,513	千円	1,562	千円	1,493	千円	1,067	千円
うち一般財源	895	千円	840	千円	771	千円	783	千円

1　離島振興事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
島で暮らす人 島で暮らしたい人	永続的に島で暮らせるようにする。	・笠岡諸島振興計画の策定及び進行管理 ・離島振興を目的に組織された団体（全国離島振興協議会，岡山県離島振興協議会，財団法人日本離島センター）との連携 ・辺地総合計画の策定及び進行管理 ・離島振興に関する庁内調整

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	★●全国離島振興協議会（全離島） 情報収集及び，国への要望活動 ★●岡山県離島振興協議会 県内離島の状況把握や要望活動 ★●笠岡諸島振興計画 施策実施の庁内調整 ●辺地総合計画の活用 創 ○離島高校生修学支援補助金の交付 創 ○離島に暮らす小中学生の交通費助成の交付	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ 第3次計画の策定 ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	1,513	千円	1,562	千円	1,493	千円	1,067	千円
	うち一般財源	895	千円	840	千円	771	千円	783	千円

【達成目標2】必要な公共サービスの提供と航路の維持確保(※②)

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
健康長寿愛らんど事業への参加者	単位	目標		2,600	2,600	2,600	2,600
	人／年	実績	1,698	1,666	2,003	—	—
		達成率		64.1%	77.0%	—	—
旅客船の利用人数	単位	目標		130,000	130,000	130,000	130,000
	人／年	実績	127,148	127,406	129,721	—	—
		達成率		98.0%	99.8%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	104,666	千円	120,521	千円	63,499	千円	80,180	千円
うち一般財源	38,760	千円	29,912	千円	46,339	千円	60,771	千円

2 島しょ部介護・福祉推進事業

事務事業の目的 対象(誰を)	事務事業の目的 意図(どのようにしたいのか)	事務事業の内容
島しょ部の高齢者	できる限り在宅で安心して暮らせるようにする。	島しょ部における介護・福祉サービスの確保と事業所への支援を行う。 高齢者の健康維持と介護予防に取り組む。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●陸地部への通院の帰りの船で利用できる無料乗船券の支給	⇒	⇒	⇒
	●北木島高齢者共同生活住居の運営	⇒	⇒	⇒
	●緊急通報装置設置事業	⇒	⇒	⇒
	●陸地部から専門職等を確保するための交通費補助	⇒	⇒	⇒
	●島しょ部の介護サービス事業所への家賃及び改修費補助	⇒	⇒	⇒
	●専門職による総合相談及び運動器機能低下の予防・向上のための支援(健康長寿愛らんど事業)	⇒	⇒	⇒

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	30,292	千円	27,631	千円	28,470	千円	31,288	千円
	うち一般財源	15,850	千円	16,578	千円	16,742	千円	20,800	千円

3 離島航路事業(再掲)

事務事業の目的 対象(誰を)	事務事業の目的 意図(どのようにしたいのか)	事務事業の内容
・旅客船を利用する人 ・旅客船で運搬される生活必需品	島しょ部と本土を結ぶ唯一の生活航路を維持し，島民の生活の安定と利用者の利便を確保する。	・国庫補助対象航路へ補助金を支出する。 ・運行事業者と連携して利用促進を図るとともに，必要に応じて運行ルート・ダイヤの見直しを行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	(創) ★●補助金交付	⇒	⇒	⇒
	(創) ★●離島航路の国庫補助化	⇒	⇒	⇒
	(創) ★●笠岡港(住吉港)の維持管理	⇒	⇒	⇒
	(○)白石島の待合所整備	⇒	⇒	○舗装工事施工

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	74,374	千円	92,890	千円	35,029	千円	48,892	千円
	うち一般財源	22,910	千円	13,334	千円	29,597	千円	39,971	千円

【達成目標3】	協働による地域づくりの推進（※③）

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
北木島宿泊研修所「石切りの杜」利用者数	単位	目標		300	350	350	400
	人／年	実績	289	403	670	—	—
		達成率		134.3%	191.4%	—	—
交通空白地有償運送の利用者数	単位	目標		200	500	500	500
	人／年	実績	422	1,720	3,738	—	—
		達成率		860.0%	747.6%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	12,597	千円	12,174	千円	13,148	千円	13,806	千円
うち一般財源	5,308	千円	2,174	千円	2,143	千円	9,306	千円

4	海援隊事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
島しょ部住民	島しょ部に不足する公共的サービスの提供などの取組みを市民・民間団体と協働で行うことで，地域コミュニティの維持及び活性化を図る。	協働による公益的事業の企画及び運営，行政課題の広聴及び解決のための支援，地域の再生に寄与する取り組み。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●まちづくり協議会の機能活用 ●かさおか島づくり海社の側面及び後方支援 ●各島の地域担当職員と連携した事業推進 ●豊浦地区交流拠点施設の整備			⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	11,129	千円	決算額	10,950	千円	決算額	10,950	千円	決算額	10,950	千円
	うち一般財源	4,840	千円	うち一般財源	1,950	千円	うち一般財源	1,945	千円	うち一般財源	7,450	千円

5	陸上交通事業（再掲）

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
マイカーなどによる移動手段を持たない人	バスや鉄道などの公共交通を必要としている人の移動手段を確保する。	・過疎地有償運送の運行に要する経費への補助金を支出する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	(創) ●交通空白地有償運送の維持			⇒			⇒			⇒ ○区域運行の運行日に火・木・祝を追加		
直接事業費	決算額	1,468	千円	決算額	1,224	千円	決算額	2,198	千円	決算額	2,856	千円
	うち一般財源	468	千円	うち一般財源	224	千円	うち一般財源	198	千円	うち一般財源	1,856	千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	118,776	千円	134,257	千円	78,140	千円	95,053	千円
うち一般財源	44,963	千円	32,926	千円	49,253	千円	70,860	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
昨年も書いたのですが，ユーチューブ等によるコンテストを開催してはいかがでしょうか。	→	市制70周年記念事業「かさおかYouTubeコンテスト」のテーマとして，笠岡諸島をお題にすることとしております。
島しょ部の人口減少は深刻であるが，減少スピードを緩やかにするため，交通空白地の運送事業など少しでも住みやすい環境の整備に努められたい。	→	令和4年10月から，北木島の公共交通空白地有償運送について，運行日の拡大を行い，毎日運行することとしました。また，各島の実情に合った，島内交通を検討していきます。
笠岡市には多くの島々が存在しています。それに対しての財政投入もかなりの高さがうかがえます。航路乗船客数の内どれほどの島外の人が利用しているだろうか。その数を増やすことが島の活性化につながると思います。	→	日本遺産認定された構成文化財を含め，各島の特徴を広くPRするとともに，一般社団法人笠岡市観光協会とも連携し，島への観光客を増やすことで，関係人口や交流人口を増やし，活性化につなげてまいります。
離島の人口減少の割合が目標値を割っています。自然減かと思いますが，島民の皆様が安心していつまでも住み続ける環境をお願いします。 こども議会でも上がっていましたが，離島に暮らす子供の交通費補助について教えて欲しい。通学以外での利用は補助はないのでしょうか。また島へ行ったことのない子どもが多くいます。年に1回無料券，割引券などあれば島の良さを体験する機会にならないでしょうか。 達成目標3 交通空白地有償運送の利用者数ですが，達成率860%とありますが，目標値の設定は見直す必要はありませんか？	→	離島にお住まいの小中学生が，習い事や部活の試合などで笠岡に行く場合に，船賃（普通船料金）の半額を補助する制度があります。また，旅客船協会の取組として，5月5日と7月20日は金風呂丸フェリーと笠岡フェリー（大福丸）については，小学生以下は無料で乗船できますので，そちらを利用して，白石島と北木島に行くことが出来ます。 目標値につきましては，運行形態を変更したため，利用人数が大幅に上昇しました。状況に応じて見直しも検討します。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	未達成指標:健康長寿愛らんど事業への参加者 対応策:島しょ部における高齢者の実態把握調査を進める中で，引き続き参加者の掘り起こしを行い，事業を推進して参ります。 未達成指標:旅客船の利用人数 対応策:旅客船の利用人数については，新型コロナウィルス感染症拡大の影響により利用減少がありますが，島しょ部住民も観光客も利用しやすい運賃やダイヤ調整を検討・構築し，利用者数増を図ります。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・交通空白地有償運送について，運行形態を見直して利用人数が大幅に増えたとあります。これは利用希望者が多いということだと思いますが，ニーズに合わせた更なる見直しを進める予定がありますか。 ・交通空白地有償運送の利用者数が大きく増加しています。指標もほぼ達成していると思います。今後も取組の充実をお願いします。 ・健康長寿愛らんど事業への参加者が惜しくも目標値には至りませんでしたが，昨年度より増えており成果が見られます。参加者メンバーの人間関係など不参加の理由が明らかな場合など，何らかの手立てをいただき，参加希望の全ての方が参加できるものになることを願います。島は特に横のつながりが大切だと思います。離島航路事業が昨年度よりもかなり増額です。また海援隊事業の一般財源が高額になっています。島民にも観光にも必要なことなのでしょうが，併せてご説明いただければと思います。 ・離島についての課題は一番に旅客船の使いやすさだと思います。旅客船の利用人数については，ほぼ目標達成しているので，今後は観光客の誘致が大切になってきます。島外からの乗船は，往復となり，かなりの収益が見込まれますので，何らかの補助制度ができないでしょうか。 ・活性化戦略”賑わう”にご尽力いただきありがとうございます。地域コミュニティの維持はとても重要だと思います。現在のされている方や今後後継者の育成も含め安心して離島で住み続けられるようにお願いいたします。また島の魅力を発信してくださってありがとうございます。達成目標3の交通空白地有償輸送についてです。ぜひ公共交通機関との連携されたPRをお願いしたいです。今後増えてくるであろうと考え，空白地でなくても市民としては継続して笠岡市に子中するための安心感に繋がるように思います。また三洋汽船が運航休止と聞きました。今のご時世現厳しいと思いますが，日本遺産やユネスコ文化遺産などの波の乗りたい所なので何かしらの早めの対応をご検討いただけたらと思います。 ・白石フェリーの運行休止など，離島振興には逆風が吹いていますが，島に住む皆さんが，安心して住み続けられるようにお願いします。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	2－6	施策名	市民参画・協働の推進	主担当課	協働のまちづくり課
戦略の柱	活性化戦略 “賑わう”				
基本方針	☆市民協働を更に進め，より笠岡らしい個性あるまちづくりを確立し，市民がいきいきと活躍する持続可能なまちを目指します。 ☆潜在的な住民自治力を引き出し，様々なセクターや市役所内の複数の部署が地域や社会的な課題に関わることができるようなコーディネート機能を確立します。			関係課	

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
まちづくり協議会の認知率（市民意識調査）	単位	目標		—	60.0	—	64.5(R6)
	%	実績	57.3	—	56.8	—	—
		達成率		—	94.7%	—	—
市民活動支援センター登録志縁型組織数	単位	目標		83	85	86	90
	団体	実績	80	81	80	—	—
		達成率		97.6%	94.1%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	地域コミュニティであるまちづくり協議会への支援（※①②③）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
まちづくり協議会の活動への参加率（市民意識調査）	単位	目標		—	26.0	—	26.5(R6)
	%	実績	24.2	—	25.2	—	—
		達成率		—	96.9%	—	—
地域のまちづくり計画を策定した協議会数	単位	目標		4	7	8	10
	地区	実績	3	5	5	—	—
		達成率		125.0%	71.4%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	44,448	千円	38,322	千円	36,736	千円	39,038	千円
うち一般財源	8,648	千円	16,022	千円	14,786	千円	44	千円

1	市民活動（地縁組織）との協働推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
笠岡市民	地縁組織であるまちづくり協議会と市役所との協働による市政の推進を図る。 志縁組織である市民活動団体や地域住民と市役所との協働による市政の推進を図る。	まちづくり協議会の運営及び活動の支援とともに，市民の認知率の向上のため周知啓発を，また地域担当職員の意識・能力向上のため連絡会や研修等を実施する。 市民活動の活性化を推進するため，地域住民や住民自治組織に対し，各種補助等を実施する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	創 ●まちづくり協議会との協働による地域づくり事業の実施 ●協議会の活動を事例発表するまちづくり活動報告会の開催 ●まちづくり講演会 【まちづくり協議会が活動交付金を使った活動数：４１活動】	⇒ ⇒ 【まちづくり協議会が活動交付金を使った活動数：４１活動】	⇒ ⇒ まちづくり協議会制度見直し検討委員会開催 地域計画策定マニュアル作成事業 【まちづくり協議会が活動交付金を使った活動数：５８活動】	⇒ ⇒ 【まちづくり協議会が活動交付金を使った活動数：６０活動】

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	44,448	千円	38,322	千円	36,736	千円	39,038	千円
	うち一般財源	8,648	千円	16,022	千円	14,786	千円	44	千円

【達成目標2】多様な市民活動の推進（※①②④）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
市民活動支援センター登録法人数	団体	目標		19	21	21	21
		実績	20	19	18	—	—
		達成率		100.0%	85.7%	—	—
志縁型団体協働のまちづくり事業補助金の交付件数	件／年	目標		5	5	5	5
		実績	5	4	5	—	—
		達成率		80.0%	100.0%	—	—
市民活動支援センター利用者数	人／年	目標		14,000	14,500	14,500	15,000
		実績	13,513	9,329	9,148	—	—
		達成率		66.6%	63.1%	—	—
市民活動支援センターが実施する研修会や講座への参加者数	人／年	目標		120	126	126	132
		実績	114	72	90	—	—
		達成率		60.0%	71.4%	—	—
市民活動総合保障保険の利用件数	件／年	目標		10	10	10	10
		実績	10	3	8	—	—
		達成率		30.0%	80.0%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	12,756	千円	11,885	千円	9,507	千円	14,108	千円
うち一般財源	10,456	千円	9,551	千円	7,266	千円	7,383	千円

2 市民活動(志縁組織)との協働推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
笠岡市民	志縁組織である市民活動団体や地域住民と市役所との協働による市政の推進を図る。	市民活動支援センターを拠点として，各市民活動団体の活動支援や市役所との連携等を推進する。 市民活動の活性化を推進するため，地域住民や住民自治組織に対し，各種補助等を実施する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	(創) ●志縁型団体と行政との協働事業の実施 ●市民活動支援センターについて広く市民に周知し，笠岡市の未来を考え，登録団体の活動紹介の場として「ゆびとまフェスティバル～まちづくりフォーラム2015～」の開催 【志縁型団体（市民提案型）協働事業数：７事業】	⇒ ⇒ 【志縁型団体（市民提案型）協働事業数：４事業】	⇒ ⇒ 【志縁型団体（市民提案型）協働事業数：４事業】	⇒ ⇒ 【志縁型団体（市民提案型）協働事業数：５事業】

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	12,756	千円	決算額	11,885	千円	決算額	9,507	千円	決算額	14,108	千円
	うち一般財源	10,456	千円	うち一般財源	9,551	千円	うち一般財源	7,266	千円	うち一般財源	7,383	千円

【達成目標3】市民と共に考え，力を合わせて取り組む市役所づくり(※⑤)

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
地域担当職員延べ経験者数	単位	目標		315	338	354	362
	人	実績	293	323	349	—	—
		達成率		102.5%	103.3%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	112	千円	30	千円	100	千円	73	千円
うち一般財源	112	千円	30	千円	100	千円	73	千円

3 協働推進のための職員研修

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市職員	積極的に市職員の地域まちづくり活動への参加・参画を促進する。	協働のまちづくりを推進するため，市職員研修等の機会を設け，地域におけるまちづくりの市や職員の役割などについて意識啓発を行う。また，地域の自立と住民の主体性を活かしながら，積極的に市職員の地域まちづくり活動への参加・参画を促進する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●地域担当職員制度 ●まちづくり講演会	⇒ ●まちづくり講演会 地域担当職員ファシリテーション能力向上	⇒ ⇒	⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	112	千円	決算額	30	千円	決算額	100	千円	決算額	73	千円
	うち一般財源	112	千円	うち一般財源	30	千円	うち一般財源	100	千円	うち一般財源	73	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	57,316	千円	50,237	千円	46,343	千円	53,219	千円
うち一般財源	19,216	千円	25,603	千円	22,152	千円	7,500	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
市民活動支援センター利用者数や研修課や講座への参加者数，市民活動総合保障保険の利用件数が令和元年から着実に減少しています。コロナ禍が原因だと思いますが，今後も続く可能性があると思いますので，頑張っていただきたいと思います。	→	新型コロナウイルスの影響により，センターの閉館を余儀なくされた時期もあり，来館者や講座利用者は大幅に減となっております。 コロナ禍の情勢の変化を捉えて，オンラインでの講座実施やデジタルツールの活用講座を実施するなど，昨今の社会のデジタル化に対応できる事業展開により新たな利用者を取り組めるよう努めます。
まちづくり協議会の活動交付金を使った活動が大幅に増えており，まちづくり協議会の認知率の向上にもつながるため，今後の取り組みに期待したい。	→	令和4年度より，これまでの交付金に比べて，より地域課題の解決に柔軟に対応できる交付金制度に変更し，地域の創意工夫により生まれる様々な活動に対応できることとしております。 引き続き，交付金制度の周知やまちづくり協議会の認知率向上に努めます。
まち協条例ができて10年経過しましたが，当初のまち協の役割はふれあいづくり・安全安心の町づくりをメインテーマに掲げ，公民館活動の生涯学習・ふれあいづくりの役割とはちがった行政指導をなされていました。10年後，まち協の見直しの会がありましたが，その内容がまだまだ市民に伝わりきっていないと感じます。まち協の将来像と果たす役割について市民目線での論議があればと考えます。	→	令和3年度にまちづくり協議会制度の見直しを行い，まちづくり協議会制度のもとになっている「笠岡市地縁組織との協働システム構築計画」を見直し，まちづくり協議会の位置づけをより明確にして，公民館等他団体との連携や市との協働を推進することとしております。地域の課題と目標を明確にし，より多くの市民に参加していただきながら，自主性と透明性のある住民自治と持続可能な地域づくりを進めてまいります。
コロナ禍ということもあり，まちづくり協議会の活動を控えている地域もあるようです。感染予防対策を行った上でできることなどアドバイスが必要かもしれません。今後地域の支えとなる中年層，若者，子どもも参加できるような仕組みができると地元に愛着がわき，持続可能な地域に繋がるのではないでしょうか。また市民活動支援センター利用者数も昨年度よりさらに減っています。オンラインでできることなどもあると思います。 市民活動総合保障保険の利用については活動が減ったので事故も減となったのでしょうが，地域での草刈りなどでも利用できるといった紹介を積極的にしていただけると，市民活動も安心したものになると考えます。 地域担当職員延経験者数が目標値を達成し感謝いたします。複数部署の違った目線でのコーディネートでアドバイスいただけると市役所と地域の団結感が高まり，より素敵な地域づくりができると期待します。	→	まちづくり協議会の活動においても，デジタルツールを活用した講座の開催などにより，回覧板の電子化を試みたり，定例会をZOOMで開催するなど，まちづくり活動のデジタル化を推進する地域もあり，コロナ禍の情勢の変化に対応しようとする地域には引き続き支援を行って参ります。 市民活動総合補償保険の利用については，今年度，草刈り中の事故に関する申請が増えていることもあり，広報9月号にて，草刈り機使用時の注意喚起と保険制度の紹介について掲載しました。また，今後も行政協力委員長会議等で，重ねて周知をしてまいります。
地域のまちづくり計画を策定した協議会数が伸びており，今後も地域に必要な取組を市民と共につくって下さる体制が進むことを期待しています。	→	引き続き，市民活動支援センターと連携し，地域の特性を活かして課題解決や魅力向上に向けた活動に取り組めるような，地域の指針となる「まちづくり計画」の策定支援を行って参ります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	まちづくり計画については，アンケートの作成から計画策定までに概ね2年かかり，令和4年度にアンケートを実施した4地区で現在計画づくりを進めており，今年度には4地区で計画の完成が見込めることから，R5計画は達成する見込みである。 令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行し，市民活動も戻りつつあるが，依然として第9波が懸念されるなど元の活動に戻るにはなお時間がかかる。市民活動支援センターでも，コロナ禍においても活動を継続し，その終息後も活動に活かせるよう，スマホ講座やSNS情報発信講座を引き続き開催するなどICTを活用した市民活動の支援を行っていく。 市民活動総合保障保険の利用件数については，引き続き広報紙やホームページなどを活用し，制度の周知徹底を進める。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	・まちづくり協議会は地区によってかなり温度差があるようにお聞きします。市民の認知率もなかなか上がらないようですし，テコ入れや見直しなどはお考えでしょうか。 ・市民活動支援センターの利用者数や研修会等への参加者数が少なくなってきています。まだコロナ禍の影響があるのかと思いますが，今後は多くなってくると思いますので，期待しています。 ・まちづくり協議会については高齢者がメインで頑張ってくださっているので，更に中年層，若者，子どもも参加できるような仕組みができると，持続可能な地域づくりに繋がるのではと思います。また市民活動支援センター利用者数は年々減っていますが事業費はかなり増額です。ご説明ください。 市民活動支援センターのことをまだまだ知らない市民が多いようです。どこにあり，何をしているのか，何ができるのかを周知する必要性を感じます。「自分がやりたいイベントの打ち合わせや準備の会場としても利用できる」，「もっと気軽に利用できる」など自分ごととして認知されると利用者が増えるかもしれません。そこから更に横への繋がりができ笠岡市民のパワーアップに繋がることを願います。 ・まちづくり協議会には，市よりの補助金で活動しているとのことですので，全協議会がまちづくり計画を提出すべきではないでしょうか。まちづくり協議会も公民館等で話し合いを持つならば，事務所は要らないはず。その補助金は，他の行政施策にまわすなど，工夫できないのでしょうか。 ・活性化戦略”賑わう”にご尽力いただきありがとうございます。市民，また地域に住んでいる私たちが手を結び地域を盛り上げられたら一番ですが地域により温度差が激しいにも拘らず，継続的に支援してくださってありがとうございます。まちづくりにご尽力いただいている組織も高齢化されており，世代交代をや廃止など様々な局面を迎えていると思います。その中でも新たな方法を模索してくださっていることに感謝しています。今後もすべての世代がイキイキと過ごせるまちになるようにご尽力願います。 ・まちづくり協議会の認知が進みました。あとは，参加住民の広がりを期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	2－7	施策名	多様な交流の促進	主担当課	協働のまちづくり課
戦略の柱	活性化戦略 “賑わう”				
基本方針	☆協働の取組によって国際交流に参加する市民を増やし，国際化に対応する人材を育成するとともに，笠岡に住んでいる外国人が生活しやすい環境をつくり，多文化共生のまちづくりを目指します。 ☆友好都市等との交流を市民の積極的な参加により促進します。			関係課	学校教育課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
語学事業及び国際交流事業の年間参加者数	単位	目標		1,816	2,287	3,038	3,160
	人／年	実績	1,459	1,371	1,353	—	—
		達成率		75.5%	59.2%	—	—
大田市交流事業の年間参加者数	単位	目標		70	40	45	55
	人／年	実績	1,053	14	51	—	—
		達成率		20.0%	127.5%	—	—

（注）2020年の参加者数は，交流30周年事業の実施のため，例年（2016～2019年の平均39人/年）より多くなっています。

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	国際交流の促進（※①②③）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
語学事業及び国際交流事業の年間参加者数（日本語講座・日本語指導ボランティア養成講座を除く）	単位	目標		1,570	2,000	2,000	2,700
	人／年	実績	1,256	1,171	1,077	—	—
		達成率		74.6%	53.9%	—	—
白石島国際交流ヴィラ年間宿泊者数	単位	目標		600	700	850	1,100
	人／年	実績	485	221	827	—	—
		達成率		36.8%	118.1%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	14,077	千円	6,134	千円	26,386	千円	4,372	千円
うち一般財源	13,445	千円	3,533	千円	16,386	千円	4,372	千円

1 国際交流・地域間交流事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市民 在住外国人	外国人との交流の機会を提供するなど市民の多文化共生の理解を深め，また，外国人が生活しやすい環境をつくる。	・国際交流事業（青少年海外交流事業含む） ・国際交流ヴィラの運営支援

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	○笠岡国際交流協会の運営支援 ○友好握手都市20周年記念事業 ・コタバル市訪問 ・訪問団受入，サッカー親善大会 ○中学生の海外派遣 ○英語スピーチコンテスト ○白石島国際交流ヴィラ運営支援	⇒ ・諸外国とのオンラインでの交流 ・グローバルカフェ ⇒ ○国際交流ヴィラ施設改修工事	⇒ ・そば打ち体験 ○中学生の海外派遣	⇒ ・そば打ち体験 ・もちつき体験 ・地球市民講座 ○友好握手都市交流事業 ・コタバル市訪問 ・コタバル市職員受入 ○青少年海外交流事業 ・固城郡中学生をホームステイで受入 ○白石島国際交流ヴィラ運営支援

		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度	
直接事業費	決算額	14,077	千円	決算額	6,134	千円	決算額	26,386	千円	決算額	4,372	千円
	うち一般財源	13,445	千円	うち一般財源	3,533	千円	うち一般財源	16,386	千円	うち一般財源	4,372	千円

【達成目標2】外国人が生活しやすいまちづくり（※④）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
日本語講座受講者数	単位	目標		160	200	270	370
	人／年	実績	117	155	194	—	—
		達成率		96.9%	97.0%	—	—
日本語指導ボランティア養成講座受講者数	単位	目標		86	87	88	90
	人／年	実績	86	45	82	—	—
		達成率		52.3%	94.3%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	788	千円	676	千円	638	千円	852	千円
うち一般財源	788	千円	676	千円	638	千円	852	千円

2 在住外国人生活支援事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
在住外国人 市民	笠岡国際交流協会と協働し，在住外国人の日本語の習得を支援するための日本語講座や，日本語指導ボランティア養成講座の実施を通じて，在住外国人生活支援を行う。	・日本語講座の実施支援 ・日本語指導ボランテイア養成講座の実施支援

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	○笠岡国際交流協会の事業支援	⇒ ・諸外国とのオンラインでの交流 ・グローバルカフェ	⇒	⇒

		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度	
直接事業費	決算額	788	千円	決算額	676	千円	決算額	638	千円	決算額	852	千円
	うち一般財源	788	千円	うち一般財源	676	千円	うち一般財源	638	千円	うち一般財源	852	千円

【達成目標3】	地域間交流の促進(※⑤)

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
大田市交流事業の年間参加者数	単位	目標		70	40	50	55
	人／年	実績	1,053	14	51	—	—
		達成率		20.0%	127.5%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	151	千円	2,159	千円	76	千円	148	千円
うち一般財源	151	千円	190	千円	76	千円	148	千円

3	友好都市交流促進事業

事務事業の目的 対象(誰を)	事務事業の目的 意図(どのようにしたいのか)	事務事業の内容
市民	友好都市等との交流を市民の積極的な参加により促進し，相互の発展につなげていく。	・友好都市大田市との交流支援(交流事業推進助成金) ・大田市交流30周年記念事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	○友好都市大田市との交流支援 ＜交流事業推進助成金＞ ・交付件数：2件 ・交流した市民人数：33人	⇒ ＜交流事業推進助成金＞ ・交付件数：2件 ・交流した市民人数：40人 ○大田市交流30周年記念事業 ・交流した市民人数：882人	⇒ ＜交流事業推進助成金＞ ・交付件数：1件 ・交流した市民人数：14人	⇒ ＜交流事業推進助成金＞ ・交付件数：3件 ・交流した市民人数：51人

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	151	千円	決算額	2,159	千円	決算額	76	千円	決算額	148	千円
	うち一般財源	151	千円	うち一般財源	190	千円	うち一般財源	76	千円	うち一般財源	148	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	15,016	千円	8,969	千円	27,100	千円	5,372	千円
うち一般財源	14,384	千円	4,399	千円	17,100	千円	5,372	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
大田市交流30周年記念事業が終わって交流人数は激減しています。また白石島国際交流ヴィラ年間宿泊数も令和元年から4分の1に減少しています。コロナ禍で仕方のないこととはいえ，今後はウイズコロナで頑張ってください。	→	大田市との交流事業は令和4年度に入ってから笠岡市観光協会を通じて道の駅間での交流を始めました。今後も継続して交流を続けていきます。 白石島国際交流ヴィラにおいても，国の水際対策の緩和の影響もあり，次第に利用者が増えつつあります。引き続き，島の魅力を国内外へ発信していきたいと考えます。
国際交流ヴィラについて積極的なPR活動等今後の利用促進に向けて尽力されたい。また，大田市の交流事業については，より一層創意工夫をされることを望む。	→	大田市との交流事業は令和4年度に入ってから笠岡市観光協会を通じて道の駅間での交流を始めました。今後も継続して交流を続けていきます。 白石島国際交流ヴィラにおいても，国の水際対策の緩和の影響もあり，次第に利用者が増えつつあります。引き続き，島の魅力を国内外へ発信していきたいと考えます。
コロナ禍であり交流の機会も減ったと思いますが，地域間交流や国際交流は小規模ながら継続できているので，次への大きな活動に育っていくと思います。	→	新型コロナウイルスの影響も落ち着きつつあり，次第に交流事業も再開されてきております。 今後も引き続き各交流事業の周知やウィズコロナでの事業実施に努めます。
総合指標となる語学事業及び国際交流事業，大田市との交流人口がいずれもダウンしました。感染症対策の上，参加者制限，またはオンラインで繋がるなど工夫をしていただき，途切れることなく交流は続けて欲しいと思います。 改修工事できれいになった白石島国際交流ヴィラの有効利用も期待しています。 日本語指導ボランティア養成講座受講者数が激減しています。外国人が笠岡の生活で困ることのないようサポートをお願いします。	→	国の水際対策の緩和により，今後笠岡市へ転入する外国人も増加が見込まれます。 日本語指導ボランティア養成講座受講者についても笠岡国際交流協会と連携しながら受講者の増加を目指します。令和4年度から初心者向けの日本語教育講座を開始したほか，笠岡市の職員を対象としたやさしい日本語講座を開催することとしています。一般向けだけでなく，行政の窓口においても，笠岡の外国人をサポートしやすい環境を整えていきたいと考えております。
友好都市交通事業が滞っています。オンライン等を用いた策を講ずることを期待します。 また，在住外国人や国際交流は後回しにされがちですが，笠岡ではそのようなことがないよう，コロナ禍でも進めていただきたい。	→	大田市との交流事業は令和4年度に入ってから笠岡市観光協会を通じて道の駅間での交流を始めました。今後も継続して交流を続けていきます。 国際交流に関しては，友好握手都市との交流をより一層深化させるためにコタバル市から研修生を受入れるなど，積極的に交流を進めていくこととしております。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	語学事業及び国際交流事業の年間参加者数増加のため，外国人が多く住む地区への出張事業や出前講座等，ニーズの掘り起こしや新規開拓に取り組んでいきます。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	C

コメント	・国際交流は順調に進んでいるようですが，地域間交流は広げる予定はないですか。 ・事業への参加者数が少なくなっています（大幅に少ない事業も有）。まだコロナ禍の影響があるのかと思いますが，今後は多くなってくると思いますので，期待しています。 ・大田市交流事業，白石島国際交流ヴィラ年間宿泊者数が目標達成し素晴らしいと思います。語学事業及び国際交流事業については参加者が伸びませんでしたが，日本語指導ボランティア養成講座の受講者数がかなり増えたことは喜ばしいことです。市役所窓口で外国人への市職員の対応を見る機会がありました。とても丁寧にゆっくりと分かりやすく説明されておりこちらも嬉しくなりました。ただ手続きが複数部署をまわらないとならず難しそうだったので，ワンストップでサービスできると親切なのでは？と思いました。外国人にも住みやすい笠岡であってほしいと思います。（来年度は固城郡やコタバル市についての交流は評価の対象になりますか？） ・国際交流ヴィラの宿泊数が，目標値をオーバーすることは，多様な国際交流に関心を持っている人が多いということだと思います。これからも国際化に対応できる人材の育成が大切だと思います。 私たちは，他都市，北広島町の”芸北神楽”の方々と交流し，笠岡での神楽公演を実施しています。いろんな団体が他都市と交流できる支援をお願いします。 ・活性化戦略”賑わう”にご尽力いただきありがとうございます。1．国際交流・地域間交流事業の国際交流協会も活発に活動されておりウィズコロナの生活でも在住外国人の方も安心されているのではないかと思います。日本語講座受講者数も増え、日々在住外国人の方が増えているように感じています。文化が違えどコミュニケーションを図りながら同じ笠岡市民として過ごすために大事な機関だと思います。今後共ご尽力願います。 ・大韓民国の慶尚南道固城郡と姉妹都市協定を締結し，国際交流がさらに進んでいると感じています。

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	2－8	施策名	広域連携の推進	主担当課	企画政策課
戦略の柱	活性化戦略 “賑わう”				
基本方針	限られた行政資源を有効活用するため，近隣の市町との広域的な連携や多様な主体との連携を推進し，行政運営の効率化を図るとともに地域の活性化を図ります。			関係課	

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
3圏域（高梁川流域圏，備後圏域，井笠圏域）での連携事業数	単位事業	目標		118	118	118	119
		実績	116	118	124	—	—
		達成率		100.0%	105.1%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	近隣市町との連携の推進（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
高梁川流域圏での連携事業数	単位事業	目標		57	57	57	57
		実績	55	57	63	—	—
		達成率		100.0%	110.5%	—	—
備後圏域での連携事業数	単位事業	目標		59	59	59	59
		実績	59	59	59	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
井笠圏域での連携事業数	単位事業	目標		2	2	2	3
		実績	2	2	2	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	146	千円	50	千円	28	千円	28	千円
うち一般財源	146	千円	50	千円	28	千円	28	千円

1	広域連携事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
市民・職員	近隣市町と連携することで，地域の活性化や行政運営の効率化に繋げる	高梁川流域・備後圏域・井笠圏域において，各市町単独で行っていた事業の連携推進や圏域で行うことでのスケールメリットを活かした事業を推進する

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・高梁川流域圏及び備後圏における連携			⇒			⇒			⇒		
	・井笠圏域振興協議会事務			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	146	千円	決算額	50	千円	決算額	28	千円	決算額	28	千円
	うち一般財源	146	千円	うち一般財源	50	千円	うち一般財源	28	千円	うち一般財源	28	千円

【達成目標2】	域学連携の推進（※③）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
域学連携事業参加者	単位	目標		70	80	148	110
	人／年	実績	166	160	309	—	—
		達成率		228.6%	386.3%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	70	千円	67	千円	67	千円	70	千円
うち一般財源	70	千円	67	千円	67	千円	70	千円

2	域学連携事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
学生，市民	高い地域志向をもった人材育成を支援し，学生，地域住民，各種団体等が協働して地域課題解決のための活動に取り組む。	地（知）の拠点大学である岡山県立大学等を支援し，地域住民，各種団体等との域学連携を推進する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	【岡山県立大学】 ・おかやまCOC+推進協議会総会参加（6/12：1名） ・「健康まつりin笠岡」に県立大から骨密度測定器を借用 ・県立大看護学科「総合学習」の事前実習に講師派遣（2名各1回） ・県立大「地域協働演習」をまちづくり協議会（２団体）が受入 ・県立大フォーラムに資料展示（5/29） ・県立大「地域再生実践論」講師派遣（6/5：1名）（11/14：1名） ・島の大運動会にて県立大が健康測定実施 ・長期インターンシップ受入（16日間：1名） 【その他】 ・笠岡高校総合学習「地域学」への協力（7課7テーマ）（7課7テーマ） ・地元高校生を中心とした笠岡駅前イルミネーション設置支援	【岡山県立大学】 「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ会議参加（3/17：１名） （コロナ禍により県立大との取組の多くが中止） ・県立大が笠岡市立図書館のピクトグラム（本の分類用）作成 【その他】 ⇒（7課7テーマ）⇒	【岡山県立大学】 「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ会議参加（10/29：１名） 「吉備の杜」創造戦略プロジェクト　第１回部会会議参加（12/14：1名） 「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ会議（3/24：1名） （コロナ禍により県立大との取組の多くが中止） ・県立大が笠岡市立図書館のシンボルマークを作成 【その他】 ⇒（6課7テーマ）⇒	【岡山県立大学】 「吉備の杜」創造戦略プロジェクト教育プログラム開発委員会参加（10/18：１名） 「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ会議参加（11/16：１名） 「吉備の杜」創造戦略プロジェクト教育プログラム開発委員会参加（2/21：１名） 「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ会議（3/9：1名） ・県立大看護学科「総合実習」における特別講義講師派遣（9/30,11/1：1名） ・県立大「地域資源学」講師派遣（10/3：1名） 【その他】 ⇒（6課6テーマ）⇒
直接事業費	決算額 70 千円	決算額 67 千円	決算額 67 千円	決算額 70 千円
うち一般財源	70 千円	67 千円	67 千円	70 千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	216	千円	117	千円	95	千円	98	千円
うち一般財源	216	千円	117	千円	95	千円	98	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
広域連携事業について，連携事業数等は順調に進んでいると思います。しかし域学連携での「コモンズかさおか」の域学連携事業参加者数の目標数が少なくなっていますが，取り組んでいただきたいと思います。	→	県立大学では，「コモンズかさおか」を拠点とした実習から現場実習に方針を変えていますが，今後も大学に地域課題等の説明に職員が出向くなどし，連携に取り組んでまいります。
域学連携事業を進めることが目的であり，拠点施設の利用以外を達成目標の指標にしてはどうか。	→	後期基本計画から，拠点施設の利用者以外も，目標とするように指標を「域学連携事業参加者」に変更しました。
岡山県立大学との連携も，生徒たちにとっては種々の体験ができ良い事業だと思います。小中の地域学は笠岡市内を見据えているので，高校では県内や隣県との広域連携が学習素材になると思います。特に福山市立大学など福山市内の大学との連携も考えていただきたい。	→	過去には，「かさおかイノベーションリーダー養成塾」において，笠岡市出身の大学生も塾生として迎え，地域活性化について考えました。今後も，他大学との連携を模索してまいります。
岡山県立大学だけでなく，包括協定を締結している就実，商大，吉備の杜関連大学とも積極的に広域連携を図っていただきたいです。 高梁川流域圏，備後圏域，井笠圏域で料理や文化を通じた交流はできないでしょうか。例えば「ご当地メニューを作ってみよう」とかなら，子どもから高齢者まで参加でき，オンラインでお互いが映ったスクリーンを見ながら作り，分からなければ聞きながらつくってみる。感染症の心配もありませんが。	→	今後も様々な大学と連携ができるように取り組んでまいります。
総合指標では2年連続で目標値を達成しているので，達成目標2の目標値を下げることが今後事業にどのように関連するのでしょうか。	→	大学では，「コモンズかさおか」での実習から現場実習に方針を変えているため，今後は，さらに市内高校の地域学等をサポートすることで，地域の活性化に努めてまいります。
コロナ禍でも様々な策を講じられており素晴らしいです。どのように広域連携を推進されているのか市民には分からない部分があります。	→	周知に努めてまいります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	A

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	未達成指標なし

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	A	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・広域連携については，以前と比べて取組状況や成果が見えにくくなっているので，もう少し実績が分かるような記載であればいいと思います。 ・指標の数字が全体的に良いと感じます。取り組んでいる成果が出ているのではないかと思いますので，今後も期待しています。 ・全ての目標に達成しているのでA評価となりました。多くの大学・専門学校などとの更なる連携をお願いします。進行中の広域連携拠点施設(熱利用施設)整備運営事業について，進行具合のご説明をお願いします。 ・域学連携事業の参加者が多い実態に，学生さん達のやる気を感じました。この熱を，高い地域志向をさらに地域の問題解決に向けて活動していただきたい。 ・活性化戦略”賑わう”にご尽力いただきありがとうございます。3圏域での連携事業が順調に進まれているようですが，行政の効率化と地域の活性化で成果としてどんなことがありますか。今後共お願いいたします。 ・広域連携の推進は，特別交付税による財政健全化にもつながると思いますので，引き続き推進してください。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	3－1	施策名	子ども・子育て環境の整備	主担当課	子育て支援課
大項目	安心して暮らせるまちづくり				
基本方針	将来の笠岡市を担う子どもたちの成長は，市民にとって大きな喜びです。子どもが健やかに育ち，子育て家庭が安心して子どもを生み育てられるよう，就学前教育・保育施設再編整備等の環境づくりを進め，子育てをみんなで支えるまちの実現を目指します。			関係課	こども育成課 市民課 学校教育課 生涯学習課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
合計特殊出生率	単位	目標			1.07	1.10	1.15
	人	実績	1.37	1.11	未公開	—	—
		達成率			—	—	—
安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合（市民意識調査）	単位	目標		—	45.0	—	47.5(R6)
	%	実績	42.4	—	38.2	—	—
		達成率		—	84.9%	—	—
年度末における5歳児の人口と5年前の0歳児の人口を比較した増減割合	単位	目標		5.0	5.0	5.0	5.0
	%	実績	△ 0.4	7.9	1.1	—	—
		達成率		158.0%	22.0%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	安心して子どもを産み育てられる環境（※①②③）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
妊娠11週以下で妊娠届出を行う妊婦	単位	目標		84.0	85.5	87.0	90.0
	%	実績	82.6	80.2	86.6	—	—
		達成率		95.5%	101.3%	—	—
子育て意識啓発のための講座を受講した人	単位	目標		70	200	200	200
	人／年	実績	57	40	59	—	—
		達成率		57.1%	29.5%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	100,168	千円	108,682	千円	82,794	千円	93,984	千円
うち一般財源	93,681	千円	100,413	千円	80,079	千円	91,967	千円

1 母子健診事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
妊産婦 乳幼児	妊産婦及び乳幼児の健康診査を直接又は医療機関へ委託して実施し，乳幼児及び家族の健康の維持増進を図る。	医療機関による妊産婦健康診査，乳幼児健康診査の一部を公費負担することで実施，乳児の健やかな成長と母体の健康の増進を図る。また，乳児健康診査，1歳6箇月健康診査，3歳児健康診査及び2歳児歯科検診を実施することで乳幼児の健康状態を把握し，適切な指導助言を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●母子保健事業 ・健康診査の実施 ＜妊婦一般健康診査延件数:2741件＞ ＜産婦健康診査延件数: 363件＞ ＜乳児一般健康診査延件数:346件＞ ＜3～4か月健康診査延件数:181件＞ ※R3.3月の3～4か月健診はｺﾛﾅにより中止したため，H31.4月～R2.2月の実績 ＜1歳6か月健康診査延件数:219件＞ ＜3歳児健康診査延件数:258件＞ ＜2歳児歯科検診延件数:103件＞	⇒ ⇒ ＜妊婦一般健康診査延件数:2282件＞ ＜産婦健康診査延件数: 306件＞ ＜乳児一般健康診査延件数:417件＞ ＜3～4か月健康診査延件数:193件＞ ※R2.3月～R2.5月の3～4か月健診はｺﾛﾅにより 中止したた め，R2.6月～R3.3月の実績 ＜1歳6か月健康診査延件数:235件＞ ＜3歳児健康診査延件数:216件＞ ＜2歳児歯科検診延件数:※＞ ※2歳児歯科検診はコロナにより実施せず 【コロナウイルス感染症対策による振替】 ＜9～10か月健康診査延件数:53件＞ ※R2.3月～R2.5月の3～4か月健診対象者に対して今年度のみ実施	⇒ ⇒ ＜妊婦一般健康診査延件数:1766件＞ ＜産婦健康診査延件数:313件＞ ＜乳児一般健康診査延件数:316件＞ ＜3～4か月健康診査延件数:161件＞ ＜1歳6か月健康診査延件数:248件＞ ＜3歳児健康診査延件数:235件＞ ＜2歳児歯科検診延件数:49人＞	⇒ ⇒ ＜妊婦一般健康診査延件数:2155件＞ ＜産婦健康診査延件数:317件＞ ＜乳児一般健康診査延件数:285件＞ ＜3～4か月健康診査延件数:175件＞ ＜1歳6か月健康診査延件数:180件＞ ＜3歳児健康診査延件数:200件＞ ＜2歳児歯科検診延件数:61人＞
直接事業費	決算額 33,695 千円 うち一般財源 32,641 千円	決算額 28,397 千円 うち一般財源 27,197 千円	決算額 24,397 25113 うち一般財源 22,710 千円	決算額 26,344 千円 うち一般財源 25,490 千円

2 はぐくみ笠岡事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
妊産婦 乳幼児 乳幼児の保護者	乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会からスタートし，継続的に支援を行うことで乳児家庭の孤立化を防ぎ，乳児の健全な育成環境の確保を図るとともに母子の健康の増進を図る。	地域での全ての出生に関してアプローチを行い，様々な不安や悩みを聞き，子育て支援に関する情報提供を行う。また，母子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い，支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供する。加えて要支援家庭の把握及び支援を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●訪問指導の実施 ・妊産婦，乳児の家庭訪問 ●健康相談の実施 ・発達，栄養，育児等の相談の実施 ●健康教育の実施 ・マタニティ教室，離乳食教室等の実施 ・養育医療給付費の支給 ＜子育て世代包括支援センター:面談120件，電話333件＞ ＜電子母子手帳:年度末登録数421件＞ ＜産後ケア事業:宿泊延べ1泊，デイサービス延べ20日＞ ＜妊婦家庭訪問延件数:13件＞ ＜産婦・乳児家庭訪問延件数:228件＞ ＜離乳食講習会延参加者数:70人＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜子育て世代包括支援センター:面談131件，電話300件＞ ＜電子母子手帳:年度末登録数590件＞ ＜産後ケア事業:デイサービス延べ7日,母乳相談8件＞ ＜妊婦家庭訪問延件数:12件＞ ＜産婦・乳児家庭訪問延件数:229件＞ ＜離乳食講習会延参加者数:※＞ ※コロナ感染予防のため実施せず	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜子育て世代包括支援センター:面談129件，電話478件＞ ＜電子母子手帳:年度末登録数713件＞ ＜産後ケア事業:宿泊延べ2日，デイサービス延べ8日,母乳相談19件＞ ＜妊婦家庭訪問延件数:19件＞ ＜産婦・乳児家庭訪問延件数:185件＞ ＜離乳食講習会延参加者数:※＞ ※コロナ感染予防のため実施せず	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜子育て世代包括支援センター:面談99件，電話716件＞ ＜電子母子手帳:年度末登録数849件＞ ＜産後ケア事業:宿泊延べ2日，デイサービス延べ14日,母乳相談15件＞ ＜妊婦家庭訪問延件数:15件＞ ＜産婦・乳児家庭訪問延件数:229件＞ ＜離乳食講習会延参加者数:24人＞
直接事業費	決算額 4,901 千円 うち一般財源 2,468 千円	決算額 4,957 千円 うち一般財源 2,455 千円	決算額 2,362 千円 うち一般財源 1,334 千円	決算額 2,573 千円 うち一般財源 1,410 千円

3	予防接種事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
乳幼児 児童 中学1年生 高校3年生	予防接種の機会の確保及び一定の接種率の確保を行い，感染症の発生を予防することでそのまん延の防止を図り，公衆衛生の向上及び増進を図る。	市民全体の免疫水準を上げるために，市内医療機関及び岡山県内相互乗り入れ医療機関に委託して，乳幼児等に対し予防接種を実施する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●予防接種の実施 ●岡山県子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業 ＜麻しん風しん(1期)予防接種率: 88.3% ＞ ＜BCG予防接種率:88.8%＞			⇒ ⇒ ＜麻しん風しん(1期)予防接種率: 93.1% ＞ ＜BCG予防接種率:91.1%＞ 【新型コロナウイルス対策事業】			⇒ ⇒ ＜麻しん風しん(1期)予防接種率: 81.8% ＞ ＜BCG予防接種率:88.3%＞			⇒ ⇒ ＜麻しん風しん(1期)予防接種率: 83.00% ＞ ＜BCG予防接種率:87.2%＞		
直接事業費	決算額	58,910	千円	決算額	71,160	千円	決算額	53,074	千円	決算額	64,470	千円
	うち一般財源	57,910	千円	うち一般財源	66,593	千円	うち一般財源	53,074	千円	うち一般財源	64,470	千円

4	創 不妊・不育治療支援事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
不妊や不育で悩む夫婦	不妊や不育で悩む夫婦に対し，治療費の一部を負担することにより，経済的な負担の軽減を図ることで，安心して子どもを産み育てるまちづくりを行う。	不妊治療や不育治療における治療費に対し，補助率1/2(限度額15万円/回)，6回(90万円)までとしての補助を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●不妊治療助成事業 ●不育治療助成事業 ＜一般不妊治療助成件数:19件＞ ＜特定不妊治療助成件数:21件＞			⇒ ⇒ ＜一般不妊治療助成件数:19件＞ ＜特定不妊治療助成件数:34件＞			⇒ ⇒ ＜一般不妊治療助成件数:18件＞ ＜特定不妊治療助成件数:25件＞			⇒ ⇒ ＜一般不妊治療助成件数:5件＞ ＜特定不妊治療助成件数:4件＞ ＜不育治療助成件数: 2件＞		
直接事業費	決算額	2,662	千円	決算額	4,168	千円	決算額	2,961	千円	決算額	597	千円
	うち一般財源	662	千円	うち一般財源	4,168	千円	うち一般財源	2,961	千円	うち一般財源	597	千円

【達成目標2】	子どもを健やかに育てるための家庭支援の充実(※④)

達成目標2の指標

指標名	単位		目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
子育てに関する相談件数 (子育て支援コンシェルジュ利用件数)	件／年	目標		1,000	1,000	1,000	1,000
		実績	972	1,097	1,369	—	—
		達成率		110%	137%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	302,335	千円	452,471	千円	265,613	千円	255,626	千円
うち一般財源	190,052	千円	147,897	千円	141,952	千円	137,159	千円

5	地域子育て支援拠点事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
家庭で子育てをしている保護者及び乳幼児	安心して子育てができるよう，保護者の育児不安・ストレスを解消する。 保護者同士のネットワーク作りの支援をする。 地域の子育て情報を提供する。	乳幼児及びその保護者が交流を行う場所を開設し，子育てについての相談，情報提供，助言その他の援助活動を行う。また子育て支援に関する講習等を実施する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●地域子育て支援拠点事業 ・つどいの広場事業の実施 ・大井児童館の運営 ・地域子育て支援センターの運営 ★・六島しまっこクラブの運営 ＜つどいの広場延利用者数:4,822人＞ ＜大井児童館延利用者数:9,845人＞ ＜地域子育て支援センター延利用者数: 4,465人＞ ＜六島しまっこクラブ在籍児童数:1人＞			⇒ ＜つどいの広場延利用者数:1,563人＞ ＜大井児童館延利用者数:5,040人＞ ＜地域子育て支援センター延利用者数:1,875人＞			⇒ ＜つどいの広場延利用者数:1,233人＞ ＜大井児童館延利用者数:4,860人＞ ＜地域子育て支援センター延利用者数:2,913人＞			⇒ ＜つどいの広場延利用者数:1,759人＞ ＜大井児童館延利用者数:6,712人＞ ＜地域子育て支援センター延利用者数:1,602人＞		
直接事業費	決算額	53,120	千円	決算額	55,402	千円	決算額	51,116	千円	決算額	51,352	千円
	うち一般財源	24,844	千円	うち一般財源	21,369	千円	うち一般財源	20,943	千円	うち一般財源	21,491	千円

6	ひとり親家庭支援事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
ひとり親家庭の親及び児童	生活の安定と自立の促進を図る。	保護者が死亡した児童に対しては遺児年金・激励金を，保護者が離別等した児童の保護者に対しては児童扶養手当を支給する。また，母子・父子家庭等に対し，自立に向けた相談支援を充実させるとともに，必要に応じて就労や養育費確保の際の費用の負担軽減を図る。 DV等で支援が必要な母子家庭については，母子生活支援施設に入所措置する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●母子自立相談 ・児童扶養手当の支給 ・市遺児年金の支給 ・市遺児激励金の支給 ・母子生活支援施設入所事務 ・ひとり親家庭に対する相談 (創)・高等職業訓練促進給付金の支給 (創)・高等職業訓練修了支援給付金の支給 (創)・自立支援教育訓練給付金の支給 ＜児童扶養手当支給者数:351人＞ ＜母子生活支援施設措置件数:1件＞ ＜高等職業訓練促進給付金の支給:2件＞ ＜高等職業訓練修了支援給付金の支給:1件＞ ＜自立支援教育訓練給付金の支給:0件＞ ・未婚のひとり親臨時・特別給付金 ＜支給者数:22人＞	⇒ ＜児童扶養手当支給者数:334人＞ ＜母子生活支援施設措置件数:1件＞ ＜高等職業訓練促進給付金の支給:2件＞ ＜高等職業訓練修了支援給付金の支給:2件＞ ＜自立支援教育訓練給付金の支給:0件＞ (創) ひとり親家庭自立支援事業 〈離婚前相談〉相談人数26人 相談件数51件 〈母子父子自立支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ策定事業〉 策定件数1件 〈養育費に関する公正証書等作成促進補助金〉 2件 〈養育費保証促進補助金〉 0件 【新型コロナウイルス対策事業】 ・ひとり親家庭等応援助成金 世帯数 511世帯 児童数 772人 ・ひとり親世帯臨時特別給付金 世帯数 延べ866世帯 児童数 延べ1,340人	⇒ ＜児童扶養手当支給者数:334人＞ ＜母子生活支援施設措置件数:0件＞ ＜高等職業訓練促進給付金の支給:2件＞ ＜高等職業訓練修了支援給付金の支給:2件＞ ＜自立支援教育訓練給付金の支給:0件＞ (創) ひとり親家庭自立支援事業 〈離婚前相談〉相談人数27人 相談件数42件 〈母子父子自立支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ策定事業〉 策定件数2件 〈養育費に関する公正証書等作成促進補助金〉 2件 〈養育費保証促進補助金〉 1件 【新型コロナウイルス対策事業】 ・子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親) 世帯数 391世帯 児童数 606人 ・子育て世帯への臨時特別給付金(拡充分) 世帯数 3世帯 児童数 4人	⇒ ＜児童扶養手当支給者数:306人＞ ＜母子生活支援施設措置件数:0件＞ ＜高等職業訓練促進給付金の支給:0件＞ ＜高等職業訓練修了支援給付金の支給:0件＞ ＜自立支援教育訓練給付金の支給:0件＞ ひとり親家庭自立支援事業 〈離婚前相談〉相談人数36人 相談件数54件 〈母子父子自立支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ策定事業〉 策定件数0件 〈養育費に関する公正証書等作成促進補助金〉 9件 〈養育費保証促進補助金〉 0件 【新型コロナウイルス対策事業】 ・子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親) 世帯数 378世帯 児童数597人
直接事業費	決算額 246,542 千円 うち一般財源 163,691 千円	決算額 395,035 千円 うち一般財源 125,741 千円	決算額 211,469 千円 うち一般財源 119,788 千円	決算額 201,120 千円 うち一般財源 114,209 千円

7	要保護児童対策事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
被虐待児童及び 支援を必要とする児童 とその保護者	被虐待児及び困り感を持った児童が一人の人間として人権の尊重される生活を送ることができるようにする。	各関係機関が連携し，情報の共有化を図ることで，それぞれの機関が同一の認識のもとで責任を持って支援を行なう。子育て不安やストレス，親子関係等の問題等に対し，保護者が安心感をもてる環境を提供しながら，専門職による対応・支援等の児童家庭相談を行う。児童虐待防止月間に合わせて啓発を行う。4歳児の発達に関する相談及び支援を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●要保護対策事業 ・被虐待児の早期発見と安全を確保 ●4歳児発達支援事業 ・特性に応じた成長，発達の支援，教育機関等へのコーディネイト 創●要保護児童管理システム構築 ＜生活実態調査報告書作成＞ ＜児童虐待(新規登録)件数:38件＞	⇒ ⇒ ⇒ ＜児童虐待(新規登録)件数:41件＞	⇒ ⇒ ⇒ ＜児童虐待(新規登録)件数:38件＞	⇒ ⇒ ⇒ ●総合支援拠点事業 ＜児童虐待(新規登録)件数:30件＞

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	2,673	千円	決算額	2,034	千円	決算額	3,028	千円	決算額	3,154	千円
	うち一般財源	1,517	千円	うち一般財源	787	千円	うち一般財源	1,221	千円	うち一般財源	1,459	千円

【達成目標3】	安心・安全な子育て環境の充実(※⑤)

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
保育所(園)・認定こども園(保育所部分)・事業所内保育(地域枠)定員	単位	目標		1,294	1,294	1,294	1,294
	人	実績	1,313	1,294	1,269	—	—
		達成率		100%	98%	—	—
就学前教育・保育施設への就園率	単位	目標			74.5	75.0	75.0
	%	実績	74.0	76	78	—	—
		達成率			105%	—	—
放課後児童クラブへの入所率	単位	目標			31.9	32.5	33.0
	%	実績	31.1	31.4	32.8	—	—
		達成率			103%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	2,025,003	千円	2,079,932	千円	1,787,937	千円	1,865,113	千円
うち一般財源	530,962	千円	489,673	千円	472,322	千円	558,205	千円

8 ファミリーサポートセンター事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
育児を応援して欲しい方(親子)	育児を応援したい方に紹介し，子育てを相互に援助する。	依頼会員(子どもを預けたい人)と提供会員(子どもを預かる人)が会員登録し，センターにて依頼会員と提供会員を結びつけ，子育てを相互に援助する活動を支援する。また，会員の交流会や研修会を実施する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●ファミリーサポートセンター事業 ・会員の増加を目指して啓発の強化 ・提供会員の資質向上を図るため研修の実施 ＜依頼会員数:422人＞ ＜提供会員数:469人＞ ＜両方会員数: 19人＞ ＜延活動件数:607件＞	⇒ ⇒ ⇒ ＜依頼会員数:383人＞ ＜提供会員数:501人＞ ＜両方会員数: 17人＞ ＜延活動件数:727件＞ 創) ファミリーサポートセンター利用料補助事業	⇒ ⇒ ⇒ ＜依頼会員数:358人＞ ＜提供会員数:516人＞ ＜両方会員数: 18人＞ ＜延活動件数:504件＞ 創) ファミリーサポートセンター利用料補助事業	⇒ ⇒ ⇒ ＜依頼会員数:335人＞ ＜提供会員数:532人＞ ＜両方会員数: 16人＞ ＜延活動件数:599件＞ ファミリーサポートセンター利用料補助事業 ＜補助人数:4人＞
直接事業費	決算額 621 千円	決算額 966 千円	決算額 551 千円	決算額 625 千円
	うち一般財源 0 千円	うち一般財源 0 千円	うち一般財源 0 千円	うち一般財源 0 千円

9 公立保育所管理運営事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市内公立保育所への入所を必要とする児童	保育を必要とする児童を保育する施設として，健康，安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し，自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより，健全な心身の発達を図る。	限られた事業費の中で，国の施設最低基準及び保育所保育指針に基づき，安定した保育業務を実施するとともに，安全な施設管理を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●保育サービスの向上 ・障害児保育に対応するために職員の資質向上 ・老朽化した施設の整備の推進 ・公立保育所の民営化の推進 ・地域における子育て支援拠点としての機能強化 ・保育料収納率の向上 ・笠岡保育所の民営化 ＜年間延入所児童数:3,275人＞ ＜施設数:6か所＞ ＜3月初日入所率:76.7%＞ ＜保育料収納率:100%＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜年間延入所児童数:2,165人＞ ＜施設数:5か所＞ ＜3月初日入所率:63.0%＞ ＜保育料収納率:100%＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜年間延入所児童数:1,862人＞ ＜施設数:5か所＞ ＜3月初日入所率:55.0%＞ ＜保育料収納率:100%＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜年間延入所児童数:1,679人＞ ＜施設数:4か所＞ ＜3月初日入所率:54.1%＞ ＜保育料収納率:99.8%＞
直接事業費	決算額 48,151 千円	決算額 39,638 千円	決算額 36,152 千円	決算額 40,016 千円
	うち一般財源 40,573 千円	うち一般財源 31,184 千円	うち一般財源 27,059 千円	うち一般財源 32,679 千円

10 公立認定こども園管理運営事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市内公立認定こども園への入所を必要とする児童	幼児教育・保育を必要とする児童を受け入れる施設として，健康，安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し，自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより，健全な心身の発達を図る。	限られた事業費の中で，幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき，全ての子どもに質の高い幼児期の学校教育及び保育の総合的な提供を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容		●幼児教育・保育サービスの充実 ＜年間延入所児童数＞ 1号認定30人，2・3号認定797人 ＜施設数:1か所＞ ＜3月初日入所率＞ 1号認定7.5%，2・3号認定97.3% ＜保育料収納率:100%＞	⇒ ＜年間延入所児童数＞ 1号認定61人，2・3号認定898人 ＜施設数:1か所＞ ＜3月初日入所率＞ 1号認定26.7%，2・3号認定108.0% ＜保育料収納率:99.8%＞	⇒ ＜年間延入所児童数＞ 1号認定439人，2・3号認定1,210人 ＜施設数:2か所＞ ＜3月初日入所率＞ 1号認定63.6%，2・3号認定125.3% ＜保育料収納率:100.0%＞
直接事業費	決算額 0 千円	決算額 10,954 千円	決算額 12,481 千円	決算額 23,311 千円
	うち一般財源 0 千円	うち一般財源 7,059 千円	うち一般財源 8,691 千円	うち一般財源 12,006 千円

11 私立保育所運営委託事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市内私立保育所への入所を必要とする児童	保育を必要とする児童を保育する施設として，健康，安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し，自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより，健全な心身の発達を図る。	運営費を支弁することにより，国の運営費枠の中で，国の施設最低基準及び保育所保育指針に基づき安定した保育園の管理運営を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●保育サービスの充実 ・保育所職員の研修への参加促進 ・保育の満足度調査の実施 ＜年間延入所児童数:8,311人＞ ＜施設数:7か所＞ ＜3月初日入所率:92.5%＞ ＜保育料収納率:99.3%＞	⇒ ⇒ ⇒ ＜年間延入所児童数:5,563人＞ ＜施設数:6か所＞ ＜3月初日入所率:90.2%＞ ＜保育料収納率:99.2%＞	⇒ ⇒ ⇒ ＜年間延入所児童数:5,207人＞ ＜施設数:6か所＞ ＜3月初日入所率:90.0%＞ ＜保育料収納率:99.8%＞	⇒ ⇒ ⇒ ＜年間延入所児童数:2,726人＞ ＜施設数:3か所＞ ＜3月初日入所率:89.2%＞ ＜保育料収納率:100.0%＞
直接事業費	決算額 703,257 千円	決算額 513,543 千円	決算額 500,097 千円	決算額 270,876 千円
	うち一般財源 202,343 千円	うち一般財源 147,009 千円	うち一般財源 130,498 千円	うち一般財源 69,701 千円

12 私立認定こども園施設型給付事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市内私立認定こども園への入園を必要とする児童	幼児教育・保育を必要とする児童を受け入れる施設として，健康，安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し，自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより，健全な心身の発達を図る。	施設型給付費を支弁することにより，安定した園運営に寄与し，幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき，全ての子どもに質の高い幼児期の学校教育及び保育の総合的な提供を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●幼児教育・保育サービスの充実 ＜年間延入所児童数:2,209人＞ ＜施設数:2か所＞ ＜3月初日入所率:105.6%＞	●幼児教育・保育サービスの充実 ＜年間延入所児童数:4,484人＞ ＜施設数:3か所＞ ＜3月初日入所率:95.4%＞	⇒ ＜年間延入所児童数:4,878人＞ ＜施設数:3か所＞ ＜3月初日入所率:93.1%＞	⇒ ＜年間延入所児童数:6,893人＞ ＜施設数:6か所＞ ＜3月初日入所率:93.6%＞
直接事業費	決算額 228,372 千円	決算額 423,629 千円	決算額 435,674 千円	決算額 675,836 千円
	うち一般財源 71,788 千円	うち一般財源 97,193 千円	うち一般財源 121,901 千円	うち一般財源 195,648 千円

13 幼稚園運営業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
幼稚園への入園を必要とする児童	園の幼児教育環境を充実させ，児童・保護者が安心して通えるようにする。	在園児に対する一時預かり事業に関すること。 配当予算の伝達・会計事務 円滑な園運営の支援

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・幼稚園保育料の賦課，徴収 ・幼稚園就園奨励費補助事業 ・幼稚園一時預かり事業 ・配当予算の適正な執行			・幼稚園一時預かり事業 ・配当予算の適正な執行			⇒ ⇒			⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	29,887	千円	決算額	18,468	千円	決算額	18,390	千円	決算額	14,926	千円
	うち一般財源	28,823	千円	うち一般財源	17,506	千円	うち一般財源	17,300	千円	うち一般財源	13,348	千円

14 保育ニーズ支援事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
児童及び保護者	必要に応じて多様な保育サービス等の提供や，自宅以外の居場所をつくることにより，子育てを支援する。	子育て家庭のニーズに対応するため，多様な保育サービス等の提供や，児童が安心して過ごせる自宅以外の居場所をつくる。また，子育て支援コンシェルジュを配置して，妊婦及び子育て中の保護者を対象に利用者支援を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●保育サービスの充実 ・延長保育促進事業の実施 ・一時・特定保育事業の実施 ・病児・病後児保育事業の実施 ・休日保育事業の実施 ・保育所地域活動事業の実施 ・障害児保育事業の実施 (創) ★・離島未就学児通所支援事業の実施 (創) 子どもの食と居場所づくり支援事業の実施 ＜延長保育実施保育所数:7か所＞ ＜一時預かり延利用児童数:1,535人＞ ＜病児・病後児延利用児童数:452人＞ ＜休日保育延利用児童数:161人＞ ＜地域活動実施保育所数:6か所＞ ＜障害児保育事業補助金 交付保育所数:1か所＞ ＜離島未就学児通所支援数:2世帯＞ ＜子どもの食と居場所づくり 支援事業実施数:1か所＞			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜延長保育実施保育所数:6か所＞ ＜一時預かり延利用児童数:861人＞ ＜病児・病後児延利用児童数:156人＞ ＜休日保育延利用児童数:72人＞ ＜地域活動実施保育所数:1か所＞ ＜障害児保育事業補助金 交付保育所数:1か所＞ ＜離島未就学児通所支援数:1世帯＞ ＜子どもの食と居場所づくり 支援事業実施数:1か所＞			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜延長保育実施保育所数:6か所＞ ＜一時預かり延利用児童数:804人＞ ＜病児・病後児延利用児童数:249人＞ ＜休日保育延利用児童数:17人＞ ＜地域活動実施保育所数:1か所＞ ＜障害児保育事業補助金 交付保育所数:3か所＞ ＜離島未就学児通所支援数:2世帯＞ ＜子どもの食と居場所づくり 支援事業実施数:1か所＞			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜延長保育実施保育所数:6か所＞ ＜一時預かり延利用児童数:514人＞ ＜病児・病後児延利用児童数:237人＞ ＜休日保育延利用児童数:20人＞ ＜地域活動実施保育所数:1か所＞ ＜障害児保育事業補助金 交付保育所数:3か所＞ ＜離島未就学児通所支援数:1世帯＞ ＜子どもの食と居場所づくり (○) 支援事業実施数:2か所＞ 創 離島地域協働型保育支援事業		
直接事業費	決算額	43,531	千円	決算額	38,470	千円	決算額	37,073	千円	決算額	42,007	千円
	うち一般財源	17,910	千円	うち一般財源	20,359	千円	うち一般財源	20,017	千円	うち一般財源	24,192	千円

15 放課後児童クラブ事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
保護者が昼間家庭にいない小学生	小学校の授業終了後及び長期休暇時に，放課後児童クラブにより，児童の健全な育成を図る。	核家族化の進展と，女性の就労が増える中で，市内の小学校区単位に放課後児童クラブを設置し，運営を各地域の運営委員会に委託し，放課後等の児童が安心して過ごせる居場所を提供する。また，児童への適切な支援に対する専門的な見地からの助言や，支援員への研修機会の確保を図るなど，運営の質の向上を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●放課後児童クラブ事業 ・支援員への研修の実施 ・クラブからの気になる児童等についての相談への対応 ・適切な事業運営に向けたクラブへの指導 ・放課後児童対策事業の実施 創 ・小規模放課後児童クラブ委託料独自加算事業 創 ・放課後児童クラブ施設改修事業 創 ・放課後児童クラブ利用者負担金補助金 ・放課後児童クラブ施設改修工事 ・放課後児童クラブ環境改善整備推進事業 ＜実施クラブ教室数:17か所＞ ＜登録児童数:530人＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・放課後児童クラブ施設改修工事 創 放課後児童クラブ作業療法士訪問コンサル事業 ＜実施クラブ教室数:19か所＞ ＜登録児童数:524人＞ 【新型コロナウイルス対策事業】 ・放課後児童クラブ施設整備事業	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・放課後児童クラブ施設改修工事 創 放課後児童クラブ作業療法士訪問コンサル事業 ＜実施クラブ教室数:19か所＞ ＜登録児童数:524人＞ 【新型コロナウイルス対策事業】 ・放課後児童クラブ施設整備事業 ・処遇改善臨時特例事業	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 【新型コロナウイルス・物価高騰対策事業】 ・放課後児童クラブ施設整備事業 ・処遇改善臨時特例事業 ＜実施クラブ教室数:21か所＞ ＜登録児童数:633人＞
直接事業費	決算額 126,727 千円 うち一般財源 40,098 千円	決算額 126,451 千円 うち一般財源 40,621 千円	決算額 167,067 千円 うち一般財源 56,125 千円	決算額 173,068 千円 うち一般財源 53,821 千円

16 神島保育所移転改築事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
神島保育所入所児童	老朽化した施設を建替えを行い，児童が安心・安全に過ごせる施設環境の充実を図る。	神島保育所の移転・建替えを行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・測量・造成設計委託 ・実施設計委託 ・園舎建設工事等(H31年度へ繰越)	・土地の地質調査 ・園舎建設工事等 ・備品購入費等		
直接事業費	決算額 216,504 千円 うち一般財源 32,701 千円	決算額 289,374 千円 うち一般財源 38,174 千円	決算額 0 千円 うち一般財源 0 千円	決算額 0 千円 うち一般財源 0 千円

17 児童福祉施策事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
18歳未満の子ども及び保護者，市民，事業者	児童福祉施策の企画及び調整を行い，安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進する。	笠岡市次世代育成支援後期行動計画の後継計画として，笠岡市子ども条例の理念及び地域の実情を反映し，平成26年度に策定した笠岡市子ども・子育て支援事業計画の普及・啓発につとめるとともに，子育てしやすい環境づくりを推進する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・笠岡市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査 ・第2期笠岡市子ども・子育て支援事業計画策定 (創)・「かさおか子育て応援企業」認定事業 ＜安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合：－％＞ ＜かさおか子育て応援企業認定団体：2団体＞	⇒ ＜安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合：42.4％＞ ＜かさおか子育て応援企業認定団体：2団体＞ 【新型コロナウイルス対策事業】 ・出産育児応援特別給付金　延べ194件	⇒ ＜安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合：－％＞ ＜かさおか子育て応援企業認定団体：2団体＞	⇒ ＜安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合：38.2％＞ ＜かさおか子育て応援企業認定団体：2団体＞ 【新型コロナウイルス対策事業】 ・出産育児応援特別給付金　延べ385件 ・頑張るかさおかっ子応援券給付3,143世帯(5,690人)
直接事業費	決算額 2,997 千円	決算額 19,983 千円	決算額 607 千円	決算額 70,542 千円
	うち一般財源 997 千円	うち一般財源 2,118 千円	うち一般財源 175 千円	うち一般財源 70,399 千円

18 児童手当業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
中学校修了前までの児童を養育している者	次代の社会を担う児童の健やかな育ちを社会全体で応援する。	中学校修了前までの児童の養育者に児童手当を支給する。0歳～3歳未満までは月額15,000円。3歳～小学校修了前までの第1子・第2子は月額10,000円で，第3子以降は月額15,000円。中学生は月額10,000円。所得制限額超過該当者は月額5,000円。所得上限額超過該当者は支給なし。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・児童手当の支給 ・受給者台帳の管理 ＜児童手当支給者数：4,728人＞	⇒ ⇒ ＜児童手当支給者数：4,568人＞	⇒ ⇒ ＜児童手当支給者数：4,346人＞	⇒ ⇒ ＜児童手当支給者数：4,162人＞
直接事業費	決算額 624,956 千円	決算額 609,410 千円	決算額 579,845 千円	決算額 553,906 千円
	うち一般財源 95,729 千円	うち一般財源 95,509 千円	うち一般財源 90,556 千円	うち一般財源 86,411 千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
直接事業費	2,427,506 千円	2,641,085 千円	2,136,344 千円	2,214,723 千円
うち一般財源	814,695 千円	737,983 千円	694,353 千円	787,331 千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
質問で子供食堂のことをお聞きしましたが，是非とも事業者数や援助をお願いいたします。	→	事業者数の拡大に向けて，アフターコロナに焦点を置き利用の拡大も併せて努力します。
学校の統合などでその放課後児童クラブの設置についてについては元の場所に残すか新しいところに設置するか，いろいろ論議されているかと思います。他都市では，校庭内に置かずに民間児童クラブに委託している都市もあると聞いています。その時には民間クラブのバスが学校に迎えにくるのです。そんな方法もひとつの選択肢と思います。	→	今後，学童クラブの在り方については，クラブの方々や地元の方々の意見を聞きながら，子どもにとってベストな状況となるよう進める予定です。
はぐくみ笠岡事業，子育てコンシェルジュ，子育て世代包括支援センター事業をはじめ順調なので，安心して子どもを産み育てる環境になっていると思います。ひとり親家庭，要保護児童対策についても手厚い支援をされており，経済的なストレスからの解消に繋がっています。しかし仕事と育児の両立でストレスを抱えていたり，子どもの発達について悩み相談をする時間がないなど，困っている方もいるかもしれません。AIチャットボット導入が進んでいるようですが，ニーズに的確に対応できるサービスとなるよう細かな検証をお願いします。 幼稚園の跡地利用について，先頭に立って考えてくれている地域もあります。今後数年課題となる問題ですので，ルール，マニュアルのようなものがあるようでしたらある程度のものを御提示いただけるとありがたいかもしれません。地域担当職員が会合に参加してくださり感謝していますが，担当部署が明示されるとよりスムーズかと思います。	→	切れ目のない細やかな寄り添った支援というものは，本市の保健と福祉の融合による得意分野でもあります。今後はDX化が進む中で，しっかりとニーズを把握しAIによる顧客満足の向上に努めます。 幼稚園の跡地利用に関しては，他の公共施設の跡地活用と同様，地域の意向確認や現状把握を行い，公共施設としての活用を検討した後，民間施設としての活用を検討してまいります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A：施策を構成する事業が順調に進行している。 B：施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C：施策を構成する事業が一部遅れている。 D：施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合（市民意識調査）については，目標値には達していないが，子育て世代（20～40代）で，他の年代に比べて満足度が高い結果となっていることから，一定の評価をいただいていると考えられます。今後は，子育て世代以外の世代にも，「安心して産み育てられるまち笠岡市」を印象付けられるよう，目に見える子育て施策の発信ができるよう努めていきたい。 年度末における5歳児の人口と5年前の0歳児の人口を比較した増減割合は，目標値には到達していないが，増加傾向にあることから，施策に一定の効果は認められる。今後，さらに増加割合が増えるよう，現在の施策を柱としながら，市民ニーズを把握しつつ施策の見直しを行ったり，施策の周知も強化していきたい。 子育て意識啓発のための講座の受講については,高校生を対象とした研修会が令和元年度～令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていない。令和5年度から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが（2類相当から）5類感染症へ移行したこともあり,市内高校の意向を確認しながら実施していく予定である。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B

コメント	・虐待等のケース対応が増えている中でも様々な取組を実施されており，大変だと思います。不妊治療の助成件数が大幅に減ったようですが，コロナ感染症の影響でしょうか。 ・指標や事業も順調に推移しています。このままで事業に取り組んでいただきたいと思います。 ・おおむね計画通り進行しており，「安心して子どもを産み育てられると感じている」子育て世代は，市民意識調査の満足度よりも実際は高いと感じています。AIチャットボットが閉庁時にも多く利用されており，満足度も高いとのこと。時間の余裕が子育ての心の余裕にも繋がります。引き続き使いやすいものになるようお願いいたします。要保護事業対策事業につきましては，困難な事案が増えたとのこと心配です。毎年児童虐待の新規登録件数に加え解決件数，もしくは未解決件数の提示もあればと思います。笠岡市に限らず，経済的な不安や自由がなくなるという理由で最初から結婚，子育てを拒んでいる若者が増加しています。子育て意識啓発のための講座で「結婚」「子育て」の純粋な喜びのようなものも紹介していただき，人生の選択の一つになるよう進めていただけると良いかと思います。 ・子どもを健やかに育てるための支援では，相談に来る件数が１３７％。それほど，安心して相談に来られていることは，子育て対応としては，大変嬉しく思っています。さらなる充実を図ってください。 ・市民意識調査の独自の読み取りが興味深く，対象となる子育て世代が満足度が高いのが何よりの結果と思います。しっかりと対面での相談に応じられること，またAIチャットボットの利用とともに幅広いニーズに対応されていることに感謝です。新たな社会事情として父親の育児もあり，孤立した子育てにならないように今後もニーズをとらえた対応に引き続きお願いします。 ・合計特殊出生率の改善のため，様々な施策が行われていると思います。今後も期待しています。

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	3－2	施策名	学校教育の充実	主担当課	学校教育課 教育総務課
戦略の柱	未来戦略 “輝く”				
基本方針	・新しい時代に必要となる資質・能力を備え，笠岡を愛し，共に生きていこうとする子どもたちの育成を目指し，「自立して，共に生きる子どもを育てる学校教育」を推進します。 ・子どもたちが学校生活を通し，多様な個性と出会い，よりよい人間関係を築きながら教育活動を展開するため，一定規模の集団を確保しつつ，就学前教育から義務教育へのつながりを大切にし，「学び」「育ち」「教育環境」の連続性を目指した小中一貫教育を推進します。			関係課	こども育成課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4目標	R5目標	R7目標
自分にはよいところがあると思う児童の割合	単位	目標		81.5	82.0	82.5	83.5
	%	実績	中止	77.1	79.1	—	—
		達成率		94.6%	96.5%	—	—
自分にはよいところがあると思う生徒の割合	単位	目標		78.5	79.0	79.5	80.5
	%	実績	中止	83.9	84.9	—	—
		達成率		106.9%	107.5%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	郷土愛の育成（※①③）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4目標	R5目標	R7目標
児童の地域行事への参加率	単位	目標		70.0	70.5	71.0	72.0
	%	実績	中止	73.5	68.4	—	—
		達成率		105.0%	97.0%	—	—
生徒の地域行事への参加率	単位	目標		60.0	60.5	61.0	62.0
	%	実績	中止	54.9	57.3	—	—
		達成率		91.5%	94.7%	—	—
コミュニティ・スクール実施学校数	単位	目標		19	20	20	20
	校	実績	5	20	20	—	—
		達成率		105.3%	100.0%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	3,019	千円	2,628	千円	2,118	千円	1,466	千円
うち一般財源	3,019	千円	2,628	千円	2,118	千円	1,466	千円

1	郷土愛育成（※①③）

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
幼児・児童・生徒	笠岡の自然，歴史，文化，人物等と関わる学習を通して，郷土への愛着を持った豊かな心を育成する。	・地域学，体験的な学習，交流学習や環境整備を通じて，地域に愛着を持った，豊かな心を育成する。 ・中学2年生において，地域の事務所での職場体験を実施する。 ・地域自慢のCMを作成し，Web上を通じて発信した。（H28～H30までの3年間）

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・いきいきチャレンジ体験事業 ・豊かな心を育む総合推進事業 ・CMで伝える地域自慢コンテスト開催事業			⇒（中止） ⇒			⇒（中止） ⇒			⇒（中止） ⇒		
直接事業費	決算額	3,019	千円	決算額	2,628	千円	決算額	2,118	千円	決算額	1,466	千円
	うち一般財源	3,019	千円	うち一般財源	2,628	千円	うち一般財源	2,118	千円	うち一般財源	1,466	千円

【達成目標2】学力の向上（※①②③④）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4目標	R5目標	R7目標
小学校全国学力・学習状況調査 国語の全国正答率との差	単位	目標		2.6	2.6	2.7	2.9
	ポイント	実績	中止	0.3	−1.6	—	—
		達成率		△	△	—	—
小学校全国学力・学習状況調査 算数の全国正答率との差	単位	目標		0.5	0.5	1.0	1.5
	ポイント	実績	中止	−2.2	−2.2	—	—
		達成率		△	△	—	—
中学校全国学力・学習状況調査 国語の全国正答率との差	単位	目標		0.7	0.7	1.0	1.3
	ポイント	実績	中止	0.4	0.0	—	—
		達成率		△	△	—	—
中学校全国学力・学習状況調査 数学の全国正答率との差	単位	目標		0.2	0.2	0.5	0.8
	ポイント	実績	中止	−1.2	1.6	—	—
		達成率		△	○	—	—
中学校検定チャレンジ事業における「中学校卒業程度」級合格者（申請者に占める割合）	単位	目標			76.7	77.2	77.7
	%	実績	75.8		85.6	—	—
		達成率			○	—	—

※R1より調査の問題がA（基礎）B（活用）と分けず，ABが一体となり問う問題に変更した
※○：達成，△未達成

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	181,210	千円	204,499	千円	192,012	千円	187,449	千円
うち一般財源	87,788	千円	143,213	千円	142,481	千円	136,536	千円

2 情報教育推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
児童・生徒	ICT機器を活用した授業により，児童生徒の学力向上を図る。 発達段階に応じ，メディアや情報が有効に利用・活用できる能力をつける。	新学習指導要領の趣旨を踏まえて,コンピュータ等の更新を行う。普通教室でICT活用授業が実施できる環境・体制づくりを行う。児童生徒の情報活用能力を育成する実践や情報モラル教育の充実を図るために教員研修を実施したり環境・教材を整備したりする。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・各教科・領域等で「情報活用能力」を育成する実践の普及・啓発 ・教員のICT活用指導力・授業力の向上 (創) ☆・普通教室の教師用タブレット端末を活用した授業の推進 ・ICT活用授業の定着 (創)・ICT支援員配置 ・学校連携のための「情報ツール」の整備 ・新学習指導要領に対応した小・中学校ICT環境整備	⇒	⇒	⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	105,992	千円	決算額	115,722	千円	決算額	111,819	千円	決算額	123,637	千円
	うち一般財源	43,973	千円	うち一般財源	66,348	千円	うち一般財源	69,445	千円	うち一般財源	92,334	千円

3 確かな学力・豊かな心育成事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
幼児・児童・生徒	それぞれの発達段階に応じた教育活動を意図的，計画的に実践することにより，確かな学力と豊かな心の育成を図る。	・笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを核として，学校と家庭，地域が一体となった取組を推進する。 ・「学力・学習状況改善プラン」に基づいて，段階的・具体的な取組を行う。 ・放課後や休日に地域人材を活用した補充学習の機会を設けたり，理科支援員を配置したりして，児童の基礎学力の定着・授業の充実を図る。 ・外国語指導助手を増員し，外国語教育(外国語活動)の充実を図る。 ・総合的な学習の時間等の充実を図り，体験的な活動をとおして豊かな心を育成する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●「確かな学力」改善プランの推進と検証 ・取組の重点:「ICT活用による指導方法の工夫改善」 (創) ☆・外国語指導助手を活用した授業の充実 (創) ・観察・実験等を重視した指導の充実 (創) ・デジタル教科書の導入(小・中学校) ○豊かな心を育成するための施策の体系化 ・小学校道徳の指導 ・英語教育推進モデル事業 (創) ●休日・放課後の学習会開催 ・学校規模適正化計画の柔軟な対応の説明会の実施　協議により平成31年度まで一時保留 ・不登校対策実践研究事業 ・中学校学力向上に向けた検定チャレンジのための支援 ・学力向上非常勤講師の配置	⇒	⇒	⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	74,238	千円	決算額	88,129	千円	決算額	79,696	千円	決算額	63,212	千円
	うち一般財源	42,835	千円	うち一般財源	76,217	千円	うち一般財源	72,539	千円	うち一般財源	43,602	千円

4	教職員研修事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
教職員	子どもたちの人間形成の指導と援助のため，教育課程を把握し，教師の力量を高め，よりよい指導の在り方を求める。	・市内全教職員で自主的な研修組織「教育研修所」を組織し，それぞれで部会を組織し，授業研究を中心とした研究に努める。 ・学校を指定して，今日的な教育課題に2か年ないし3か年かけて研究を進める。 ・県教育委員会及び近隣市町教育委員会と連携し，教員の経験年数に応じた研修の企画を提供する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・研究指定校における研究の推進 ・教育研修所の各部会における研修 ・教育課題に応じた研修 ・ICT活用授業の充実に資する研修 ・パワーアップ研修会(35歳以下悉皆)	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	980	千円	648	千円	497	千円	600	千円
	うち一般財源	980	千円	648	千円	497	千円	600	千円

【達成目標3】	共生の心の育成(※①②③④)

達成目標3の指標

指標名	単位		目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4目標	R5目標	R7目標
西備支援学校・笠岡学園・社会福祉施設との交流学習を実施する学校	%	目標		56	60	62	64
		実績	52	52	59	—	—
		達成率		92.9%	98.3%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	1,105,010	千円	983,813	千円	933,230	千円	1,007,689	千円
うち一般財源	809,675	千円	822,085	千円	813,155	千円	803,291	千円

5 生徒指導・進路指導総合推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
幼児・児童・生徒	生徒指導上の諸問題に対して，専門家や関係機関と連携しながら対応するとともに，未然防止の観点から早期支援を充実させる。 キャリア教育の視点でオープンスクールを位置づけ，長期的・総合的な進路指導を充実させる。	・スクールサポートチームを編成し，関係機関と連携しながら対応する。 ・スクールカウンセラーや不登校対策支援員等の校内リソースを活用した支援を行う。 ・子育て支援課と連携しながら，就学前からの支援を行う。 ・教育相談室・教育支援センターへのカウンセラーの配置を充実をさせる。 ・オープンスクールへの参加等をキャリア教育に位置づける。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●いじめ対策専門指導員の配置 ●いじめのない集団づくりの実践 ●関係機関と連携したチーム対応 ●教育相談室等相談体制の充実 ●ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ等や関係機関の積極的な活用 ●早期からの個に応じた支援体制組織の確立と活動 ●巡回カウンセラー等の活用と連携 ●就学前からのスクールソーシャルワーカー活用実践研究事業	・特別支援教育指導員の配置 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒3年間の配置事業終了	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	18,742	千円	決算額	39,828	千円	決算額	36,835	千円	決算額	43,208	千円
	うち一般財源	14,338	千円	うち一般財源	28,625	千円	うち一般財源	27,913	千円	うち一般財源	39,780	千円

6 幼児教育推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
幼児・保護者・教職員	幼児の健やかな心身の成長を助長するために，教職員や保護者，幼児教育関係機関等が一体となって，子育て支援を行っていく。	・教育審議会の答申に基づき，保護者の要望や地域の状況に応じて，平成24年度から全園で3歳児保育を実施することとした。 ・子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の充実を図り，その充実を図る。 ・園が保護者や地域に意図的・計画的に学びの場や相談の場を設定して，子育て力の向上を図る。 ・幼と小の教職員の交流や子どもたちの交流活動を推進し，幼と小との円滑な接続を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●幼稚園教育・施設の充実 ・3年保育の実施と充実 ・子育て支援アンケート調査 ●家庭教育の充実 ●幼稚園や保育所（園）と小学校との連携 ●子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の実施 (創) ●就学前教育研修会の実施 ・就学前からのスクールソーシャルワーカー活用実践研究事業（再掲）	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	3,103	千円	決算額	9,102	千円	決算額	7,542	千円	決算額	2,025	千円
	うち一般財源	2,560	千円	うち一般財源	2,600	千円	うち一般財源	2,048	千円	うち一般財源	2,025	千円

7 学校施設耐震化事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
児童・生徒及び各地域住民	教育環境の安全確保及び地域住民の安全拠点の整備を行う。（学校施設耐震化率100%が最終目標）	＜木造校舎耐震化の検討＞真鍋小，真鍋中

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	＜木造校舎耐震化の検討＞真鍋小，真鍋中	⇒	⇒	⇒

直接事業費												
決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

8 学校維持管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
園児，児童，生徒	学校施設での安全で，安心な学習・生活環境を確保する。	・教育財産の管理及び取得処分 ・学校施設管理の業務委託 ・学校施設台帳整備 ・学校施設等の建築整備及び国庫補助事務

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・教育財産の管理及び取得処分 ・学校施設管理の業務委託 ・学校施設台帳整備 (創) ・学校施設等の建築整備及び国庫補助事務 ＜トイレ洋式化工事：4校＞ ＜教育施設法定点検：9校・4園＞ ＜北木中教員住宅解体工事＞ ＜大島小屋外トイレ解体工事＞ ＜中央小屋内運動場トイレ改修工事＞ ＜ブロック塀改修工事：5校＞ ＜真鍋中裏法面災害復旧工事＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜トイレ洋式化工事：8校＞ ＜教育施設法定点検：9校・4園＞ ＜屋内運動場照明LED化：4校＞ ＜吉田小学校外壁爆裂修繕工事＞ ＜大井小学校屋内運動場大規模改修実施設計＞ ＜笠岡小学校ブロック塀改修工事＞ ＜学校施設長寿命化計画策定＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜トイレ洋式化工事：5校＞ ＜教育施設法定点検：9校・4園＞ ＜大井小学校屋内運動場大規模改修工事＞ ＜笠岡東中学校屋内運動場大規模改修実施設計＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜トイレ洋式化化工事：5校＞ ＜学校施設法定点検：9校・3園＞ ＜笠岡東中学校屋内運動場大規模改修工事＞ ＜笠岡東中学校屋内運動場スロープ設置工事＞ ＜笠岡西中学校災害復旧工事＞

直接事業費												
決算額	230，446	千円	決算額	186，302	千円	決算額	204，490	千円	決算額	260，187	千円
うち一般財源	158，901	千円	うち一般財源	146，086	千円	うち一般財源	136，869	千円	うち一般財源	128，890	千円

9 特別支援教育推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
幼児・児童・生徒	「特別支援教育推進計画」に基づいて，発達障害等，障害のある幼児・児童・生徒の教育的ニーズを早期に把握するとともに，関係機関と連携しながら，幼児期からの一貫した継続的・総合的な支援体制の充実を図る。	・幼稚園や保育所の集団生活において困り感のある幼児を把握し，支援を行う。 ・就学時等に連絡会を実施し，関係者が情報を共有しながら継続的な支援を行う。 ・教育相談室に巡回カウンセラーを配置し，ケースに対する専門的なアドバイスを行う。 ・幼稚園と小・中学校における組織的な支援を充実させるため，教育支援員を配置する。 ・笠岡学園等の協力を得て，幼稚園教諭，保育士等の研修会の充実を図る。 ・長期的・継続的な支援を充実させるため，相談支援ファイル等を活用する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	(創) ●子育て支援課と連携した「4歳児発達支援事業」の実施 ・個別支援シートに基づく，具体的な支援 ●発達障害に関する巡回相談 ・巡回カウンセラー，教育支援員の拡充 ●非常勤支援員の配置 ・コーディネーター，教育支援員の研修 ・教育支援研修会の実施 ●相談支援ファイルの見直しと青年期・成人期の作成	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・特別支援教育推進委員会の設置	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

直接事業費	決算額	32,198	千円	決算額	44,788	千円	決算額	40,524	千円	決算額	42,280	千円
	うち一般財源	25,198	千円	うち一般財源	33,788	千円	うち一般財源	27,724	千円	うち一般財源	27,280	千円

10 保健体育・安全教育推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
園児・児童・生徒・保護者	危機管理体制の確立，保健体育・安全教育及び食育と学校給食の充実を図り，健康・安全で安心して生活できる学校づくりを推進する。	・学校・保護者への緊急情報配信システムを運用し，不審者情報を共有する。 ・子どもの望ましい食習慣の形成のため，食育の推進を図る。 ・食物アレルギーをもつ子どもの給食についてできるかぎりの対応をする。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・緊急配信メールの活用 ・栄養教諭による食に関する授業の実施 ・学校給食における食物アレルギーへの対応	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒

直接事業費	決算額	28,500	千円	決算額	26,090	千円	決算額	25,348	千円	決算額	24,196	千円
	うち一般財源	27,273	千円	うち一般財源	24,907	千円	うち一般財源	24,165	千円	うち一般財源	24,196	千円

11 就学援助事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
児童・生徒	家庭の経済的理由に左右されることなく学習活動に積極的に取り組める環境を整える	・経済的に困窮している家庭の負担を軽減し，児童生徒の就学を支援する ・へき地に居住する子どもたちへの経済的な支援 ・特別支援教育を必要とする子どもたちへの経済的な支援

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・支給水準及び支給対象者の認定基準の見直し			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	47,138	千円	決算額	43,236	千円	決算額	43,939	千円	決算額	45,966	千円
	うち一般財源	45,579	千円	うち一般財源	41,766	千円	うち一般財源	42,489	千円	うち一般財源	44,618	千円

12 学校運営支援事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
児童・生徒及び各地域住民	学校(園)の環境整えることで，児童や生徒が授業を受けやすいようにする	学校(園)配当予算の令達・会計事務 教材備品の購入・管理等効率的配置 円滑な学校(園)運営の支援 スクールボート・スクールバスに関すること

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・配当予算の適正化を行った上での予算確保 ・学校(園)のコスト意識の向上 ・事務の効率化，情報化 ・教室不足解消事業:大島小学校仮設教室賃貸借事業			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・新型コロナ対策の備品を整備			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・新型コロナ対策の備品を整備			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・新型コロナ対策の備品を整備		
直接事業費	決算額	105,133	千円	決算額	114,345	千円	決算額	92,299	千円	決算額	110,759	千円
	うち一般財源	104,383	千円	うち一般財源	92,547	千円	うち一般財源	87,446	千円	うち一般財源	89,981	千円

13 教育委員会業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
教育委員会	教育行政の充実と教育委員会の適正な運営を図る。	教育委員会の会議に関すること，教育委員に関すること，都道府県教育委員会・市町村教育委員会との連絡調整に関すること

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	教育委員会の開催 教育委員の教育施設訪問 教育委員の先進地視察 総合教育会議の開催			⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	3,795	千円	決算額	3,767	千円	決算額	3,754	千円	決算額	3,782	千円
	うち一般財源	3,795	千円	うち一般財源	3,767	千円	うち一般財源	3,754	千円	うち一般財源	3,782	千円

14 教育総務管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
教育委員会	学校教育・生涯教育・スポーツの各分野にわたり，総合的に教育行政を推進する組織にする。	・事務局の調整・庶務，教育情報の共有 ・事務局の基本計画の作成

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・事務局の調整・庶務，教育情報の共有 ・事務局の基本計画の作成			⇒ ⇒			⇒ ⇒			⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	184,804	千円	決算額	188,563	千円	決算額	183,494	千円	決算額	171,511	千円
	うち一般財源	168,304	千円	うち一般財源	168,563	千円	うち一般財源	174,150	千円	うち一般財源	147,609	千円

15 (創) 学校施設空調設備設置事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
児童・生徒	幼稚園保育室・遊戯室，小・中学校普通教室・特別教室(理科室・音楽室)へ空調設備を設置する。	・空調設備設置工事 金浦小学校，城見小学校，大井小学校，大島小学校，今井幼稚園，尾坂幼稚園， 北木西幼稚園 ・空調設備設置工事実施設計 今井小学校，陶山小学校，吉田小学校，新山小学校，北川小学校，神内小学校

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	空調設備設置工事数:小学校9校											
直接事業費	決算額	186,080	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	1,223	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

16 学校給食業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
児童・生徒・教職員	心身の健全な発達に資するため安全でおいしい給食を提供する。	学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に役立ち，市民の食生活の改善につながることを十分認識し，より安全でおいしい給食を提供するよう，学校給食の充実を図っていく。また学校給食についての理解を深めてもらえるように，概ね月2回の学校訪問，試食会等を実施する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・PFI事業を用いた安価で質の良い学校給食事業の実施 ・ホームページ，学校訪問，給食センターの見学等を利用し，食育啓発 ・関係各課，関係業者との情報交換 ※PFI事業関係(258,496千円)			⇒ ⇒ ⇒ ※PFI事業関係(281,703千円)			⇒ ⇒ ⇒ ※PFI事業関係(287,002千円)			⇒ ⇒ ⇒ ※PFI事業関係(292,815千円)		
直接事業費	決算額	265,071	千円	決算額	327,792	千円	決算額	295,005	千円	決算額	303,775	千円
	うち一般財源	258,121	千円	うち一般財源	279,436	千円	うち一般財源	286,597	千円	うち一般財源	295,130	千円

【達成目標4】	小中一貫教育及び学校規模適正化の実施（※④）

達成目標4の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R7 目標
小中一貫教育の実施（中学校ブロック）	単位	目標		6（試行）	6	6	6
	校	実績	—	6（試行）	6	—	—
		達成率		—	100%	—	—

達成目標4の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	3,548	千円	3,711	千円	3,737	千円	8,082	千円
うち一般財源	48	千円	11	千円	737	千円	5,082	千円

17	小中一貫教育・学校規模適正化事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
学校	学力向上や生徒指導の充実の観点から，全ての学校において義務教育9年間を見通した教育システムづくりを行う。	・笠岡市における小中一貫教育の教育内容・カリキュラムの作成 ・小中一貫教育を推進する教育システム・学校の在り方の構築

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・小中一貫教育推進計画の策定 ・小中一貫教育の研修会・先進校への視察 ・カリキュラムの試作版作成 ・保護者・地域住民への説明会			・小中一貫教育推進計画に基づく計画の推進 ・カリキュラムの作成及び配布 ・保護者・地域住民への説明会			笠岡市教育審議会での検討 ・カリキュラムの運用 ⇒ ・中学校ブロック学校運営協議会設置 ・児童生徒教職員アンケート実施・分析			⇒ ・教職員の合同研修や乗り入れ授業の充実 ・学校運営協議会の実施 ⇒		
直接事業費	決算額	3,548	千円	決算額	3,711	千円	決算額	3,737	千円	決算額	8,082	千円
	うち一般財源	48	千円	うち一般財源	11	千円	うち一般財源	737	千円	うち一般財源	5,082	千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	1,292,787	千円	1,194,651	千円	1,131,097	千円	1,204,686	千円
うち一般財源	900,530	千円	967,937	千円	958,491	千円	946,375	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
2.総合指標，達成目標1はほぼ目標数に達成しています。しかし，達成目標2の多くは未達成になっています。ほかの事業も頑張っていると思いますが，担当部署自己評価がC評価なので，次回以降は是非ともB評価以上にしていただきたいと思います。	→	学力・学習状況調査の結果を受けて，各校や各ブロックでは課題を分析し，課題解決に向けての取り組みを全職員で考え実践したり，ICTを効果的に活用した学習を積極的に取り入れているところです。子どもたちが主体的に学んだり粘り強く学習に向かったりすることができるよう，引き続き取り組んで参ります。
学力は早々に向上するものではないと思います。しかし，多くの事業を行っており岡山県内1位もそう遠くないと確信しています。子供たちが，より一層，自己肯定感を高めながら成長できるよう，引き続き尽力されたい。	→	学校では学力の向上とともに自己肯定感の向上をめざして様々な教育活動を行っております。児童生徒一人一人に居場所があり認められる環境で過ごしたり，一人一人がわかった，できたと実感することが自己肯定感や学力向上につながると考えております。今後も学校と連携し，子どもたちにとって有効な事業が行えるよう努めてまいります。

未来戦略「輝く」とは，ひとりひとりが持って生まれた個性を発揮し自信を持っていろんなことに取り組めるように配慮することが大事と思います。今，小中一貫の教育内容などに議論が進められていますが，子どもの成長はひとりひとり違います。いろんな学校があってもいいと思いますが。	→	一人一人が個性を発揮し，主体的に取り組めるよう支援していくことは大変重要だと捉えております。小中一貫教育では，子ども一人一人の個性を小中の教職員が理解し，協働して指導や支援を行う組織作りを行っております。今後とも，画一的な教育内容を行うのではなく，地域学等で中学校ブロックや各校の特色を生かした教育を進めてまいります。
笠岡小学校と今井小学校の学校規模適正化計画に関して，保護者・地域住民と親身に向き合い，子どもたちが安心して良いスタートがきれるよう交流授業など行ってきたことで令和5年度からの実施にこぎつけたことを評価しBをつけました。金浦中学校ブロック小中一貫教育校についても細かな配慮をもって引き続き対応をお願いします。 学力の向上で結果が出なかったことで低評価になっています。自己有用感を高める中で学力アップを図ってください。英語が小学校でも必修化されましたが，検定チャレンジのための支援を小学校5年からに引き下げる必要性はないでしょうか。自信にもつながると思います。 また，5年度からの小中一貫教育本格実施に向けて，学校・地域・保護者の足並みを揃えて，より充実した教育を提供できるようお願いします。ギガスクール，部活動の地域移行，就学前教育の再編成など笠岡市の教育に携わる方々にとっては，かなりハードだと感じています。学校と教育委員会の意見交換をもっと増やし現場の状況把握をし，必要なサポートできるよう体制を整える必要がありそうです。笠岡市の子どもたちのため，必要な人員の確保をぜひお願いします。	→	○現在も，令和5年度の円滑な統合に向け，今井小学校と笠岡小学校の保護者の方や地域の方が熱心に協議をしてくださったり，学校で交流活動を取り入れたりしていただいております。 金浦中ブロックでは，令和4年2月の保護者アンケートをもとに，保護者，地域の方に説明会を開いております。今後も，HPへの掲載や説明会等を行い，情報共有を図りながら進めてまいります。 ○学力の向上には，「できた」「わかった」という自信や達成感をもち，さらに夢や目標をもって主体的に課題に取り組むことが不可欠です。小学校から，自分なりの目標をもって検定に挑戦することも今後検討してまいります。 ○これからの学校教育は，家庭・地域・学校が足並みを揃え，子どもたちの成長を支えてくことが重要です。そのために，現在6中学校ブロックと1小学校に設置している学校運営協議会では，熟議の時間を確保し，各ブロックでのめざす子ども像や教育活動について，家庭・地域の代表の方と熱心に協議をしております。協議をすることで，課題を共有し，解決に向けて協働することができます。学校と教育委員会も同様で，しっかり協働できるよう，情報共有し，学校現場をサポートできるよう努めて参ります。
総合指標では変更前の目標値であっても，実績値が目標値を達成しています。令和元年度において目標値を達成していたので，令和3年度以降の目標値をより高く設定したのでしょうか。総合目標と達成目標の指標の関係について，「前年度の委員コメントに対する対応・回答」に記述があるが，達成目標のうち 「2　学力の向上」の指標については総合指標との相関を説明できるのでしょうか。	→	総合指標についてはご指摘のとおり，令和元年度に目標値を達成したので，令和元年度の数値をもとに令和3年度以降の目標値をより高く設定したところです。「2 学力の向上」の指標と総合指標との相関については，自己肯定感が高い子どもは，自信をもって様々なことにチャレンジしたりよりよい人間関係を築いたりすることができ，そのことが学力向上へつながると言われております。このことから，学力向上に努めることが自己肯定感の高まりにつながると考えております。
学校教育は先生方がよくして下さっていると思うが，負担が大きく，見えていない部分もある。地域や各種団体等との連携の推進を希望します。また，学力向上に関しては，市内の塾とも連携も考えてみるのはいかがでしょうか。	→	市内では放課後学習やホリデーチャレンジ等，地域の協力をいただきながら補充学習を行っている学校もあります。今後も，地域や外部団体等の協力を得ながら開かれた学校になるよう取り組んでまいります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	コロナ禍で実施が難しかった児童生徒の地域行事への参加率を高め，西備支援学校・笠岡学園・社会福祉施設との交流も感染状況を見て可能な範囲で工夫しながら実施した。そして児童生徒の自分にはよいところがあると思う割合も増加させることができた。 学力の向上について，中学校検定チャレンジ事業における合格者率が高く，全国学力・学習状況調査の結果も中学校数学で改善した。 しかし小学校国語・算数，中学校国語が目標指標に対して未達成であり，次のことを対応策として取り組む。 ・児童生徒の一人一台端末のAIドリルを活用し，学習内容に対する子ども一人一人の理解の状況を日常的に把握することを徹底する。そして児童生徒の学習状況に応じて，学習への取り組み方に対して個別にアドバイスする。さらに，必要に応じて児童生徒への補充学習を行い，基礎学力を向上させる。 ・一人一台端末の効果的な活用，教員の授業力の向上のための資料等をWebに掲載し，校内研修・個人研修を充実させる環境を整える。また市内の好事例をもとにした市内職員研修を実施する。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	C
コメント	・子どもの学力向上も大切ですが，それを支える教員のための働きやすい職場づくりもお願いします。教員が疲弊していては，良い教育はできないと思います。 ・令和3年度の評価はCだったのですが，昨年度もよく頑張っていたと思います。今後も同じように事業に取り組んでいただきたいと思います。 ・自分にはよいところがあると思う子どもたちが増えたことはなにより喜ばしいことです。引き続き自己肯定感を高めることができるよう家庭，地域と合わせ学校でも見守って欲しいと思います。全国学力調査が目標に達しないものもありますが，あと一問正解で達成するとのこと。有効なAIドリル利用や自主学習で結果に繋がることに期待します。中学校検定チャレンジの合格率が高くなったのは喜ばしいことです。更に受験者数を増やし，それぞれの目標に向けて学力アップに繋がるきっかけになることを望みます。英語が小学校でも必修化されましたが，検定チャレンジのための支援を小学校5年からに引き下げる必要性はないでしょうか。担任や先生が体調を崩されたりした場合の早期補充・フォローが改善されることを望みます。子どもたちのため，先生方の負担軽減のため，定年退職後も多様な働き方でサポートいただけるとありがたいと思います。 ・自分にはよいところがあると意識している児童・生徒の割合が100%近いことは，大変いいことだと思いますが，他人から見た私はどうなのでしょうか。そんな面も子どもたちに考えさせたらどうでしょうか（ジョハリの4つの窓）。小中一貫教育については，教育効果の向上する面も多いと思いますが，デメリットを洗い出し，その改善について検討していただきたい。 ・多くの施策を行っていただきありがとうございます。学校教育に様々な課題がある中，子供たちのためにご尽力いただき感謝しています。様々な先生がいらっしゃいますが先生方に個人にのしかかることのないように，分散していける仕組みづくりにもご尽力いただきありがとうございます。子供の自己肯定感を高めながら，先生方の負担を減らし，指導死などが起こらないように引き続きよろしくお願いいたします。 ・学校教員の負担も考慮しながら，各種施策を進めていただきたい。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	3－3	施策名	生涯学習の推進	主担当課	生涯学習課
戦略の柱	活性化戦略 “輝く”				
基本方針	☆市民誰もが自由に学ぶことができ，その成果が適切に活かされる生涯学習社会を構築するため，市民の生涯学習を推進するとともに，環境の整備推進を図ります。 ☆市民一人一人の豊かな学びにより地域力を高め，自立した地域社会の形成を目指します。 ☆行政・家庭・地域・学校・関係機関等の連携を強化し，地域ぐるみで活動の拡大を目指します。			関係課	協働のまちづくり課 子育て支援課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
まちづくり出前講座受講者数	単位	目標		6,000	6,600	6,600	7,200
	人／年	実績	5,651	6,562	9,982	—	—
		達成率		109.4%	151.2%	—	—
「生涯学習の推進」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	12.0	—	12.5(R6)
	%	実績	11.8	—	4.6	—	—
		達成率		—	38.3%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
市内施設における生涯学習講座数	単位	目標		383	430	425	420
	講座	実績	448	434	421		
		達成率		113.3%	97.9%		
図書館への来館者数	単位	目標		65,000	68,000	71,000	77,000
	人／年	実績	62,993	66,414	78,199	—	—
		達成率		102.2%	115.0%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	190,084	千円	190,083	千円	216,029	千円	190,077	千円
うち一般財源	169,451	千円	156,315	千円	168,664	千円	169,091	千円

1 公民館管理運営事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市内公民館利用者（団体）	地域住民の社会教育，学術及び文化に関する各種の事業を行い，市民の教養の向上・健康の増進を図り，生活文化の振興・社会福祉の増進を図る。	中央公民館並びに20地区公民館において，地域の最も身近な学習の場として，主催講座，自主講座を行うとともに，文化祭や体育祭等，地域住民が交流を図り，地域がつながる事業を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●公民館講座 ・中央公民館　主催講座　5 自主講座　49 ・地区公民館　20館　350講座 ●公民館活動助成事業 106事業 ●公民館施設整備事業	⇒ ・中央公民館　主催講座　4 自主講座　50 ・地区公民館　20館　333講座 ⇒ 95事業 ⇒ ・トイレ，空調設備改修 ・屋上防水改修	⇒ ・中央公民館　主催講座　4 自主講座　46 ・地区公民館　20館　341講座 ⇒ 100事業 ⇒ ・調理室改修 ・外壁改修	⇒ ・中央公民館　主催講座　4 自主講座　42 ・地区公民館　20館　320講座 ⇒ 101事業 ⇒ ・屋外階段等・集会室床改修 ・Wi-Fi設置・倉庫解体工事
直接事業費	決算額　102，883　千円	決算額　111，609　千円	決算額　104，271　千円	決算額　108，925　千円
	うち一般財源　86，371　千円	うち一般財源　88，883　千円	うち一般財源　89，672　千円	うち一般財源　96，196　千円

2 図書館事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
図書館利用者（市民及び市内在学・在勤者並びに福山市民）	地域住民のニーズに対応した資料・情報を提供し，安心して学べる場として充実した図書館サービスを行い，子どもの読書活動の推進と市民の自己発見や自己実現の支援を行う。	・安心して学べる施設整備を行い，利用者に求められる資料の収集と情報の提供を行う。 ・ブックスタート事業，保育所・幼稚園への配本事業等を通して，子ども読書推進事業を行う。 ・郷土出身の森田思軒・木山捷平の顕彰を行う。 ・視聴覚ライブラリー資料の管理・提供を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●図書館管理運営事業 ・図書館システムの更新	⇒ ・空調更新及び照明LED化 ・サピエ登録 ・雑誌スポンサー制度導入 ・除菌BOX，網戸設置 ・救マーク認定事業所として認定 ・「出張！かぶとがに号」運行	⇒ ・体温検知システム設置 （手首認証タイプ1台） ・2階トイレ改修 ・屋上防水工事 （本館及びこども図書館1階） ・「おまかせセット」貸出し ●第2次笠岡市子ども読書活動推進計画策定	⇒ ・「紙芝居とおはなしの会」を始めとした対面形型行事の再開 ⇒
	●子ども読書活動推進事業	⇒ ・子ども司書養成講座→中止 ・「わくわく図書館セット」貸出し	⇒ ・子ども司書養成講座→中止	・子ども司書養成講座→中止 （代替事業「図書館司書のおしごと体験会」実施）
	●文学資料管理事業	⇒	⇒	⇒
	●高梁川流域連盟での相互利用	⇒	⇒	⇒
	●視聴覚ライブラリーの運営	⇒	⇒	⇒
直接事業費	決算額　87，201　千円	決算額　78，474　千円	決算額　111，758　千円	決算額　81，152　千円
	うち一般財源　83，080　千円	うち一般財源　67，432　千円	うち一般財源　78，992　千円	うち一般財源　72，895　千円

【達成目標2】	生涯学習によるまちづくり(※②)

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
生涯学習フェスティバル参加者数	単位	目標		1,000	1,200	1,200	1,400
	人／年	実績	170	280	3,150	—	—
		達成率		28.0%	262.5%	—	—
まちづくり出前講座開催数	単位	目標		200	220	220	240
	回／年	実績	185	177	284	—	—
		達成率		88.5%	129.1%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	2,136	千円	1,273	千円	1,281	千円	1,596	千円
うち一般財源	2,136	千円	1,273	千円	1,281	千円	1,596	千円

3	生涯学習推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ，その成果が適切に評価され，生かされる生涯学習社会の実現を図ります。	事業を通じて知識・技能を習得し，生涯学習活動を推進します。 習得した知識・技能を活かし，活力あるまちづくりを実践します。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●市民大学教養講座 ●市町村広域連携講座「県西部の文化」 ●生涯学習諸学級 ●若いいちょうの木の集い ●各種社会教育団体の育成 ●笠岡市生涯学習フェスティバル ●まちづくり出前講座	⇒ 中止 ⇒ 中止 ⇒ ⇒ 中止 ⇒ ⇒ PR動画制作，TV放映 ⇒	⇒ 中止 ⇒ 中止 ⇒ ⇒ 中止 ⇒ ⇒ 舞台発表を収録，TV放映 ⇒	⇒ ⇒中止 ⇒ ⇒中止 ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	2,136	千円	決算額	1,273	千円	決算額	1,281	千円	決算額	1,596	千円
	うち一般財源	2,136	千円	うち一般財源	1,273	千円	うち一般財源	1,281	千円	うち一般財源	1,596	千円

【達成目標3】	家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援(※③)

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R1 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
放課後子ども教室等の実施団体数	単位	目標		7	7	7	8
	団体	実績	10	6	6	—	—
		達成率		85.7%	85.7%	—	—
街頭補導活動中の声かけ件数	単位	目標		660	660	660	660
	人／年	実績	662	637	77	—	—
		達成率		96.5%	11.7%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	10,666	千円	10,209	千円	13,677	千円	9,579	千円
うち一般財源	4,300	千円	3,205	千円	3,485	千円	4,679	千円

4 青少年健全育成事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
就学前幼児～20歳の青少年	青少年が自律性を発揮し，自己選択，自己責任，相互支援を担いながら，自己実現を図り，社会的に自立した個人として成長するよう支援します。	各種事業を通して，知識・技能を学ぶとともに，相互の親睦を深め，ボランティア精神の醸成を行います。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●たくましい笠岡っ子 ●スピーチコンテスト ●高校VYS事業 ●明るい家庭づくり作文 ●放課後子ども教室 ●地域学校協働本部 ●土曜日教育支援	⇒ ⇒ 中止 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	4,667	千円	決算額	4,490	千円	決算額	3,533	千円	決算額	3,342	千円
	うち一般財源	1,797	千円	うち一般財源	1,582	千円	うち一般財源	1,332	千円	うち一般財源	1,296	千円

5 青少年育成センター運営業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
笠岡市，里庄町の児童・生徒及び20歳未満の有職・無職の少年	青少年の非行や問題行動の未然防止と健全な育成を図ります。	補導活動，相談活動，環境浄化活動及び啓発活動を行うとともに，関係機関・団体と連携し，連絡会議，情報交換会，研修会等を実施します。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●育成センター事業 ●岡山県少年補導関係者研修会	⇒	⇒	●笠岡市総合教育相談支援センター(青少年健全育成業務)に業務移管 ●岡山県少年補導関係者研修会

		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	580	千円	決算額	621	千円	決算額	619	千円	決算額	150	千円
	うち一般財源	580	千円	うち一般財源	621	千円	うち一般財源	619	千円	うち一般財源	150	千円

6 生涯学習等管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
生涯学習本部会委員，企画委員，懇話会委員，青少年問題協議会委員，青少年健全育成連絡協議会委員	生涯学習並びに青少年の健全育成を推進するための体制づくりと環境づくりを行います。	生涯学習の推進方法及び青少年の健全育成に関する基本的な方針や計画を決定し，関係機関と総合調整を行います。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・社会教育委員会事務 ・生涯学習推進本部事務 ・青少年問題協議会に関する事務 ・青少年健全育成連絡協議会に関する事務	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	225	千円	決算額	99	千円	決算額	119	千円	決算額	300	千円
	うち一般財源	225	千円	うち一般財源	99	千円	うち一般財源	119	千円	うち一般財源	300	千円

7	北木島宿泊研修事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
児童，生徒，一般	島の特性を活かした海や北木石といった自然の資源による学習や交流を通して，青少年の健全な発達ををを促し，島の活性化に資する。	北木島宿泊研修所の管理運営を指定管理によって運営し，島ならではの宿泊体験学習を提供する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●宿泊研修所の管理運営	⇒	⇒ ●3階研修室空調の設置	⇒

直接事業費	決算額	5，194	千円	決算額	4，999	千円	決算額	9，406	千円	決算額	5，787	千円
	うち一般財源	1，698	千円	うち一般財源	903	千円	うち一般財源	1，415	千円	うち一般財源	2，933	千円

【達成目標4】社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援(※④)

達成目標4の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
子どもフェスティバル参加者数	単位	目標		1,500	1,600	900	1,700
	人／年	実績	―	中止	89	―	―
		達成率		―	5.6%	―	―
学校支援活動への参加者数	単位	目標		32,000	32,000	32,000	32,000
	人／年	実績	32,312	11,192	30,640	―	―
		達成率		35.0%	95.8%	―	―

達成目標4の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	1，912	千円	623	千円	570	千円	430	千円
うち一般財源	1，912	千円	623	千円	570	千円	430	千円

8	社会教育関係団体等との協働及び支援

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
社会教育関係団体 市民	・各社会教育関係団体や市民との協働を進めることで，市民の知恵や力がまちづくりに発揮する。	・社会教育，生涯学習に寄与する団体の活動等を支援する。また，各団体の指導者，リーダー等の育成を支援する。 ・社会教育関係団体との協働で青少年の健全育成に資する事業の企画・運営を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●子どもフェスティバル	⇒ 中止	⇒ 中止	⇒ 感染対策を徹底し，小規模イベントを4回に分けて開催
	●笠岡市PTA連合会への支援	⇒	⇒	⇒
	●笠岡市子ども育成連絡協議会への支援	⇒	⇒	⇒
	●笠岡市婦人協議会への支援	⇒	⇒	⇒
	●託児ボランティア「たんぽぽ」への支援	⇒	⇒	⇒

直接事業費	決算額	1，912	千円	決算額	623	千円	決算額	570	千円	決算額	430	千円
	うち一般財源	1，912	千円	うち一般財源	623	千円	うち一般財源	570	千円	うち一般財源	430	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	204,798	千円	202,188	千円	231,557	千円	201,682	千円
うち一般財源	177,799	千円	161,416	千円	174,000	千円	175,796	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
これまで高まっていた生涯学習の熱が，コロナ感染拡大により多少下がり気味に感じていますが，各公民館では感染対策をこうじながら今できる小さな集いの中でいろいろ工夫して頑張っています。笠岡市においても公民館活動のビジョンをしっかり立てて地域の生涯学習の推進に努めていただきたい。	→	これからの公民館活動は，コロナ禍において，これまでの対面学習だけでなく，オンライン学習に取り組むために，Wi-Fi環境を整備し，他の社会教育施設との連携を目指します。また，南海トラフ巨大地震等，大災害発生が危惧されている中，地域の防災拠点としての役割を担うことを推進します。さらに学習の成果を地域課題の解決に向けた活動につなげ，地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進して参ります。
コロナ禍にも関わらず，まちづくり出前講座の受講者数が目標値を達成たのは，市民のニーズにあったものがあるからだと思います。時代に必要な更なる新規開拓を期待しています。 公民館，図書館についても工夫満載で一年を通して楽しく利用できたと思います。おまかせセットの貸し出しも日頃借りないものが入っていて司書さんのユニークさを感じ温かい気持ちになりました。公民館は，Wi-Fi環境が整いつつあります。他部署と連携をとっていただき，生涯学習はもちろん，避難場所としての利用，ギガスクールの問題解消など有効利用ができるようお願いいたします。 生涯学習フェスティバルや子どもフェスティバルはコロナ禍だからできる楽しい内容を模索してくださりありがとうございます。こういったイベントは市民に元気を与えていると感じます。引き続きよろしくお願いいたします。 託児ボランティア「たんぽぽ」の高齢化が進んでいるとのこと。利用希望があれば支えてくださる持続可能な団体であってほしいと願います。	→	まちづくり出前講座については，引き続き，感染防止対策を取った上で，市民のニーズに応じたメニューを展開して参ります。 公民館のWi-Fi環境の整備は，令和5年度を目処に完了予定であり，今まで以上に市民が利用しやすい環境を整えて参ります。また，中央公民館及び地区公民館は笠岡市の災害時指定避難所となっていることから，自主防災組織等と連携し，地域防災力の強化を図ります。 図書館では，コロナ禍による利用制限のため，子どもや高齢者の利用が困難な状況になったため，「おまかせセット」の提供等により，誰でも気軽に本を借りることができる対応をしました。引き続き，幅広い世代の人が利用しやすい図書館となるような取組を行うとともに，イベントの企画・開催等により，読書の楽しさを伝えていくよう努力して参ります。 生涯学習イベントについては，感染状況を注視しながら，コロナ禍前の規模に戻していきたいと考えております。 託児ボランティア団体の活動支援とともに，子育て世代を応援するための託児サービスのあり方についても研究して参ります。
まちづくり出前講座受講者数も前年度より1000人程増え市民意識調査の反映に期待します。図書館事業に関してもコロナ禍で閉館があっても様々な工夫のおかげだと実感しています。今年の公民館事業は，とても分かりやすく頭が下がる思いで伺いました。生涯学習フェスティバルもウィズコロナに合わせた取組をされ，街頭補導活動も地道なことですが，これからも潜在的な問題に取り組んでいただきたいと思います。	→	まちづくり出前講座については，引き続き，感染防止対策を取った上で，市民のニーズに応じたメニューを展開して参ります。 図書館では，今後も，誰もが利用しやすい図書館を目指し，業務に取り組んで参ります。 生涯学習フェスティバル等，イベントについては，感染状況を注視しながら，コロナ禍前に規模に戻していきたいと考えております。 青少年健全育成活動については，家庭・学校・地域の関係者と連携しながら取り組んで参ります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【「生涯学習の推進」の満足度(市民意識調査)】 年齢別満足度を分析したところ，30代以下の満足度が高い一方，構成人数の多い60代の満足度が著しく低い(-9.2%)ことから，退職後で学習意欲のある60代を対象とした講座の整備に努める。 【市内施設における生涯学習講座数】 コロナが5類移行したことから，公民館講座だけでなく，社会福祉協議会等とも連携しながら，学びの機会を拡充していきたい。 【放課後子ども教室等の実施団体数】 コロナが5類移行したことから，活動を休止している団体に再開を働きかけ，活動の維持を図りたい。 【街頭補導活動中の声かけ件数】 令和3年度末に笠岡市と里庄町で構成する笠岡青少年育成センターが廃止され，本業務は令和4年度から笠岡市総合教育相談支援センターに移行した。近年は顕在化する問題行動が減少する一方，インターネットによるトラブル等，潜在的な問題が発生していることから，職員体制を見直し，見守りパトロールから学校や家庭への働きかけに対策の軸足を移すこととなった。登下校時の声かけに努めるとともに，今後，指標見直しを検討したい。 【子どもフェスティバル参加者数】 コロナが5類移行したことから，コロナ前と同様，ゴールデンウィーク中の開催とし，参加規模もコロナ前に近づける。 【学校支援活動への参加者数】 コロナが5類移行したことから，学校における地域と連携した活動が前年度以上に再開されると予想されるので，補助対象経費の相談等，各地域の活動団体をサポートしていきたい。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	・図書館事業は様々な工夫を凝らした取組を次々実施されており，好感が持てます。 ・順調に推移しているように思います。コロナ禍をすぎて，いろいろな事業の参加者数等も今後増加すると考えます。 ・60代の「生涯学習の推進」の満足度が低いのは大変意外でしたが，利用者か否か分かるのでしょうか。利用する方は複数講座を受講される方もいる一方，一歩踏み出せない方もいらっしゃいます。もともとできている空間に入る勇気のようなものも関係しているのかもしれません。または，コロナ禍で思うように学べないことへの不満なのか・・・。学びたい方に学べる環境が整備されることを願います。また公民館で学校支援にも繋がる分野の講座を開催し，人材確保につながればよりよい形が生まれそうです。講師の補充に関しては新たな分野への開拓があると新規利用者にも繋がるかもしれません。「まちづくり出前講座」については魅力的なものがたくさんあり，受講者数も目標を十分達成していますが，未就学利用施設や学校，PTA，企業などにも広報されると更に喜ばれる団体が多いと思います。図書館来館者数の達成率の高さにつきましては年々楽しい真新しい要素を加え，市民に愛されている結果だと思います。 ・生涯学習の推進には，環境の整備が必要ですが，拠点である公民館を将来的には，順次平屋建にしたらどうでしょうか。生涯学習は自ずから学ぶもの。ある公民館での講座生・サークル生が自分たちでお互いの発表に参加して，学び合う会を計画し，準備・進行・片付けをやられました。これこそが生涯学習の拡がりだと思います。 ・市民がいくつになっても学べる生涯学習社会の構築をありがとうございます。図書館の事業に関してもコロナ禍でも代替え事業を行ってくださるなどありがとうございました。達成目標3の指標の該当補導活動中の声掛け件数の数値が変わり見直されるとのこと。検挙された件数だと実情が問題が起こったかどうかにありますが，日々街頭補導活動で問題を見つけることより，大切なことは挨拶だけでも見守られていると感じる児童を増やしていただくことかと思います。あいさつなど声をかけてくださる大人がいることにより自己肯定感が上がるそうです。問題を浮かび上がらせることも大切ですが，携わってくださる方が引き続き増えていくことも大切に思います。先生方だけでなく対策の軸足は家庭に移されるとのことで，地域も含め働きかけも期待しています。また，未達成指標への対応策についてですが，具体的にわかりやすく助かりました。補足説明などありがとうございました。今後共，よろしくお願いします。 ・生涯学習の推進は，ほかの自治体に転居する方々の抑止にもつながると思いますので，引き続き期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	3－4	施策名	スポーツの振興	主担当課	スポーツ推進課
戦略の柱	未来戦略　“輝く”				
基本方針	☆子どもから高齢者まで，誰もが生涯を通して健康で活力に満ちた生活を送るため，誰でもスポーツが楽しめるまちを目指します。 ☆優れた選手を育成するため，競技団体，クラブチーム．部活動等との連携を深め，競技力強化を行います。 ☆施設の整備・改修を計画的に進めるとともに，スポーツ・レクリエーション活動に取り組める場を提供します。			関係課	健康推進課 都市計画課 学校教育課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
各種スポーツ大会・教室の参加者数（市民スポーツ大会・教室）	単位	目標		1,500	1,600	1,800	1,900
	人／年	実績	1,141	1,431	1,828	—	—
		達成率		95.4%	114.3%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	生涯スポーツ活動の活発化（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
週1回以上スポーツをしている人の割合（市民意識調査）	単位	目標		—	38.0	—	42.0(R6)
	%	実績	34.9	—	38.5	—	—
		達成率		—	101.3%	—	—
小・中学生の50m走（男女別平均タイム）	単位	目標			男 8.60	男 8.55	男 8.50
					女 9.10	女 9.05	女 9.00
	秒	実績	—	男 8.64	男 8.64	男 —	男 —
				女 9.18	女 9.12	女 —	女 —
		達成率			99.5%	—	—
					99.8%	—	—
地域のスポーツクラブ等会員数（総合スポーツクラブ，ジム）	単位	目標		300	2,100	2,150	2,200
	人	実績	1,610	265	2,297	—	
		達成率		88.3%	109.4%	—	

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	7,723	千円	4,954	千円	1,991	千円	5,489	千円
うち一般財源	7,598	千円	4,895	千円	1,991	千円	5,489	千円

1 スポーツ行事開催事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市民	気軽にスポーツを楽しめるようきっかけづくりをし，健康づくり，体力づくりを支援する。	・スポーツ教室の開催 ・スポーツ大会の開催 ・スポーツ行事の支援

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●スポーツ教室を実施し，市民の健康づくりに努めた。 （参加者：1，203人） ●市民スポーツ大会・ロードレース大会等を開催し，健康の増進，ニュースポーツの普及活動を推進した。 （参加者：2，354人） ●ファミリーウォーキング大会実施に対して助成した。	⇒コロナ禍の影響により中止せざるを得ない教室があった （参加者：740人） ⇒コロナ禍のため市民スポーツ大会の一部種目を中止，また各ロードレース大会は中止とし，市民を対象とする代替大会を行った （参加者：1，385人） ⇒	⇒コロナ禍の影響により中止せざるを得ない教室があった （参加者：384人） ⇒コロナ禍のため市民スポーツ大会の一部種目を中止，また各ロードレース大会も一部中止とし，市民を対象とする代替大会を行った （参加者：1，423人） ⇒	○コロナウイルス感染拡大で近年中止していたロードレースを再開した。 10.16　第17回べいふぁーむ駅伝大会 12.18　カブトガニ駅伝大会（参加者：218人（28チーム）） 2.5　第17回べいふぁーむ笠岡マラソン大会（参加者：106組631人） ○ファミリーウォーキング大会の助成金交付
直接事業費	決算額　6，382　千円	決算額　4，143　千円	決算額　1，813　千円	決算額　4，829　千円
	うち一般財源　6，257　千円	うち一般財源　4，084　千円	うち一般財源　1，813　千円	うち一般財源　4，829　千円

2 スポーツ振興業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市民	気軽にスポーツを楽しめるようきっかけづくりをし，健康づくり，体力づくりを支援する。 また，年度ごとに施策の検討を行い，ニーズに対応する。	・ニュースポーツの普及 ・子どもの体力向上

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●市内の保・幼稚園児を対象に幼児スポーツ教室を実施し，プレゴールデンエイジ期の運動能力の基礎習得に努めた。 （新山保育所・金浦保育園　6/26から1/9まで各10回　延べ数　252名） ●スポーツ推進委員を市内に派遣し，ニュースポーツを通じて生涯スポーツの推進に努めた。 （派遣回数：37回） （派遣人数：130人） ●スポーツカレンダーの発行 （回数：年間4回）	コロナ禍のため中止 ⇒ （派遣回数：22回） （派遣人数：119人） ⇒ （回数：年間4回）	コロナ禍のため中止 ⇒ （派遣回数：8回） （派遣人数：30人） ⇒ （回数：年間4回）	○幼保対象の幼児スポーツ教室は，コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ○スポーツ推進委員を市内に派遣し，ニュースポーツ推進による生涯スポーツの推進継続した。 派遣回数：23回 派遣人数（延べ）：102人 ○スポーツカレンダー発行 回数：年間4回 ○生涯スポーツの推進で，軽運動とニュースポーツを兼ねた教室を実施 場所：笠岡総合体育館 回数：5回 参加者（延べ）：44人
直接事業費	決算額　1，341　千円	決算額　811　千円	決算額　178　千円	660　千円
	うち一般財源　1，341　千円	うち一般財源　811　千円	うち一般財源　178　千円	うち一般財源　660　千円

【達成目標2】	競技スポーツの強化・アスリートの育成（※③）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
全国・世界大会延べ出場者数	単位	目標		70	80	85	95
	人／年	実績	38	93	98	—	—
		達成率		132.9%	122.5%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	1,676	千円	330	千円	515	千円	5,223	千円
うち一般財源	1,676	千円	330	千円	515	千円	1,874	千円

3	競技スポーツ強化事業

事務事業の目的 対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
市民	スポーツ人口を増やし，競技スポーツを志向する人の競技力の向上を図る。	・スポーツ関係団体の支援 ・指導者の育成，資質の向上

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●選手への支援 スポーツ関係団体及び選手の活動支援 （賞揚：世界大会3人，全国大会109人，中国大会78人） ●大会・強化練習等の開催，誘致 ＜宝くじスポーツフェアはつらつママさんバレーinかさおか（10/27）＞ 元オリンピック選手らのチームと地元ママさんバレーチームの交流試合，中学生を対象とした教室や，指導者教室を実施し，トップアスリートに直接ふれあうことで，競技力の向上，青少年の健全育成やコミュニティ活動の充実・強化を図った。 ＜トライフープ岡山シーズン公式試合　（12/21，22，2/7，8）＞ プロバスケットボールB3リーグに所属するトライフープ岡山の公式試合を誘致し，4試合開催した。 トップチームの試合を間近で観れる機会を提供し，競技力の向上を図った。	⇒ （賞揚：全国大会38人，中国大会39人） ⇒ ＜シーガルズ公開練習試合開催（9/27）＞ トップチームの試合に触れる機会を提供し，競技力の向上を図った。 ＜トライフープ岡山シーズン公式試合　（1/23，24）＞ プロバスケットボールB3リーグに所属するトライフープ岡山の公式試合を誘致し，2試合開催した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため無観客での開催となった。	⇒ 〈東京オリンピック出場に係る支援〉 東京オリンピックに出場した長迫吉拓選手の私設応援団に対する活動補助金 （賞揚：世界大会1人，全国大会51人，中国大会31人） ⇒ 〈四国アイランドリーグPLUS公式戦　（5/15）〉高知ファイティングドッグス対愛媛マンダリンパイレーツの公式戦を開催した。 〈岡山シーガルズホーム開幕戦（10/16・17）〉 岡山シーガルズ対埼玉上尾メディックスの公式試合を開催した。 ＜トライフープ岡山シーズン公式試合　（11/6，7）＞ トライフープ岡山対岐阜スゥープスの公式試合を開催した。 〈岡山リベッツ公式戦（2/19）〉 岡山リベッツ対琉球アスティーダの公式戦を開催した。	○市制施行70周年記念事業として，宝くじスポーツフェアドリームベースボールを開催（7/16谷沢健一，藤田平，村田兆治による指導者クリニック，7/17元NPB選手20名による少年少女野球教室，サイングッズなどの抽選会，地元選抜チームとのアトラクションやエキシビジョンマッチ） ○四国アイランドリーグplus公式戦を誘致（7/23.24高知ファイティングドッグス×ソフトバンクホークス3軍） ○ノジマTリーグ公式戦誘致（11/26岡山リベッツ×TT彩たま，11/27岡山リベッツ×琉球アスティーダ） ○Vリーグ公式戦誘致（1.21-22岡山シーガルズ×KUROBEアクアフェアリーズ） ○スポーツ賞揚（世界大会：3件，全国大会60件，中国大会：36件，合計：99件189人（8団体含む））

直接事業費	決算額	1,676	千円	決算額	330	千円	決算額	515	千円	決算額	5,223	千円
	うち一般財源	1,676	千円	うち一般財源	330	千円	うち一般財源	515	千円	うち一般財源	1,874	千円

【達成目標3】	誰もが利用しやすいスポーツ施設の整備（※④）

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
市内体育施設の利用人数	単位	目標		250,000	270,000	280,000	290,000
	人／年	実績	214,116	189,699	274,620	—	—
		達成率		75.9%	101.7%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	3,113	千円	6,561	千円	105,142	千円	20,617	千円
うち一般財源	3,113	千円	1,761	千円	18,192	千円	5,217	千円

4	(創) 体育施設整備事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
市民	気軽にスポーツを楽しめるようきっかけづくりをし，健康づくり，体力づくりを支援する。	・体育施設の管理運営 ・指定管理者との調整業務 ・公園管理者との調整業務

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●岡山県笠岡陸上競技場の2種公認継続の認定を受けるため，必要な器具等の整備を行った。引続き2種公認の認定を取得したことで，地方における主要な大会を開催することができるほか，利用者の練習環境を向上することができた。	●べいふぁーむ笠岡マラソン大会ハーフコース公認継続認定を取得した。引き続き公認を取得することで全国のマラソン愛好者や市民参加者の増加を図った。 ●茂平運動場及び城見台運動場トイレ改修工事を実施し，利用者の利便性の向上を図った。	●茂平運動場の照明をLEDに更新し，利用者の利便性を高めるほかに，大幅な電気使用量の削減に繋がった。 ●新型コロナ対策に係る顔認証検温システムの導入及び体育センター多目的室床張替工事 ●体育施設の老朽化に係る改修事業（体育センター電動カーテンレール取替え工事・海洋センターの屋根修繕及び50mプールの撤去） ●体育施設利用予約の利便性向上に係る新システム導入 ●指定避難所としての機能を維持するため，総合体育館の防災照明修繕及びメインアリーナの空調整備改修工事を行った。	○スポーツ施設照明設備LED化事業として，岡山県笠岡陸上競技場，体育センターアリーナ，市営球場，運動公園テニスコートの照明をLED化。 ○総合体育館，岡山県笠岡陸上競技場，体育センターにFREE-WIFI設備を設置（災害時の連絡手段の確保及び利用者の利便性の向上） ○茂平グラウンド内トイレの老朽化に伴う解体除去撤去 ○どんぐり球場観客席屋根裏貼り撤去 ○総合体育館事務室・会議室空調更新工事

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	3,113	千円	決算額	6,561	千円	決算額	105,142	千円	決算額	20,617	千円
	うち一般財源	3,113	千円	うち一般財源	1,761	千円	うち一般財源	18,192	千円	うち一般財源	5,217	千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	12,512	千円	11,845	千円	107,648	千円	31,329	千円
うち一般財源	12,387	千円	6,986	千円	20,698	千円	12,580	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
市内体育施設の利用者数がコロナ禍で減少している。利用者数を増加するのは難しいと思いますが，引き続き，検討の上，積極的に取り組まれたい。	→	施設の情報や，イベント情報などを広めるために，スポーツ推進課のアカウントを作成し，情報発信を始めました。コロナ禍も落ち着いてきて，利用者についてもコロナ禍以前とまではいきませんが，近い水準までは戻りつつある状態です。今後も，感染対策等を継続し，安心して使用していただけるよう運営を続けていきます。
市民の健康づくりに生涯スポーツ・ニュースポーツの普及に取り組まれていることに感謝申しあげます。令和4年7月よりスポーツインストラクターを任用され各地域へニュースポーツの普及活動に取り組まれていることに期待いたします。	→	現在，各地区公民館で行われている運動系の活動等に参加させていただき，アンケート調査を実施しながら，参加されている方や，公民館を利用されている方のニーズの把握を行っており，スポーツインストラクターにより実施する新規事業へ反映させる予定です。
コロナ禍でもスポーツ大会・教室の参加者が戻ってきたことは良いことです。 地元でプロの公式試合を観ることは良い刺激になり，スポーツの強化に繋がると思います。指導していただく機会もあると競技力，向上心もさらに高まると思います。 ニュースポーツの普及については年々派遣回数，人数が減っています。スポーツを日頃しない人，障がいのある人，子どもにも手軽に楽しんでもらえると思いますので，引き続きお願いします。家族やグループで体育館が利用できることを知らない市民が意外といますのでPRしていただき，今ある競技に加えニュースポーツの説明書をもとにレンタルできれば身軽にチャレンジできると思いますがいかがでしょうか。 部活動の地域移行が動き出しました。御協力いただける人材探しなど大変だと思いますが，関係部署と連携していただき，子どもたちがしたいスポーツを自由に選べる環境となるようお願いいたします。	→	コロナ禍が落ち着きつつある状況下ではありますが，今後も感染拡大防止を行いながら施策を行って参ります。 今後の予定ではございますが，次年度以降もプロスポーツの試合の誘致は継続し，観戦機会の拡大に努めます。また，プロによる教室の開催も検討中です。 ニュースポーツの普及については，今後もスポーツ推進委員を中心に進めますが，令和5年2月にニュースポーツフェスティバルを開催予定です。開催にあたっては福祉部局と調整中ではありますが，障がいの有無に関係なく，参加者が楽しめるスポーツイベントとする予定です。 このように，今後も他部署と連携しながら皆さんが楽しんでいただける環境を整えます。 部活動の地域移行については，関係部署と連携し，また団体とも協議・連携をし進めて行く所存でございます。
体育施設整備事業に力を入れられ整備や改修をしていただき，ありがとうございました。コロナ禍で非常に厳しい状況だと思いますが，こういった時だからこそ，今後の対策，スポーツ振興は市民にとって，心身共に重要な機会だと思います。この2年間のパンデミックの経験値を生かしていただき，今後の市民の健康の基盤としての活動を期待します。	→	今後とも，体育施設の整備に努め，利用者が安心・安全に使える施設としていきます。 コロナ禍が落ち着き，今後は徐々にスポーツ人口も増加してくるなかで，スポーツ推進課では，今年度からスポーツインストラクターを採用しました。誰でもできる簡単な体操から，どの世代でも楽しめるニュースポーツ体験など，様々な事業を笠岡市の体育施設や，地区公民館へ行って行う予定としています。笠岡市民の方に，週1回でも体をうごかす機会をつくり，スポーツを楽しいと思えるような環境作りを目指します。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	達成目標1の指標について，コロナウイルス感染拡大の影響で，運動する機会等が少なくなったため，目標を達成できなかったのではないかと思われるが，5類移行に伴う社会活動等の再開により，今後運動する機会が増え，改善されると思われる。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	A	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・四国アイランドリーグplus公式戦やノジマTリーグ公式戦などの誘致に尽力されており，地元アスリートの育成に一役買っていると感じます。 ・順調に推移しているように思います。コロナ禍をすぎて，いろいろな事業の利用人数等も今後増加すると考えます。 ・コロナ禍でも状況を見ながら対策をすることで市民へのスポーツ振興に努め，ほとんどの目標値を達成したことから全員一致でのAとなりました。体育施設整備事業についてはLED化，また災害時の避難場所としてWi-Fi設備の整備も進みました。週一回以上スポーツをしている人の割合，各種大会・教室への参加者数も増えましたが，運動をしていない人への更なる普及にご尽力ください。ニュースポーツの普及については気軽にスポーツを楽しむ，交流といった面でも適しています。公民館などにも出張できるとのこと，生涯学習の満足度UPにも繋がるかと思います。 ・スポーツの振興については，各地域の広がりが大切と思います。現在のスポーツ推進委員の選考方法が見えない状況です。これには，人数制限もあるかと思いますが，各地域から1人ずつ，競技団体から1人ずつの選考方法は無理なのでしょうか。 ・コロナ禍において代替え施策など様々な取組をありがとうございました。笠岡市の子供たちは様々なスポーツに挑戦できて幸せだと思います。今後も笠岡市の立派な運動施設や公園を活用していただき，大人も子供も楽しみながら健康維持できるように推進をお願いいたします。 ・高知ファイティングドックスの試合誘致等は，市民スポーツの底上げにつながっていると思いますので，引き続きスポーツの振興に努めていただきたい。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	3－5	施策名	歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用	主担当課	生涯学習課
戦略の柱	未来戦略　“輝く”				
基本方針	☆豊かな歴史・伝統を持つ笠岡市にとって大切な文化財を保護・活用します。 ☆市民が文化に親しみ文化活動に参加できる環境をつくり，文化・芸術の担い手を育成します。 ☆国の天然記念物に指定されているカブトガニ繁殖地の保全に努め，繁殖地内でのカブトガニの増加を目指すとともに，「カブトガニのまち笠岡」の知名度を高めていきます。			関係課	商工観光課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4目標	R5目標	R7目標
博物館等総入館者数	単位	目標		61,760	76,500	82,500	94,000
	人／年	実績	47,495	56,359	78,314	—	—
		達成率		91.3%	102.4%	—	—
文化イベント総参加者数	単位	目標		6,000	6,620	7,710	10,900
	人／年	実績	5,371	7,841	8,975	—	—
		達成率		130.7%	135.6%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	文化財の保護・活用（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
文化財保護・調査件数	単位	目標		40	40	40	40
	件／年	実績	52	50	61	—	—
		達成率		125.0%	152.5%	—	—
文化財普及・活用件数	単位	目標		40	40	40	40
	件／年	実績	43	72	65	—	—
		達成率		180.0%	162.5%	—	—
郷土館入館者数	単位	目標			500	500	500
	人／年	実績	338	505	419	—	—
		達成率			83.8%	—	—
井笠鉄道記念館入館者数	単位	目標			3,000	3,000	3,000
	人／年	実績	2,867	2,737	3,679	—	—
		達成率			122.6%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	13,419	千円	8,430	千円	10,280	千円	9,865	千円
うち一般財源	8,380	千円	6,400	千円	4,968	千円	6,790	千円

1	文化財の保護・活用事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
全市民，場合によっては全県民・全国民	貴重な文化財を後世に伝え，その重要性を啓発することによって，保護活動を促進します。また，文化財の公開活用をすすめることで市民文化を向上させます。	文化財を調査・指定し，保護，顕彰，記録などを行います。 指定文化財や埋蔵文化財に係る開発行為については，法令に基づき，協議，調査など所定の手続きをとります。 笠岡の歴史を後世に伝えるために，歴史資料の収集・整理を行います。 市有の文化財や文化財関連施設などの不動産，収集した歴史資料などの動産の管理と公開活用を行います。その拠点のひとつとして，郷土館の整備・活用を行います。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	⇒●文化財保護事業・文化財活用事業を継続 ・津雲貝塚調査事業 ・日本遺産推進事業 (創)・笠岡ふるさと再発見事業「笠岡へもっと愛着を持ち隊レッツゴー！」レポート提出数195点 ・木山捷平生家維持管理事業 ・文学者等顕彰事業	⇒ ・津雲貝塚保存活用事業 調査成果パンフレット2,000部 ・日本遺産推進事業 (創)・笠岡ふるさと再発見事業「笠岡へ愛着を持ち隊」レポート数134点 ・木山捷平生家保存活用事業 ・茅原基治顕彰事業 リーフレット7,000部　小中学生配布 ・郷土館企画展「笠岡諸島　高島と神武東遷伝説」 入館者数189人	⇒ ・文化財調査事業　小田県庁門他 ・白石踊後継者育成事業 ・日本遺産推進事業 (創)・笠岡ふるさと再発見事業「笠岡へ愛着を持ち隊」レポート数45点 ・木山捷平生家保存活用事業 ・「マンガふるさとの偉人　茅原基治」製作事業2,500冊 ・郷土館企画展「白石島の帆印帳と遠眼鏡」 入館者数196人 ・郷土館出張展示「笠岡今昔写真展」入場者数455人	⇒ ・白石踊後継者育成事業 ・日本遺産推進事業 (創)・笠岡ふるさと再発見事業「笠岡へ愛着を持ち隊」レポート数64点 ・「風流踊」ユネスコ無形文化遺産登録関連事業 ・市制施行70周年写真展「カメラが捉えた笠岡市70年のあゆみ」入場者数823人 ・出張展示「写真展　笠岡市70年のあゆみ」入場者数533人 ・写真集「笠岡市70年のあゆみ」発刊　1,500冊 ・市制施行70周年記念映像「わたしたちの笠岡市」DVD100枚作成
直接事業費	決算額　13,419　千円	決算額　8,430　千円	決算額　10,280　千円	決算額　9,865　千円
	うち一般財源　8,380　千円	うち一般財源　6,400　千円	うち一般財源　4,968　千円	うち一般財源　6,790　千円

【達成目標2】	竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実（※②）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
竹喬美術館入館者数	単位	目標		13,360	17,000	4,000	20,000
	人／年	実績	11,767	10,944	12,777	—	—
		達成率		81.9%	75.2%	—	—
竹喬美術館館蔵品数	単位	目標		3,950	3,970	3,970	4,000
	点	実績	3,923	3,950	3,956	—	—
		達成率		100.0%	99.6%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
直接事業費	58,327　千円	79,985　千円	55,323　千円	95,960　千円
うち一般財源	42,001　千円	39,775　千円	43,967　千円	46,825　千円

2 竹喬美術館管理運営事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
入館者(利用者)	入館者を増やします。 収蔵竹喬作品の充実を図ります。 美術創作体験の機会を増やします。 美術に対する関心の喚起を図ります。 美術館情報の周知を行います。	魅力的な展覧会を開催します。 作品の購入，寄贈，寄託の促進を行います。 気楽なワークショップを開催します。 魅了的な講座，講演会，ギャラリートークを開催します。 電子媒体の活用を推進します。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	竹喬美術館展覧会の実施 ・特別展2回，特別陳列4回の開催 ・年間収蔵品　32点を追加 市内公共施設への出張展示を開始	⇒ ・特別展2回，特別陳列3回の開催 ・年間収蔵品　34点を追加 ⇒ 児童・生徒を対象とした企画を実施	⇒ ・特別展2回，特別陳列5回の開催 ・年間収蔵品　27点を追加 ⇒ ⇒	⇒ ・特別展2回，特別陳列4回の開催 ・年間収蔵品　6点を追加 ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	58,327	千円	決算額	79,985	千円	決算額	55,323	千円	決算額	95,960	千円
	うち一般財源	42,001	千円	うち一般財源	39,775	千円	うち一般財源	43,967	千円	うち一般財源	46,825	千円

【達成目標3】芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成(※③)

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4目標	R5目標	R7目標
文化事業参加者数	単位	目標		4,700	5,000	7,500	9,000
	人／年	実績	4,607	6,361	7,321	—	—
		達成率		135.3%	146.4%	—	—
笠岡市木山捷平文学選奨への応募者数	単位	目標		3,400	3,500	3,500	3,700
	人／年	実績	3,385	3,176	3,325	—	—
		達成率		93.4%	95.0%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	3,387	千円	2,797	千円	3,029	千円	3,254	千円
うち一般財源	3,387	千円	2,797	千円	3,029	千円	3,254	千円

3 芸術・文化活動推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
芸術・文化活動をする市民	芸術・文化活動の活性化，知性と文化意識の高揚	各事業を通して芸術・文化活動への表現者としての参加を働きかけるとともに，優れた芸術・文化活動の鑑賞機会を市民に提供します。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・笠岡市さつき・新緑展 ・名月観賞の夕べ ・笠岡市文化祭 ・笠岡市芸能祭 ・笠岡市菊花展 ・笠岡市児童・生徒美術展 ・笠岡市写真展 ・笠岡市美術展	⇒ 中止 ⇒ 中止 ⇒ 中止 ⇒無観客舞台収録・テレビ放映 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ 中止 ⇒ 中止 ⇒ ⇒無観客舞台収録・テレビ放映 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ 中止 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 令和4年度以降実施予定なし ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	1,098	千円	決算額	516	千円	決算額	758	千円	決算額	861	千円
	うち一般財源	1,098	千円	うち一般財源	516	千円	うち一般財源	758	千円	うち一般財源	861	千円

4	笠岡市木山捷平文学選奨事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
文芸創作活動をする市民	文芸創作活動の活発化と文芸創作活動をする市民を増やします。	短編小説，随筆，詩，短歌，俳句，川柳の各部門で作品を募集します(短編小説は全国公募)。優れた作品を表彰するとともに，入賞作品集を作成して取り組みをPRします。木山捷平文学選奨短編小説賞を通して，笠岡市を全国発信します。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・短編小説賞の応募者数(全国) 276人 ・随筆・詩・短歌・俳句・川柳の応募者数 3,346人 ・入賞作品の選考，表彰式，作品集発刊	⇒ 265人 ⇒ 3,120人 ⇒	⇒ 223人 ⇒ 2,953人 ⇒	⇒ 222人 ⇒ 3,103人 ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	2,289	千円	決算額	2,281	千円	決算額	2,271	千円	決算額	2,393	千円
	うち一般財源	2,289	千円	うち一般財源	2,281	千円	うち一般財源	2,271	千円	うち一般財源	2,393	千円

【達成目標4】	カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営(※④)

達成目標4の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R7 目標
カブトガニ保護活動参加者数	単位	目標			870	950	1,000
	人／年	実績	61	75	1,012	—	—
		達成率			116.3%	—	—
カブトガニ博物館入館者数	単位	目標		45,000	56,000	65,000	70,500
	人／年	実績	32,523	42,173	61,439	—	—
		達成率		93.7%	110%	—	—

達成目標4の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	125,894	千円	69,722	千円	64,484	千円	67,948	千円
うち一般財源	18,682	千円	14,512	千円	24,778	千円	24,429	千円

5	カブトガニ保護啓発事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
カブトガニ，カブトガニ博物館に興味を持っている人	国の天然記念物に指定されているカブトガニ繁殖地を守り，カブトガニが自然増殖できる環境の保全と生体の保護に取り組み，カブトガニを通じた自然保護の意識を高めます。	カブトガニの大量飼育と幼生放流を年次的に行い，保護・増殖につなげていきます。カブトガニの現状や生態を市民に広く知ってもらい，保護啓発運動を盛り上げていきます。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・幼生の大量飼育・放流事業 ・繁殖地内の幼生調査 ・繁殖地以外での飼育実験 ・海岸清掃活動 ・カブトガニ保護啓発運動	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・カブトガニ産卵池改修	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	7,116	千円	決算額	12,547	千円	決算額	7,884	千円	決算額	7,590	千円
	うち一般財源	5,331	千円	うち一般財源	3,847	千円	うち一般財源	5,793	千円	うち一般財源	5,963	千円

6	カブトガニ博物館管理運営事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
カブトガニ，カブトガニ博物館に興味を持っている人	国の天然記念物に指定されているカブトガニ繁殖地を守り，カブトガニが自然増殖できる環境の保全と生体の保護に取り組み，カブトガニを通じた自然保護の意識を高めます。	より多くの人たちに自然保護の大切さを知ってもらい，地球やカブトガニの歴史を見据えた人間と自然の共生の在り方を発信できる博物館としていきます。 環境問題に関する展示や特別展の開催など，より一層自然環境保護意識の醸成を図り，環境教育を行う場として，より多くの人たちに親しんでもらえる魅力ある生涯学習施設の運営を行います。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・博物館リニューアル事業 ・特別展示，特別陳列展の開催 ・環境保護講座の開催 ・野外体験学習の開催 ・カブトガニ関連商品の販売 空調工事 30周年記念事業 屋外トイレ改修	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・館内トイレ改修	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 飼育棟外壁改修 飼育管理室改修	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 飼育棟内部改修 博物館排煙窓修繕

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	118，778	千円	決算額	57，175	千円	決算額	56，600	千円	決算額	60，358	千円
	うち一般財源	13，351	千円	うち一般財源	10，665	千円	うち一般財源	18，985	千円	うち一般財源	18，466	千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	201，027	千円	160，934	千円	133，116	千円	177，027	千円
うち一般財源	72，450	千円	63，484	千円	76，742	千円	81，298	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
美術館やカブトガニ博物館入館者数は昨年より同じか多くなっています。さらにほかの指標も同様で同じくらいです。 一つ心配なのは，カブトガニ自然産卵確認個所数が昨年と比べてかなり減っていることです。増やしていただきたいと思います。	→	カブトガニ自然産卵確認箇所数につきましては，前年度と比較して，捕獲されるカブトガニの数も非常に少なかったことも，このたびの減少と関係があると思います。笠岡のカブトガニが見られなくなることにならぬよう，引き続き幼生の飼育・放流を進めて参ります。あわせて，繁殖地の環境を守るべく啓発運動や海岸清掃などにも取り組んで参ります。
カブトガニの産卵箇所数の確認や竹喬美術館の入館者数は，コロナ禍で減少したのでしょうか。終息の兆しが見えないため，コロナ禍においてもできるものを検討されたい。	→	入館者数につきましては，コロナ禍により休館を余儀なくされた期間があるとともに，外出を控える傾向が見られたことも入館者の減少に影響しました。たとえ期間が短くなっても魅力ある企画やイベントで，来館者を増やすよう取り組みます。 カブトガニの産卵箇所数の減少は，コロナ禍で調査ができなかった訳ではなく，むしろカブトガニ自体の個体数の減少と関係があると考えております。カブトガニ幼生の飼育・放流を継続し，個体数の増加を目指して参ります。
事業の内容に埋もれた文化財を調査し保護するとありますが，産業遺産・文化遺産として茂平の吉備焼登り窯を考えてほしいと思いますが，市としては難しい条件があるのかもしれません。あれから，登り窯の天井は落ちてしまいました。この備後地方には100年前の登り窯は存在していません。	→	近代吉備焼の遺構につきましては，粘土採掘坑，水簸場，製土場，窯跡などが残存しており，生産工程が復元できるという意味でも，希少な産業遺産であると考えられますが，まず顕彰の前提として，吉備焼が当地域で果たしてきた役割をふまえて，遺構の歴史的価値について評価する必要があります。 今後，資料調査を行って吉備焼の歴史の解明に努めるとともに，詳細な現地調査を行うことを検討します。

カブトガニ博物館の入館者が増となったのは魅力ある企画展の成果でしょうか。未就学の団体から年齢なりに楽しめたと聞いております。就学前のお子さんにも積極的に紹介されると遊びの場，学びの場となり，成長を通してカブトガニへの関心・保護をもっと身近に感じてくれるかもしれません。関心はあるのに放流の機会については知らないという保護者が割といますので，若者が使うSNSでもPRしていただけると良いかと思います。市外からの潮干狩り客が多いようですが，カブトガニの自然産卵減少を防ぐためにも対策が必要かと思います。 笠岡には多くの石彫がありますが，笠岡ならではの芸術だと思いますがいかがでしょうか。観光にも一役買ってくれそうです。 竹喬美術館は若い世代からも興味のある企画や作品展と抱き合わせると，　竹喬さんの素敵な作品を見ていただけるきっかけになると思います。	→	カブトガニ博物館の企画展につきましては，毎年，来館者に楽しんでいただくことを意識して工夫を重ねております。今後も引き続き，魅力的なテーマを追求して参ります。SNSに関しては，現在のフェイスブックに加えて，ツイッター等も利用して情報発信をして参りたいと考えております。潮干狩り客に関しましては，監視活動や啓発運動を継続して，カブトガニのみならず，干潟を守ることの意義をうったえて参ります。 市内各地に置かれた石彫は，日本遺産「知ってる!? 悠久の時が流れる石の島」を有する笠岡市にふさわしいアート作品であると考えております。今後，日本遺産とも連動したPR方法を検討します。 竹喬美術館の入館者に高齢層が多いことは課題として受け止めております。若い人にも興味をもってもらえる企画や，美術館に足を運びたくなる取組を重ね，美術館と竹喬に親しむ機会を増やして参ります。
カブトガニ博物館並びに竹喬美術館の構成やイベント等，毎年毎年進化されており，県内でも嬉しい声を耳にします。アイデアや日々の取り組みに感謝です。また，文化財についても調査を行って下さることで笠岡で育った子どもたちの誇りにつながると思います。今後とも木山捷平文学選奨への応募も全国で楽しみにされている方々がいらっしゃるので継続を期待しています。	→	カブトガニ博物館，竹喬美術館においては，今後も企画やイベントの工夫を重ね，多くのお客様に親しんでいただけるように取り組んで参ります。 文化財や木山捷平文学選奨の取り組みにつきましても，継続性をもって実施して，笠岡市の魅力を全国に発信するとともに，市民が歴史・文化に触れる機会を提供して参ります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【達成目標1】文化財の保護・活用 ●郷土館入館者数 ・施設の枠にとらわれない出張展示や活用事業を通じて，笠岡の歴史文化を広く発信するとともに，館においても企画展及びイベント開催に努める。 【達成目標2】竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実 ●竹喬美術館入館者数 ・日本画を中心とした展覧会だけでなく，洋画や絵本など，若い世代に興味をもってもらえる企画を積極的に取り入れ，家族で美術を楽しむ環境を作る。 ・美術館を何度でも足を運びたくなる身近な場所と感じてもらえるよう，子どもから大人までを対象としたイベントを継続する。 ●竹喬美術館館蔵品数 ・作品を厳選しているため目標に達することができなかったが，今後も館蔵品の増に努める。 【達成目標3】芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成 ●笠岡市木山捷平文学選奨への応募者数 ・今年度から新たに高校生部門（5首一組で応募可能）を設け，一般部門（10首一組）より句数を少なくすることで，多くの方に応募していただけるよう募集部門の見直しを行った。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	A	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・西洋画と比較して日本画は，特に若い人には人気がないでしょうから，入館者数が伸びないのは致し方ないと考えますが，それでもよく健闘なさっていると感じます。 ・全体的に目標指標を超えているようにみえます。コロナ禍をすぎるともっと増えるのではないかと考えますので，さらに充実をしてください。 ・多くの項目で目標を達成されており，おおむね順調に進行していますが，郷土館と竹喬美術館にもう少し頑張りどころがあるので個人的にはBにしました。対応策に具体策を書かれているので来年度の評価では全員一致で納得のAになることを期待しています。里庄・浅口・井原などの近隣市町の文化施設を相互利用できるサービスなどあれば，互いに利用者も増え，芸術や歴史，文化に触れるきっかけにもなりそうですが。 ・カブトガニの保護活動は，博物館を中心にして，頑張られている。歴史等については，郷土館運営を市歴史博物館として全域の文化財の整理・保全の体制にしたらと考えます。 ・カブトガニ博物館，竹喬美術館の活性化が素晴らしいと年々感じています。未達成指標への対応策も具体的ですばらしいと思いました。引き続き期待しています。郷土館に関しては今後のニーズの把握も必要のように思いました。 ・竹喬美術館は，笠岡高校の地域学と連携した，モザイクアートの実施等，様々な施策を行っており，それが，今後の入館者数の増加につながるように期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	3－6	施策名	人権・男女共同参画・平和	主担当課	人権推進課
戦略の柱	未来戦略　“輝く”				
基本方針	全ての市民が様々な分野で，個性と能力を十分に発揮するとともに，互いにその人権を尊重しつつ，いきいきと心豊かに共生できる社会の実現を目指します。また，人権侵害につながる戦争を二度と繰り返さないために，平和の大切さに気づき，平和な社会を築いていこうとする市民意識を高めます。			関係課	協働のまちづくり課 人事課 地域福祉課 商工観光課 学校教育課 生涯学習課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
「人権週間のつどい」，人権文化祭の「人権を考えるつどい」の参加者数	単位	目標			400	500	600
	人	実績	280	320	970	—	—
		達成率			242.5%	—	—
「人権尊重・男女共同参画の推進」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	8.0	—	10.0(R6)
	%	実績	7.1	—	6.0	—	—
		達成率		—	75.0%	—	—
審議会等委員に占める女性の割合	単位	目標		40.0以上	42.0	43.0	45.0
	%	実績	41.4	41.5	42.6	—	—
		達成率		103.8%	101.4%	—	—
「平和の取組」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	13.0	—	16.0(R6)
	%	実績	11.8	—	10.6	—	—
		達成率		—	81.5%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	人権に対する正しい理解と人権意識の高揚（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
人権週間のつどいのアンケートで人権問題について関心や理解が「とても深まった」「深まった」という回答の割合	単位	目標		90.0以上	90.0	92.0	95.0
	%	実績	86.0	89.0	95.0	—	—
		達成率		98.9%	105.6%	—	—
性的少数者の総称である『LGBTQ※』について「知っている」市民の割合（市民意識調査）	単位	目標		—	56.0	—	70.0(R6)
	%	実績	42.0	—	81.0	—	—
		達成率		—	144.6%	—	—
吉田文化会館利用者数	単位	目標		6,500	6,800	6,900	7,100
	人／年	実績	5,978	5,277	5,807	—	—
		達成率		81.2%	85.4%	—	—

※L:レズビアン（女性の同性愛者），G:ゲイ（男性の同性愛者），B:バイセクシャル（男性と女性の両方を好きになる人），T:トランスジェンダー（身体の性と心の性が一致しない人），Q:クエスチョニング（自分の性や好きになる性がはっきりしない，決められないあるいは悩んでいる状況にある人等）

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	19,764	千円	17,298	千円	17,212	千円	13,789	千円
うち一般財源	16,693	千円	14,181	千円	14,336	千円	10,629	千円

1 人権啓発事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
全市民	地域，家庭，職域その他様々な場において人権尊重に対する市民の理解を深め，日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚を身につけてもらう。	女性，子ども，高齢者，障がいのある人，同和問題，患者など様々な人権に関わる課題について，著名な講師による講演会の開催，啓発のための人権パネル展示，人権をテーマにした公募写真コンテストの実施，さらには啓発の講師となるリーダーの研修を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●人権講演会(12月) ●人権文化祭 ●人権啓発講座 ・人権啓発バンクによる活動 ・人権フォトコンテスト ・人権スポーツふれあい教室 ・人権のうた ＜人権週間のつどい講演会 参加者:約100人＞ ＜人権文化祭参加者:(2日間延べ)約1,200人＞	●人権週間のつどい講演会(11月) ●人権文化祭⇒中止 ⇒ ⇒ ・人権フォトコンテスト⇒中止 ⇒ ・人権のうた⇒中止 ＜人権週間のつどい講演会 参加者:178人＞	●人権週間のつどい講演会(12月) ●人権文化祭(オンライン開催) ⇒ ⇒ ⇒ ＜人権週間のつどい講演会 参加者:約320人＞	●人権週間のつどい講演会(11月) ●人権文化祭 ⇒ ⇒ ⇒ ＜人権週間のつどい講演会参加者:約800人＞ ＜人権文化祭参加者:(3日間延べ)1,056人＞
直接事業費	決算額 1,215 千円 うち一般財源 958 千円	決算額 1,420 千円 うち一般財源 964 千円	決算額 909 千円 うち一般財源 652 千円	決算額 1,346 千円 うち一般財源 1,040 千円

2 人権教育推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
幼児・児童・生徒・保護者・教職員および地域住民	・幼児・児童・生徒に対し，発達段階に応じた人権教育を進め，人権尊重の精神を養う。 ・保護者の人権意識をより高め，家庭における人権意識の高揚を図る。 ・学校・社会教育において指導的立場にある者の研修を進め，人権尊重の環境づくりを推進する。 ・地域公民館を拠点とした人権教育，啓発を進め，共生社会の実現を目指す。 ・人権課題にかかわり配慮を要する児童・生徒の自立を支援する。	・人権教育推進委員会の開催 ・学校教育における人権教育推進体制の確立・全体計画の作成 ・幼・小・中学校におけるPTA人権研修会の実施 ・地域公民館等での人権教育・啓発事業の実施 ・教職員・社会教育関係者等を対象とした人権教育指導者講座の実施 ・人権課題にかかわり配慮を要する児童生徒の自立支援(学習会等)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●学校教育での人権教育 ・学校教育における人権教育の体系的な推進 ●人権教育指導者研修事業 ・人権教育指導者講座の実施 ●社会教育での人権教育 ・地域公民館等での人権教育・啓発事業の実施 ・幼・小・中学校のPTA人権教育研修会の実施 ●教育集会所運営事業 ・笠岡市教育集会所事業の実施 ●小中学校の平和学習 ○人権教育推進委員会の開催 ○配慮を要する児童生徒自立支援(学習会等)	⇒ ⇒コロナ禍で中止 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒コロナ禍で中止 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒コロナ禍で中止 ⇒ ⇒人権推進課へ所管換え ⇒ ⇒ ⇒
直接事業費	決算額 2,320 千円 うち一般財源 2,320 千円	決算額 1,861 千円 うち一般財源 1,861 千円	決算額 1,722 千円 うち一般財源 1,722 千円	決算額 616 千円 うち一般財源 616 千円

3 人権推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市民	国民に保障されている基本的人権を擁護し，自由人権思想の普及，高揚を図るため，市は人権尊重の視点に立った市制と施策を推進し，市民は自らが人権尊重の都市づくりの担い手としてその実現に努めていく。	・人権施策基本方針その他人権施策について調査・審議及び推進する，人権施策推進委員会・チーム会議の庶務（各1回/年度） ・人権擁護委員の推薦（任期：3年），なやみごと相談の実施（6回／年）や啓発イベントについての人権擁護委員協議会との連絡・調整 ・教育集会所を拠点とする同和問題に関する課題解決を目指す諸活動を実施するとともに，地域活動の活性化や地域住民の福祉の向上を図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●人権施策推進チーム会議の開催 ・人権施策推進委員会の開催			⇒			⇒			⇒ ●教育集会所運営事業 ●パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度実施		
直接事業費	決算額	6,842	千円	決算額	5,374	千円	決算額	5,672	千円	決算額	2,668	千円
	うち一般財源	6,815	千円	うち一般財源	5,347	千円	うち一般財源	5,668	千円	うち一般財源	2,641	千円

4 人権推進事業（商工業者）

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市内企業・商店	企業内における，人権問題についての理解を深め，問題の解決に努める。	・企業等人権問題連絡協議会に所属する企業の事業者を対象に，企業内で考えうる人権問題について研修などを通じ理解を深める。 ・市HPなどを用い，人権問題・雇用問題に係る各種情報を外部に対し発信する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●会員企業を対象に年2回の人権研修会を実施 ●人権啓発標語コンクールの実施 笠岡市人権文化祭で掲示 ＜2月研修会参加人数：19人＞ ＜人権啓発標語応募点数：523点＞			⇒ ⇒ ＜研修会は，新型コロナ感染拡大の為，中止＞ ＜人権啓発標語応募点数：422点＞			⇒ ⇒ ＜研修会は，新型コロナ感染拡大の為，中止＞ ＜人権啓発標語応募点数：420点＞			⇒ ⇒ ⇒ ＜1月研修会参加人数：19人＞ ＜人権啓発標語応募点数：365点＞		
直接事業費	決算額	90	千円	決算額	90	千円	決算額	90	千円	決算額	90	千円
	うち一般財源	90	千円	うち一般財源	90	千円	うち一般財源	90	千円	うち一般財源	90	千円

5 吉田文化会館運営業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして，生活上の各種相談事業や人権啓発の各種事業を総合的に行い，人権意識を醸成する。	同和問題をはじめとするさまざまな人権課題の早期解決を基本とし，地域住民の理解と信頼を得つつ，地域社会に密着し，地域住民の生活課題に応じた事業を関係機関と連携を図りながら行う。 ・地域課題に応じた相談事業の充実 ・吉田文化会館だよりの発行など，人権啓発・広報活動の推進 ・各種クラブ活動，教養・文化活動等参加交流の促進

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・相談事業 ・人権啓発及び広報活動事業 ・地域交流事業 ・地域福祉事業 ・隣保館ミニデイサービス ・貸館事業 ・証明書等交付事業 〈利用者数:5637人〉 〈証明書発行件数:418件〉 〈図書貸出数:636件〉 (相談件数:171件〉	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 〈利用者数:5978人〉 〈証明書発行件数:659件〉 〈図書貸出数:769件〉 (相談件数:155件〉	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 〈利用者数:5277人〉 〈証明書発行件数:526件〉 〈図書貸出数:711件〉 (相談件数:72件〉	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 〈利用者数:5807人〉 〈証明書発行件数:383件〉 〈図書貸出数:665件〉 (相談件数:114件〉
直接事業費	決算額 8,582 千円	決算額 7,996 千円	決算額 8,221 千円	決算額 8,724 千円
	うち一般財源 5,950 千円	うち一般財源 5,497 千円	うち一般財源 5,741 千円	うち一般財源 6,026 千円

6 給付・貸付事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
同和問題にかかる課題のある地域の市民	①給付事業⇒高校・大学への就学を促進する。 ②償還事務⇒生活環境等の安定向上と整備改善のため実施した資金貸付金の円滑な償還を促進する。	・給付事務⇒高校・大学在学者への奨学資金給付，及び制度の見直し ・償還事務⇒住宅資金・生活改善資金貸付償還金の過年度分の滞納整理，及び県への補助金交付申請手続

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●奨学資金給付 ＜給付件数＞ 高等学校:3件 大学 :1件 ●資金貸付金の償還促進 ・償還金滞納者のさらなる実態把握 ・償還金滞納者への臨戸訪問の継続 ＜収納率＞ 住宅資金:1.7% 生活改善資金:4.7%	⇒ ＜給付件数＞ 高等学校:2件 大学 :1件 ⇒ ⇒ ⇒ ＜収納率＞ 住宅資金:2.8% 生活改善資金:6.7%	⇒ ＜給付件数＞ 高等学校:3件 大学 :1件 ⇒ ⇒ ⇒ ＜収納率＞ 住宅資金:2.7% 生活改善資金:2.4%	⇒ ＜給付件数＞ 高等学校:2件 ⇒ ⇒ ⇒ ＜収納率＞ 住宅資金:5.0% 生活改善資金:5.6%
直接事業費	決算額 715 千円	決算額 557 千円	決算額 598 千円	決算額 345 千円
	うち一般財源 560 千円	うち一般財源 422 千円	うち一般財源 463 千円	うち一般財源 216 千円

【達成目標2】男女共同参画の推進・啓発(※②)

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
審議会等委員に占める女性の割合	単位	目標		40.0以上	42.0	43.0	45.0
	%	実績	41.4	41.5	42.6	—	—
		達成率		103.8%	101.4%	—	—
各地区のまちづくり協議会の役員に占める女性の割合	単位	目標			40.0	42.0	44.0
	%	実績	34.9	33.3	32.2	—	—
		達成率			80.6%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	3,157	千円	3,861	千円	841	千円	4,908	千円
うち一般財源	3,157	千円	3,861	千円	841	千円	4,908	千円

7	男女共同参画推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
行政，市民，事業者	男女共同参画の意識高揚を図り，男女が共に助け合い，互いの生き方を認め合い，住みやすい社会づくりを推進する。	男女及び様々な立場の人を対象に，男女共同参画に関する意識を高めるため，各分野の講座の開催や，啓発紙等による広報を実施する。また，市の施策に関する男女共同参画の視点による事業の推進状況の管理，性別による差別的扱いや人権侵害に関する相談等(主に女性)の相談事業を行っている。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●ウィズプランの推進 ・ウィズプラン推進状況の管理 ・女性団体等への支援 ●市民啓発事業 ・啓発講座の実施 ●審議会等の委員への女性の積極的登用 ・審査会の開催 ●女性相談事業(DV相談など) ・相談窓口の周知と体制の整備 ＜啓発講座の参加者数:228人＞ ＜女性相談件数:172件＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜啓発講座の参加者数:351人＞ ＜女性相談件数:102件＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜啓発講座の参加者数:232人＞ ＜女性相談件数:80件＞	⇒ 第5次ウィズプランの策定 ⇒ ⇒ ⇒ ＜啓発講座の参加者数:479人＞ ＜女性相談件数:54件＞

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	3,157	千円	3,861	千円	841	千円	4,908	千円
	うち一般財源	3,157	千円	3,861	千円	841	千円	4,908	千円

【達成目標3】	平和について考え，平和な社会を築こうとする意識の高揚(※③)

達成目標3の指標

指標名	単位		目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
平和祭参加者のアンケートで「とてもよかった」「よかった」という回答の割合	%	目標		90.0以上	95.0	97.0	100.0
		実績	—	99.0	95.6	—	—
		達成率		110.0%	100.6%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	1,474	千円	707	千円	1,154	千円	1,098	千円
うち一般財源	1,474	千円	707	千円	1,154	千円	1,098	千円

8	戦没者遺族等援護等事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
戦没者の遺族，戦傷病者等及び市民	先の戦争による戦没者遺族等が心やすらかに生活できるよう支援するとともに，平和の大切さを広く市民に伝える。	市主催の戦没者追悼式を開催し，戦争犠牲者を追悼するとともに，平和の大切さを広く市民に伝え，訴える。 戦没者の遺族，戦傷病者等に対する特別弔慰金等の給付業務を円滑に実施する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・戦没者追悼式事業 (参加者350人) ・第11回特別弔慰金(1人)			⇒ (参加者120人) ・第11回特別弔慰金(247人)			⇒ (参加者160人) ・第11回特別弔慰金(223人)			⇒ (参加250人) ・第11回特別弔慰金(76人)		
直接事業費	決算額	1,080	千円	決算額	654	千円	決算額	688	千円	決算額	710	千円
	うち一般財源	1,080	千円	うち一般財源	654	千円	うち一般財源	688	千円	うち一般財源	710	千円

9	平和事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民(特に若い世代)	非核平和の考えを子どもを含め，市民に広く啓発し，平和の尊さ，生命の大切さを考える機会を提供し，語り継いでいく。	・平和祭を行い，戦争や原爆の恐ろしさを語り伝えることにより，平和を守ることの大切さや平和がいかにかけがえのないものであるかを市民に広く啓発していく。 ・平和学習として，広島平和記念公園，平和記念資料館等へバス運行を行い，戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶ。 ・原爆死没者鎮魂式並びに平和祈念のつどいの実施や平和行進の支援等，平和活動を行う。・平和関連のパネルを平和祭等で掲示し啓発を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●平和祭 ●非核平和都市宣言の啓発 ・鎮魂式 ・戦争体験等平和の継承事業 ●平和の日の行事 ・かさおか平和の広場での祈念(毎月6日) ●平和学習バス事業 ●ヒロシマ原爆展 ＜平和祭参加者数:約350人＞ ＜鎮魂式参加者数:約80人＞ ＜平和学習バス参加者数:42人＞	⇒コロナウィルスの影響により中止 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒コロナウィルスの影響により中止 ＜鎮魂式参加者数:約60人＞	⇒コロナウィルスの影響により中止 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜平和祭参加者数:約100人＞ ＜鎮魂式参加者数:　42人＞ ＜平和学習バス参加者数:24人＞	⇒平和祭 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜平和祭参加者数:約170人＞ ＜鎮魂式参加者数:　約43人＞ ＜平和学習バス参加者数:38人＞

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	394	千円	決算額	53	千円	決算額	466	千円	決算額	388	千円
	うち一般財源	394	千円	うち一般財源	53	千円	うち一般財源	466	千円	うち一般財源	388	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	24,395	千円	21,866	千円	19,207	千円	19,795	千円
うち一般財源	21,324	千円	18,749	千円	16,331	千円	16,635	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
人権文化祭はコロナ禍で工夫しての開催となっている。吉田文化会館の利用や研修会の参加についても何か工夫をされたい。	→	コロナ禍で各人権研修会は，オンライン研修が主体となっています。オンライン研修は講義内容を選択でき，また興味がある講義を繰り返し視聴することで深い理解が可能になっています。 また，コロナ禍で外出が控えめになっている地域住民に対して，地元の方との協力による子ども食堂の開催やミニデイサービス事業でのニュースポーツ体験の実施など新たな取り組みも進めているところです。今後も感染対策を講じながら，多くの人に利用してもらえるうよう努めます。
施策として，各種の事業を通して啓発活動が進んでいることがよくわかります。そして，一番大切なことは，そうした活動が日常化することだと思います。それには各地区の公民館やまち協・自治会などが，先導的なリーダーシップを発揮することが求められます。	→	人権啓発に係るイベントにつきましては，一般市民への広報だけでなく，公民館や各種関係団体宛にも積極的に周知しています。地域で色々な活動をされている方への啓発は，他の市民への影響力もあり，効果的であると考えます。イベントを通じて人権に対する理解を深めていただき，日常生活においても正しい人権感覚を広めてもらえるよう，引き続き啓発に務めます。
性的マイノリティについてはなかなか理解，受け入れがたい人もいらっしゃいます。学校教育，社会教育ともに，知り・理解し・考える場が今以上に必要かと感じています。繊細な部分ですが大事なことですので，ゆっくり時間をかけながら誰もが認め合えるまち笠岡になると素敵だと思います。 DV被害で悩んでいる方の目に止まるよう，引き続き「てらすセンター」の広報をお願いします。 コロナ禍でも平和祭，平和学習バスが再開されたことは大きかったと思います。参加希望者だけでなく，さらに多くの子どもたちにも知っておいて欲しいので，戦争・被爆・戦後の体験の継承を学校教育の場でも聞く機会を設けていただきたいです。継承者が高齢で御負担になるかもしれませんが，ビデオや録音などで保存していく必要もあると思います。	→	性の多様性を尊重し，自分らしく生きることができる社会の実現を目指し，笠岡市では令和4年4月に「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」を導入しました。70周年記念式典では，市民に性的マイノリティに対する理解を深めてもらうための企画を実施しました。今年度は，笠岡高校1年生が行う地域学において，LGBTQをテーマに挙げたり，笠岡高校2年生を対象に研修を行いました。また，性的マイノリティーについての理解は，学校教育全体で行うものだと考えます。各教科はもちろん，男女混合名簿の作成や児童生徒の呼名の仕方，また，現在笠岡市では制服についても検討委員会を立ち上げ，制服改訂にむけて協議しているところです。 「てらすセンター」の周知につきましては，ホームページの内容を充実させ，駅・公共施設・市内スーパーのトイレに電話相談カードを設置するなどして，広報に努めているところです。 今年度の平和祭，平和学習バスについては，多くの子どもたちにも参加いただき，平和について考えていただきました。平和学習は，各学校でも計画的に取り組まれており，特に中学校では，第2学年に平和学習として広島の原爆ドームや資料館，また福山市のホロコースト記念館を見学し，学びを深めています。
憲法で保障されながら，日常的に侵されている現実と向き合う業務です。担当者，関係者の尽力に敬意を表します。施策としてより大きく取り組むべきだと感じます。総合指標は「満足度」という感情によるのではなく，現在の「審議会委員に占める女性の割合」のように具体的な指標をもっと加えるべきではないでしょうか。また，笠岡市における人権侵害の実態は公表しているのでしょうか。	→	基本計画を達成するための手段として総合指標や達成目標指標を立てていますが，人権施策に関する指標は，本質的な実態を数値化することが難しく，市民意識調査での満足度を指標としています。 また，人権侵害の実態については，本人のプライバシーに関係するため公表していません。施策評価や決算報告などの公の報告書には，女性相談件数についてのみ公表しています。
現在，人権尊重，男女共同参画等の様々な課題を目にする中，市民が感心を持ちやすいイベントの開催をされています。またコロナ禍だからこそのDVなどの水面下での柔軟な対応をされていました。各種関係機関との連携があるとのことで安心しました。 非核平和については，被爆者の高齢化が進み，平和の尊さ，生命の大切さを語る方が市内でいなくなっても継続的に行える体制づくりを願います。	→	各種イベントについては，過去のイベントでのアンケート結果や集客状況を参考に，時代の流れに合ったテーマ・内容を検討し，多くの方に関心を持っていただけるよう努めています。 DVについては，相談者の状況に応じて，各種機関と情報共有し，連携を図りながら対応しています。 非核平和については，被爆者の高齢化が高齢化する中，実体験を直接聞くことはだんだんと難しくなってきています。現在進行形で起きているウクライナでの悲惨な戦争などの世界情勢にも触れながら，平和の尊さ・命の大切さを市民に引き続き啓発していこうと考えています。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【人権啓発・男女共同参画・平和事業】 時代のニーズに合った事業内容を検討し，ターゲットを設定し効果的な広報を行うことで，市民に関心を持ってもらう機会を増やし，正しい理解を深めてもらう。 【吉田文化会館運営業務】 地域住民交流の場として，大人から子どもまで親しみを持ってもらえる場所となるよう，環境を整備するとともに各事業の充実を図ることにより，来館者の増加に繋げる。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	・人気の講師や，多くの市民が興味を持たれる方などを招聘して様々な講演会を実施されており，聴講希望者も多いようで，市民意識の向上に役立っていると感じます。 ・目標指標をほぼ一緒か若干達成している事業が多いように見えます。コロナ禍をすぎるともっと増えるのではないかと考えますので，さらに充実をしてください。 ・ LGBTQについて知っている市民の割合がR2年に比べ倍ほど増え，7年の目標値までもクリアしました。ご尽力の賜物です。引き続き，互いを認め合う社会となるよう意識啓発をお願いします。「人権尊重・男女共同参画の推進」の満足度(市民意識調査)にも反映されてくることと思います。人権週間のつどい講演会，笠岡市人権文化祭については魅力あるテーマ・講師で参加者が多かったようです。引き続きよろしくお願いいたします。平和活動は平和祭や平和学習などありますが，地元笠岡と戦争の話(北木島の金風呂空襲)など聞く機会があれば更に理解が深まるかと思います。 ・吉田文化会館の果たす役割は大きいと思いますが，誰でもが，いつでも学習できるために吉田文化交流館として，新しい未来の地域づくり，生涯学習の場としたらどうでしょうか。 ・戦没者・平和については薄れていくこともありますが，引き続き他人事と思わず自分事と思えるように，様々な人権の尊重をお願いしたいです。毎年命や人権など素晴らしい研修を行っていただきありがとうございます。これからも市民に届くようご尽力お願いします。 ・ウクライナ難民の受入れ等，できることは実施している印象です。今後も期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－1	施策名	地域福祉の推進	主担当課	地域包括ケア推進室
戦略の柱	安定戦略　“安らぐ”				
基本方針	子どもから高齢者まで，年齢や障害の有無，LGBTQ※など，多様な性にかかわらず，お互いを認め合い，住み慣れた地域で，共に支え，助け合いながら，その人らしく暮らし続けることができるまちづくりを目指します。 ※L:レズビアン（女性の同性愛者），G:ゲイ（男性の同性愛者），B:バイセクシャル（男性と女性の両方を好きになる人），T:トランスジェンダー（身体の性と心の性が一致しない人），Q:クエスチョニング（自分の性や好きになる性がはっきりしない，決められないあるいは悩んでいる状況にある人等）			関係課	地域福祉課 長寿支援課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4目標	R5目標	R7目標
生活支援サービス提供団体の数	単位	目標		100	85	86	87
	団体	実績	83	87	94	—	—
		達成率		87.0%	110.6%	—	—
地域で見守り活動する人の数	単位	目標			2,143	2,153	2,165
	人	実績	2,112	2,104	2,100	—	—
		達成率			98.0%	—	—
在宅での看取りに対応する病院・診療所数	単位	目標		10	11	11	12
	箇所	実績	10	12	12	—	—
		達成率		120.0%	109.1%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	地域包括ケアシステムの構築（※①②③）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
生活支援サービス利用件数（延べ数）	単位	目標			926	1,026	1,226
	件	実績	802	835	1,832		
		達成率			197.8%		
社会活動（趣味等）の開催箇所数	単位	目標			529	534	540
	箇所	実績	528	516	505		
		達成率			95.5%		
施設入所の割合	単位	目標		43.8	43.8	43.8	43.8
	%	実績	43.8	43.5	43.4	—	—
		達成率		99.3%	99.1%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	81,753	千円	149,823	千円	108,749	千円	73,472	千円
うち一般財源	59,512	千円	61,414	千円	55,544	千円	53,241	千円

1 地域包括ケアシステム構築事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市民（子どもから高齢者まで，年齢や傷害の有無，性別等の違いに関係なく）	地域の住民が心身の状態が悪化した場合でも，住み慣れた地域において生活を継続できるような仕組みづくりを行う。	地域の実態把握・課題分析を通じて，地域の共通の目標を設定し，関係者間で共有するとともに，その達成に向けた具体的な対策を検討する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●地域ケア会議の開催 ●地域の実態把握体制の構築 ●地域でのネットワークの構築と拡大整備	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	1,606	千円	決算額	1,177	千円	決算額	1,043	千円	決算額	1,048	千円
	うち一般財源	623	千円	うち一般財源	473	千円	うち一般財源	432	千円	うち一般財源	434	千円

2 認知症対策推進業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
施設職員 市民	認知症の正しい理解と，介護のノウハウの熟知	認知症介護研修センターでの研修会や出前講座など委託事業や各団体等からの要請に基づき研修会を開催し，認知症に対する理解と啓発を行なうとともに，介護の知識向上を目指す。 ハートフルセミナーを開催し，地域福祉計画策定に向けて福祉団体，一般市民を対象に講演，実践発表を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●認知症介護研修市民講座事業 ●認知症介護実務者研修事業 〇認知症研修センター委託 ●ハートフルセミナー事業 <ハートフルセミナー参加者420人>	⇒ ⇒ ⇒バルコニー改修等　4,036千円 ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ハートフルセミナー中止 （表彰33件，感謝状3件の授与実施）	⇒ ⇒ ⇒宿泊棟エアコン取替え　396千円 ⇒ハートフルセミナー事業 （参加者70人，表彰20件，感謝状4件の授与実績）

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	5,933	千円	決算額	9,551	千円	決算額	5,453	千円	決算額	5,890	千円
	うち一般財源	5,933	千円	うち一般財源	6,251	千円	うち一般財源	5,453	千円	うち一般財源	5,890	千円

3	障がい福祉制度事務(再掲)

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
障がい者等 (障がい者，障がい児，難病患者，保護者)	障がい者等が必要な障がい福祉制度を利用することにより，自立した日常生活を営み福祉の増進を図る。	◆就労奨励補助金 →障がい者1人につき，地域活動支援センター事業を行う事業所等において生産活動を行った日数に200円を乗じた額を補助 ◆心身障害者扶養共済制度 →知的障がい者(児)を保護している者の万一の場合を考えての保険制度で，一定の掛け金を納めて年金を受け取る制度 ◆障がい者相談員等設置事務 →障がいの当事者や関係者に相談業務を相談者として委託し，相談者への必要な助言・指導・心のケアを図る。 ◆成年後見制度市長申し立て事務 →事情により親族申し立てができない障がい者等の権利擁護を図るため，市長が成年後見申し立てを行う。 ◆障がい福祉サービス事業所への交通費事業費補助事業 →島しょ部の利用者に障がい福祉サービスを提供する事業所への交通費・事業費の補助を行う。 ◆訪問入浴サービス事業 →市内に住所を有する在宅で入浴が困難な者に対して，事業者が自宅を訪問して入浴サービスを提供する。 ◆短期入所サービス拡大促進事業補助金 →重症心身障害児(者)，療養介護対象者及び遷延性意識障害者等が市内で安心して生活できるよう，医療型短期入所事業所の整備・拡充を促進した。 ◆障がい者集いの場施設整備事業 →福祉的就労利用後の集いの場を整備し，障がい者の就労後の居場所確保，保護者の就労支援に寄与した。 ◆避難行動要支援者管理システム運用事業 →情報を登録するとともに同意のもと自主防災組織等に情報提供し避難支援に役立てる。 ◆緊急通報システムNET119→音声言語のコミュニケーションが困難な方が，携帯電話やスマートフォンで火災や救急等の緊急通報を行うシステムを導入。 ◆各種受付事務 ◆障がい者(児)等緊急応援事業 →新型コロナウイルスにより経済的に影響のあった障がい者(児)等を応援するため商品券の配布，インフルエンザワクチン接種助成，手作りマスク配布等を実施した。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・関係機関とのネットワークの強化 ・窓口業務の効率化 ・情報提供の強化 ・就労奨励補助金 支給実人数193人 ・訪問入浴サービス事業 実人数1人 ⇒短期入所サービス拡大促進事業補助金 事業所 1 ・障がい者集いの場 登録者10 ・避難行動要支援者 同意者数598 ・緊急通報システムNET119 登録者数10	⇒ ⇒ ⇒ 支給実人数 183人 ⇒ 実人数 1人 ⇒・短期入所サービス拡大促進事業補助金 事業所 1 ・障がい者集いの場 登録者12 ・避難行動要支援者 同意者数570 ・緊急通報システムNET119 登録者数10 ・障がい者(児)等緊急応援事業 手作りマスク配布対象者 1,176人 商品券配布対象者 3,454人 インフル助成対象者 111人	⇒ ⇒ ⇒ 支給実人数 190人 ⇒ 実人数 3人 ⇒・短期入所サービス拡大促進事業補助金 事業所 1 ・障がい者集いの場 登録者12 ・避難行動要支援者 同意者数566 ・緊急通報システムNET119 登録者数11 ・障がい者(児)等緊急応援事業 商品券配布対象者 3,463人	⇒ ⇒ 支給実人数 199人 ⇒ 実人数 3人 ⇒・短期入所サービス拡大促進事業補助金 事業所 2 ・障がい者集いの場 登録者12 ・避難行動要支援者 同意者数577 ・緊急通報システムNET119 登録者数11
直接事業費	決算額 35,434 千円 うち一般財源 23,940 千円	決算額 92,394 千円 うち一般財源 27,087 千円	決算額 57,481 千円 うち一般財源 23,501 千円	決算額 29,890 千円 うち一般財源 20,978 千円

4 民生委員・児童委員活動支援事業業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
民生委員 児童委員	地域福祉活動の充実・向上のため，委員の資質を高めるとともに，円滑な活動ができるように支援する。	情報交流を図るための理事会を開催する。 各種研修会を実施する。 個人情報提供のための取組を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・個人情報提供の継続 ・研修機会の充実 ・市協議会理事会及び地区協議会定例会の開催による情報共有を進める。 ・民生委員の一斉改選	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ・民生委員の一斉改選

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	9,631	千円	決算額	9,851	千円	決算額	9,975	千円	決算額	10,565	千円
	うち一般財源	25	千円	うち一般財源	5	千円	うち一般財源	161	千円	うち一般財源	790	千円

5 社会福祉事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	ノーマライゼーションの理念で支えられた地域社会で安全で快適に生きがいを持って生活ができるようにする。	地域福祉に寄与する団体に補助金を交付する。 団体の活動拠点であるボランティアハウス，高齢者福祉の拠点である老人福祉センターの管理事務を委託。 令和5年度に第3次笠岡市地域福祉計画を策定する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・老人福祉センター管理委託 ・各種団体・協議会補助 ・ふれあいハウス管理委託 <老人福祉センター利用者21,740人>	⇒ ⇒ ⇒ <老人福祉センター利用者16,495人> 老人福祉センター外壁・舗装工事 11,528千円	⇒ ⇒ ⇒ <老人福祉センター利用者15,661人> 老人福祉センター外壁工事(事故繰越し) 9,823千円	⇒ ⇒ ⇒ ・第3次笠岡市地域福祉計画の策定に係るアンケート調査 <老人福祉センター利用者19,202人>

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	29,149	千円	決算額	36,850	千円	決算額	34,797	千円	決算額	26,079	千円
	うち一般財源	28,991	千円	うち一般財源	27,598	千円	うち一般財源	25,997	千円	うち一般財源	25,149	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	81,753	千円	149,823	千円	108,749	千円	73,472	千円
うち一般財源	59,512	千円	61,414	千円	55,544	千円	53,241	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
民生委員さんの活動は中半ボランティア的な活動であり，また，委員さんの高齢化や多忙さの中でなられる方も減少しているようです。国などの基準では人数枠があるようです。1地区に1人の選定ではその責も困難な状況です。	→	民生委員は，高齢者や障がい者などの見守りや地域住民の困り事の相談，福祉サービスへのパイプ役，子育て支援や見守りなど幅広い業務を無償で行っています。その業務量の増加に加え，個人情報を扱うデリケートな業務もあることから，民生委員への負担が増えて担い手がいない原因の一つとなっています。 その負担を軽減するために，地域を担当する福祉委員や愛育委員との連携をスムーズにするとともに，まちづくり協議会において地域での支え合いを考え，民生委員を含む多くの人が関わることで，地域づくりの充実につながると思います。 さらに，庁内の関係課の連携によるサポート体制構築についても，先進地の事例を参考に検討してまいりたいと思います。
日々地域に支えられて生きていると感謝しています。私たち中年層も支える側になったときに恩返しをしたいと思っています。次世代の育成について，R3年度，まちづくり協議会ごとに話し合いを行い，実態把握，課題の抽出を行なったとありますが，私の住む地区ではこの形ではされていないように思います。さわやかさん等でしてくださっているようなので，地域によって異なるのでしょうか。地域で支え合うシステムづくりは今もこれからも重要なことですので，市と地域，地域内の各種団体が連携して進めていっていただきたいと願います。 指標となる項目はほぼ達成していますし，各種団体の御尽力には頭が下がります。住民ボランティアの生活支援サポーターの取組は高齢者等とのコミュニケーションもとれ，良いシステムだと思います。全てを把握することは本当に大変なことですが，今後も地域での繋がりを大切に全ての市民が安心して暮らせるよう願います。	→	まちづくり協議会では，地域の実情に応じた地域の支え合いを進めてくださっており，とても有り難く感じております。R3年度は，移動支援についてご質問をいただいた7地区のまちづくり協議会と現状や取組方法について話し合いをさせていただきました。 笠岡市では，高齢者が在宅での生活を継続するために，地域での生活支援および介護予防サービスの構築，地域の見守りの輪を広げる活動を行ってきました。住民同士や宅配業者，生命保険会社などによる，地域での声かけや見守り，食料品や日用品を自宅に配達していただける87団体が，配達に併せた見守りを行っております。自宅を訪問しての生活支援の提供は，生活支援サポーターが役割を担っています。こうした様々な活動が地域に広がることで，市民が生活に満足感を感じ，笑顔で生活を送ることに繋がっていくと考えています。 引き続き，市民や民間団体など地域の皆さんに御協力をいただきながら地域の繋がりを強化し，高齢者の方が在宅で安心して生活していただけるよう，取組を進めてまいります。
コロナ禍で障がい者が罹患された場合，病院の受け入れに時間がかかる事例を伺い，心配になりました。 住民ボランティアによる生活支援サポーターが通院，買い物などの外出に付き添われることについては，素晴らしいサービスだと感じました。「運転免許証を返納された高齢者の生きる意欲のために」と伺いました。ぜひ地域の中で楽しみ，生きる意欲が沸く取組の継続に期待しています。	→	生活支援サポーター事業は，「住民互助」の仕組みづくりであり，行政と市民が連携することで実施できる事業です。令和4年度にも，生活支援サポーターを養成し，9月末時点で144人のサポーターが活動しており，今年度末には，1,500回を超える活動になると予測しています。 支援を受ける高齢者は，定期的に訪問を受けたり，一緒に外出することで，信頼関係が生まれ，安心感に繋がります。また，ちょっとした変化に気づけることで，病気の予防にも繋がります。生活支援サポーターは，活動を通して，地域の中で役割を担い，社会に貢献することで生きがいに繋がります。 今後，支援を必要とする認知症高齢者や精神障がい者，知的障がい者は増えていくことが予測されます。人と人がつながり，ともに生きがいのある生活を送っていただけるよう取組を進めていきたいと思います。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	・地域で見守り活動する人の数 生活支援サポーター等のボランティア人材の養成や企業との見守り協定の締結等を中心に，引き続き取組を進めてまいります。 ・社会活動(趣味等)の開催箇所数 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行による状況を鑑みつつ，長寿支援課や社会福祉協議会，公民館等の実施主体との連携を図りながら，社会活動の場の拡大を促進してまいります。 ・施設入所の割合 住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう，介護予防・健康づくりの推進，地域での支えあいを醸成するためのサポートなど，多様な実施主体と連携しながら施設利用の逓減を図ってまいります。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	・地域福祉の推進事業にはよく取り組んでいると考えます。今後も引き続き頑張って取り組んでいただきたいと思います。 ・認知症患者，精神障がい者，知的障がい者の増加が課題です。特に誰しもがなる可能性のある認知症については，当事者，家族，地域，多くの市民が知っておけば当たり前のこととして落ち着いて対応できるかと思います。介護をする側の身体的・精神的・経済的な不安や心配事を軽減する支援体制についても知っておくと安心です。いかなる人もいかなる状態でも互いに理解し，生き続けたいと思える笠岡市であってほしいと願います。そして高齢者の行方不明時，躊躇なく早めにSOSが出せる風潮になれば早期発見に至ると思います。認知症ひとり歩きSOSネットワーク協力機関・団体ですが，スーパー，コンビニや飲食店，娯楽施設など高齢者が立ち寄りそうなところ，また交通機関，ガソリンスタンド，配達員などにも幅広く登録が進めばよいと思います。今後も地域での繋がりにより全ての市民が安心して自分らしく暮らせるよう願います。 ・総合評価・達成目標を見ても，活動評価は十分と言えます。これからも地域福祉の原点である市民の幸せ感を充実させてください。 ・地域福祉として障害や認知症の方々に様々な取組をありがとうございます。認知症の予防に対するエビデンスも出始めました。新薬も出ましたが，日常生活で予防できることも多くあるようです。在宅で長く暮らせるようにご家族やご本人の心身ともに負担を軽減できるように推進していただくとともに，障害や認知症になっても安心して許してもらえる社会づくりの推進にこれからもご尽力願います。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－2	施策名	健康づくり	主担当課	健康推進課
戦略の柱	安定戦略　“安らぐ”				
基本方針	市民の健康寿命の延伸に向けて，赤ちゃんから高齢者まで生涯を通じて，それぞれのライフステージに応じた健康づくりに励むことのできる環境をつくるとともに，生活習慣病や要介護状態を早期発見，早期対応できる体制を整え，安心して暮らせるまちを目指します。			関係課	危機管理課 市民課 地域包括ケア推進室 長寿支援課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
健康寿命※（男性）	単位	目標		80.17	79.7	79.7	79.8
	年	実績	79.6	79.70	79.9	—	—
		達成率		99.4%	100.3%	—	—
健康寿命（女性）	単位	目標		84.65	85.3	85.6	86.1
	年	実績	84.8	84.40	84.2	—	—
		達成率		99.7%	98.7%	—	—
平均寿命（男性）	単位	目標		81.52	80.9	81.0	81.3
	年	実績	80.7	80.90	81.10	—	—
		達成率		99.2%	100.2%	—	—
平均寿命（女性）	単位	目標		87.84	88.0	88.2	88.5
	年	実績	87.7	87.60	86.90	—	—
		達成率		99.7%	98.8%	—	—

※健康寿命とは，「健康寿命の算定方法の指針」に基づいて，「日常生活が自立している期間の平均」という介護保険情報を利用した算出方法で，介護受給者台帳における「要介護2以上」を「不健康」として定義し，過去3年間の人口及び死亡数を用いて算出。

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	自主的な健康づくりの促進（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
運動習慣者※の増加	単位	目標		45.0	46.8	49.2	54.0
	%	実績	36.8	40.4	42.2	—	—
		達成率		89.8%	90.2%	—	—
健康ポイント事業への参加者	単位	目標		1,400	1,600	1,900	1,900
	人／年	実績	—	2,471	3,967	—	—
		達成率		176.5%	247.9%	—	—
週1回以上スポーツをしている人の割合(市民意識調査)	単位	目標			38.0	—	42.0(R6)
	%	実績	34.9	—	38.5	—	—
		達成率			101.3%	—	—
通いの場への参加率	単位	目標		7.0	7.7	7.8	8.0
	%	実績	6.4	8.0	8.4	—	—
		達成率			109.1%	—	—

※運動習慣者とは，1日30分以上，週2回以上を1年行っている者のこと

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	5,745	千円	1,530	千円	8,826	千円	13,502	千円
うち一般財源	5,620	千円	1,500	千円	8,796	千円	13,452	千円

1	健康増進計画の進行管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	健康づくりを地域に広める団体を育成し，市民と協働して「地域でのふれあいを通して，いきいきと心豊かに暮らせるまち」づくりを推進する。	「いきいき笠岡21」健康づくり計画の実施 ・「いきいき笠岡21」評価推進委員会の活動支援 「いきいき笠岡21」健康かぶとがにウォーキング大会の実施 「いきいき笠岡21」評価項目と今後の目標値設定 ・「いきいき笠岡21」庁内プロジェクトチームの稼働

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●健康づくり計画(第2期計画)の推進 ・かさおか健康ポイントの実施 参加者数:1,167名 ●食育の推進 ・食育ソフト，食育のホームページを普及啓発 ・栄養成分を表示する店舗の募集 ●保健団体の育成 ・保健団体の活動支援			⇒ ・かさおか健康ポイント 新型コロナウイルスの影響により実施していません。 ⇒ ⇒			⇒ ・かさおか健康ポイントの実施 参加者数:2,471名 ⇒ ⇒			⇒ ・かさおか健康ポイントの実施 参加者数:3,967名 ⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	5,745	千円	決算額	1,530	千円	決算額	8,826	千円	決算額	13,502	千円
	うち一般財源	5,620	千円	うち一般財源	1,500	千円	うち一般財源	8,796	千円	うち一般財源	13,452	千円

【達成目標2】	病気の発症予防・重症化予防の推進(※②)

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
特定健康診査の受診率	単位	目標		29.0	37.5	40.0	45.0
	%	実績	35.0	33.8	33.8	—	—
		達成率		116.6%	90.1%	—	—
メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合	単位	目標		26.4	25.8	25.2	24.0
	%	実績	30.3	31.9	30.8	—	—
		達成率		82.8%	83.8%	—	—
糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者の数	単位	目標		9	5	5	4
	人／年	実績	5	1	12	—	—
		達成率		900.0%	41.7%	—	—
糖尿病有病者の割合	単位	目標			15.0	14.9	14.7
	%	実績	15.2	15.2	14.7	—	—
		達成率			102.0%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	152,877	千円	154,232	千円	154,362	千円	145,182	千円
うち一般財源	121,958	千円	126,782	千円	125,561	千円	117,905	千円

2 生活習慣病及び介護予防事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民(健診種類によって異なる)	生活習慣病予備軍の早期発見に努めるとともに，糖尿病など重点対策疾患を予防し，医療費の適正化を図る。 65歳以上虚弱高齢者に介護予防事業を実施して，高齢者の要介護(支援)状態を予防する。	・制度改正に伴う新たな効率的・効果的な健康診査・保健指導体制の充実 ・壮年期の生活習慣病予防のための意識の向上を目指したポピュレーションアプローチの強化 ・高齢者の健康診査と介護予防事業の連携強化

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●特定健診・特定保健指導の実施 ●保健指導の強化 ●健康相談・教育，訪問の実施 ●健康管理手帳の作成，交付 ●肝炎検査の実施 ●後期高齢者健診の実施 ●歯科保健事業の実施 ●高齢者の見守り訪問	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	42,465	千円	決算額	45,939	千円	決算額	45,777	千円	決算額	46,207	千円
	うち一般財源	23,291	千円	うち一般財源	27,741	千円	うち一般財源	27,120	千円	うち一般財源	25,698	千円

3 がん検診事業

事務事業の目的		
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
・会社，医療機関等でがん検診を受診しない市民ほか(検診により異なる)	各種がんの早期発見，早期治療により，がん死亡率の減少を図る。 また，早期がんの治療により医療費の削減が図れるため，市民の医療保険料の負担軽減につながる。	・「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(平成10年3月老人保健課長通知)」に基づき，6種類のがん検診を医師会等と協議しながら実施する。 ・がん死亡率の低減に向けて，がん検診の受診率向上を図るため，集団検診・市内医療機関による個別検診を実施する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●各種がん検診の実施 ・女性のがんの節目検診(無料クーポン券発行)，償還払いの実施 ・受診しやすい環境づくり(医療機関による個別検診受診期間の拡大，検診料金の見直し，レディース健診の実施)	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	59,700	千円	決算額	54,103	千円	決算額	62,396	千円	決算額	57,435	千円
	うち一般財源	53,501	千円	うち一般財源	49,626	千円	うち一般財源	55,246	千円	うち一般財源	52,919	千円

4	健康危機管理対策(感染症予防)事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	高齢者のインフルエンザ・肺炎球菌予防接種を実施して，感染症の発症を予防する。 風しん抗体保有率の低い年代の男性に対し風しんの追加的対策を実施し風しんの発症を防止する。 また，新型インフルエンザなど新たな感染症に対応するための体制を整える。	・高齢者へのインフルエンザ予防接種の実施 ・高齢者への肺炎球菌予防接種の実施 ・風しん抗体保有率の低い年代の男性に対する風しん抗体検査および予防接種の実施

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・インフルエンザ予防接種の実施 ○風しんの追加的対策の実施			⇒ ○風しんの追加的対策の実施			⇒ ○風しんの追加的対策の実施			⇒ ○風しんの追加的対策の実施		
直接事業費	決算額	50,152	千円	決算額	53,667	千円	決算額	45,642	千円	決算額	40,998	千円
	うち一般財源	45,166	千円	うち一般財源	49,415	千円	うち一般財源	43,195	千円	うち一般財源	39,288	千円

5	公衆衛生対策業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
飼い犬と飼い主	狂犬病の発生を予防すると同時に蔓延を防ぎ，人間への感染を防止する。	狂犬病予防及び犬の登録

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・ 畜犬の登録管理			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	560	千円	決算額	523	千円	決算額	547	千円	決算額	542	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	158,622	千円	155,762	千円	163,188	千円	158,684	千円
うち一般財源	127,578	千円	128,282	千円	134,357	千円	131,357	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
かさおか健康ポイントの参加者数がかなり増えました。リリースしたグッピー利用者をよく見かけます。一人でも歩くことで楽しく健康づくりに励んでいるようです。感染症対策にもなりますし，時代にあった取組だと思います。 食育の推進も健康づくりには大きな影響があると思います。市のホームページで食生活ナビや減塩レシピの存在を初めて知りました。学校で子供は使った記憶があるのですが，大人での利用者はどのくらいいるのでしょう？多くの方にご利用いただくために知っていただく良い手段はないでしょうか。	→	かさおか健康ポイント事業では，アプリ活用による感染予防対策等のメリットが市民の皆様に受け入れられ，過去の健康ポイント事業参加者に加え若い世代や働く世代の方々にも登録していただき，利用者増加につながりました。 「食生活ナビ」につきましては，平成29年度から運用しており，小学校の授業でも活用していただきました。大人での利用者は，年間延べ約700人です。今後も多くの方に利用していただけるよう，かさおか健康ポイントアプリを登録者へお知らせするなど周知に努めます。また感染予防対策を行い，withコロナの時代に対応しながら，対面での周知にも努めます。さらに，市民の皆様が「食育」に関心を向けて頂けるよう，地域や栄養改善協議会とも連携し，普及啓発の方法を工夫しながら，「食生活ナビ」の活用促進に繋げたいと思います。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【糖尿病性腎症における年間新規透析導入患者の数】 糖尿病有病者はあまり変化がありませんが，新規の透析導入患者については，急激に人数が増加しています。令和5年度は，糖尿病重症化予防のため，医師会の先生のご協力を得ながら，普及啓発を行うとともに，健診結果で数値の高い方に対して，保健指導の充実に努めてまいります。また，未然防止の対策として，特定健康診査の受診勧奨及び，食習慣や運動習慣などの生活習慣の改善につながるよう，健康ポイント等の普及啓発に努めてまいります。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	・健康ポイント事業の参加者が増え続けているので，財政負担が軽減できるような補助金などがあれば良いなと思います。 ・昨年に引き続き，健康づくり等の多くの指標は良いと思います。今後も引き続き頑張って取り組んでいただきたいと思います。 ・健康ポイント事業への参加率が増え素晴らしい。運動習慣者がさらに増え，病気予防につながるとよいと思います。ニュースポーツ体験などで楽しむ中で新たに運動習慣者が増えるかもしれません。デイサービスを利用していないこもりがちな高齢者は特に運動から遠のいています。関係課の連携の中で更なる開拓をお願いします。健康づくりに大きな影響がある食育の推進も引き続きお願いします。子供はもちろん，ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦への必要性を感じています。お弁当を買ったり，簡単な料理しか作らなかったりと栄養のバランスが偏ってきている傾向があるようです。高齢者給食サービス事業の利用や何かの折の指導があれば健康寿命も伸び助かると思います。 ・運動習慣者の増加はいいことだと思いますが，健康の見返りで十分なはずが，クーポン券目当てでやられている人も多い。自分の健康生活を考えると，見返りを求めないでも行うことができるような取組でありたい。 ・達成目標1の自主的な健康づくりの促進についてですが，素晴らしい指標であるとともに参加者の増加が顕著で素晴らしいと思いました。気になるのは笠岡市に産婦人科がなくなるということです。働き盛りの女性の検診や近くで産み育てられないことは定住にも影響があると思います。何かしらの働きかけをお願いしたいです。 ・アプリ版かさおか健康ポイントはヒットだと思います。引き続き健康増進に向けて期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－3	施策名	医療・救急体制の整備	主担当課	健康推進課 警防課
戦略の柱	安定戦略　“安らぐ”				
基本方針	医療関係機関等と連携しながら，地域医療体制，救急医療体制の整備に努め，住む場所や時間に限らず，必要な医療を市民が安心して受けることができるまちを目指します。			関係課	市民病院

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
救急出動件数（人口1万人当たり）	単位	目標		528	521	515	501
	件／年	実績	501	500	566	—	—
		達成率		94.7%	92.0%	—	—
救命講習会を受講したことがある人の割合（管内人口に対する割合）	単位	目標		23.5	25.4	26.2	30.0
	%	実績	21.0	22.0	23.1	—	—
		達成率		93.6%	90.9%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	医療体制の整備（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
管内医療機関への収容率	単位	目標		50.0	50.8	51.5	53.2
	%	実績	46.5	46.3	51.3	—	—
		達成率		92.6%	101.0%	—	—
救急活動症例検討会等への救急隊員1人当たりの参加時間	単位	目標		6.0	8.0	10.0	15.0
	時間	実績	1.0	1.8	3.8	—	—
		達成率		30.0%	47.5%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	10,795	千円	10,671	千円	11,167	千円	11,185	千円
うち一般財源	10,009	千円	9,923	千円	10,419	千円	10,434	千円

1 救急医療体制整備事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
休日に受診を望む市民	日曜・祝祭日・年末年始の医療機関が休みの日でも，市内に内科と外科系それぞれ1医療機関が当番で開院し，急な受診を希望する市民の受診機会を確保する。歯科については，年末年始の受診機会を確保する。	・笠岡医師会と委託契約を締結し，休日当番医制度を実施する。 ・岡山県南西部圏域における二次救急医療体制の整備を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●医師会・歯科医師会補助金 ・研究研修費用の助成 ●在宅当番医制事業 ・休日の内科・外科系の診療体制の確保 ●二次救急医療体制事業 ・県南西部圏域における二次救急体制の整備	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	7,547	千円	決算額	7,270	千円	決算額	7,231	千円	決算額	7,200	千円
	うち一般財源	6,761	千円	うち一般財源	6,522	千円	うち一般財源	6,483	千円	うち一般財源	6,449	千円

2 救急業務推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
救急救命士及び救急隊	救急現場から医療機関へ患者を搬送するまでの間に救急救命士や救急隊員が行なう応急処置の質を向上させる	・救急業務推進協議会 ・症例検討会

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●救急業務推進協議会 ・備中地区MC協議会 (備中地区6消防本部と医療機関の情報共有) ●笠岡症例検討会 ・救急活動の事後検証会 (周辺地域の二次・三次医療機関) ●笠岡地区救急告示医療機関連絡会	⇒ 中止 中止	⇒ ●笠岡症例検討会 ・救急活動の事後検証会 (周辺地域の二次・三次医療機関) ●笠岡地区救急告示医療機関連絡会	⇒ ⇒

		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	24	千円	決算額	17	千円	決算額	24	千円	決算額	20	千円
	うち一般財源	24	千円	うち一般財源	17	千円	うち一般財源	24	千円	うち一般財源	20	千円

3	救急救命士等養成事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
消防職員	救急現場や救急車内での医師の指示の下，救命処置を施すことができる国家資格である救命救急士を養成し，救命率を向上させる	・救急救命士の資格取得 ・救急救命士の確保 ・高度かつ専門的な教育訓練を実施する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●各種研修会への参加 ・救急救命研修所へ1名派遣（救急救命九州研修所） ●病院実習（救急救命士研修） ・気管挿管実習（30症例2名）（倉敷中央病院，松田病院） ・救命士就業前実習（笠岡市民病院2名） ・救急救命士再教育病院実習（笠岡市民病院8名　川崎医科大学附属病院13名・倉敷中央病院4名・金光病院3名・笠岡中央病院4名）	⇒ ⇒ ・気管挿管実習（30症例1名）（川崎医科大学附属病院） ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡（5症例1名）倉敷中央病院 ・救命士就業前実習（笠岡市民病院1名） ・救急救命士再教育病院実習（笠岡市民病院16名　川崎医科大学附属病院20名・倉敷中央病院4名・金光病院6名）	⇒ ⇒ ・気管挿管実習（30症例3名）（倉敷中央病院，松田病院，岡山ろうさい病院） ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡（5症例1名）川崎医科大学附属病院 ・救命士就業前実習 笠岡市民病院2名 ・救急救命士再教育病院実習 笠岡市民病院　24名 笠岡第一病院　15名 金光病院　6名 川崎医科大学附属病院　29名 倉敷中央病院　26名	⇒ ⇒ ・気管挿管実習（30症例3名）（倉敷中央病院，川崎医科大学附属病院，岡山労災病院） ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡（5症例2名）（倉敷中央病院，川崎医科大学附属病院） ・救命士就業前実習（笠岡市民病院，川崎医科大学附属病院1名） ・指導救命士長期病院実習（倉敷中央病院，川崎医科大学附属病院各1名30日） ・再教育病院実習（笠岡市民病院　34名，笠岡第一病院　18名，笠岡中央病院　2名，安倍医院　1名，倉敷中央病院　23名，川崎医科大学附属病院　31名）
直接事業費	決算額　3,224　千円	決算額　2,657　千円	決算額　3,501　千円	決算額　3,618　千円
	うち一般財源　3,224　千円	うち一般財源　2,657　千円	うち一般財源　3,501　千円	うち一般財源　3,618　千円

4	救急資機材等整備事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
地域住民	救急資機材を整備し，救命率を向上させる	救命処置用資機材の更新整備

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●救急資機材の更新整備 救急車の更新整備事業で整備したため計上無し。	●救急資機材の更新整備 （感染防護衣）	⇒救急資機材の更新整備 （感染防護衣）	⇒
直接事業費	決算額　0　千円	決算額　727　千円	決算額　411　千円	決算額　347　千円
	うち一般財源　0　千円	うち一般財源　727　千円	うち一般財源　411　千円	うち一般財源　347　千円

【達成目標2】	島しょ部における医療体制の整備（※①③）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
島しょ部診療所（医科・歯科）数	単位	目標		9	9	9	9
	箇所	実績	9	9	9	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
救急隊が救急患者へ接触するまでの時間	単位	目標		45	45	45	45
	分	実績	41	40	51	—	—
		達成率		112.5%	88.2%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
直接事業費	48,757　千円	47,146　千円	45,595　千円	41,466　千円
うち一般財源	48,757　千円	47,146　千円	45,595　千円	41,466　千円

5	へき地診療所事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
島しょ部住民	・島しょ部住民等の診療を行い，医療業務を円滑に実施する。	・六島，白石島，高島，飛島，北木島住民等の診療を行う。 ・患者輸送艇の運航

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	★●患者輸送艇運航 ★○へき地診療所運営 ・H27.8 白石島診療所開所	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒

直接事業費	決算額	19,339	千円	決算額	17,605	千円	決算額	16,248	千円	決算額	15,769	千円
	うち一般財源	19,339	千円	うち一般財源	17,605	千円	うち一般財源	16,248	千円	うち一般財源	15,769	千円

6 真鍋島直営診療所施設運営事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
島しょ部住民	・島しょ部住民等の診療を行い，医療業務を円滑に実施する。	・真鍋島住民等の診療を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	★○直営診療所運営	⇒	⇒	⇒

直接事業費	決算額	27,163	千円	決算額	27,775	千円	決算額	27,213	千円	決算額	23,397	千円
	うち一般財源	27,163	千円	うち一般財源	27,775	千円	うち一般財源	27,213	千円	うち一般財源	23,397	千円

7 離島救急患者輸送委託事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
島嶼部住民	救急患者が発生した際，住民の負担を軽減し，保健を向上させる	離島において救急患者が発生した際，救急患者輸送委託をした船舶で，患者を輸送し，輸送後救急隊が引継ぎ医療機関へ搬送する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	★●離島救急患者輸送委託 132件	⇒ 106件	⇒ 135件	⇒ 134件

直接事業費	決算額	2,255	千円	決算額	1,766	千円	決算額	2,134	千円	決算額	2,300	千円
	うち一般財源	2,255	千円	うち一般財源	1,766	千円	うち一般財源	2,134	千円	うち一般財源	2,300	千円

【達成目標3】	市民病院の経営改善（※④）

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
病床稼働率	単位	目標			85.0	90.0	90.0
	%	実績	70.6	90.9	95.6	—	—
		達成率			112.5%	—	—
医業収入に対する人件費率	単位	目標			75.0	61.8	70.0
	%	実績	89.5	71.5	60.6	—	—
		達成率			123.8%	—	—
医業収支比率	単位	目標		75.5	80.8	94.1	83.8
	%	実績	67.9	84.5	93.8	—	—
		達成率		111.9%	116.1%	—	—
経常収支比率	単位	目標		94.2	98.9	109.6	102.3
	%	実績	96.7	109.1	119.1	—	—
		達成率		115.8%	120.4%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	1,968,126	千円	1,951,426	千円	2,011,487	千円	2,054,099	千円
うち一般財源	401,484	千円	363,900	千円	382,000	千円	469,176	千円

8	市民病院運営事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
地域住民	笠岡地区を中心に地域医療を担い，安心して暮らせるようにする	・内科，循環器内科，呼吸器内科，外科，消化器内科，整形外科，皮膚科，泌尿器科，産婦人科，眼科，小児科，リハビリテーション科，放射線科による診療 ・各種健診事業 ・島しょ部診療所への医師の派遣

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	●病院事業 ●市民病院改革プランの実施 ・施設基準の見直し （一般病棟入院基本料7→6，急性期看護補助体制加算50対1，医師事務作業補助体制加算1　50対1　など） ・重油単価契約の見直し （平成30年度比　約190万円の減）			⇒ ・病棟再編（3病棟→2病棟） ・新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症関連事業（新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ入院病棟設置,帰国者・接触者外来(発熱外来）設置,新型ｺﾛﾅﾜｸﾁﾝ基本型接種施設設置） ⇒ ・施設基準の見直し （脳血管疾患等ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科Ⅰ，地域包括ケア入院医療管理料1，急性期看護補助体制加算50対1，20対1医師事務作業補助体制加算1，がん治療連携指導料など）			⇒ ・民間病院を経営する理事長を病院事業管理者兼院長に招聘し経営改善と診療体制強化を実施 ・新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症関連事業（新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ即応病床指定（ﾌｪｰｽﾞ1　中等症11床），発熱外来，新型ｺﾛﾅﾜｸﾁﾝ基本型接種施設） ⇒ ・施設基準等の見直し （ﾘﾊﾋﾞﾘﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ加算(A)イ(B)イ，ｵﾝﾗｲﾝ診療，がん患者ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料）			⇒ ・昨年度招聘した病院事業管理者のもと経営改善と診療体制強化を実施 ・新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症関連事業（新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症の重点医療機関の指定，新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ即応病床指定（ﾌｪｰｽﾞ1　中等症11床），発熱外来，新型ｺﾛﾅﾜｸﾁﾝ基本型接種施設） ⇒ ・施設基準等の見直し （感染対策向上加算2，腎臓移植に関する医療（自立支援医療）の指定，移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法，別添1の「第14の2」の1の（3）に規定する在宅療養支援病院など）		
直接事業費	決算額（人件費含）	1,968,126	千円	決算額（人件費含）	1,951,426	千円	決算額（人件費含）	2,011,487	千円	決算額（人件費含）	2,054,099	千円
	うち笠岡市負担分	401,484	千円	うち笠岡市負担分	363,900	千円	うち笠岡市負担分	382,000	千円	うち笠岡市負担分	469,176	千円

【達成目標4】市民への医療に関わる普及啓発の推進（※⑤⑥）

達成目標4の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
救命講習会の参加者数	単位	目標		1,200	1,200	1,200	1,200
	人／年	実績	747	560	675	—	—
		達成率		46.7%	56.3%	—	—
心肺蘇生法，AED取扱指導受講者数	単位	目標		2,200	2,200	2,200	2,200
	人／年	実績	408	892	1,113	—	—
		達成率		40.5%	50.6%	—	—
救マーク認定事業所数	単位	目標		58	63	65	68
	事業所	実績	53	56	62	—	—
		達成率		96.6%	98.4%	—	—
救急搬送人員に占める軽症者※の割合	単位	目標		41.0	39.0	36.5	34.0
	%	実績	41.8	40.6	40.6	—	—
		達成率		101.0%	96.1%	—	—

※軽症者とは，入院を要しない傷病者をいう

達成目標4の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	546	千円	649	千円	666	千円	685	千円
うち一般財源	546	千円	649	千円	666	千円	685	千円

9 応急手当等普及・啓発事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
地域住民	市民による初期の応急処置によって救命率の向上を図る	・地域住民対象の講習会実施 ・事業所への応急手当普及啓発 ・コンビニエンスストアへAEDを設置

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●応急手当普及員の養成 ●応急手当指導員の養成 ●各事業所に対する応急手当の普及啓発活動の推進 ●普通救命講習会（上級・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）の開催 ●市内の24時間営業店舗（13箇所）及び島しょ部消防機庫（9箇所）へのAED設置・管理	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ●市内の24時間営業店舗（14箇所）及び島しょ部消防機庫（9箇所）へのAED設置・管理	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ●市内の24時間営業店舗（14箇所）及び島しょ部消防機庫（9箇所）へのAED設置・管理

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	546	千円	649	千円	666	千円	685	千円
	うち一般財源	546	千円	649	千円	666	千円	685	千円

10 救急車適正利用促進事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
市民	緊急性が低い軽症の病気の人に対する出動回数を減らし，限られた救急車を有効に活用し，適切な行政サービスが行えるようにする。	救急車適正利用の広報・啓発

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●広報紙掲載 ・広報紙及びホームページでの適正利用啓発 ●ケーブルテレビによる啓発 ・ケーブルテレビによる適正利用啓発 ●各種講習会での啓発	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	うち一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	2,028,224	千円	2,009,892	千円	2,068,915	千円	2,107,435	千円
うち一般財源	460,796	千円	421,618	千円	438,680	千円	521,761	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
コロナ禍で大変な中でも救急救命士等養成等の実習を受けてくださったりと御尽力いただき感謝いたします。 市民病院については，新型コロナウイルス対策の補助金があったとはいえ，8年ぶりの黒字決算ということで嬉しいニュースでした。R4年度以降は人件費の削減等により黒字化を図るとのことですが，現場は大丈夫でしょうか？一人に対する負担が大きくなりすぎませんか。市民アンケートで赤字でも市民病院は必要と思っている割合が多かったと思います。過疎地域でも医療サービスを提供する生活インフラとして重要な役割をもつ市民病院です。しっかりと役割を果たせる上での経費削減を図ってくだされば良いかと思います。引き続きよろしくお願いいたします。	→	看護師には配置基準がありますので，配置基準を満たせないような人員削減をいたしませんのでご安心ください。 今までの削減は余裕のあった人員分です。
計画策定来の最大の懸案であった「達成目標3市民病院の経営改善」では，指標である医業収支比率，経常収支比率ともに令和3年度の目標値を下げたが，医業収支比率は大きく改善し，経常収支比率100%超となり経常収支での黒字となったことは大きな前進です。一方でこの要因の一つに人件費（職員）の削減をあげています。当然ながら，一人当たりの業務負担が過度な状況にならないように考慮されているのでしょうか。	→	看護師には配置基準がありますので，配置基準を満たせないような人員削減をいたしませんのでご安心ください。 今までの削減は余裕のあった人員分です。
コロナ禍において医療体制の整備に連携され，医療従事者の皆様担当課にお礼を申し上げます。未達成指標としてきた市民病院の体制も多くの関係者の方々のお陰で持ち直して下さっていると感じます。長続きする正常運営をするためには人件費の削減も必要ですが，受診する市民がホスピタリティーを求め選ばれる病院を希望します。医療従事者が健やかに働いている病院で診ていただきたいです。	→	人に優しくするには自分に余裕がなければならないと思っています。 しかし，人員的に余裕があれば優しくできるかと言えば否だと思います。例え忙しくても患者様に優しくできる医療スタッフであれるよう職員教育に努めたいと思います。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	C

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	未達成であった指標を分析してみますと，昨年度も新型コロナウイルス感染症の収束がみられない中，感染拡大及び感染の疑いにより，多くの講習会や検討会が中止となりました。現段階でも新型コロナウイルスは感染拡大しており懸念しているところではありますが，感染症法上の5類感染症に移行されたことから，新しい生活様式を取り入れながら講習会の実施，リモートを活用しての検討会等の開催など，創意工夫を凝らしながら，市民への応急手当等の普及・啓発の推進に努めて参ります。(警防課)

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	A
コメント	・現着遅れの報道を拝見しました。日々大変だとは思いますが，市民の安心安全のために，今一度気を引き締めていただきたいです。 ・令和3年度の評価がAで，今回の担当部署の自己評価がCと落ち込んでいます。多くの講習会等がコロナ禍により中止となったとありますが，それよりもよく頑張ったのではないかと思います。 ・救急出動件数が昨年度よりも増えてしまいましたが，軽症者の割合は減っていることから本当に必要な方の利用が多かった年だったということでしょうか。お疲れ様でした。コロナ禍で忙しい中でも昨年度よりも講習会や検討会への参加率が増えたことに感謝いたします。状況を見ながら達成率に近づくようお願いします。島嶼部の救急患者へ接触するまでの時間がかなり長くなっています。なにか理由があったのでしょうか。新たに救急艇「みたけ」が導入されました。今後に期待しています。また市民病院が経営改善がさらに進んでいることは素晴らしいと思います。 ・経常収支も安定してきているようです。これからもこの体制を維持して，市民の求められている「明るい病院」「親しまれる病院」を目指して，頑張ってください。 ・笠岡市の医療救急体制にご尽力いただきありがとうございます。救急搬送に関しての悲しいニュースを見て残念に思いました。様々な連絡もあるかと思いますが，迅速な対応ができるようお願いします。笠岡市に産婦人科がなくなります。産み育てる女性の移住を増やしたいと考える笠岡市に産婦人科がないことは大きな痛手のように思います。市民病院では厳しいのでしょうか。ご検討いただけたらと思います。 ・救急艇の導入により，島しょ部の皆さんの安心安全はかなり進んだと思います。引き続き，市民の「安らぐ」に向けて期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－4	施策名	障がい者・障がい児福祉の充実	主担当課	地域福祉課
戦略の柱	安定戦略　“安らぐ”				
基本方針	ノーマライゼーションの理念の下，障がい者・障がい児が，必要とする障がい福祉サービス・障がい児通所支援サービス等の支援を受けつつ，住み慣れた地域社会で自立して生活し，全ての市民と共に参加できるまちを目指します。			関係課	建設管理課 都市計画課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
「障がい者福祉の充実」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	2.6	—	2.8(R6)
	%	実績	2.5	—	0.8	—	—
		達成率		—	30.8%	—	—
障がい者の法定雇用率の対象事業所の障がい者の雇用率	単位	目標			1.98	1.99	2.01
	%	実績	1.96	2.00	1.90	—	—
		達成率			96.0%	—	—

※障害者の法定雇用率の対象事業主の範囲は，従業員45.5人以上でしたが，令和3年3月1日から従業員43.5人以上に変更になっている。

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	理解と交流の促進（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
理解を深める研修，支援者の事例検討等への参加者数	単位	目標		139	139	139	139
	人／年	実績	89	89	302	—	—
		達成率		64.0%	217.3%	—	—
障害関連イベント参加者数	単位	目標		269	489	389	389
	人／年	実績	89	326	815	—	—
		達成率		121.2%	166.7%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	35,434	千円	92,394	千円	57,481	千円	29,890	千円
うち一般財源	23,940	千円	27,087	千円	23,501	千円	20,978	千円

1	障がい福祉制度事務(再掲)

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
障がい者等 (障がい者，障がい児，難病患者，保護者)	障がい者等が必要な障がい福祉制度を利用することにより，自立した日常生活を営み福祉の増進を図る。	◆就労奨励補助金 →障がい者1人につき，地域活動支援センター事業を行う事業所等において生産活動を行った日数に200円を乗じた額を補助 ◆心身障害者扶養共済制度 →知的障がい者(児)を保護している者の万一の場合を考えての保険制度で，一定の掛け金を納めて年金を受け取る制度 ◆障がい者相談員等設置事務 →障がいの当事者や関係者に相談業務を相談者として委託し，相談者への必要な助言・指導・心のケアを図る。 ◆成年後見制度市長申し立て事務 →事情により親族申し立てができない障がい者等の権利擁護を図るため，市長が成年後見申し立てを行う。 ◆障がい福祉サービス事業所への交通費事業費補助事業 →島しょ部の利用者に障がい福祉サービスを提供する事業所への交通費・事業費の補助を行う。 ◆訪問入浴サービス事業 →市内に住所を有する在宅で入浴が困難な者に対して，事業者が自宅を訪問して入浴サービスを提供する。 ◆短期入所サービス拡大促進事業補助金 →重症心身障害児(者)，療養介護対象者及び遷延性意識障害者等が市内で安心して生活できるよう，医療型短期入所事業所の整備・拡充を促進した。 ◆障がい者集いの場施設整備事業 →福祉的就労利用後の集いの場を整備し，障がい者の就労後の居場所確保，保護者の就労支援に寄与した。 ◆避難行動要支援者管理システム運用事業 →情報を登録するとともに同意のもと自主防災組織等に情報提供し避難支援に役立てる。 ◆緊急通報システムNET119→音声言語のコミュニケーションが困難な方が，携帯電話やスマートフォンで火災や救急等の緊急通報を行うシステムを導入。 ◆各種受付事務 ◆障がい者(児)等緊急応援事業 →新型コロナウイルスにより経済的に影響のあった障がい者(児)等を応援するため商品券の配布，インフルエンザワクチン接種助成，手作りマスク配布等を実施した。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・関係機関とのネットワークの強化 ・障害者支援制度の改善，拡充の要望 ・窓口業務の効率化 ・情報提供の強化 ・就労奨励補助金 支給実人数 193人 ・訪問入浴サービス事業 実人数 1人 ・短期入所サービス拡大促進事業補助金 事業所 1 ・障がい者集いの場 登録者10 ・避難行動要支援者 同意者数598 ・緊急通報システムNET119 登録者数10	⇒ ⇒ 支給実人数 183人 ⇒ 実人数 1人 ⇒・短期入所サービス拡大促進事業補助金 事業所 1 ・障がい者集いの場 登録者12 ・避難行動要支援者 同意者数570 ・緊急通報システムNET119 登録者数10 ・障がい者(児)等緊急応援事業 手作りマスク配布対象者 1,176人 商品券配布対象者 3,454人 インフル助成対象者 111人	⇒ ⇒ 支給実人数 190人 ⇒ 実人数 3人 ⇒・短期入所サービス拡大促進事業補助金 事業所 1 ・障がい者集いの場 登録者12 ・避難行動要支援者 同意者数566 ・緊急通報システムNET119 登録者数11 ・障がい者(児)等緊急応援事業 商品券配布対象者 3,463人	⇒ ⇒ 支給実人数 199人 ⇒ 実人数 3人 ⇒・短期入所サービス拡大促進事業補助金 事業所 2 ・障がい者集いの場 登録者12 ・避難行動要支援者 同意者数577 ・緊急通報システムNET119 登録者数11
直接事業費	決算額 35,434 千円 うち一般財源 23,940 千円	決算額 92,394 千円 うち一般財源 27,087 千円	決算額 57,481 千円 うち一般財源 23,501 千円	決算額 29,890 千円 うち一般財源 20,978 千円

【達成目標2】	障がい者・障がい児への支援の充実（※③）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
訪問系サービスの月間実利用者数	単位	目標		94	95	95	96
	人／月	実績	77	83	100	—	—
		達成率		87.9%	105.3%	—	—
日中活動系サービスの月間実利用者数	単位	目標		410	428	430	436
	人／月	実績	389	405	423	—	—
		達成率		98.8%	98.8%	—	—
障がい児通所支援の月間実利用者数	単位	目標		208	215	220	222
	人／月	実績	223	254	294	—	—
		達成率		122.1%	136.7%	—	—
就労支援を利用して，一般就労に移行した延べ人数	単位	目標		86	88	90	94
	人	実績	84	89	91	—	—
		達成率		103.5%	103.4%	—	—
就労継続支援事業所と連携している（農福連携）農業者数	単位	目標			12	12	15
	所	実績	10	10	10	—	—
		達成率			83.3%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	1,335,888	千円	1,416,877	千円	1,487,772	千円	1,571,780	千円
うち一般財源	355,257	千円	383,948	千円	380,961	千円	425,153	千円

2	障がい福祉サービス事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
障がい者（児）	障がい者等がその有する能力及び適性に応じ，自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう，必要な障がい福祉サービスに係る給付その他の支援を行い，もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。	◆障がい福祉サービス費給付→障害者総合支援法による障がい福祉サービス費の給付◆障がい児サービス費給付→児童福祉法による障がい児通所サービス費の給付◆補装具費給付→義肢，装具，車いす等の給付◆自立支援医療→精神通院医療，更生医療，育成医療の医療給付◆地域生活支援事業→市が創意工夫により，利用者の状況に応じて柔軟に実施する事業◆障がい者虐待防止事業→障がい者虐待防止センターの設置，事例対応を行う。◆障がい者就労促進事業→障がい者の一般就労を支援するため，民間企業を含め関係機関と連携を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●訪問系，居宅系，日中活動系サービス事業	⇒	⇒	⇒
	●相談支援事業	⇒	⇒	⇒
	●意思疎通支援事業	⇒	⇒	⇒
	●社会参加促進事業	⇒	⇒	⇒
	●日常生活用具給付事業	⇒	⇒	⇒
	給付件数 1,572件	⇒給付件数 1,555件	⇒給付件数 1,496件	⇒給付件数 1,580件
	●日中一時支援事業	⇒	⇒	⇒
	実利用人数 55人	⇒ 実利用人数 61人	⇒ 実利用人数 57人	⇒ 実利用人数 64人
	●移動支援事業・生活支援事業	⇒	⇒	⇒
	実利用人数 26人	⇒実利用人数 133人	⇒実利用人数 121人	⇒実利用人数 135人
	●地域活動支援センター事業	⇒	⇒	⇒
	・障がい者虐待防止事業	⇒	⇒	⇒
	ピアサロン事業 利用者計342人	⇒ピアサロン事業 利用者計524人	⇒ピアサロン事業 利用者計269人	⇒ピアサロン事業 利用者計314人

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	1,333,215	千円	1,414,843	千円	1,484,744	千円	1,568,626	千円
	うち一般財源	353,740	千円	383,161	千円	379,740	千円	423,694	千円

3	要保護児童対策事業(再掲)

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
被虐待児童及び支援を必要とする児童とその保護者	被虐待児及び困り感を持った児童が一人の人間として人権の尊重される生活を送ることができるようにする。	各関係機関が連携し，情報の共有化を図ることで，それぞれの機関が同一の認識のもとで責任を持って支援を行なう。子育て不安やストレス，親子関係等の問題等に対し，保護者が安心感をもてる環境を提供しながら，専門職による対応・支援等の児童家庭相談を行う。児童虐待防止月間に合わせて啓発を行う。4歳児の発達に関する相談及び支援を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●要保護対策事業 ・被虐待児の早期発見と安全を確保 ●4歳児発達支援事業 ・特性に応じた成長，発達の支援，教育機関等へのコーディネイト 創●要保護児童管理システム構築 ＜生活実態調査報告書作成＞ ＜児童虐待(新規登録)件数:38件＞			⇒ ⇒ ⇒ ＜児童虐待(新規登録)件数:41件＞			⇒ ⇒ ⇒ ＜児童虐待(新規登録)件数:38件＞			⇒ ⇒ ⇒ ●総合支援拠点事業 ＜児童虐待(新規登録)件数:30件＞		
直接事業費	決算額	2,673	千円	決算額	2,034	千円	決算額	3,028	千円	決算額	3,154	千円
	うち一般財源	1,517	千円	うち一般財源	787	千円	うち一般財源	1,221	千円	うち一般財源	1,459	千円

【達成目標3】	地域で暮らすための環境整備(※④)

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
公共施設の新規バリアフリー化件数	単位	目標		4	5	5	5
	件／年	実績	7	4	4	—	—
		達成率		100.0%	80.0%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
うち一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円

4	住みよいまち環境整備事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
・市民 ・障がいのある人	・障がいについての理解の促進を図る。 ・障がいのある人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう環境整備をする。	・障がいについての理解の促進のため，市民への啓発・広報事業を行う。 ・公共施設や建築物のバリアフリー化を推進し，ユニバーサルデザインのまちづくりをする。 ・福祉制度等の音訳や情報支援機器の活用促進等により，効果的に情報が得られる環境づくりをする。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●市民への啓発・広報事業 ●声の広報等発行事業（広報かさおか，議会だより，社協だより） ●朗読奉仕員養成事業 〈初級講座受講者：2人〉 ●駅前視覚障がい者用信号機事業 〈市民会館トイレ・エレベーター，敬愛園トイレ，中央小学校運動場トイレ，カブトガニ博物館屋外便所バリアフリー化〉	⇒ ⇒ ⇒ 〈初級講座受講者：4人〉 ⇒ 〈議会棟トイレ洋式化，吉田文化会館・城見公民館・金浦公民館・飛島公民館トイレ，カブトガニ博物館トイレ・保健センター2階トイレバリアフリー化〉	⇒ ⇒ ⇒ 〈初級講座受講者：0人〉※中級3人 ⇒ 〈本庁舎1階男子トイレ改修，定住促進センター監査事務局横トイレ改修・本庁舎エレベーター改修，図書館トイレ改修〉	⇒ ⇒ ⇒ 〈初級講座受講者：3人〉※中級2人 ⇒ 〈本庁舎新館出入口改修，定住促進センター監査事務局横トイレ改修，市営住宅樋守団地バリアフリー化工事，甲弩集会所上下水道接続工事〉
直接事業費	決算額 0 千円	決算額 0 千円	決算額 0 千円	決算額 0 千円
	うち一般財源 0 千円	うち一般財源 0 千円	うち一般財源 0 千円	うち一般財源 0 千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
直接事業費	1,371,322 千円	1,509,271 千円	1,545,253 千円	1,601,670 千円
うち一般財源	379,197 千円	411,035 千円	404,462 千円	446,131 千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
イベントの参加者数は増加しているが事例検討の参加は減少している。コロナ禍での開催方法を検討されたい。引き続き，障がい者が自立して生活できる笠岡を目指して尽力されたい。	→	事例検討につきましては，コロナ禍での感染拡大により関係機関との日程調整ができなかったこと等により開催ができませんでした。会議等でZOOMでの使用も増えたことから遠隔も含めた事例検討の開催を行うようにしたいと考えています。
障がい者支援団体も，できるだけ地域住民とのふれあい活動を重視してきていましたが，コロナ感染拡大のため，やむなく休止されています。こうしたふれあい活動は，人権尊重に通じる活動ですので，各地に広がる事を期待します。	→	地域住民とのふれあい活動につきましては，障がいについて考える貴重な機会ですので感染状況を見ながら感染対策を図りつつ，できる限り開催するようにしていきたいと考えております。

未達成の指標への対応策にも書かれていますが，新型コロナウイルス感染症対策を図った上での無理のないサービスを行なっていただければ，目標値を無理に達成されなくてもよろしいかと思います。数だけではははかれない繊細な部分が多いこともあると思います。お一人お一人の必要とされるサービスが届くようお願いいたします。 児童虐待の新規登録件数が昨年度より減っているのに決算額が増えています。被虐待児童を守ることは大変重要で御苦労も多いと思います。御説明ください。 障がいのある人との交流機会の充実について学校教育をはじめ多様な交流機会の拡充に努めてくださるとのこと。地域で共に生きていく上でとても大切なことだと思います。総合計画にはありませんでしたが施策シートでの主担当課には子育て支援課もあります。学校教育課も関わってくると思います。連携して推し進めていってください。	→	訪問系サービスの目標値についてご意見いただきましてありがとうございます。 現状，障害福祉サービスの計画書を作成し，利用者と事業所との間を調整する相談支援事業所が不足しており，来年度事業所が開設される予定です。 開設によりご意見のありましたお一人お一人の必要とされるサービスが届くよう取り組んでいきたいと考えております。 児童虐待の新規登録件数は昨年度よりやや減少していますが，総件数は横ばいとなっています。 コロナ禍により，育児の孤立化が深まったり経済面等の生活基盤が不安定になる中，虐待の未然防止を強化する目的で，令和3年度から養育状況の把握や見守りを行う事業を新たに開始したことから，決算額は増加しています。 今後も，引き続き，虐待の未然防止に努めてまいります。
コロナ禍において様々な対策を講じて下さりありがとうございました。コロナ禍だからこそ，障がい者，障がい児やその御家族など，ストレスが増えると思います。Zoomにこだわらず，Lineの活用について，他の課にあればそちらからで良いのですが，オンライン設備の貸出も御検討をお願いしたいです。今後とも，障がい者，障がい児やその御家族の現状把握とサポートをお願いいたします。	→	コロナ禍の長期化で障がい者の状況も就労の機会が減ったり，病院での診断や薬の提供がスムーズに行われなかったり，電気代をはじめとした物価高騰など様々なことが発生しています。 今後も引き続き対応できる対策を国や県の動向を注視しつつ，行っていきたいと考えております。 オンライン設備に関しましては遠隔手話事業でタブレットを導入しています。そちらを活用することを念頭に事業を行っていきたいと考えております。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A：施策を構成する事業が順調に進行している。 B：施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C：施策を構成する事業が一部遅れている。 D：施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	・「障がい者福祉の充実」の満足度（市民意識調査） 満足率が16.7%（令和2年度17.6%）と微減，不満率が15.9%（令和2年度15.1%）と微増しており，全体として数値が低下した。 今後の対応として各種手続きの簡略化，制度の見直し等により満足率を向上し，不満率を低減することにより対応していきたい。 ・日中活動系サービスの月間実利用者数 実利用者数が昨年度の新型コロナウイルスの影響もあり，目標にわずかに届かなかった。今後の対応として就労系事業所の利用を増やすことにより対応していきたい。 ・就労継続支援事業所と連携している（農福連携）農業者数 燃料や農業用資材の高騰により農家側の経営が厳しくなっていること，新型コロナウイルスの影響もあり，新規の連携している農業者を増やすことができなかった。今後の対応として農業者側との交流を増やすことにより農福連携の農業者を増やしていきたい。 ・公共施設の新規バリアフリー化件数 新型コロナ対策等で公共施設のバリアフリーが進んでいたが，件数が目標に届かなかった。今後の対応として未整備施設の洗い出しを進めることにより対応していきたい。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・障がい者支援はハードな業務でありながら，市民の満足度が得がたく，結果も見えづらいですが，引き続き関係機関との連携を取りながら進めてください。 ・障がい者・障がい児への支援やイベントへの参加者は多くなっています。今後も引き続き頑張って取り組んでいただきたいと思います。 ・「障がい者福祉の充実」の満足度がかなり低下しているのが気になりますが，対応策をしっかり立てられているのでニーズにあったサービスに繋がることと思います。児童虐待はどのくらい解決しているのでしょうか。忙しい，生活苦さまざまな理由で精神的にも体力的にも追い込まれている保護者に寄り添い，子どもへの虐待が一件でもなくなることを望みます。理解と交流の促進についてはかなりの達成率です。引き続き推し進めていってください。 ・就労体験から，一般就労へ移行された方が増えているようです。取組の成果だと思いますので，これからもみんなが協働できる社会を目指してください。 ・日々途切れなく障がい者・障がい児福祉にご尽力いただきありがとうございます。多種多様な価値観とともに障がいや特性も細分化されていますが、取り巻く環境が複雑になる中でも支援を必要とされている中でのご対応に感謝しています。近隣市町村との連携は昨年教えていただいたのですが、福山市との連携はありますでしょうか。一人暮らしの方で一時、精神的な不安のある人の一時的なシェルターなど笠岡市にあるのでしょうか。コロナの影響か自死などに至らなくても様々な困難な方を見かけます。そういった方に対する支援等あれば教えてください。もしあれば啓発していただけたらと思います。 ・障がいをお持ちの方はもちろん，その家族の方も相当な苦労をされていると推測しています。そのような方々の助けとなるように，引き続き施策を行っていただきたい。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－5	施策名	高齢者福祉・介護の充実	主担当課	長寿支援課
戦略の柱	安定戦略　“安らぐ”				
基本方針	団塊の世代が後期高齢者となり，高齢者人口が最多となる状況に備え，高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう，住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアの推進に取り組みます。			関係課	地域包括ケア推進室 健康推進課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
要介護認定率	単位	目標		22.0	22.0	22.2	22.4
	%	実績	21.4	21.2	21.1	—	—
		達成率		103.8%	104.3%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	地域包括ケアの推進（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
75歳以上の実態把握件数※	単位	目標			500	500	500
	件	実績	578	597	627	—	—
		達成率			125.4%	—	—
認知症サポーター延べ養成数	単位	目標		5,490	5,640	5,790	6,090
	人	実績	5,290	5,533	5,806	—	—
		達成率		100.8%	102.9%	—	—

※75歳以上の単身または老々世帯で，医療や介護情報を基に虚弱となる可能性があると考えられる世帯を対象

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	85,296	千円	85,699	千円	89,913	千円	88,771	千円
うち一般財源	28,555	千円	25,768	千円	28,456	千円	30,797	千円

1	地域包括ケアの推進

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
医療や介護，生活支援が必要な住民及びその家族	在宅での安全・安心な生活を継続するために，医療や介護のみならず福祉サービスを含めた様々な支援が日常生活の場で適切に提供できる体制を整備する。	医療や介護，生活支援が必要な住民に，必要とされる量のサービスが適切なタイミングで提供できる介護保険サービス及び介護保険外のサービスを連携させたしくみづくりを行う。 認知症への理解を深めるとともに，当事者が早期発見，早期治療ができる体制づくりを行います。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●地域包括支援センター事業 ●認知症施策推進事業 ●認知症地域支援・ケア向上事業 ●在宅医療・介護連携推進事業 ●生活支援サービス体制整備事業 <高齢者の総合相談件数 3,880件> <高齢者虐待への相談・対応件数 139件>	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ <高齢者の総合相談件数 4,204件> <高齢者虐待への相談・対応件数 209件>	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ <高齢者の総合相談件数 5,258件> <高齢者虐待への相談・対応件数 172件>	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ <高齢者の総合相談件数 3,487件> <高齢者虐待への相談・対応件数 553件>

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	85,296	千円	決算額	85,699	千円	決算額	89,913	千円	決算額	88,771	千円
	うち一般財源	28,555	千円	うち一般財源	25,768	千円	うち一般財源	28,456	千円	うち一般財源	30,797	千円

【達成目標2】	在宅生活継続に向けた支援強化（※②③）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
いきいき百歳体操の実施箇所数	単位	目標		80	78	78	80
	箇所	実績	72	74	76	—	—
		達成率	.	92.5%	97.4%	—	—
自立支援ヘルパー派遣延べ利用人数	単位	目標		36	36	36	36
	人	実績	64	25	41	—	—
		達成率		69.4%	113.9%	—	—
緊急通報装置設置台数	単位	目標		140	140	140	140
	台	実績	144	119	96	—	—
		達成率		85.0%	68.6%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	323,000	千円	310,516	千円	300,040	千円	299,606	千円
うち一般財源	111,655	千円	102,517	千円	98,117	千円	90,707	千円

2 在宅生活継続に向けた支援強化

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
高齢者	高齢者の心身の状態が悪化した場合でも，在宅での生活を継続できるよう医療・介護・生活支援等の体制整備を行う	介護予防の必要性の高い高齢者や要支援認定者ができる限り自立した生活を維持できるよう，医療・介護・生活支援等の多種多様なサービスを提供する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●介護予防・生活支援サービス事業 ●訪問型サービス及び通所型サービスの提供 ●自立支援ヘルパー派遣事業	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	308,613	千円	決算額	296,553	千円	決算額	286,564	千円	決算額	282,409	千円
	うち一般財源	100,839	千円	うち一般財源	91,854	千円	うち一般財源	88,113	千円	うち一般財源	79,025	千円

3 高齢者生活支援事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
高齢者	できる限り在宅で，安心していきいきと暮らすことができるよう支援を行う。	高齢者が健康で生きがいをもった生活ができるよう，健康づくり事業等の委託や補助を行う。 在宅で支援を要する高齢者に，生活支援のための助成や給付を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●ことぶき大学の開催 ●生きがい対応型デイサービス事業 配食の費用補助と安否確認 <ことぶき大学受講者延べ数 3,585人>	⇒ ⇒ ⇒ <ことぶき大学受講者延べ数 2,429人>	⇒ ⇒ ⇒ <ことぶき大学受講者延べ数 2,575人>	⇒ ⇒ ⇒ <ことぶき大学受講者延べ数 3,374人>

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	14,387	千円	決算額	13,963	千円	決算額	13,476	千円	決算額	17,197	千円
	うち一般財源	10,816	千円	うち一般財源	10,663	千円	うち一般財源	10,004	千円	うち一般財源	11,682	千円

【達成目標3】島しょ部での生活や介護サービスの充実(※④)

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
島しょ部にある介護事業者数及び島しょ部訪問事業者数	単位	目標		9	9	9	9
	事業者	実績	9	9	9	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
健康長寿愛らんど事業への参加者	単位	目標		2,600	2,600	2,600	2,600
	人／年	実績	1,698	1,666	2,003	—	—
		達成率		64.1%	77.0%	—	—

参考:事業対象者等(島しょ部)

	65歳～	事業所	愛らんど	乗船券	緊急通報
高島	44	1	8.7	2	0
飛島	61	0	17.8	23	0
白石島	287	2	21.6	48	3
北木島	472	2	31.5	192	3
真鍋島	120	1	13	34	1
六島	29	0	6	2	0
計	1,013	6	99	301	7

・事業所は，島しょ部に設置のもの
(デイサービス5，グループホーム1)
・愛らんど事業は，参加者/実施回数

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	30,292	千円	27,631	千円	29,415	千円	31,288	千円
うち一般財源	15,850	千円	16,578	千円	17,687	千円	20,800	千円

4	島しょ部介護・福祉推進事業（再掲）

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
島しょ部の高齢者	できる限り在宅で安心して暮らせるようにする。	島しょ部における介護・福祉サービスの確保と事業所への支援を行う。 高齢者の健康維持と介護予防に取り組む。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●陸地部への通院の帰りの船で利用できる無料乗船券の支給 ●北木島高齢者共同生活住居の運営 ●緊急通報装置設置事業 ●陸地部から専門職等を確保するための交通費補助 ●島しょ部の介護サービス事業所への家賃及び改修費補助 ●専門職による総合相談及び運動器機能低下の予防・向上のための支援（健康長寿愛らんど事業）			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	30,292	千円	決算額	27,631	千円	決算額	29,415	千円	決算額	31,288	千円
	うち一般財源	15,850	千円	うち一般財源	16,578	千円	うち一般財源	17,687	千円	うち一般財源	20,800	千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	438,588	千円	423,846	千円	419,368	千円	419,665	千円
うち一般財源	156,060	千円	144,863	千円	144,260	千円	142,304	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
認知症サポーターが順調に増えている。しかし，自立支援ヘルパーの派遣利用は減少している。利用の促進に向けて周知方法を検討されるなど，引き続き，積極的に高齢者のための事業を行ってほしい。	→	自立支援ヘルパー事業について，現在，高齢者の生活実態把握を進めていますので，制度周知を図りつつ利用に繋げてまいります。さらに，様々なニーズに合ったサービス内容の拡充も検討し，利用促進を図ります。

75歳以上世帯の実態把握件数，認知症サポーター延べ養成数が昨年度に引き続き目標達成しており安心です。市民に地域包括ケアの精神が浸透されてきている結果でしょうか。高齢者の総合相談件数も年々増加しています。しかし，現実問題，近所の独居老人が気づかれることなく亡くなってしまいました。外に出られているときは会話を交わし体調も把握し生存確認できたのですが，ただの近所住民としては姿を見なくなり心配はしていてもなかなかチャイムを押す勇気が出ず後悔しています。こういったことがこれから先まだまだ起こるのでしょうが，よい解決策はないのでしょうか。 自立支援ヘルパー派遣，緊急通報装置についても続けて継続をお願いしたいと思います。	→	高齢者の方は，体力や身体機能の変化が大きく，ちょっとしたことで体調を崩しがちなため，早期発見，早期対応が重要です。現在は，地域包括支援センターが，75歳以上でフレイルの可能性が考えられる高齢者約450人に対して212人（47.1%），延べ280回訪問しています。また，愛育委員，民生委員，福祉委員等の住民ボランティアや高齢者の見守り協定をしている民間団体（18団体）の地域での声かけ，見守り，一人暮らし高齢者が救急搬送された場合，消防から市へ連絡をいただくなど，可能な限り，対面で状態の確認し，異変に早く気づくことを大切にしています。 また，令和4年度から，緊急通報装置に加えて，ヤマト運輸と連携して，iot機器を使った高齢者見守りサービスの導入も検討しているところです。 高齢者の方は，今後も増加することが予測されており，地域の皆さんや民間団体，NPO団体など連携を強化し，地域のつながりを強化し，孤独死ゼロを目指して取り組みを進めていきたいと思います。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【いきいき百歳体操の実施箇所数】 会場数は着実に増えているものの，廃止会場もあることから，既存会場へのサポートも進めていきたいと考えております。 【緊急通報装置設置台数】 新システム導入も検討しつつ，必要な事業のため継続したいと考えております。 【健康長寿愛らんど事業への参加者】 島しょ部高齢者の実態把握を進め，参加者の掘り起しを進めていきたいと考えております。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	・高齢者虐待の件数が年々増えてきているようで心配です。 ・指標の数値は良くなっているように思います。今後も引き続き頑張って取り組んでいただきたいと思います。 ・多くの指標で達成されています。認知症サポーターの養成数，オレンジサポーターも年々増えており安心です。緊急通報装置の設置台数が伸び悩んでいますが，使い勝手がよく，メリットを理解してもらえたら必然的に利用者が増えると思います。利用料については同じタイプのものかわかりませんが，他市町では，月で無料から1,000円前後のようです。少しお高いように感じるのですが。長寿支援課，地域包括ケア推進室の方が親身になって相談に乗ってくださり支えられています。支える家族としてお礼申し上げます。 ・100歳体操やいきいき体操も着実にその成果が見られるようになりましたが，ボランティアの方も毎週では，少しきつくも感じます。習ったことを高齢者がカード形式で自主的に家庭で行うなどの習慣はできないのでしょうか。 ・笠岡市の高齢化が早くまたニーズの高い中で途切れのない支援の推進ありがとうございます。独居の高齢者など見えないからこそ孤独死にならないような見守りや健康維持をお願いします。また認知症サポーター養成講座は様々な形で多く開催されることを願います。少子高齢化の中で子供たちにこそ認知症高齢者ともともに共存する世界を偏見なく体験していただきたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。 ・高齢化が進むことにより，ますます重要度が増していると思います。引き続き施策の推進をお願いします。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－6	施策名	社会保障	主担当課	市民課 生活福祉課 長寿支援課
戦略の柱	安定戦略　“安らぐ”				
基本方針	誰もが求める安心で豊かな生活の実現に向け，社会保険制度の周知徹底に努め，その適切な運営により自立を支援し，社会全体で負担を分かち合い，全体で支えあう社会を目指します。			関係課	税務課 収納対策課 地域包括ケア推進室 健康推進課 恵風荘

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
人口1,000人当たりの生活保護者数	単位	目標		7.3	7.3	7.2	7.1
	人	実績	7.4	7.6	8.1	—	—
		達成率		96.1%	90.1%	—	—
自立支援により状況が改善した生活保護世帯数	単位	目標		6	8	10	12
	世帯／年	実績	2	3	6	—	—
		達成率		50.0%	75.0%	—	—
国民健康保険年間保険給付費	単位	目標		39.8	39.9	40.0	40.2
	億円	実績	36.5	37.8	37.8	—	—
		達成率		95.0%	94.7%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	生活保護者・生活困窮者の支援（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
人口1,000人当たりの生活保護者数	単位	目標		7.3	7.3	7.2	7.1
	人	実績	7.4	7.6	8.1	—	—
		達成率		96.1%	90.1%	—	—
自立支援により状況が改善した生活保護世帯数	単位	目標		6	8	10	12
	世帯／年	実績	2	3	6	—	—
		達成率		50.0%	75.0%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	684,625	千円	606,218	千円	623,928	千円	650,620	千円
うち一般財源	135,220	千円	118,960	千円	164,490	千円	167,443	千円

1 生活保護事業業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
生活保護受給者	経済的・社会的に自立した生活ができるようにする。	生活保護受給者が自立できるよう，関係機関と連携して支援を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・生活保護事業 ・就労支援事業 ・生活相談事業 生活保護世帯数 333世帯 (3月末現在) 就労支援等による自立世帯数 9世帯			生活保護世帯数 315世帯 (3月末現在) 就労支援等による自立世帯数 6世帯			生活保護世帯数 326世帯 (3月末現在) 就労支援等による自立世帯数 3世帯			生活保護世帯数 319世帯 (3月末現在) 就労支援等による自立世帯数 3世帯		
直接事業費	決算額	644,767	千円	決算額	566,811	千円	決算額	588,654	千円	決算額	611,173	千円
	うち一般財源	135,105	千円	うち一般財源	118,635	千円	うち一般財源	164,470	千円	うち一般財源	167,436	千円

2 恵風荘管理運営事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
入所者	施設の安全管理と衛生管理を徹底し，入所者の基本的人権と健康で文化的な生活を保障し，その人らしい豊かな生活の実現に最大限努力する。	・安全管理・衛生管理・健康管理の徹底 ・基本的人権を保障し主体性を尊重した自己実現の支援 ・多様な障がいのある入所者のニーズに応じたサービスの提供 ・社会資源としてのネットワークの構築と地域に根ざした施設の実現

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・定員確保 職員研修 虐待防止 入所者数 32人(3月末現在) 救護施設協議会等研修 3回 職員会議・処遇検討会議 毎月1回 入所者との会議 代表者会議，全体会議 毎月1回 各種クラブ活動 年90回			⇒ 入所者数 32人(3月末現在) 救護施設協議会等研修 3回 職員会議・処遇検討会議 毎月1回 入所者との会議 代表者会議，全体会議 毎月1回 各種クラブ活動 年47 回			⇒ 入所者数 33人(3月末現在) 救護施設協議会等研修 3回 職員会議・処遇検討会議 毎月1回 入所者との会議 代表者会議，全体会議 毎月1回 各種クラブ活動 年41 回			⇒ 入所者数 33人(3月末現在) 救護施設協議会等研修 3回 職員会議・処遇検討会議 毎月1回 入所者との会議 代表者会議，全体会議 毎月1回 各種クラブ活動 年49 回		
直接事業費	決算額	39,731	千円	決算額	39,082	千円	決算額	35,254	千円	決算額	39,440	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

3 災害援護等事業業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
災害により被災した市民及び行旅人	災害によって被災した市民を激励し，市民福祉及び生活の安定に資する。 行旅人に対して，行旅中必要な最低限度の援護を行う。	「市災害見舞金等給付規則」に基づき見舞金を給付する。 「市災害弔慰金の支給等に関する条例」に基づき，自然災害によって死亡された遺族に弔慰金を支給し，また被災世帯への援護資金の貸付等を行う。 行旅人に対しては，行旅に必要な最低限度の旅費を支給し，また行旅中市内で発症した急病等について必要な援護を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・災害援護事業 ・行旅病人・死亡人援護事業 災害発生件数 1件 行旅人旅費支給件数 40件 豪雨災害見舞金 2件 災害復興住宅利子補給金 1件			⇒ 災害発生件数 4件 行旅人旅費支給件数 48件 災害復興住宅利子補給金 1件			行旅人旅費支給件数 41件			行旅人旅費支給件数 34件		
直接事業費	決算額	127	千円	決算額	325	千円	決算額	20	千円	決算額	7	千円
	うち一般財源	115	千円	うち一般財源	325	千円	うち一般財源	20	千円	うち一般財源	7	千円

【達成目標2】国民健康保険医療費の適正化（※③）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
国民健康保険年間保険給付費	単位	目標		39.8	39.9	40.0	40.2
	億円	実績	36.5	37.8	37.8	—	—
		達成率		105.3%	105.6%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	6,171,037	千円	5,657,770	千円	5,742,115	千円	5,786,872	千円
うち一般財源	2,127,291	千円	1,945,903	千円	1,920,607	千円	1,960,723	千円

4 国保給付適正化事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
国保加入者	医療の現状を国保加入者に啓発し，適正な受診ができるようにする。	適正受診の広報，医療費通知，レセプト点検，第三者傷害求償を積極的に実施し適正な保険給付を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●医療費通知 ●レセプト点検 ●第三者求償事務 ●後発医薬品の利用促進 ○医療費適正化のための啓発			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	5,914	千円	決算額	5,668	千円	決算額	5,639	千円	決算額	5,687	千円
	うち一般財源	3,811	千円	うち一般財源	3,598	千円	うち一般財源	3,594	千円	うち一般財源	3,773	千円

5 国保資格管理・給付業務

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
国保加入者	国保加入者の資格管理，保険給付を行い安心して受診できるようにする。	国保被保険者証，高齢受給者証等各種医療受給者証の交付を行う。 国保加入者に係る医療費の給付を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●資格証明書・短期証交付業務 ・国保資格関係業務・給付事業 ・国保高額療養費の給付 ・特定疾病資格管理・給付 ・退職者医療資格管理 ・前期高齢者の資格管理 ・相互扶助精神の理解を得ながら現状にあった対応			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	5,391,250	千円	決算額	4,860,799	千円	決算額	4,951,899	千円	決算額	4,960,492	千円
	うち一般財源	1,354,473	千円	うち一般財源	1,156,059	千円	うち一般財源	1,137,468	千円	うち一般財源	1,141,390	千円

6 市税等賦課業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
納税義務者及び被保険者	適正で公正な課税(料)を行い，自主財源を確保する。	・各保険税(料)の算定のための市県民税未申告調査 ・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の賦課，減免

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●課税システムによる電子化した課税情報の活用	⇒	⇒	⇒
	●市県民税の未申告者に関する調査 ・未申告者の呼び出し訪問及び臨戸訪問 （最終未申告 173世帯）	⇒ （最終未申告 86世帯）	⇒ （最終未申告 79世帯）	⇒ （最終未申告 83世帯）
	●職員の説明力，交渉力の向上 ・研修会への積極的参加	⇒	⇒	⇒
	●市民への分かりやすい税情報の提供	⇒	⇒	⇒
	・広報，ホームページや納付書発送時の有効利用	⇒	⇒	⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	26,092	千円	決算額	28,631	千円	決算額	23,230	千円	決算額	24,823	千円
	うち一般財源	26,092	千円	うち一般財源	28,631	千円	うち一般財源	23,230	千円	うち一般財源	24,823	千円

7 収納・滞納整理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
納税義務者	納期限までに納付	・督促状各納期毎送付，催告状，電話催告，夜間・休日特別徴収，岡山県市町村税整理組合・岡山県滞納整理推進機構との連携

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・催告文書，呼び出し文書の送付	⇒	⇒	⇒
	・財産調査の徹底	⇒	⇒	⇒
	・滞納処分滞納整理の強化	⇒	⇒	⇒
	・岡山県との連携強化	⇒	⇒	⇒
	・岡山県市町村税整理組合等の有効活用	⇒	⇒	⇒
	・全庁的な徴収体制の強化	⇒	⇒	⇒
	・コンビニ収納の利用促進	⇒	⇒	⇒
	・コールセンターからの電話催告	⇒	⇒	⇒
	・延長業務を行い徴収体制の強化	⇒	⇒	⇒
	・岡山県市町村合同公売会参加			
	・期間入札公売開催	⇒	⇒	⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

8	後期高齢者医療業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
75歳以上の人及び65歳以上で障がい1～3級等で認定を受けた人	対象者が安心して医療が受けられるようにする。	対象者に被保険者証を交付する。 対象者の資格異動に関する申請を受け付ける。 高額療養費及び限度額申請の勧奨をする。 広域連合への納付金支払い。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●後期高齢者医療事務事業 ・後期高齢者医療資格管理・給付申請			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	742,915	千円	決算額	757,615	千円	決算額	756,315	千円	決算額	790,737	千円
	うち一般財源	742,915	千円	うち一般財源	757,615	千円	うち一般財源	756,315	千円	うち一般財源	790,737	千円

9	国民年金業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
国民年金被保険者 笠岡市老齢福祉年金受給権者	公的年金受給権の確保を図る	国民年金第1号被保険者の資格取得・喪失，保険料免除申請等の受付事務 老齢基礎・障がい基礎年金等の裁定請求受付事務 笠岡市老齢福祉年金受給権者への年金支給事務

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・障がい基礎・老齢福祉年金受給者の所得状況報告 ・国民年金保険料免除 ・笠岡市老齢福祉年金 ・老齢・障がい基礎年金等の裁定請求 ・国民年金に関する相談 ・国民年金書届受付 ・国民年金被保険者台帳管理			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	4,866	千円	決算額	5,057	千円	決算額	5,032	千円	決算額	5,133	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

【達成目標3】	適切な介護保険サービスの充実と適正な運営（※④）

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
要介護認定率	単位	目標		22.0	22.0	22.2	22.4
	%	実績	21.4	21.2	21.1	—	—
		達成率		103.8%	104.3%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	5,433,203	千円	5,460,852	千円	5,431,543	千円	5,392,352	千円
うち一般財源	1,835,663	千円	1,824,438	千円	1,797,361	千円	1,786,324	千円

10	適切な介護保険サービスの充実と適正な運営

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
要介護・要支援認定者	適正な介護保険事業の運営を図るとともに，サービスの質の向上を図る。	適正な介護保険サービスを確保し，質を向上させるとともに，要介護認定調査・審査会においても公平公正な運営を行います。 介護保険サービス事業者を指導監督し，適正な保険給付の執行を図ります。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●介護保険事業 ・適正な介護保険サービスの確保と質的向上 ●介護給付適正化事業 ・介護給付適正化システムの活用 ●介護相談員派遣事業 ・事業内容についての検討 ●地域密着型サービス事業者等指導監督			⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	5,433,203	千円	決算額	5,460,852	千円	決算額	5,431,543	千円	決算額	5,392,352	千円
	うち一般財源	1,835,663	千円	うち一般財源	1,824,438	千円	うち一般財源	1,797,361	千円	うち一般財源	1,786,324	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	12,288,865	千円	11,724,840	千円	11,797,586	千円	11,829,844	千円
うち一般財源	4,098,174	千円	3,889,301	千円	3,882,458	千円	3,914,490	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
「自立支援により状況が改善した生活保護世帯数」が減少し，生活保護者数は増加している。引き続き，積極的な支援に取り組まれたい。	→	生活保護世帯の抱えている精神的，身体的な問題や高齢化，社会的問題により，状況が改善した生活保護世帯が減少したと思われます。生活困窮している世帯には速やかに生活保護を受けてもらいながら，あわせて自立支援を積極的に行って参ります。
老々介護という言葉も現実となっていますが，80-50の世代から90-60の傾向になっているように感じられます。生活保護者の自立支援は，自分で生きる力をつけることが大切と思います。そのための行政支援や対策をよろしくお願いします。	→	生活保護世帯の内半数以上が高齢者世帯という状況です。自立のためにまずは健康的な生活を送ることが大切であると考えます。そのために必要に応じて病院受診の勧奨や生活環境の悪化を防ぐべく生活指導をおこなって参ります。
総合指標の実績からも適切な運営が行われていると思います。自立支援により状況が改善した生活保護世帯が目標値に対して半分ほどですが，精神的身体的不調を抱えている方が多いとのことですので，寄り添いながら無理なく自立に向けて，お願いしたいと思います。	→	個人ごとに応じた適切な支援を選択しながら，段階的に目標を設定し無理強いではなくどのような支援が必要か，本人と一緒に考えながら支援プランを作成し，自立に向けた支援を行って参ります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	生活保護者数について，病状調査を行い就労可能なものについては，就労支援員やハローワークと連携し，自立出来るよう支援していく。 自立支援については，被保護者が精神的身体的不調を抱えている事が多く，本人の状態により，可能な範囲での就労の支援を行いたいと考えております。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・生活保護者数が年々増えているようです。物価高騰などの影響で仕方ないのかもしれませんが，適切な認定をお願いします。 ・人口1000人当たりの生活保護者数が増えているのが気がかりですが，自立支援により状況が改善した生活保護世帯数が増えているのは良かったと思います。 ・人口1,000人当たりの生活保護者数が増えてしまいましたが，そんな中でも自立支援により状況が改善した生活保護世帯が増えたことは喜ばしいことです。担当課の寄り添ったサポートの成果だと思います。必要な世帯には生活保護を，同時に自立支援のサポートをお願いします。 ・国民健康保険の給付費年間約40億円，大変な数値ですね。行政支援の市民の健康生活を支える事業も大切な施策と感じました。自立支援により，生活が安定した家族が増えていることは，大きな成果だと思います。今後も努力していただきたい。 ・生活保護に関してコロナの影響もあり不安定な方も多く見受けられます。自立支援とともに必要な人の洗い出しも関係各所とともにお願いしたいです。社会保障をの維持に努めていただきありがとうございます。 ・生きる尊厳を守るため，引き続き施策を進めてください。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－7	施策名	身近な上水道	主担当課	水道課
戦略の柱	安定戦略　“安らぐ”				
基本方針	本市水道事業の基本理念のもとで，「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から，水道基準に適合した水を，いつでも，どこでも，誰でも，合理的な対価で持続的に受け取ることができるように，効率的かつ安定的な経営を実現するための施策を示し，事業を推進します。			関係課	

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
水道水を安心して使用できると感じている市民（市民意識調査）	単位	目標		—	62.0	—	63.0(R6)
	%	実績	61.8	—	57.1	—	—
		達成率		—	92.1%	—	—
有収率	単位	目標		92.0	92.0	92.0	92.0
	%	実績	90.2	89.6	90.0	—	—
		達成率		97.4%	97.8%	—	—
経常収支比率（経常収益/ 経常費用）	単位	目標			100%以上	100%以上	100%以上
	%	実績	94.1	115.0	108.4	—	—
		達成率			108.4%	—	—
企業債残高対給水収益比率（企業債残高/ 給水収益）	単位	目標			41%程度	44%程度	50%程度
	%	実績	28.7	34.2	66.2	—	—
		達成率			61.9%	—	—

※経常収支比率は，給水収益等の収益で，維持管理費等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。経常収支の黒字を示す100%以上が必要です。
※企業債残高対給水収益比率は，給水収益に対する企業債（借金）残高の割合であり，企業債残高の規模を表す指標です。企業会計が置かれている状況を把握・分析し，適切な数値か継続的な検証が必要です。

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	安全な水道水の供給（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
水質検査箇所密度	単位	目標		2.2	2.2	2.2	2.2
	箇所／100㎢	実績	2.2	2.2	2.2	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
水質基準不適合率	単位	目標		0.0	0.0	0.0	0.0
	%	実績	0.0	0.0	0.0	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	9,086	千円	1,756	千円	1,742	千円	21,105	千円
うち一般財源	9,086	千円	1,756	千円	1,742	千円	21,105	千円

1	水質管理事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
水道利用者	・計画的な水質検査を実施することにより，安心安全な水を安定的に提供する。	・水質検査計画に基づき，適切な水質検査を行う。 ・水質(残留塩素，色度，濁度)常時監視装置を順次導入する。 ・施設の日々巡回点検の実施により異常の早期発見を目指す。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●水質管理 ・水質検査計画(年間計36回)に基づいた水質検査の実施 ・施設の日々巡回点検の実施 ・水質常時監視装置を北川低区加圧室に導入			⇒ ・水質検査計画(年間計36回)に基づいた水質検査の実施 ・施設の日々巡回点検の実施			⇒ ・水質検査計画(年間計36回)に基づいた水質検査の実施 ・施設の日々巡回点検の実施			⇒ ・水質検査計画(年間計36回)に基づいた水質検査の実施 ・施設の日々巡回点検の実施		
直接事業費	決算額	9,086	千円	決算額	1,756	千円	決算額	1,742	千円	決算額	21,105	千円
	うち一般財源	9,086	千円	うち一般財源	1,756	千円	うち一般財源	1,742	千円	うち一般財源	21,105	千円

【達成目標2】強靭な水道システムの構築(※②③)

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
配水施設(基幹配水池)耐震化率	単位	目標		100.0	100.0	100.0	100.0
	%	実績	100.0	100.0	100.0	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
配水施設(基幹管路)耐震適合率	単位	目標		20.6	23.0	23.0	25.3
	%	実績	19.5	19.9	27.4	—	—
		達成率		96.6%	119.1%	—	—
災害時応援協定締結団体数(累計)	単位	目標		11	11	11	11
	団体	実績	11	11	11	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	742,028	千円	844,767	千円	813,352	千円	1,098,976	千円
うち一般財源	552,530	千円	503,127	千円	441,473	千円	629,401	千円

2 水道施設整備事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
水道利用者	・老朽化した水道施設の改良工事を実施し，漏水事故を未然に防ぎ，利用者に安心で安定した給水を確保する。 ・配水池及び配水管の耐震化を行い災害に強い水道を目指す。	・老朽管の更新を行うと同時に耐震管路化を図る。 ・配水池の耐震化工事を実施する。 ・未給水地区解消事業を推進し普及率の向上を図る。 ・道路改良事業等に併せて配水管の改良を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●配水地耐震補強事業 ・神外接合井実施設計 ●老朽配水管改良工事 ・小平井・吉浜・笠岡・二番町・神島・西大島新田・大島中地区 ●配水管新設改良工事 ー ●道路改良事業に伴う配水管改良工事 ・篠坂・笠岡・山口・尾坂地区	⇒ ・神外接合井(1期)工事 ⇒ ・小平井・吉浜・神島・西大島新田・大島中地区 ⇒ ー ⇒ ・篠坂・入田・有田・東大戸・西大戸・甲弩・走出・笠岡・広浜・神島地区 〇笠岡市水道事業経営戦略策定及び水道事業ビジョンの見直し	⇒ ・神外接合井(2期)工事 ●海底送・配水管更新事業 ・海底送水管(北木島～小飛島間) 布設替工事 ⇒ ・小平井・有田・神島・用之江・大島中地区 ⇒ ー ⇒ ・篠坂・入田・有田・東大戸・西大戸・甲弩・走出・尾坂・神島地区	●海底送・配水管更新事業 ・海底送水管(北木島～小飛島間) 布設替工事 ⇒ ・小平井・有田・神島・用之江・西大島地区 ⇒ ー ⇒ ・篠坂・入田・有田・東大戸・西大戸・甲弩・走出・尾坂・神島地区
直接事業費	決算額 614,099 千円	決算額 713,626 千円	決算額 711,968 千円	決算額 928,560 千円
	うち一般財源 425,685 千円	うち一般財源 374,623 千円	うち一般財源 341,648 千円	うち一般財源 462,013 千円

3 水道施設維持管理事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
水道利用者	・配水管等の的確な漏水調査と速やかな修繕により，有収率の維持向上を図り水道供給コストの低減化と安定した給水を行う。 ・水質検査の実施，適切な施設の維持管理により，利用者が安心して使用できる水を提供する。	・経年老朽管等の漏水を早期に発見・修繕し漏水量を低減し，有収率の向上を図る。 ・給水装置工事事業者に工事施工に当たっての適正な指導・監督を行う。 ・施設の巡回点検・保守点検・修理の実施により，施設の延命化を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●漏水調査 ・美の浜・新横島・横島・入江・番町(一番町～十一番町)・旭が丘・生江浜・茂平・西茂平地区 ●漏水修繕＜376件＞	⇒ ・笠岡・中央町・富岡・神島・神島外浦・拓海町・平成町・カブト西町・カブト南町地区 ⇒＜357件＞	⇒ ・絵師・広浜・馬飼・緑町・西大島新田・甲弩・走出・園井・今立・大井南・相生・小平井・金浦 ⇒＜325件＞	⇒ ・高島・白石島・北木島・真鍋島・飛島・六島・大島中・西大島・みの越 ⇒＜408件＞
直接事業費	決算額 127,929 千円	決算額 131,141 千円	決算額 101,384 千円	決算額 170,416 千円
	うち一般財源 126,845 千円	うち一般財源 128,504 千円	うち一般財源 99,825 千円	うち一般財源 167,388 千円

【達成目標3】 持続可能な水道事業運営(※④⑤)

達成目標3の指標

指標名	単位		目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
収納率(現年度)	%	目標		99.6	99.6	99.6	99.6
		実績	99.4	99.6	99.7	—	—
		達成率		100.0%	100.1%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
直接事業費	5,697 千円	1,938 千円	2,132 千円	2,479 千円
うち一般財源	5,697 千円	1,938 千円	2,132 千円	2,479 千円

4	水道料金等の徴収事務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
水道料金等を滞納している者	「新たな滞納を作らない」という目標の基に，現年度の目標収納率を99．4%とし，現年度・過年度分の未収金を縮減する。	1 電話催告・個別訪問等による徴収を行い，常習的，悪質な滞納者には給水停止を執行する。 2 現年度分滞納者に対し即座に催告・給水停止予告書を送付し多期に渡る滞納を防ぐ。 3 過年度滞納者に対し履行可能な分納誓約書を取る。 4 口座振替の推進及びコンビニ収納の有効活用を図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●水道事業会計健全化事業 <現年度分収納率:99.5%>			⇒ <現年度分収納率:99.4%>			⇒ ・コンビニ収納，スマホ決済の有効な活用 <現年度分収納率:99.6%>			⇒ ・コンビニ収納，スマホ決済の有効な活用 <現年度分収納率:99.7%>		
直接事業費	決算額	5,041	千円	決算額	1,851	千円	決算額	2,108	千円	決算額	2,151	千円
	うち一般財源	5,041	千円	うち一般財源	1,851	千円	うち一般財源	2,108	千円	うち一般財源	2,151	千円

5	水道総務事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
関係職員	・水道事業の安定的運営のため，専門的な知識・技術をもつ職員を育成する。	・豊富な知識・経験を持つ熟練職員による指導を行う。 ・日本水道協会等が実施する技術講習会等に積極的に参加し，人材育成を図る。 ・技術を継承するため，人材の確保を図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●人材育成 ・日本水道協会，備後圏域，県南西部地域等において実施される技術講習会等への参加			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	656	千円	決算額	87	千円	決算額	24	千円	決算額	328	千円
	うち一般財源	656	千円	うち一般財源	87	千円	うち一般財源	24	千円	うち一般財源	328	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	756,811	千円	848,461	千円	817,226	千円	1,122,560	千円
うち一般財源	567,313	千円	506,821	千円	445,347	千円	652,985	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
安全な水道水の供給をありがとうございます。昨年度に引き続き高評価でした。 ホームページで水道工事予定箇所やアンケート結果の公表などしてくださり，市民も身近に考えることができています。 ただ排水施設基幹管路の耐震適合率が目標値に達しなかった点と有収率が昨年の実績より少し落ちているのが気になりました。 また災害や渇水など非常時のシステム構築，技術の継承・人事育成はどういう状況でしょうか。	→	「中長期更新計画」に基づき，老朽配水管の更新及び耐震化を着実に進め，災害に強い強靭な施設構築を目指します。併せて計画的な漏水調査を実施することで，有収率の向上を図ります。 また，災害時応援協定に基づき，訓練や技術講習を行い，職員の資質向上及び緊急時に備えてまいります。引続き，水質保全や収納率の向上に努め，安全安心で安定的，かつ強靭で持続的な水の供給ができる水道事業運営を進めてまいります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

事業の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	水道課では水質検査計画による年36回の水質検査を行い，水道法に基づく水質基準に適合した水道水を市民の皆様に提供できていることを確認しています。 また，各施設の巡回点検を行い，施設の健常化に努めることで市民の皆様に安心・安全な水道水を提供できるよう努めています。 水道課は，水道事業の基本理念「市民のための水道を未来へ」のもとで，「安全」「強靭」「持続」の3つの観点から，水道基準に適合した水を，いつでも，どこでも，誰でも，合理的な対価で持続的に受け取ることができるよう事業を推進しています。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	A	(参考) 昨年度の評価結果	A
コメント	・経営状況も有収率も申し分ないように思います。施設の計画的な更新をお願いします。 ・令和3年度はA評価で，今回も遜色なく達成されていると思います。 ・年に36回も水質検査を行ってくださっているとのこと「安全」で安心です。また整備や維持管理もしっかりしてくださっており，「強靭」かつ「持続」可能な上水道であると感謝します。老朽化が進んでいるので仕方ないのですが水質管理事業，水道施設整備事業の事業費がかなり多くなっています。また，水道施設維持管理事業も増えており，さらに一般財源の割合も高くなっています。ご説明をお願いします。水道水を安心して使用できると感じている市民の割合が減ってしまいました。しっかりと取り組んでいただいているのに不思議ですが，理由は何なのでしょう。世界でも大きな課題となっている水質汚染。SDGsの6番目「安全な水とトイレをすべての人に」という目標にちなんで市民ができることなどを共に考えることも必要だと思います。 ・水道検査100%，不適合もなしという実態に，大変な努力を要したと思います。安定した事業を推進するための収納率も高く，今後も維持管理を行い事業の安定化を図ってください。 ・上水道の維持に日々努めていただきありがとうございます。子供たちの未来に直結する大きな事業ですが，世代負担をバランスよく考えていただきたいこと。また民間には引き渡さないで引き続きお願いしたいと思います。 ・財務面では，心配がないように思えます。引き続き安定的に水道事業が行えるよう期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－8	施策名	健全な下水道運営	主担当課	下水道課
戦略の柱	安定戦略　“安らぐ”				
基本方針	社会情勢及び財政情勢の変化に即し，効率的かつ安定した下水道運営による持続的な下水道サービスを提供します。			関係課	

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
汚水処理人口※普及率（汚水処理施設を利用できる人口／行政人口×100）	単位	目標		80.6	81.4	82.1	83.8
	%	実績	79.8	80.3	81.2	—	—
		達成率		99.6%	99.8%	—	—

※汚水処理人口とは，公共下水道，特定環境保全公共下水道，漁業集落排水施設，及び合併処理浄化槽を利用できる人口

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】下水道処理人口普及率の向上（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
下水道処理人口※普及率（処理区域内人口／行政人口×100）	単位	目標		58.6	58.7	59.0	59.0
	%	実績	58.5	58.9	59.5	—	—
		達成率		100.5%	101.4%	—	—

※下水道処理人口とは，笠岡処理区と北部処理区の公共下水道事業の処理区域内で下水道施設を利用できる人口

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	508,445	千円	681,523	千円	503,594	千円	803,183	千円
うち一般財源	62,485	千円	57,235	千円	55,287	千円	56,402	千円

1　公共下水道整備事業（笠岡処理区）

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
公共下水道（笠岡処理区）整備区域内住民	清潔で快適な生活環境を確保するとともに，公共用水域の水質保全と浸水の防除を図る。	公共下水道事業（笠岡処理区）について，全体計画区域1,382ha(計画処理人口29,000人)のうち，事業計画区域944ha（事業計画処理人口27,600人）を整備する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●公共下水道事業の実施 面整備（茂平・神島外等枝線） 累計整備面積：820.9ha	⇒ 面整備（茂平・神島外等枝線） 累計整備面積：827.0ha	⇒ 面整備（用之江等枝線） 累計整備面積:835.9ha	⇒ 面整備（用之江等枝線） 累計整備面積:844.3ha

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	350,754	千円	437,544	千円	324,359	千円	649,078	千円
	うち一般財源	60,260	千円	54,969	千円	52,979	千円	54,052	千円

2	特定環境保全公共下水道整備事業(北部処理区)

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
公共下水道(北部処理区)整備区域内住民	清潔で快適な生活環境を確保するとともに,公共用水域の水質保全を図る。	公共下水道事業(北部処理区)について,計画区域125ha(計画処理人口2,540人)のうち,事業計画区域33.4ha(事業計画処理人口750人)を整備する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●公共下水道事業の実施 ・甲弩地区 累計整備面積:25.5ha	⇒ ・甲弩地区 累計整備面積:25.5ha	⇒ ・甲弩地区 累計整備面積:25.6ha	⇒ ・甲弩地区 累計整備面積:26.9ha

直接事業費	決算額	157,691	千円	決算額	243,979	千円	決算額	179,235	千円	決算額	154,105	千円
	うち一般財源	2,225	千円	うち一般財源	2,266	千円	うち一般財源	2,308	千円	うち一般財源	2,350	千円

【達成目標2】 災害・老朽化対策(※②)

達成目標2の指標

指標名	単位		目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
下水道総合地震対策実施率	%	目標			15.5	20.5	25.6
		実績	1.9	13.7	44.5	—	—
		達成率			287.1%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	266,233	千円	262,516	千円	276,623	千円	301,506	千円
うち一般財源	45,007	千円	31,342	千円	34,237	千円	42,731	千円

3	管渠等維持管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
公共下水道の管渠及び排水設備	管渠及び排水設備の維持管理の適正化を行うと共に,下水道管渠管理システムによる管渠及び排水設備の維持管理の効率化・迅速化を図る	管渠修繕工事及び管渠清掃調査等を実施する。また,下水道管渠管理システムにより,管渠及び排水設備の維持管理の効率化・迅速化を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●下水道管渠管理システムの有効活用 ・管渠及び排水設備の維持管理	⇒	⇒	⇒ ・管渠及び排水設備の維持管理

直接事業費	決算額	19,240	千円	決算額	22,307	千円	決算額	21,756	千円	決算額	21,016	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

4	漁業集落排水施設維持管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
漁業集落排水施設を利用する島民	漁港及び周辺海域の自然環境の保全に努め,島民の快適な生活環境の充実を図る	適正な運転管理を行うことにより,水質汚濁防止法による規制値内の処理水を放流する

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	★・処理施設の適正な維持管理	⇒	⇒ ・保守点検業務 ・運転操作業務 ・水質試験業務	⇒ ・保守点検業務 ・運転操作業務 ・水質試験業務

直接事業費	決算額	9,189	千円	決算額	10,438	千円	決算額	10,050	千円	決算額	11,018	千円
	うち一般財源	6,513	千円	うち一般財源	8,301	千円	うち一般財源	5,595	千円	うち一般財源	5,221	千円

5	下水道処理施設維持管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
公共下水道を使用する市民	海域の自然環境の保全に努め，市民の快適な生活環境の充実を図る。	処理場:適正な運転管理を行うことにより，水質汚濁防止法による規制値内の処理水を放流する

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・処理施設の適正な維持管理			⇒			⇒ ・保守点検業務 ・運転操作業務 ・水質試験業務			⇒ ・保守点検業務 ・運転操作業務 ・水質試験業務		
直接事業費	決算額	237,804	千円	決算額	229,771	千円	決算額	244,817	千円	決算額	269,472	千円
	うち一般財源	38,494	千円	うち一般財源	23,041	千円	うち一般財源	28,642	千円	うち一般財源	37,510	千円

【達成目標3】 下水道使用料収入の向上(※③)

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
水洗化率(水洗化人口／処理区域内人口×100)	単位	目標		90.0	90.0	90.0	90.1
	%	実績	90.0	90.6	90.5	—	—
		達成率		100.7%	100.6%	—	—
下水道使用料徴収率(徴収額／下水道使用料確定額×100)	単位	目標		99.7	99.7	99.7	99.7
	%	実績	99.5	99.7	99.8	—	—
		達成率		100.0%	100.1%	—	—
経常収支比率(経常収益/ 経常費用× 100)	単位	目標			100.0以上	100.0以上	100.0以上
	%	実績	105.4	104.0	102.7	—	—
		達成率			102.7%	—	—

※経常収支比率は，使用料収入等の収益で，維持管理費用等をどの程度賄えているかを表す指標です。経常収支の黒字を示す100%以上が必要です。

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	29,933	千円	36,532	千円	34,549	千円	41,604	千円
うち一般財源	6,177	千円	10,676	千円	9,297	千円	9,778	千円

6	下水道経営事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
下水道事業	長期持続的な下水道サービスを提供するため，地方公営企業法を適用し，安定した下水道事業経営の実現を図る。	法適用を行い，安定した下水道経営の実現のために，歳入歳出の両面における経営の健全性の向上を図るとともに，経営の計画性・透明性の向上を図るなど，経営基盤の強化を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●地方公営企業法適用化事業 ・公営企業会計システム運用 ○下水道使用料及び受益者負担金の債権管理			・公営企業会計システム運用 ⇒			・公営企業会計システム運用 ⇒			・公営企業会計システム運用 ⇒		
直接事業費	決算額	487	千円	決算額	491	千円	決算額	491	千円	決算額	854	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

7 下水道普及業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
処理開始区域内の住民	公共下水道へ接続することにより，地域の生活環境の向上を図る。	下水道事業の説明会や広報誌，ホームページなどを通じてPRを行うと共に未接続世帯の訪問を行い，下水道接続への理解を促し，水洗化率の向上を図る。また，排水設備工事の申請や検査，及び公共桝設置依頼等に迅速な対応を行い普及促進を図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●水洗化率向上へのPR活動 ・未接続世帯に対する戸別訪問による水洗化への啓発 訪問戸数 約300軒 ・公共桝設置 28 基			⇒ 訪問戸数 約20軒(コロナ禍による訪問活動の自粛のため) ・公共桝設置 24 基			⇒ 訪問戸数 約200軒 ・公共桝設置 18基			⇒ 訪問戸数 約200軒 ・公共桝設置 23基		
直接事業費	決算額	7,950	千円	決算額	10,029	千円	決算額	6,876	千円	決算額	12,262	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

8 浄化槽普及事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
公共下水道事業・集落排水事業の区域外の地域及び同事業認可区域内で7年以内に供用開始が見込めない地域に住居を有する市民	合併処理浄化槽の設置により，トイレの水洗化をはじめ，快適な生活環境の向上を図る。	浄化槽設置後，現地検査により補助金の交付を行う。 また，事業実績により，国県補助金の申請事務を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●笠岡市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付 1 国・県補助分 5人槽 19基 7人槽 33基 8～10人槽 － 基 2 特例措置(単市)分 8基			⇒ 1 国・県補助分 5人槽 18基 7人槽 29基 8～10人槽 4基 2 特例措置(単市)分 2基			⇒ 1 国・県補助分 5人槽 30基 7人槽 30基 8～10人槽 1基 2 特例措置(単市)分 1基			⇒ 1 国・県補助分 5人槽 27基 7人槽 33基 8～10人槽 1基 2 特例措置(単市)分 2基		
直接事業費	決算額	21,496	千円	決算額	26,012	千円	決算額	27,182	千円	決算額	28,488	千円
	うち一般財源	6,177	千円	うち一般財源	10,676	千円	うち一般財源	9,297	千円	うち一般財源	9,778	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	804,611	千円	980,571	千円	814,766	千円	1,146,293	千円
うち一般財源	113,669	千円	99,253	千円	98,821	千円	108,911	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
指標は良いが将来的に安定した下水道経営ができるよう経営基盤の強化を図られたい。来年度以降は，経営状況の指標を導入されたい。	→	経営状況の指標については，回答不要 「計画管理」の中で回答予定 将来的に安定した下水道経営ができるよう，令和2年度に下水道経営戦略の見直しを実施しております。今後につきましても，社会情勢の変化や事業の進捗状況等により，適時見直しを行い，安定した下水道経営を維持してまいります。
下水道が整備されると，水洗化率が向上していますので早急に未整備の地域に順次計画を立てて下水道を設置していただきたい。	→	下水道の整備につきましては，「笠岡市下水道基本構想」により，順次計画的に整備を進めています。今後も地区ごとに応じた効率的な整備手法にて，早期に水洗化の向上が図られるよう事業を進めてまいります。

昨年度に引き続き，全ての指標で目標をほぼ達成しています。ただ，今後必要となってくる老朽管対策，料金の見直しなどの不安材料があるためBとしました。地区ごとに応じた効率的な整備手法で計画的に事業の推進を図ってくださると対応策にあり安心しています。引き続きよろしくお願いいたします。	→	ご意見にありますように，今後は老朽管対策が必要となってきますので，「ストックマネジメント計画」を策定しております。この計画に則り，年次的に調査を行い，対策を行う事としています。また，下水道経営につきましても，「下水道経営戦略」に基づき，安定した下水道経営を維持していくこととしています。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	各地域毎に応じた効率的な整備手法で，今後も引続き計画的に事業を進めて行きます。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	・「7下水道普及業務」の取組内容のうち，訪問戸数が「約200軒」となっています。訪問記録を残されていないのでしょうか。 ・この指標に現れていない下水道管の交換費用が大きいと思いますので，それが心配です。 ・下水道総合地震対策実施率が急激に上がり安心要素になりました。経常収支比率については徐々に下がってきているのが気になります。水道水を安心して使用できると感じている市民の割合が減ってしまいました。SDGsの6番目「安全な水とトイレをすべての人に」という目標にちなんで市民ができることなどを共に考えることも必要だと思います。例えば，食べ残しや飲み残しをしない，水切りネットなどを使用して生活排水をきれいに，シャンプー・リンスの適量使用，米のとぎ汁の再利用や天ぷら油を捨てないなど。下水にも関わってくる内容がありますので，水道課と合同で市民と共に考える機会を持っていただくべきかと思いますがいかがでしょうか。 ・下水道事業については，広い地域の中での改善は，多年にわたって敷設していかなければなりません。下水道普及計画にのっとり，拡がっていくことを望みます。 ・下水道の維持に日々努めていただきありがとうございます。上水道と重複しますが，子供たちの未来に直結する大きな事業ですが，世代負担をバランスよく考えていただきたいこと。また民間には引き渡さないで引き続きお願いしたいと思います。何とぞよろしくお願いします。 ・財務面では，心配がないように思えます。引き続き安定的に下水道事業が行えるよう期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－9	施策名	消防体制の整備	主担当課	消防総務課
戦略の柱	安定戦略 “安らぐ”				
基本方針	住民の生命，身体及び財産を火災から保護し，安全・安心に暮らせる地域社会の実現に向けて，笠岡市消防団並びに自主防災組織等と連携を図り，市内の消防体制の強化に加え，地域防災力の強化，危険物施設等の保安対策を進めます。			関係課	警防課 予防課 通信指令課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
人口1万人当たりの出火率（管内）	単位	目標		9.50	9.00	8.50	7.50
	件	実績	9.87	7.19	7.66	—	—
		達成率		132.1%	117.5%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	管内消防体制の強化（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
消防施設設備の整備数 （消防組合） （笠岡市消防団）	単位	目標		9 38	9 38	9 38	9 38
	棟	実績	9 39	9 39	9 39	— —	— —
		達成率		100.0% 102.6%	100.0% 102.6%	— —	— —
消防車両等の整備数 （消防組合） （笠岡市消防団）	単位	目標		25 51	25 51	25 51	25 51
	台	実績	25 51	25 51	25 51	— —	— —
		達成率		100.0% 100.0%	100.0% 100.0%	— —	— —
消防学校等派遣者数（消防組合）	単位	目標		66	65	72	65
	人／年	実績	53	69	59	—	—
		達成率		104.5%	90.8%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	91,834	千円	219,738	千円	51,330	千円	92,679	千円
うち一般財源	22,534	千円	57,338	千円	28,830	千円	19,079	千円

1 指令台の更新

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
地域住民及び消防職員	火災等の被害を最小限に抑えるため，火災等を早期に覚知し，消防機関が素早く現場に到着するとともに，現場においては，情報の収集及び指揮命令の伝達を迅速かつ的確に行う。	指令台の支援データ更新を随時行い，円滑な指令業務を行うため装置の保守点検を実施する。また消防指令施設の機能強化を図り，情報の収集及び指揮命令の伝達強化を行いました。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・指令台維持管理 ・新元号対応改修 ・指令設備直流電源装置用電池交換			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	10,916	千円	決算額	10,120	千円	決算額	10,120	千円	決算額	10,120	千円
	うち一般財源	10,916	千円	うち一般財源	10,120	千円	うち一般財源	10,120	千円	うち一般財源	10,120	千円

2 消防無線のデジタル化

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
地域住民及び消防職員	消防救急無線のデジタル化を図り，消防活動の円滑な推進に努めるとともに，地域住民の避難誘導等の伝達を的確に行う。	火災等の被害を最小限に抑えるとともに，情報の収集及び指揮命令の伝達を迅速かつ的確に行うことが重要であるため，消防救急デジタル無線の調達を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・維持管理			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

3 梯子車の更新

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
地域住民	中高層建築物等での迅速かつ的確な消火・救助活動を行う。	災害対応が迅速に行えるように，はしご付消防自動車の点検整備を図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・現場出動 ・操作訓練 ・消防訓練等の実施 ・点検整備			⇒ ・オーバーホール (新規から7年→5年→3年で実			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	1,519	千円	決算額	39,435	千円	決算額	682	千円	決算額	731	千円
	うち一般財源	1,519	千円	うち一般財源	39,435	千円	うち一般財源	682	千円	うち一般財源	731	千円

4 高規格救急車の更新

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
地域住民	高度な応急処置の実施ができる高規格救急車を導入し，救命率の向上を図る。	現有車両の点検整備及び老朽車両を年次的に更新整備する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・救急訓練等の実施 ・点検整備 ・仕様書の作成 ・起債申請 ・入札 ・仮契約 ・組合議会での議決後，本契約 ・完成検査(北所，寄島所)	⇒ ⇒	⇒ ⇒ ・仕様書の作成 ・起債申請 ・入札 ・仮契約 ・組合議会での議決後，本契約 ・完成検査(鴨方署)	⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	68,637	千円	決算額	870	千円	決算額	33,747	千円	決算額	352	千円
	うち一般財源	37	千円	うち一般財源	870	千円	うち一般財源	11,247	千円	うち一般財源	352	千円

5 各種研修の実施

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
消防職員	災害対応に関する実践的な知識，ノウハウ，スキルを修得し，災害対応力の向上を図る	・消防大学校入校 ・各種研修受講 ・関連資格取得

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・研修事業の実施 ・消防大学校(救助科)入校要望 ・救急救命研修所派遣要望 ・消防学校入校要望 ・各種研修・資格取得の実施 ・指導救命士の養成	⇒ ・消防大学校(救助科・救急科)入校要望 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ・消防大学校(救急科)入校要望 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ・消防大学校(警防科)入校要望 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	8,549	千円	決算額	6,846	千円	決算額	6,781	千円	決算額	7,778	千円
	うち一般財源	8,549	千円	うち一般財源	6,846	千円	うち一般財源	6,781	千円	うち一般財源	7,778	千円

6 消防車両等の整備

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
地域住民及び消防職員	管内における火災鎮圧，救急業務，人命救助，その他の災害応急対策を確実に遂行するとともに，消防の責任を十分に果たすために，必要な消防車両等の更新整備を図り，住民に安心安全の行政サービスを行う。	老朽化した消防車両及び資機材等の更新整備を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・仕様書の作成　・起債申請 ・入札　・仮契約 ・組合議会での議決後，本契約 ・中間検査　・完成検査 (笠岡広報2号車，救助用小型ボート)	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ (鴨方消防署ポンプ車，鴨方消防署救助工作車)		(笠岡消防署タンク車)

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	2,213	千円	決算額	162,467	千円	決算額	0	千円	決算額	73,698	千円
	うち一般財源	1,513	千円	うち一般財源	67	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	98	千円

【達成目標2】	地域の消防活動の強化（※②）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
消防団員数	単位	目標		947	955	960	970
	人	実績	948	944	913	—	—
		達成率		99.7%	95.6%	—	—
女性消防団員数	単位	目標		21	21	38	21
	人	実績	19	21	36	—	—
		達成率		100.0%	171.4%	—	—
婦人防火クラブ数	単位	目標		50	50	50	50
	クラブ	実績	50	50	50	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
幼年・少年消防クラブ数	単位	目標		20	20	20	21
	クラブ	実績	19	19	19	—	—
		達成率		95.0%	95.0%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	188,867	千円	178,865	千円	108,485	千円	18,424	千円
うち一般財源	2,320	千円	4,133	千円	2,610	千円	2,027	千円

8	自主防災組織等育成事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市民	災害時における「自助」「共助」「公助」を確立し，笠岡市の減災力向上を図る。	・市内自主防災組織を対象とした研修会の開催 ・自衛消防隊の指導

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●自主防災組織への支援 ●自衛消防隊の育成 （防火対象物・危険物施設） ●婦人防火クラブ研修会 ●幼年・少年消防クラブ研修会及び防火講話			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	1,974	千円	決算額	1,983	千円	決算額	1,916	千円	決算額	1,658	千円
	うち一般財源	1,974	千円	うち一般財源	1,983	千円	うち一般財源	1,916	千円	うち一般財源	1,658	千円

9	消防団活性化事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
住民及び消防団員	消防団員が活動しやすい環境をつくりだすために，消防団の装備・施設の充実強化と処遇の改善を行うことにより，住民の安全確保を図る。	・処遇の改善 ・消防団員の確保 ・消防団装備の整備充実 ・消防団員の交流による防災力向上 ・消防技術と知識の伝承

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●協力事業所表示制度の促進 ●消防機庫及び装備の整備 ●消防団親睦事業 ●処遇の改善 ●消防団員活性化事業 ●教育・訓練の実施 ・消防機庫建設事業（城見1部，北川1部，笠岡2部，神内3部，大島1部） ・消防ホース乾燥塔建設（城見3部，吉田1部） ・消防車両等整備事業 消防ポンプ自動車（笠岡5部，金浦3部，陶山1部） 小型動力ポンプ積載車（大井1部，吉田1部） 小型動力ポンプ（陶山1部，大井1部） ・消防団設備整備事業（チェーンソー17台）	⇒ ・消防機庫建設事業（笠岡2部，神内3部，大島1部，神外2部，白石1部） ・消防ホース乾燥塔建設（笠岡4部，神外1部，大島3部） ・消防車両等整備事業 消防ポンプ自動車（笠岡4部，城見3部） 小型動力ポンプ積載車（大井1部，大島3部） 小型動力ポンプ（今井1部，神内3部，大島4部） ・消防団設備整備事業（切創防止用保護衣48着）	⇒ ・消防機庫建設事業（笠岡2部，神外2部，白石1部） ・消防車両等整備事業 小型動力ポンプ積載車（陶山1部） 小型動力ポンプ（吉田1部，真鍋3部） ・消防団設備整備事業（発電機及び投光器9セット） ・安全装備品整備事業（雨衣上下）	⇒ ・消防機庫建設事業（白石1部） ・消防車両等整備事業 小型動力ポンプ積載車（神外2部） ・安全装備品整備事業（雨衣上下）

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	186,893	千円	176,882	千円	106,569	千円	16,766	千円
	うち一般財源	346	千円	2,150	千円	694	千円	369	千円

【達成目標3】	住宅防火対策の推進（※③）

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
住宅用火災警報器設置率	単位	目標		62.0	67.0	75.0	82.0
	%	実績	57.2	62.0	72.9	—	—
		達成率		100.0%	108.8%	—	—
住宅防火診断	単位	目標		10	23	25	29
	世帯／年	実績	7	7	4	—	—
		達成率		70.0%	17.4%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	44	千円	10	千円	10	千円	10	千円
うち一般財源	44	千円	10	千円	10	千円	10	千円

10	住宅防火対策事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
地域住民	火災発生件数を減少させるとともに，火災による死傷者の軽減を図り，市民が安全で安心して暮らせるようにする。	・住宅火災件数の減少及び死傷者数の軽減を図るため，住宅用火災警報器の設置を推進する。 ・積極的な広報活動と住宅防火診断等を継続的に実施する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●住宅用火災警報器設置推進啓発 ・啓発チラシ配布による設置よびかけ（街頭，イベント会場） ・5年計画で全戸対象に設置・維持管理を戸別訪問によるよびかけで実施することを継続 ●一人暮らしの高齢者及び要配慮者世帯の防火診断	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	44	千円	決算額	10	千円	決算額	10	千円	決算額	10	千円
	うち一般財源	44	千円	うち一般財源	10	千円	うち一般財源	10	千円	うち一般財源	10	千円

【達成目標4】	防火対象物の防火安全対策及び危険物施設の保安対策（※④）

達成目標4の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
防火対象物立入検査	単位	目標		280	310	310	310
	棟／年	実績	260	269	302	—	—
		達成率		96.1%	97.4%	—	—
危険物施設立入検査	単位	目標		130	140	140	150
	施設／年	実績	120	68	82	—	—
		達成率		52.3%	58.6%	—	—
重大違反防火対象物	単位	目標		0	0	0	0
	棟	実績	1	1	1	—	—
		達成率		0.0%	0.0%	—	—
保安・防火講習受講者数	単位	目標		120	120	120	120
	人／年	実績	120	113	108	—	—
		達成率		94.2%	90.0%	—	—

達成目標4の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	54	千円	106	千円	53	千円	63	千円
うち一般財源	54	千円	106	千円	53	千円	63	千円

11	防火対象物等防火・防災対策事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
防火対象物及び危険物施設を所有する事業者	事業所への立入査察を通して，事業者の適正な防火管理を指導し，火災発生を防止する。	事業所への立入査察，指導

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●事業所への立入検査 ・年間の査察計画を立て，立入査察の実施 （防火対象物及び危険物施設） ・危険物施設で地下貯蔵タンクを保有する事業所に対する漏洩事故防止の強化 ・催し物における露店等の立入査察の実施 ・初期消火訓練大会の実施			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	54	千円	決算額	106	千円	決算額	53	千円	決算額	63	千円
	うち一般財源	54	千円	うち一般財源	106	千円	うち一般財源	53	千円	うち一般財源	63	千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	280,799	千円	398,719	千円	159,878	千円	111,176	千円
うち一般財源	24,952	千円	61,587	千円	31,503	千円	21,179	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
危険物施設立入検査等が減っている。コロナ禍であるが事業所の理解を得ながら進めてほしい。また，消防団員の確保も少子化で厳しいと思うが広報活動等を行い団員の確保に努められたい。	→	立入査察につきましては，笠岡地区消防組合年間査察計画に基づいて実施しております。コロナ禍で検査数は減りましたが，事業所に対して防火対策の重要性を説明し，ご理解をいただきながら，検査数の増加に努めてまいります。 消防団員の確保につては，少子化や就業構造の変化による被雇用者消防団員の増加など，消防団員確保を取り巻く環境は年々厳しい状況下でありますが，女性の方にも積極的に声をかけ，入団しやすく，活動しやすい環境整備を継続して実施したいと考えております。
災害の多い最近の状況から消防体制・救急搬送の促進化が求められています。また，最近では火事通報の誤報なども多く，防火予防の啓発も大切だと思います。	→	近年の災害は，多種多様化しており，いかなる災害にも即応できるよう，準備と訓練を怠らず，消防団や自主防災組織等とより一層連携，協力し災害に備えたいと考えております。また，防火予防につきましては，広報活動や広報誌，ケーブルテレビ，ホームページでの呼びかけを継続して行うとともに，各種イベントでのチラシ配布，防災講習会での119番通報指導等，啓発に努めてまいりたいと考えております。

管内消防体制，地域の消防活動の強化については，ほぼ目標値に達しており安心しております。女性消防団員も2人も増え心強いです。 住宅防火診断，危険物施設立入検査についてはコロナ感染症の状況に応じた活動数でよろしいかと思います。引き続きよろしくお願いいたします。 重大違反防火対象物の1件が目標値0になっていないのが気になりました。私たち市民は生活の上で気にかけておかなければならない場所があるということでしょうか。御説明いただけると幸いです。	→	消防団員の加入促進については，令和4年度から各分団へ女性の方にも入団していただけるよう，声かけをお願いしております。女性消防団員の増員も継続して行いたいと考えております。 住宅防火診断及び危険物施設立入検査につきましては，相手先のご理解をいただき，感染拡大状況を見ながら可能な限り実施し，防火対策の推進を図ってまいります。 指標名の重大違反防火対象物につきましては，現在市内に1施設があります。該当施設は従業員のみが使用し，他の利用者の出入りはありません。また違反内容は，消防用設備の未設置であります。現在所有者から消防用設備設置計画書を受理している状況であり，違反に対する是正を進めております。
消防力に関しては数値目標を達成しています。引き続き消防力の維持に努めてください。消防職員並びに消防団員の充実及び確保は課題が多いと考えます。消防力の維持若しくは増大のために，人的資源の不足が機械化や新しい技術の積極的な導入により補えるのであれば費用を惜しまず導入することを検討してください。	→	限られた人員及び資機材等を最大限に活用していかなければならない中，ドローンなど新しい装備にも積極的に活用しているところです。消防資機材も年々進化していますので，時代に合った消防装備の研究や訓練を実施していきたいと考えております。消防団装備品につきましても，人的資材不足を解消するため，可搬ポンプの昇降を電動化にしました。また，夜間の水防活動でも活動できるよう，雨衣に反射板を設け，安全に消防活動ができるよう整備しております。
地域に温度差があるものの，様々な世代が地域防災に参加されるのは素晴らしいです。コロナ禍でありますが，世の中が動き始め，団員の確保も大変だと思いますが，引き続き地域防災力を育んでください。	→	団員確保におきましては，近年のコロナウイルス感染拡大などから，地域での勧誘活動が停滞し進まなかったことも少なからず影響があると考えております。ウイズコロナやアフターコロナと言われ，世の中が動き始めておりますので，様々なイベントで消防団員の加入促進を実施するとともに，団活動がしやすい環境整備を行い笠岡市の地域防災力をより強いものにしたいと考えております。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	コロナ禍であり，一般住宅を対象とした「住宅防火診断」は，感染防止の観点から出向を制限したため実施数が減となりましたが，「防火対象物及び危険物施設の立入検査」にあっては，事業所のご理解をいただきながら，感染予防対策を講じた上で前年度を上回る検査を実施することができました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された今年度は，目標値を達成できるよう積極的に出向し，防火安全対策並びに保安対策の徹底を図ってまいります。また，幼年少年消防クラブについては，新たに北川小学校少年消防クラブが令和5年5月に結成されましたが，将来の地域防災の担い手となる人材を育成するため，引き続きクラブ結成を呼び掛け，地域防災力の一層の充実強化を図ってまいります。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・井原消防組合では，住民への啓発にInstagramを活用していると聞きました。若い世代には有効かと思いますが，笠岡でも検討などされていますか。 ・指標は前年の数値とあまり変わっていないように思います。消防団員数は減少しながらも，女性消防団員数は徐々に増えています。 ・コロナ禍でもできる限りのことをしてくださったのが分かりました。ありがとうございます。また笠岡の出火率が目標値をクリアしているのは呼びかけなどのおかげだと思います。今後認知症患者や高齢者が更に増加するので引き続きよろしくお願いいたします。消防団員数の減少は気になりますが，女性消防団員の増加や北川小学校少年消防クラブの結成など新たな担い手が増え喜ばしいことです。ドローンなど新しい装備の積極的活用の様子など市民にも見る機会があるとよいと思います。 ・婦人防火クラブや幼年少年消防クラブでは，団員が増えつつあり，防火予防の意識改革に繋がります。しかし，実際の消火活動は難しいと思います。地区消防団に女性団員の加入もあると聞いていますが，実際の消火活動に参加できているのでしょうか。 ・日頃より消防体制の整備にご尽力いただきありがとうございます。消防団の世代交代も地域により進捗状況が違うように思います。どのように把握されていますか。防災組織が薄い地域への働きかけもお願いできたらと感じます。 ・なり手不足が顕在化してきた消防団は，少し制度の曲がり角にきているようにも思います。対応を期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－10	施策名	地域防災の推進	主担当課	危機管理課
戦略の柱	安定戦略　“安らぐ”				
基本方針	市民の生命，身体及び財産並びに市政に重大な影響を及ぼす全ての危機を未然に防止し，こうした事態が発生した場合には被害を最小限に食い止めるため，地域の防災組織と連携し，市民の安心・安全を確保します。			関係課	建設管理課 建設事業課 都市計画課 農政水産課 地域福祉課 消防総務課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
消防団員数	単位	目標			955	960	970
	人	実績	948	944	913	—	—
		達成率			95.6%	—	—
緊急情報メール，LINE配信サービス登録者数	単位	目標			11,000	13,000	17,000
	人	実績	6,979	9,710	11,245	—	—
		達成率			102.2%	—	—
家庭で防災対策をしている割合（市民意識調査）	単位	目標		—	30.0	—	40.0(R4)
	%	実績	22.0	—	28.1	—	—
		達成率		—	93.7%	—	—
「地域防災の推進」の満足度（市民意識調査）	単位	目標		—	10.0	—	15.0(R6)
	%	実績	7.0	—	5.5	—	—
		達成率		—	55.0%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	平常時に対策が整っている危機管理（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
食糧の備蓄	単位	目標		25,800	24,000	26,500	31,500
	食	実績	18,983	19,233	19,727	—	—
		達成率		74.5%	82.2%	—	—
公共建築物の耐震化率	単位	目標		98.0	93.0	93.2	98.0
	%	実績	92.0	92.0	93.2	—	—
		達成率		93.9%	100.2%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	40,022	千円	42,484	千円	30,402	千円	28,574	千円
うち一般財源	34,631	千円	32,755	千円	7,138	千円	9,712	千円

1	建築物等の設置規制に関する業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市内に建築行為を行う物および建築物を所有する者	・市民の生命・財産を保護し，公共の福祉の増進を図る。 ・災害時における被害を未然に防ぎ，被害拡大の防止を図る。	・建築確認申請の受理，許可 ・建設リサイクルに関する受理 ・岡山県福祉のまちづくり条例に関する物件の受理 ・建築物耐震診断事業に関する補助 ・木造住宅耐震改修事業に関する補助 ・住宅リフォーム助成 ・空き家等除却事業

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●建築確認及び指導 ●建築物の耐震診断，耐震改修事業 ●建築物の耐震診断，耐震改修に関する普及啓発事業 ・住宅リフォーム助成 ●空き家等除却事業 ●アスベスト改修事業			⇒確認申請受付　市11件・民143件 ⇒耐震診断助成 6件・耐震改修助成 1件 ⇒ ⇒住宅リフォーム助成 191件 ⇒空き家等除却助成 10件 ⇒アスベスト改修助成 1件			⇒確認申請受付　市14件・民165件 ⇒耐震診断助成 9件・耐震改修助成 2件 ⇒ ⇒住宅リフォーム助成 181件 ⇒空き家等除却助成 4件			⇒確認申請受付　市 10件・民 121件 ⇒耐震診断助成 9件 耐震改修助成 1件 ⇒ ⇒住宅リフォーム助成 102件 ⇒特定空家等除却助成 3件		
直接事業費	決算額	40,022	千円	決算額	42,484	千円	決算額	30,402	千円	決算額	28,574	千円
	うち一般財源	34,631	千円	うち一般財源	32,755	千円	うち一般財源	7,138	千円	うち一般財源	9,712	千円

【達成目標2】	自助・共助の体制がとれた自主防災組織（※②）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
防災士の人数	単位	目標		73	81	95	111
	人	実績	65	73	81	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
地域密着型訓練の参加者数	単位	目標		6,000	5,000	5,000	5,000
	人／年	実績	485	282	1,185	—	—
		達成率		4.7%	23.7%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	64,089	千円	77,175	千円	54,564	千円	31,649	千円
うち一般財源	34,565	千円	67,630	千円	51,334	千円	26,225	千円

2 危機管理業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民の生命と財産	災害時の被害を少なくする。二次災害を最小限にする。	・各種防災訓練について，地域の特色を考慮した訓練を実施する。 ・防災訓練の実施について，市民参加型訓練とし，市民の防災意識の高揚を図る。 ・災害時における市民への情報伝達の徹底を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●危機に関する調査研究 ●関係機関との連携 ●笠岡市地域防災計画の推進 ●備蓄品の充実・適正管理 ●防災ガイドブック(ももたろうの防災)全戸配布 ●同報系デジタル無線の整備 ・施設保守点検委託業務 ⇒ (ラジオ新規配付49台) ●災害応急復旧工事 ●避難所看板整備事業(7箇所) ●災害時拠点ヘリポート整備事業(白石島)	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ●笠岡市総合ハザードマップの全戸配布 ⇒ ⇒ (ラジオ新規配付42台) ⇒ ●避難所看板整備事業(21箇所) ●災害情報配信システム整備事業 ●国土強靱化地域計画策定 ●災害時拠点ヘリポート整備事業(六島)	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ (ラジオ新規配付16台) ⇒ ●避難所看板整備事業(21箇所) ⇒(運営)	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ (ラジオ新規配付7台) ⇒ ⇒ ●災害時携帯用無線整備事業
直接事業費	決算額 60,816 千円 うち一般財源 32,883 千円	決算額 74,501 千円 うち一般財源 66,292 千円	決算額 51,911 千円 うち一般財源 50,007 千円	決算額 29,610 千円 うち一般財源 25,205 千円

3 自主防災活動支援事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	災害時における「自助」「共助」「公助」を確立し，笠岡市の減災力向上を図る。	市内自主防災組織を対象とした研修会，講演会を開催したり，防災資機材を配布することによって，災害時に必要な物品の整備や知識の取得を図る。また，地域別防災マップ作成支援事業についてモデル地区を選定し実施することによって，自主防災組織全体の意識を向上させ，自主防災組織相互の連携を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●防災資機材の配布 ●地域密着型訓練の開催 ・地域密着型訓練を62回実施 ・地域別防災マップ作成支援事業を篠坂地区で開催，県モデル事業において神島外浦地区で開催 ●各地域での訓練指導	⇒ ⇒ ・地域密着型訓練を17回実施 ・地域別防災マップ作成支援事業を県モデル事業において西東地区で開催 ⇒	⇒ ⇒ ・地域密着型訓練を16回実施 ・地域別防災マップ作成支援事業を本町地区で開催 ⇒ ●防災士資格取得支援(8名取得)	⇒ ⇒ ・地域密着型訓練を16回実施 ・地域別防災マップ作成支援事業を園井地区で開催，県モデル事業において高島地区で開催 ⇒ ●防災士資格取得支援(8名取得)
直接事業費	決算額 3,273 千円 うち一般財源 1,682 千円	決算額 2,674 千円 うち一般財源 1,338 千円	決算額 2,653 千円 うち一般財源 1,327 千円	決算額 2,039 千円 うち一般財源 1,020 千円

【達成目標3】	浸水・高潮被害を防ぐ安心できる備え（※③）

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
海岸保全施設整備率（市管理）	単位	目標		94.0	97.0	99.0	100.0
	%	実績	89.0	94.0	97.0	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
海岸保全施設点検実施率（市管理）	単位	目標		100.0	100.0	100.0	100.0
	%	実績	100.0	100.0	100.0	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
海岸保全施設（水門）点検数（市管理）	単位	目標			5	9	10
	箇所	実績	0	2	7	—	—
		達成率			140.0%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	417,955	千円	604,319	千円	386,941	千円	559,973	千円
うち一般財源	69,574	千円	78,312	千円	72,495	千円	88,650	千円

4	河川・排水路新設改良事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
河川・排水路背後地に在住の住民	洪水から住民の生命・財産を守る	計画の策定，要望書の受理，測量・調査・設計業務の発注，地元説明会の開催，用地の取得，物件の補償，工事の発注，工事の監督監理，検査確認

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●河川・排水路新設改良事業(河川整備事業) ・要望受理・現地調査・改良工事着手			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	165,800	千円	決算額	339,243	千円	決算額	159,128	千円	決算額	154,135	千円
	うち一般財源	5,538	千円	うち一般財源	1,243	千円	うち一般財源	528	千円	うち一般財源	3,635	千円

5	農業用施設維持管理業務（再掲）

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
農業用施設利用者	農業用施設利用者が安全・安心して利用できるようにする。	・農林水産業施設管理事業 ・農林水産業施設維持事業 ・農林水産施設（単独）災害復旧事業

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	(創) ●農業水利施設整備事業 ・ため池ハザードマップ作成（尾坂池及び防災重点ため池等） ・国営応急対策事業（寺間排水機場） ・排水機場事業系各協議資料作成（北川第1） ・ため池改修事業計画書作成（岩神池）			⇒ ・ため池ハザードマップ作成（防災重点ため池10カ所） ⇒ ・排水機場事業計画書作成（北川第1） ・農道橋梁点検			⇒ ・ため池ハザードマップ作成（防災重点ため池14カ所） ⇒ ・農道橋事業計画書作成（笠岡湾干拓2号橋）			⇒ ・ため池ハザードマップ作成（防災重点ため池14カ所） ⇒ ⇒ ・笠岡湾干拓地内排水路設置		
直接事業費	決算額	106,732	千円	決算額	120,976	千円	決算額	137,507	千円	決算額	198,561	千円
	うち一般財源	62,225	千円	うち一般財源	77,069	千円	うち一般財源	71,861	千円	うち一般財源	84,538	千円

6	(創) 海岸保全施設整備事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
海岸付近に在住の市民及び住宅	高潮・台風時期の潮位上昇に伴う浸水被害を防止する。	高潮時の海水を防ぐ水門・胸壁，降雨時の内水排除用のポンプ設置，このための設計，積算，工事監督

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●海岸保全施設整備事業 ★・真鍋島漁港高潮対策事業 ★・金風呂漁港高潮対策事業 ・横江漁港高潮対策事業 ★・豊浦港高潮対策事業 ★・高島漁港高潮対策事業 ★・湛江漁港高潮対策事業			⇒ ・横江漁港高潮対策事業 ★・豊浦港高潮対策事業 ★・湛江漁港高潮対策事業 ★・前浦港高潮対策事業			⇒ ・横江漁港高潮対策事業 ★・湛江漁港高潮対策事業 ★・豊浦港高潮対策事業			⇒ ・横江漁港高潮対策事業 ★・湛江漁港高潮対策事業 ★・金風呂漁港高潮対策事業 ★・豊浦港高潮対策事業		
直接事業費	決算額	145,423	千円	決算額	144,100	千円	決算額	90,306	千円	決算額	207,277	千円
	うち一般財源	1,811	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	106	千円	うち一般財源	477	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	522,066	千円	723,978	千円	471,907	千円	620,196	千円
うち一般財源	138,770	千円	178,697	千円	130,967	千円	124,587	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
食糧の備蓄数が増加しており，引き続き目標数へ近づけていってほしい。公共建設物の耐震化率については，目標を今後の施設等の利用に応じた適正な数値に変更されたい。	→	耐震化が予定されていない公共建築物があるため，後期計画では公共建築物の建て替え(除却)年度に合わせた目標値に修正いたします。
防災放送塔については，設置の際から有効的な場所より公共用地への設置で工事が進んでいました。完成してもよく聞こえません，家の中にいたら放送があったことさえわからないのです。市有地優先でなく民有地でも地区全体に放送効果があるところを選定されたら良かったと思います。これを改善するにはまた，多くの財政投入となります。	→	本市のデジタル防災行政無線は，緊急性の高い津波警報などの災害情報，避難情報などを本市から放送するとともに北朝鮮ミサイル発射事案などで全国的に整備が進んだJ－ALERT(全国瞬時警報システム)を連動させることで，内閣府からの国民保護情報や緊急地震速報を自動的に直接，住民に伝達が可能なシステムで，屋外の方に伝達することを得意としたシステムとなります。ご指摘のとおり，現在の住宅は機密性も高く家の中にいると聞こえにくいという課題があります。 そうしたことから，本市では，テレビのテロップ表示，メールやLINE，強制的に情報を配信する緊急速報メールなど携帯電話網を使用した配信，固定電話や市ホームページ，SNSなどでの配信など，様々な配信手段を確保し，市民の皆さまがいずれかの方法で災害情報を入手できるよう情報配信手段の整備を行っております。 また，上記のいずれの手段でも情報が入手出来ない方には防災行政無線と同様の放送が受信可能な緊急告知FMラジオを配布しています。 今後も様々な情報配信システムについて他市町村の事例等も参考にしながら，より多くの手段で災害情報が配信できるよう努めていきます。

食料の備蓄について昨年度よりも多い食数となっていますが，目標値には達していません。私を含め市民の中にも，晴れの国岡山ということに甘んじて災害についての意識がまだまだ浸透していないと感じています。もしもに備える必要性をもっと感じる策はないでしょうか。また，賞味期限の絡みで廃棄処分するのはもったいないと思いますので，フードロスの観点からも御考案いただきたいと思います。地域に置いてある非常食も捨てているという状況のようです。地域でも賞味期限をきちんと把握し，地域防災のイベントや研修会に賞味期限の近いものを配布し，御家庭での備蓄の必要性を訴えるなど良いシステムができないでしょうか。 地域密着型訓練についてはコロナの状況を見ながら，子どもたちも巻き込んで自分たちで考えてする実践型のものもやってほしいと思います。	→	市の備蓄については今後も目標値に達するように備蓄数を増やしていきます。 また，出前講座などで，賞味期限の切れる間近のものを災害食の試食として体験していただいております。 その際には，市民の皆さま自身でも備蓄するようお願いをしており，ローリングストック法なども含めて御紹介をさせていただいております。 期限間際の備蓄品については出前講座，地区の防災訓練，試食会などで活用している他NPO法人ハーモニーネット未来が行っているフードバンクへ提供しています。 今後も出前講座などでの非常食体験を啓発するとともに賞味期限などの管理を徹底して行い，廃棄することのないようにフードバンクへの提供を実施していきます。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【消防団員数】 消防団の今後の機能維持を図るため，消防団の装備・施設の充実強化及び処遇の改善を行い，女性消防団員の加入を推進するなど地元分団と協力して若手層の加入促進を図っていきたい。 【家庭で防災対策をしている割合(市民意識調査)】 目標達成まであと一歩であった。出前講座等で普及啓発を引き続き実施していきたい。 【「地域防災の推進」の満足度(市民意識調査)】 ハード対策は順調に進んでいるが，ソフト対策に課題があると考えている。出前講座による普及・啓発に加え，ハザードマップの更新，マイタイムライン訓練等を実施することで満足度を高めたい。 【食糧の備蓄】 岡山県から示されている備蓄目標数を達成するよう努めているが，限られた予算の中で，目標数の備蓄が達成出来ていない。今年度から年次的に県目標を達成可能なよう予算確保したため，着実に備蓄を進めていきたい。 【地域密着型訓練の参加者数】 新型コロナウイルス感染症の影響で出前講座数が減少しており，それに伴い参加者数も減少している。新型コロナウイルス感染症5類への移行に伴い，積極的に出前講座を実施していきたい。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	・消防団員の確保は今の時代には難しいかもしれませんが，地域共生社会の推進のためにも「自らの地域は自ら守る」という精神の若者の確保をお願いします。 ・地域密着型訓練の参加者数は大幅に増えていますが，目標数にはまだいかないようです。来年度はさらに増加するものと思います。 ・事業については概ね達成・改善していますが，「地域防災の推進」の満足度(市民意識調査)が2年前より下がりました。地域密着型訓練の参加者数については昨年度より増えましたがコロナ禍のため目標達成率23.7%に留まりました。南海トラフなどの災害への不安や危機感から自主防災・地域防災に関心はあるが，アクションを起こせていないことで不安に思う人もいるのかもしれません。市民も巻き込んでのマイタイムライン作成等自分事として捉えることのできる防災推進をお願いします。 ・地域防災の推進には，市民の意識改革を図らなければならない。まちづくり協議会にも，防犯・防災部会を組織している地区も増えていると思います。少しずつでも，その意識向上を図ってほしい。 ・地域での防災に関するイベントが行われている印象です。防災意識を高く持つことは重要なことだと思いますので，引き続き地域防災の推進に努めてください。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－11	施策名	防犯・交通安全の環境づくり	主担当課	協働のまちづくり課
戦略の柱	安定戦略　“安らぐ”				
基本方針	市民の防犯，交通安全，消費者被害の防止に対する関心や意識を高め，日々安心して過ごすことができる健全な地域社会の構築を基本として，市と市民の協働による安心して生活できるまちを目指します。			関係課	学校教育課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
人口千人当たりの犯罪発生件数	単位	目標		3.0	3	2.8	2.7
	件／年	実績	3.1	2.9	2.8	—	—
		達成率		103.4%	107.1%	—	—
人口1万人当たりの交通事故（人身）発生件数	単位	目標		19.0	19	18	18
	件／年	実績	19	18.0	16.8	—	—
		達成率		105.6%	113.1%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	犯罪・消費者被害のない環境づくり（※①③）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
防犯活動登録団体数	単位	目標		46	46	46	47
	団体	実績	46	46	46	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—
笠岡市消費生活問題研究協議会の会員数	単位	目標		120	120	120	120
	人	実績	117	109	100	—	—
		達成率		90.8%	83.3%	—	—
消費生活相談窓口の利用件数	単位	目標		360	360	360	360
	件／年	実績	321	293	291	—	—
		達成率		81.4%	80.8%	—	—
法律相談窓口の利用件数	単位	目標		53	53	53	53
	件／年	実績	49	50	50	—	—
		達成率		94.3%	94.3%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	7,210	千円	6,246	千円	6,779	千円	6,401	千円
うち一般財源	6,193	千円	5,147	千円	5,669	千円	5,178	千円

1 安全な消費生活事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市民	消費生活環境の変化の中，消費者を守るルールについて，消費者である市民が正しく理解し，消費者被害の防止と救済の両面から，安全・安心に生活ができる環境を整える。	消費生活に係る相談及び苦情の処理 消費生活に係る情報の収集及び提供 消費生活に係る啓発活動及び消費者教育 市民・消費者団体と協働で取り組む各種研究と啓発活動

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●消費生活センター運営 ●各メディアを通じての広報・啓発 ●市民活動による調査広報 ●食生活に関する研究活動 ●リフォーム活動 ●廃油石けん，肥料などの環境活動 ●くらしと消費生活展 ＜消費者被害防止出前講座 13回＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜消費者被害防止出前講座 1回＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜消費者被害防止出前講座 13回＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜消費者被害防止出前講座 12回＞
直接事業費 決算額	4，707 千円	3，743 千円	4，401 千円	4，070 千円
直接事業費 うち一般財源	3，690 千円	2，644 千円	3，291 千円	2，847 千円

2 安全・安心まちづくり協働推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市民	犯罪をなくし，安全・安心に暮らせるようにする。	笠岡防犯連合会及び笠岡市内暴力追放推進連合会と協力した啓発活動，登下校時の見守り活動や防犯パトロールなど地域の安全安心自主活動団体との連携，青色回転灯装備パトロールカーの活用，出前講座，相談窓口開設

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●市民・団体と協働で取り組む笑顔の見守り活動 ●安全安心団体への活動補助 ●青色回転灯装備パトロールカー実施者の更新 ●出前講座の開催 ●広報車による啓発 ●法律相談・行政相談 ＜法律相談受付件数 53件＞ ＜行政相談受付件数 11件＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜法律相談受付件数 49件＞ ＜行政相談受付件数 5件＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜法律相談受付件数 50件＞ ＜行政相談受付件数 6件＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜法律相談受付件数 50件＞ ＜行政相談受付件数 6件＞
直接事業費 決算額	2，503 千円	2，503 千円	2，378 千円	2，331 千円
直接事業費 うち一般財源	2，503 千円	2，503 千円	2，378 千円	2，331 千円

【達成目標2】交通事故のない環境づくり（※②）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
交通安全教室実施回数	単位	目標		21	21	30	45
	回／年	実績	21	27	28	—	—
		達成率		128.6%	133.3%	—	—
高齢者の交通安全教室参加人数	単位	目標		0	0	100	200
	人／年	実績	0	0	18	—	—
		達成率		#DIV/0!	#DIV/0!	—	—
交通事故相談窓口の利用件数	単位	目標		6	6	6	6
	件／年	実績	6	0	5	—	—
		達成率		0.0%	83.3%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	2,744	千円	2,937	千円	6,140	千円	4,306	千円
うち一般財源	2,644	千円	2,837	千円	5,980	千円	4,156	千円

3	交通安全対策事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	1件でも交通事故・交通違反が減るように，多くの人に交通安全と交通ルールに関心をもってもらう。また，交通事故に遭遇した方を救済する。	・交通安全教室の開催，街頭指導や見守り活動及び推進大会等の啓発活動，新入学児童を対象とした交通安全用品の配布，交通事故のトラブル相談の実施 ・交通安全団体との連携推進

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●交通安全市民運動推進大会 ●交通安全教室 ●交通安全テント村 ●セーフティードライバースクール ●交通安全フェスティバル ●自転車など点検整備 ●早朝街頭指導 ●交通事故相談 ＜交通事故相談受付件数7件＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜交通事故相談受付件数6件＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜交通事故相談受付件数0件＞	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ＜交通事故相談受付件数5件＞

		令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度	
直接事業費	決算額	2,744	千円	決算額	2,937	千円	決算額	6,140	千円	決算額	4,306	千円
	うち一般財源	2,644	千円	うち一般財源	2,837	千円	うち一般財源	5,980	千円	うち一般財源	4,156	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	9,954	千円	9,183	千円	12,919	千円	10,707	千円
うち一般財源	8,837	千円	7,984	千円	11,649	千円	9,334	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
犯罪発生数，交通事故数ともに減少しているが，高齢者の交通安全教室参加人数が2年連続0人となっており，コロナ禍での開催方法の検討をされたい。市民が安心して過ごすことができる笠岡市とするために引き続き尽力されたい。	→	各地区敬老会での交通安全啓発チラシ配布等，コロナ禍でも可能な啓発は引き続き実施してまいります。さらに，高齢者の利用が多いと思われる地区公民館へも交通安全ポスターの掲示をお願いします。 また，笠岡警察署，笠岡放送と協力し，交通安全啓発番組を作成・放送する予定です。
最近の殺傷事件など目にあまるほどです。そして，交通マナーも悪化し，あおり運転などの事犯も報じられています。今一度人間のあり方を問う学習を学校や地域学習会で研修できたら良いと思います。	→	岡山県の交通安全運動スローガンはここ何年も「思いやりゆとりは無事故へ　つづく道」です。 学校や地域での交通安全教室では，「おもいやりの心を大切に運転することで，交通事故を減らしていきましょう」と啓発しています。

犯罪，交通事故ともに発生件数が減少しているのは日頃の御尽力のおかげだと感謝いたします。 犯罪・消費者被害のない環境づくりでは昨年に比べ実績があまり変わっていないのに事業費が微増となっているのは，消費者被害防止出前講座の回数が増えたからでしょうか。 コロナ禍にも関わらず交通安全教室をたくさんしてくださりありがとうございます。交通安全対策事業について，決算額がかなり増えていますが具体的に御説明をお願いします。 警察署員や市職員さんが出演されるユーチューブ動画・笠岡放送や，笠岡の子どもさんが出るCM（R4年）は身近で，訴える力が大きいと感じます。被害未然防止に一役かってくださっているので，もっと多くの人に見てもらう機会があれば良いと思います。年齢層により利用媒体が異なりますので，内容によって，笠岡放送やインスタなどでも流されてはいかがでしょうか。	→	犯罪・消費者被害のない環境づくりの事業費が微増となっていることについては，コロナ禍が少し回復したことにより笠岡市消費生活問題研究協議会の活動費が増加したこと等によります。 交通安全対策事業について決算額がかなり増えていることについては，「交通指導員の給与について，令和2年度は再任用職員として人事課支払いであったものが，令和3年度は会計年度任用職員として担当課支払いに替わった」ことによります。 おっしゃるとおり，警察署員や市職員が出演するユーチューブ動画や笠岡放送は好評です。笠岡警察署，笠岡放送と協力して，今後も可能な限り警察署員や市職員の出演する動画を作成・放送してまいります。インスタグラムについては，効果的な利用法を研究してまいります。
ネット上の犯罪等，犯罪の手口は複雑多様化していますが，時代に応じた防犯について，老若男女関係なく，対応策を伝えていただきたい。	→	複雑多様化している犯罪手口については，広報紙やケーブルテレビ，緊急配信メールなどあらゆるメディアを通じて，さらに出前講座により対応策を老若男女に伝えてまいります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A：施策を構成する事業が順調に進行している。 B：施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C：施策を構成する事業が一部遅れている。 D：施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	各種相談窓口について利用件数が達成目標を下回っています。相談件数が少ないことが一概に悪いとは言えませんが，相談窓口の認知度を高めるため，今後も広報紙や出前講座先で周知を行っていきます。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・公共交通の状況を鑑みると，高齢になったとはいえ，笠岡で車を使わない生活はなかなか難しいと思うので，事故防止の啓発などをしっかりお願いします。 ・人口一万人当たりの交通事故発生件数は着実に少なくなっています。そして交通安全教室実施回数は少しずつ増えています。今後も引き続き取り組んでいただきたいと思います。 ・犯罪発生，交通事故件数ともに前年度よりも減少しました。相談窓口の減少は広報などが予防となり相談する機会の減からかもしれません。引き続き，好評の動画や笠岡放送との連携で予防につながるようお願いいたします。オレオレ詐欺や還付金詐欺など様々な手口の特殊詐欺の対策として迷惑電話防止機能付き電話機購入費用の補助をしてくれる「特殊詐欺等被害防止対策機器設置事業補助金交付事業」の現状はいかがでしょうか。必要とされるところに届くことを願います。またヘルメットの努力義務化，シニアカーの増加等，笠岡の交通状態も変わってきました。引き続きよろしくお願いいたします。 ・スマホなどによる消費者被害も増えているように思います。市としてスマホの扱い方講習もありましたが，初級程度でもその対策などにも触れていただくとよいと思います。 ・笠岡市の防犯・交通安全の環境づくりにご尽力いただきありがとうございます。実績の正確な数値であることの見直しをお願いします。子供たちが安全の講習を聞いて帰り，話を聞いています。防犯や交通安全も年々変わってきていますが，出前講座で引き続き周知をお願いいたします。 ・痛ましい事件や事故が未然に防げるよう，引き続き努めてください。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	4－12	施策名	廃棄物・環境保全	主担当課	環境課
戦略の柱	安定戦略　“安らぐ”				
基本方針	笠岡市の豊かな自然環境を守り，また，SDGsの目標にもある「住み続けられるまちづくり」を目指すため，ごみの減量化・資源化，地球温暖化対策等を進めるとともに，市民の意識啓発・学習活動等に取り組み，自然共生社会の実現を目指します。			関係課	西部衛生 西部環境

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
1人1日当たりごみ排出量	単位	目標		869.4	856.7	845.7	824.2
	g	実績	925.2	899.3	846.2	—	—
		達成率		96.7%	101.2%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】ごみの減量化・資源化の推進及び廃棄物の適正排出（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
ごみのリサイクル率	単位	目標		21.8	20.7	17.0	22.4
	%	実績	17.9	17.6	16.4	—	—
		達成率		80.7%	79.3%	—	—
ごみの減量化・資源化に取り組んでいる市民の割合（市民意識調査）	単位	目標		—	91.0	—	92.0(R6)
	%	実績	87.5	—	83.6	—	—
		達成率		—	91.9%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	274,930	千円	261,955	千円	248,619	千円	270,286	千円
うち一般財源	173,057	千円	160,736	千円	151,052	千円	171,033	千円

1　ごみ収集業務

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
市民	市民の排出したごみを収集し，健康で快適な生活環境の向上を図る。	市民の排出した廃棄物（可燃物・粗大・不燃物）の収集。業務に使用する車両，船舶，施設の管理及び収集作業の安全管理，一般廃棄物処理手数料の徴収，一般廃棄物収集運搬業許可及び指導

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●ごみ収集施設設置補助 ●有料粗大ごみ収集業務 ●ふれあい収集業務 ●廃棄物収集業務 ●廃棄物収集業務委託	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	127,369	千円	113,249	千円	103,425	千円	116,764	千円
	うち一般財源	109,551	千円	92,944	千円	84,328	千円	99,969	千円

2 ごみ減量化・リサイクル推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市民及び事業者	ごみの減量化，資源化に協力していただき，ごみの排出量の削減を図る。	ごみ処理容器設置事業等補助金交付，ごみ減量化等対策策定，一般廃棄物処理計画策定，資源ゴミ回収補助，廃棄物減量等推進審議会開催・運営，環境衛生団体の指導育成，一般廃棄物の処理（委託契約を含む），一般廃棄物の処理手数料の徴収

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●マイバック持参運動の普及事業 ⇒ ●生ごみ処理容器購入補助 ⇒ ●指定ごみ袋配布事業 ⇒ ○ごみ袋配布の見直し ⇒ ●資源回収推進団体・資源回収推進業者補助事業 ⇒ ●廃棄物減量推進員制度 ⇒ ●ごみ減量化啓発・広報事業 ⇒ ●リサイクル啓発事業 ⇒ ●ごみ処理広域化実施計画策定業務 ⇒ ●用地選定業務 ⇒ ●不法投棄対策事業 ⇒ ●小型家電リサイクル制度 ⇒ ○海ごみ対策事業 ⇒ ●分別収集業務 ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	64,085	千円	決算額	62,267	千円	決算額	64,803	千円	決算額	74,119	千円
	うち一般財源	46,165	千円	うち一般財源	50,315	千円	うち一般財源	50,508	千円	うち一般財源	57,170	千円

3 し尿収集業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市民及び事業者	排出したし尿を収集し，健康で快適な生活環境の向上を図る。	し尿の収集。島嶼部へ収集車を運搬するし尿船の管理。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	○し尿収集業務 ⇒ ○し尿収集業務委託 ⇒ ○し尿収集手数料滞納の解消 ⇒ ★○島嶼部対応用し尿船の管理 ⇒ ○し尿収集車の維持管理 ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	83,476	千円	決算額	86,439	千円	決算額	80,391	千円	決算額	79,403	千円
	うち一般財源	17,341	千円	うち一般財源	17,477	千円	うち一般財源	16,216	千円	うち一般財源	13,894	千円

【達成目標2】地球温暖化対策の推進（※③）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
再生可能エネルギー導入量	単位	目標			89,000	89,500	102,500
	MWh	実績	80,541	81,513	84,796	—	—
		達成率			95.3%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	1,872	千円	1,670	千円	4,388	千円	2,878	千円
うち一般財源	1,616	千円	1,389	千円	2,827	千円	1,871	千円

4	温室効果ガス削減事業 （太陽光発電関連事業）

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市民　ほか	再生可能エネルギー導入やエネルギー有効利用ををを促進し，地球温暖化防止に直結するCO2を削減するとともに，市民の意識啓発を図る。	●住宅用太陽光発電システム設置補助 ●定置型リチウムイオン電池設置補助(R2年から) ●公共施設の屋根，土地，遊水池での太陽光発電推進事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	創 ●☆住宅用太陽光発電システム等設置補助 ・太陽光発電システム 補助額：2万円/kW（上限5万円） 交付件数：36件 ・太陽熱利用システム 補助額：工事費の10%（上限3万円） 交付件数：3件 ⇒・次年度の適性補助額等を検証し，見直しを実施。 ●公共施設の屋根，休耕地，遊水池における太陽光発電による売電を継続中	⇒ 交付件数：29件 ⇒ 交付件数：11件 ⇒	住宅太陽光システム設置補助金については終了 交付件数：7件 ・蓄電池（上限12万円） 交付件数：37件 ⇒	交付件数：4件 ⇒ ・蓄電池（上限12万円） 交付件数：24件 ⇒

直接事業費	決算額	1,872	千円	決算額	1,670	千円	決算額	4,388	千円	決算額	2,878	千円
	うち一般財源	1,616	千円	うち一般財源	1,389	千円	うち一般財源	2,827	千円	うち一般財源	1,871	千円

【達成目標3】	自然と共生した社会の保全（※④）

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
海域，河川及び大気汚染に係る環境基準達成率	単位	目標			71.8	74.4	76.9
	%	実績	66.7	64.1	71.8	—	—
		達成率			100.0%	—	—
自然環境学習会の参加者数	単位	目標		170	190	190	200
	人／年	実績	170	48	80	—	—
		達成率		28.2%	42.1%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	5,283	千円	6,486	千円	5,538	千円	5,687	千円
うち一般財源	5,012	千円	5,804	千円	5,304	千円	5,559	千円

5 環境保全施策推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	現在及び将来の市民の健康で文化的な生活の確保に寄与する。	地球環境保護，公害防止計画及び企業立地の環境保全対策策定，公害の発生源の監視及び規制指導，環境基本計画の策定，環境審議会の開催・運営，自然保護，環境に係る調査・測定，大気・水質・騒音・振動・悪臭防止，環境に係る届出受付，公害苦情に関する対応

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●環境に対する調査・測定 ・公害苦情に関すること ・環境に係る各種届出 ・公害発生源の監視・規制指導 ●環境保全啓発の出前講座 ●事業者などへの啓発 ●自動車騒音常時監視 ・公害苦情処理件数 19件	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・公害苦情処理件数 19件	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・公害苦情処理件数 44件	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ・公害苦情処理件数 27件

直接事業費	決算額	3,051	千円	決算額	3,508	千円	決算額	3,324	千円	決算額	3,656	千円
	うち一般財源	3,051	千円	うち一般財源	3,508	千円	うち一般財源	3,324	千円	うち一般財源	3,656	千円

6 森林整備事業，緑化運動

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
森林所有者及び周辺に在住の市民 農林業者等	松くい虫による被害等を防止するとともに，森林資源の保全と国土の保全を図る。 農作物の被害の防止及び生活環境の改善を図る。	・被害木の伐倒駆除。 ・道路沿いの危険木処理。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●森林整備事業 ・危険木の伐採を実施 危険木 30.84m3 ●緑化運動 ・緑の募金による苗木配布 募金総額239,776円 苗木配布先 飛島自治会	⇒ ・危険木の伐採を実施 危険木 80.00m3 ⇒ ・緑の募金によるヤブツバキの植栽 募金総額54,000円 植栽場所 飛島外周道路脇	⇒ ・危険木の伐採を実施 危険木 30.00m3	⇒ ・危険木の伐採を実施 危険木 10.00m3 ●緑化運動 ・緑の募金によるヤマザクラ，カワズザクラの植栽 募金総額50,133円 植栽場所 飛島外周道路脇

直接事業費	決算額	551	千円	決算額	1,352	千円	決算額	514	千円	決算額	233	千円
	うち一般財源	280	千円	うち一般財源	670	千円	うち一般財源	280	千円	うち一般財源	105	千円

7 公衆衛生対策業務

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	市民の健康で文化的な生活の確保に寄与する。	そ族及び害虫駆除，島嶼部に係る排水溝渠の清掃，公衆便所の管理業務

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	公衆衛生業務 公衆便所における，故障等の修理，苦情の対応。 排水溝の清掃に使用する油剤等の配付。害虫等の調査。	⇒	⇒	⇒

直接事業費	決算額	1,681	千円	決算額	1,626	千円	決算額	1,700	千円	決算額	1,798	千円
	うち一般財源	1,681	千円	うち一般財源	1,626	千円	うち一般財源	1,700	千円	うち一般財源	1,798	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	282,085	千円	270,111	千円	258,545	千円	278,851	千円
うち一般財源	179,685	千円	167,929	千円	159,183	千円	178,463	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
ごみの減量化・資源化をもっと進めていただきたいと思います。	→	ごみの減量化・資源化を進めるため，令和4年9月議会で，1～2人世帯のごみ袋を減らす議案を市議会に提案しました。(継続審査中)また，ごみの出し方，資源化をより分かりやすくするため，10月からスマートフォンを使ったごみ分別アプリを導入しました。多くの市民に利用していただき，正しいごみ処理，分別の啓発を図ってまいります。
ごみの減量化率やリサイクル率が年々低下しており，この数値に含まれないものがあるのであれば，算出方法の変更を今一度検討してほしい。また，太陽光発電は以前より売電価格が低下しているため今後の急激な伸びは期待できないのではないでしょうか。	→	ごみの減量目標やリサイクル目標などを示した第2次笠岡市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを今年度行っております。見直しの過程の中で，数値の算出方法等審議会で検討していただきます。 太陽光発電につきましては，補助を終了しており，現在は太陽光発電システム等と接続する家庭用蓄電池の補助を行っております。
自然と共生できれば，温暖化対策にも通じると思います。私たち市民もいろんな物・いろんな事にSDGsを心がけたらどうでしょうか。	→	自然とふれあうことのできる体験学習や海岸清掃等の行事を通して，SDGsへの理解を深め様々な場面で意識していただけるよう努めてまいります。
ごみの減量化率が少し減りましたが，目標には達しませんでした。広報かさおかの「エコチャレンジ　目指そう804g！」を毎月見ながら，自分ごととして意識する人が増えています。一人一人の小さな努力が環境保全に繋がっているということを更に訴える必要があると感じています。 環境家　谷口たかひさ氏の公演を拝聴し現状を聞き知ることで，衝撃を受け何とかしなくてはならないという気持ちになりました。環境問題の現状をまず知ることで，環境保全のためにごみを減らそう，リサイクルをしよう，マイバックを持とう，無駄な電気は消そうといった行動につながると思います。こういった講演会，研修会や紹介を増やすと市民の意識改革につながると思います。コロナ禍でも大変重要かつ必要なことだと思いますのでよろしくお願いいたします。人間社会を取り巻く森林，海洋，大気，気候，動植物すべてが環境です。関係課と連携体制で持続可能な自然共生社会の実現を目指してください。 リサイクル率が増えると，燃えるゴミ，燃えないゴミの量が減るということかと思います。指標の見直しをお願いします。	→	広報かさおかのエコチャレンジ毎月見ていただきありがとうございます。ごみの減量化・資源化のためには，一人ひとりの意識改革が必要不可欠だと思います。笠岡市でも，出前講座，研修会等で海ごみやマイクロプラスチックなどの環境保全問題，ごみの減量化等啓発活動を行ってまいります。 指標につきましては，第2次笠岡市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを今年度行っております。見直しの過程の中で，数値の算出方法等審議会で検討していただきます。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【総合指標（1人1日あたりごみ排出量）及び達成目標1の指標（ごみのリサイクル率）への対応策】 リサイクル率の低下は，スーパー等での民間による店頭回収のためと思われるので，量の把握方法や代わりの指標を研究する。 ごみの減量化・資源化を推進するため，指定ごみ袋の配布枚数を見直し更なるごみの減量化を目指す。 【達成目標2の指標（再生可能エネルギー導入量）への対応策】 R3年度より太陽光発電システム等と接続する家庭用蓄電池への補助を開始しており,引き続き導入促進を行う。 【達成目標3（自然環境学習会への参加者数）への対策】 新型コロナウィルス感染症の状況を判断しながら，行事への参加啓発等を行っていく。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・ごみの排出量が年々減ってきており，意識啓発が行き届いてきているのだと感じました。 ・1人1日当たりゴミ排出量は毎年着実に少なくなっています。さらに再生可能エネルギー導入量は目標値まではいっていませんが，これも着実に増えています。今後も引き続き取り組んでいただきたいと思います。 ・1人1日当たりのごみ排出量は目標達成し好成績です。計算方法を教えてください。またゴミのリサイクル率については市民の頑張りを図る数値でもあります。ゴミのリサイクル率の数値の算出方法をぜひご考案いただきたいです。スマートフォンゴミ分別アプリは転入された方，リサイクルを始めようとされている方等には便利かと思います。利用具合を教えてください。公害苦情処理件数が3年度に比べ減っていますが，3年度と合わせご説明ください。 ・最近の温暖化や自然災害など，多く報道され，自然環境を守り，資源活用の推進が大切と思います。市民の意識改革を図っていただき，自然共生社会の実現を目指してください。 ・日々廃棄物，環境保全のためご尽力いただきありがとうございます。廃棄物や環境保全に努めることをポジティブに市民が参加できるシステムズ作りの構築に期待します。 ・廃棄物・環境保全は，怠ればボディブローのように効いてくると思います。ごみ減量化に向けた取組を期待しています。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	5－1	施策名	情報・プロモーションの推進	主担当課	デジタル推進課
戦略の柱	計画推進戦略				
基本方針	市民の利便性向上，来訪者等の拡大に向けて，公式ウェブサイト等の情報発信力の向上を図るとともに，市内の情報基盤の整備を進めます。また，市の情報システムのセキュリティを高め，安心・安全なネットワーク環境を実現します。			関係課	企画政策課 危機管理課 商工観光課 市民課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
公式ウェブサイトアクセス数（1箇月当たり平均）	単位	目標		65,000	66,000	66,500	67,500
	件／月	実績	64,330	108,245	78,820	—	—
		達成率		166.5%	119.4%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】情報発信の強化（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
オープンデータの公開件数	単位	目標		25	30	30	40
	件	実績	22	24	24	—	—
		達成率		96.0%	80.0%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	162,318	千円	173,938	千円	142,056	千円	208,253	千円
うち一般財源	154,168	千円	138,677	千円	134,748	千円	198,690	千円

1　電子申請推進事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
市民	汎用電子申請システム等による電子申請利用促進と簡略化など市民の利便性の向上を図る。	岡山県電子自治体推進協議会との連携や共同システムによる汎用電子申請システムの利活用による，申請サービスの拡大や取扱い申請の拡大を行う。 電子申請の利用促進を行うため，担当職員等による研修会を実施し，市民サービスの利便性の向上を図る。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●電子様式などの積極的な公開 ●電子申請の普及促進 ●取扱い申請の拡大	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ぴったりサービス（引っ越しワンストップサービス）を提供

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	119	千円	決算額	120	千円	決算額	120	千円	決算額	3,663	千円
	うち一般財源	119	千円	うち一般財源	120	千円	うち一般財源	120	千円	うち一般財源	110	千円

2 地域情報化推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	CATVを活用し，地域情報格差(デジタルデバイド)をなくす。	地域情報化基本計画の推進と事業主体となる笠岡放送(CATV事業者)を通じて，情報共有や地域交流の取り組みと地域情報格差の解消に向けた取り組みを行っていく。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●ブロードバンドを利用したデジタル化普及促進 ・データ放送の拡大 ●地上デジタルに対応した新しい地域交流の促進 ・データ放送による地域情報・行事の提供	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒ ●山陽新聞社と連携したスマホ教室の実施

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

3 ウェブページ運用管理事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市民	市民にとって利用しやすいウェブページの導入と情報提供・情報開示を行っていいく。 笠岡市の魅力や政策を市内外へ情報発信していく。	ホームページ更新システム導入に向けた再構築と運用管理を行っていく。 更にシステムを利用した，市民サービスの向上とアクセシビリティの改善を図っていく。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	●利用しやすいウェブページの運営・管理 ・リニューアル版ホームページの周知	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒ ●ホームページのリニューアルに向けた検討

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	2,000	千円	決算額	2,019	千円	決算額	2,019	千円	決算額	2,217	千円
	うち一般財源	2,000	千円	うち一般財源	2,019	千円	うち一般財源	2,019	千円	うち一般財源	2,217	千円

4 行政情報化推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
事務処理を行う職員 各種の庁内情報	迅速かつ正確な処理を可能とし，効率的な事務の執行を図る体制を確保する。 既存の各種情報処理システムの安定稼働を図るとともに，必要に応じシステムの改修や開発を行い，正確・迅速な処理を行う。	総合行政情報システム，住民基本台帳ネットワークシステム，電子自治体システム等の安定稼働を確保するとともに，その基盤となる庁内LANの保守運用，端末となるパソコンの整備・保守を行う。また，社会保障・税番号制度に対応すべく，既存のシステムの改修等を行い，情報連携に向けて総合運用テスト等の準備を引き続き行う。 また，情報系のネットワークとインターネットを完全分離し，安全な環境でインターネットを利用する仕組みを構築している。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・総合行政システム，住民基本台帳ネットワークシステム，電子自治体システム等の整備・保守 ・自治体中間サーバープラットフォーム共同利用 ・ネットワークの分離	⇒ ⇒テレワーク環境整備	⇒ ⇒	⇒総合行政システム・情報セキュリティシステムのリプレイス ⇒ ⇒サスティックのリプレイス ⇒ぴったりサービス導入

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	158,668	千円	決算額	170,284	千円	決算額	138,481	千円	決算額	201,028	千円
	うち一般財源	150,518	千円	うち一般財源	135,023	千円	うち一般財源	131,173	千円	うち一般財源	195,018	千円

5	入札事務電子化事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
事務処理を行う職員 入札参加業者	紙での入札から，電子入札に切り替えることにより，事務の軽減と入札参加業者の負担軽減を図る。	おかやま電子入札共同利用システムを導入し，建設工事，建設コンサル業務の一般競争入札をまず，電子入札に切り替え，その後指名競争入札にも範囲を拡大する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	建設工事，建設コンサル業務の指名競争入札に電子入札の範囲を拡大。			⇒			⇒			⇒建設工事，建設コンサル業務の一般競争入札及び指名競争入札で電子入札を実施		
直接事業費	決算額	1,531	千円	決算額	1,515	千円	決算額	1,436	千円	決算額	1,345	千円
	うち一般財源	1,531	千円	うち一般財源	1,515	千円	うち一般財源	1,436	千円	うち一般財源	1,345	千円

【達成目標2】	公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備促進（※②）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
Wi-Fi スポットの整備箇所数	単位	目標		18	18	20	20
	箇所	実績	16	17	35	—	—
		達成率		94.4%	194.4%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	618	千円	558	千円	670	千円	1,057	千円
うち一般財源	618	千円	558	千円	670	千円	1,057	千円

6	市内主要施設等Wi-Fi スポット整備事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
国内外から笠岡市を訪れる観光客等	インターネット環境の充実を図ることによって，国内外から訪れる観光客等の利便性の向上を図る	市内の主要公共施設及び定期船乗り場や，駅などの公共交通機関の拠点にWi-Fi スポットを整備することで，インターネット環境を充実させ，国内外から訪れる観光客等の利便性の向上を図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・Wi-Fi スポットの整備場所の検討 ・Wi-Fi スポットの整備作業 ・設備の維持管理			⇒ ⇒本庁 ⇒			⇒ ⇒市民病院 ⇒			⇒ ⇒中央公民館ほか4館を整備 ⇒		
直接事業費	決算額	618	千円	決算額	558	千円	決算額	670	千円	決算額	3,069	千円
	うち一般財源	618	千円	うち一般財源	558	千円	うち一般財源	670	千円	うち一般財源	1,057	千円

【達成目標3】情報セキュリティの向上（※③）

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
市職員のセキュリティ研修終了率	単位	目標		100.0	100.0	100.0	100.0
	%	実績	99.6	99.8	10.0	—	—
		達成率		99.8%	10.0%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
うち一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円

7 情報セキュリティ対策推進事業

事務事業の目的 対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
市職員	セキュリティ対策の充実や職員の活用能力向上に努める。 情報資産の機密性，完全性及び可用性を維持することを考慮した業務システムの整備・更新と適切な運用を図る。	情報連携の事務を担当する職員を対象にeラーニングによる情報連携に向けた研修を実施することで，セキュリティ対策の充実や職員の活用能力向上を高めることを目指して行く。

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
取組内容	・eラーニングによる情報セキュリティ研修の実施		⇒		⇒		⇒ ⇒電子自治体推進セミナー（情報セキュリティ）	
直接事業費 決算額	0	千円	0	千円	0	千円	0	
うち一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	0	

【達成目標4】マイナンバーカードの普及と利活用（※④）

達成目標4の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
マイナンバーカード交付率	単位	目標			100	100	100
	%	実績	24.5	38.2	66.5	—	—
		達成率			66.5%	—	—
マイナンバーカードを利用しての住民票等のコンビニ交付率	単位	目標			20	23	25
	%	実績	7.1	13.7	19.6	—	—
		達成率			98.0%	—	—
ぴったりサービス（業務件数）	単位	目標			26	28	35
	件	実績	14	14	15	—	—
		達成率			57.7%	—	—

※国が策定した全体スケジュールにおけるマイナンバーカードの交付枚数の想定に沿った計画を策定するため，2022年度末には100%となっています。

達成目標4の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	0	千円	0	千円	0	千円	31,235	千円
うち一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	1	千円

8	マイナンバーカード普及及び利活用促進

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
マイナンバーカード取得者（市民）	マイナンバーカードを活用することで，市役所へ来なくても申請手続き等がオンラインで出来るようになる	マイナンバーカードの普及及び利活用については，広報やホームページさらにLINE申請システムを通じてPRを行い利用促進を図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度	
取組内容										市内商業施設と公民館でマイナンバーカードの交付申請支援	
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	31，235
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	1

【達成目標5】	電子会議（ZOOM）を利用したデジタル化への対応（※⑤）

達成目標5の指標

指標名	単位		目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
電子会議の利用機器（利用件数）	件／年	目標			500	500	500
		実績	191	144	418	—	—
		達成率			83.6%	—	—

達成目標5の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	0	千円	0	千円	0	千円	74	千円
うち一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円

9	会議のオンライン化

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
市職員	会議をオンライン化することで，移動に係る時間を省略できるとともに旅費の節約ができる。また，会議室の有効活用を図る。	ZOOM等のオンライン会議システムを導入し，分散勤務・テレワークを推進し，感染症拡大防止，職員の働き方改革，業務効率化を図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度	
取組内容										ZOOMPROライセンスの追加購入	
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	74
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	162，936	千円	174，496	千円	142，726	千円	209，310	千円
うち一般財源	154，786	千円	139，235	千円	135，418	千円	199，747	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
コロナの予防接種等のために，公式ウエブサイトアクセス数が倍近くになったと聞きました。コロナ禍ではなく，もっと多くのアクセス数が多くなるようにしていただきたいと思います。	→	新型コロナウイルス感染症関連ページ以外についてもこれまで以上にアクセス数が増加するよう，適切な情報発信に努めて参ります。
Wi-Fiスポットの設置個所数が増加したことで，今後の幅広い活用が期待できる。また，ウエブサイトのアクセス数も大幅な増加が見られた。理由の如何を問わず，アクセス数が増えたことは良いことである。これをきっかけに笠岡市のホームページにアクセスしてもらえるよう引き続き努力されたい。	→	今後も引き続き利用しやすい通信環境の整備と共に，必要とされている情報を適切な時期に発信することで，これまで以上に市ホームページにアクセスしていただけるよう努めて参ります。
公式ウェブサイトのアクセス数も目標達成が図られ，観光客誘致にも影響を及ぼすことでしょう。Wi-Fiも公共施設に順次設置されるとのこと。また，生涯学習の推進においては公民館内設置に早急に取り組んでいただきたいと思っています。	→	市ホームページについては今後もアクセス数が増加するよう適切な情報発信に努めて参ります。災害時の指定避難所にもなっている公民館へのWi-Fiの設置については令和5年度までに整備いたします。
公式ウェブサイトアクセス数は昨年度に引き続き，コロナ情報を得るためとはいえ増えているのは良いと思います。市役所として伝える内容は他市を見てもボリューミーなので，古くなったものは消去して必要なものにすぐたどり着ける工夫をお願いいたします。 Wi-Fiスポットに関しては，フリースポットが増えありがたいのですが，使い方のわからない年齢層の方もいらっしゃるようですので，使い方の説明を広報かさおかや笠岡放送などでしていただけると観光客だけでなく幅広い市民にも有効利用していただけるかと思います。公民館4館にもつけていただいたので，避難所として，子どもから大人まで使える学習の場としてどんどん活用してもらえるようPR，サポートをして欲しいと思います。 便利ではありますが，機密情報の漏洩など不安材料もついてきますので，安心安全な環境を引き続きお願いいたします。市役所内ではリモート会議などされているのでしょうか。資料もいまだ紙媒体ですが市民参加される委員でお忙しい方などは御自宅からリモート参加できると便利かとも思います。	→	市ホームページにつきまして，各所属の担当者を対象とした研修を実施することで，発信すべき情報の取捨選択を含めた適切な情報発信に関するスキルアップを図って参ります。 公民館へのWi-Fiの設置については令和5年度までに整備すると共に，有効に活用していただけるよう情報発信も併せて行って参ります。 会議のリモート化やペーパーレス化につきましては，現在は庁内での会議などで実施を進めています。今後，庁外の委員さんなどに参加いただく会議などでも実施を拡大できるように，参加者のインターネット環境なども考慮しながら検討して参ります。
ウエブサイトのアクセス数ですが，コロナの予防接種，笠岡市学校メールにもウエブサイトのリンクが張り付けられているので，なかなか数値として評価の難しさを感じました。	→	リンク機能を用いた各種案内などにつきましては，様々なホームページの閲覧者を同じ場所に誘導することで情報元の集約化を図っております。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	・オープンデータの公開件数は，統計かさおかに掲載しているデータをオープンデータとしても公開するようにする。 ・市職員のセキュリティ研修については，嗜好を変えて電子自治体推進セミナーを受講するようにしたが，受講者数が思ったほど伸びなかったため，元に戻してJ-LISのeラーニングによる情報セキュリティ研修を行う。 ・マイナンバーカード交付率やコンビニ交付率は，マイナンバーカードを活用したオンライン手続きやコンビニ交付について，各担当課のホームページにて周知を行う。また，今年度導入予定であるLINE申請システムを活用し，マイナポータル申請サイトへの連携を行う。ぴったりサービスについては，国が示している「地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続」の中から取り組みやすいものから早期に取り組んでいく。 ・電子会議については，徐々に利用が伸びてきており，現在の3アカウント数では足りなくなってきており，令和6年度からもう1アカウント増やしてさらなる利用を高めたい。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・DX推進のための重要な施策だと思いますので，取組の充実をお願いします。市職員のセキュリティ研修終了率が低いですが，理由は何でしょうか。 ・公式ウエブサイトアクセス数は令和3年の約7割と少なくなっています。さらに市職員のセキュリティ研修終了率が令和3年の10分の1と少なく成っています。この項目について，今後はもっと取り組みをしていただきたいと思います。 ・Wi-Fi整備も進みました。市民，観光客に広く利用されることを願います。マイナンバー，ぴったりサービスなど便利なサービスが整いつつありますが，具体的な使い方が分からない，手続きはしたけれど情報漏洩が心配といった声もありますので，市民が安心して便利に使えるようサポートをお願いいたします。未達成の指標への対応策を具体的に示されているので安心です。 ・Wi-Fiの整備事業も進み，各公民館の講座等にもいろいろ工夫できはじめました。市民の誰もが利用しやすくなりましたが，高齢者の方々には，まだ，理解ができていない面があります。各公民館での学習・会議にどのように使えばよいか館としての説明・学習が必要のようです。デジタル推進課が進めているスマホ体験教室も始まり，参加した方から好評の声がでていました。 ・電子会議の推進は進めていただきたいと思います。ウィズコロナは継続のため，市役所の機能が停止しないよう，また市役所職員さんが遅くまで残って働かれている方も多くお見受けするので働き方改革も含めて推奨していただきたいです。また，情報のセキュリティ対策は厳しく見守っていただけるようお願いいたします。 ・DXを活用した情報・プロモーションの推進は，ますます重要になってきました。まずは，ホームページのリニューアルを頑張ってください。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	5－2	施策名	健全な財政運営	主担当課	財政課
戦略の柱	計画推進戦略				
基本方針	将来にわたって安定した市政運営を行い，将来世代に大きな財政負担を残さないように，市全体の負債額を適正な水準で維持するとともに，基金の確保，歳入・歳出状況を踏まえた事業の見直し等による，健全な財政運営を目指します。			関係課	

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
実質公債費比率	単位	目標		9.0	9.0	9.0	9.0
	%	実績	6.4(見込み)	6.5	7.2	—	—
		達成率		138.5%	125.0%	—	—
将来負担比率	単位	目標		80.0	80.0	80.0	80.0
	%	実績	59.5(見込み)	51.0	50.1	—	—
		達成率		156.9%	159.7%	—	—
経常収支比率	単位	目標		92.0	92.0	92.0	92.0
	%	実績	91.2(見込み)	87.1	93.6	—	—
		達成率		105.6%	98.3%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	負債額の適正化（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
普通会計建設地方債残高	単位	目標		175.0	180.0	200.0	200.0
	億円	実績	166.9(見込み)	175.9	182.1	—	—
		達成率		99.5%	98.8%	—	—
市全体の建設地方債残高	単位	目標		300.0	300.0	310.0	340.0
	億円	実績	282.4(見込み)	287.7	293.4	—	—
		達成率		104.3%	102.2%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	30,114	千円	30,702	千円	30,364	千円	21,618	千円
うち一般財源	30,114	千円	30,702	千円	30,364	千円	21,618	千円

1 建設地方債発行額の上限設定

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
建設地方債発行額	市債(市の借金)の発行額を圧縮し，将来の財政負担を軽減する。	一般会計の単年度の建設地方債発行上限額を10億円に設定する。 防災・減災対策等の事業については，市民の安全安心を確保するため別枠とする。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	●市債発行額の適正化 ・予算編成において，防災・減災対策は別枠として適正規模の建設地方債発行に努める。 ・元利償還金が普通交付税に算入されないものについては，発行を縮減する。			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

2 繰上償還の実施

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市債	利子支払い額の抑制及び市債残高の縮減	普通交付税の算入に影響のない市債について，年度末の決算見込に応じて繰上償還を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	繰上償還の実施			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	30,114	千円	決算額	30,702	千円	決算額	30,364	千円	決算額	21,618	千円
	うち一般財源	30,114	千円	うち一般財源	30,702	千円	うち一般財源	30,364	千円	うち一般財源	21,618	千円

【達成目標2】 適正な基金残高の確保(※②)

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
財政調整基金残高	単位	目標		7.5	7.5	11.5	10.0
	億円	実績	5.2(見込み)	10.0	13.2	—	—
		達成率		133.3%	176.0%	—	—
公共施設整備費引当基金残高	単位	目標		1.2	1.5	1.7	2.0
	億円	実績	1.1(見込み)	1.4	2.0	—	—
		達成率		116.7%	133.3%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	16,588	千円	14,823	千円	284,803	千円	60,203	千円
うち一般財源	16,588	千円	14,823	千円	284,803	千円	60,203	千円

1 財政調整基金の積み増し

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
財政調整基金	単年度の財政運営は，歳入に見合った歳出とし，年次的に積み増しを行い適正な残高を維持する。	目標金額を20億円として積み立てる。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・基金運用ルールの堅持 財源不足のため，約360百万円の取崩を行った。決算剰余により430百万円の積立を行った。			⇒ 新型コロナ対策や収入見込みの減による財源不足のため，約420百万円の取崩を行った。決算剰余により256百万円の積立を行った。			⇒ 普通交付税など収入見込みの増により，約250百万円の予算積立を行った。決算剰余により230百万円の積立を行った。			⇒ 財源不足のため，約137百万円の取崩を行った。決算剰余により450百万円の積立を行った。		
直接事業費	決算額	1,884	千円	決算額	1,337	千円	決算額	250,886	千円	決算額	1,952	千円
	うち一般財源	1,884	千円	うち一般財源	1,337	千円	うち一般財源	250,886	千円	うち一般財源	1,952	千円

2 公共施設整備費引当基金の積み増し

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
公共施設整備費引当基金	大規模ハード事業や公共施設の更新・長寿命化事業における多額の 単年度負担に対応するため，年次的な積み増しを行う。	大規模事業等の計画に備えて，毎年積立を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	公共施設整備費引当基金への積立 予算積立により14,704の増			⇒ 予算積立により13,486の積立を行った。施設改修のため，3,003取崩を行った。			⇒ 予算積立により33,917の積立を行った。施設改修のため，200取崩を行った。			⇒ 予算積立により58,251の積立を行った。		
直接事業費	決算額	14,704	千円	決算額	13,486	千円	決算額	33,917	千円	決算額	58,251	千円
	うち一般財源	14,704	千円	うち一般財源	13,486	千円	うち一般財源	33,917	千円	うち一般財源	58,251	千円

【達成目標3】歳出の縮減(※③)

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
事務事業の見直しによる効果額	単位	目標			42.0	42.0	42.0
	百万円	実績	42.0	134.7	115.0	—	—
		達成率			273.8%	—	—
経常経費充当一般財源額(退職手当除く)	単位	目標		120.0	120.0	120.0	120.0
	億円	実績	120.4	124.3	126.8	—	—
		達成率		96.5%	94.6%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
うち一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円

3	補助金等事業の見直し

事務事業の目的		事務事業の内容
対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）	
補助金等事業	限られた財源の中で，積極的且つ効果的に施策を進めるための選択と集中を行う。	補助金等の既存事業の見直しについて，調書作成・担当課ヒアリング等により見直しを図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	補助金等事業の見直			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

＜4.施策の直接事業費（3の合計）＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	46,702	千円	45,525	千円	315,167	千円	81,821	千円
うち一般財源	46,702	千円	45,525	千円	315,167	千円	81,821	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
財政調整基金残高が大幅に増加し，また，将来負担比率も減少するなど，良い成果が出ており，堅実な財政運営をされたものと思う。しかし，小中一貫校や病院の建設などで地方債が今後も増加すると見込まれるため，引き続き，適正な財政運営に取り組まれたい。	→	地方債については，今後見込まれるハード事業により増加が見込まれますが，必要経費の精査を行うなど，将来世代への負担軽減に努めてまいります。 財政調整基金については，基金残高が大幅に増加したものの，財政運営適正化計画により残高目標を20億円と定めていることから，引き続き災害等の緊急の財政需要に対応できるよう残高の確保に努めてまいります。
笠岡市税の収納取り組みに努力がみられ，収入も上がっています，それに加えて，ふるさと納税の対策にも頑張っていただいています。そして，財源の確保やふるさと納税の取組にも，返礼品などにより市内地域生産者の向上につながれば良いと思います。	→	市税収納の取組については，今後も課税客体を適正に把握して公正公平な賦課に努め，歳入の根幹である市税の確保を図り，納税者に積極的なアナウンスを行い納期内納付を促すとともに，滞納者に対しても収入状況等を勘案し，早期解決に向けた納付相談等を実施し，また，納税者の多様な生活スタイルに適合した納付手段を検討してまいります。 ふるさと納税の取組については，今後も引き続きふるさと納税を通じた，笠岡の魅力などを伝えるシティプロモーションをはじめ，ふるさと納税を活用した事業の実施等により地場産業の育成につなげ，寄附金など財源の確保に努めてまいります。
ほとんどの目標値を達成していることからAよりのBになりました。多くの積み立てもしてくださり安心です。もしもの時でも市民が安心して乗り切れるよう，引き続き基金の積立，健全な財政運営に御尽力いただきたいと思います。 補助金等事業の見直しですが，数字としての実績が少ない年があっても必要と思われるところは必要でしょうから，じっくりと検証してお願いいたします。市民が安心して住み続けることのできる市，子どもたちが安心して帰ってこれる市であり続けるよう，引き続きお願いいたします。	→	財政調整基金については，基金残高が大幅に増加したものの，財政運営適正化計画により残高目標を20億円と定めていることから，引き続き災害等の緊急の財政需要に対応できるよう残高の確保に努めてまいります。 補助金等事業の見直しについては，総合計画の目標達成に向け各事業年度において必要性を十分検討し，見直しを進めてまいります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	普通会計建設地方債残高については，地方債発行額の縮減，繰上償還等により地方債残高および公債費負担の抑制を図っていく。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A:計画どおり進行している。 B:おおむね計画どおり進行している。 C:計画より一部遅れている。 D:計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果	B
コメント	・新病院の建設が控えていますし，篠坂インターの開設やJR周辺開発に伴う費用負担など，大きな支出が予定されていると思いますが，長期的な視点での笠岡市の財政は大丈夫でしょうか。 ・昨年度はもう少しでA評価だったと思いますが，今回も財政調整基金残高が増えるなど，改善への取組が評価できます。 ・財政調整基金の残高目標20億円に向けての積立，公共施設整備費引当基金等着実に増やしてくださり安心です。今後大きな事業が控えていますので大変かと思いますがよろしくお願いいたします。事務事業の見直しによる効果額が3年度4年度と目標値を大きく超えています。ご説明ください。 ・基金残高は増加しており，行政としての努力が実りつつあります。たくさんの課題がある中，財政運用については，有効に充当していただきたい。 ・健全な財政運営にご尽力いただきありがとうございます。災害やコロナなど突発的な事象にも対応できる健全な財政運営を引き続きお願いいたします。			

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	5－3	施策名	財源の確保	主担当課	財政課 収納対策課
戦略の柱	計画推進戦略				
基本方針	将来にわたって安定的な財源を確保するため，公平公正な賦課と税収の確保，市の公有財産の適正な管理とともに，時代状況を踏まえた自主財源確保の実現を目指します。			関係課	税務課 ふるさと寄附課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
自主財源の確保（総合計）	単位	目標		306	512	506	498
	百万円	実績	338	393	297	—	—
		達成率		128.4%	58.0%	—	—
市県民税等の未申告件数	単位	目標		115	84	82	80
	件／年	実績	86	79	83	—	—
		達成率		145.6%	101.2%	—	—
市税収納率（国民健康保険税除く）	単位	目標		96.41	97.70	97.80	98.00
	%	実績	96.40	98.11	98.32	—	—
		達成率		101.8%	100.6%	—	—
債権未収金額	単位	目標		474	478	454	410
	百万円	実績	617	427	390	—	—
		達成率		111.0%	122.6%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】	自主財源の確保と強化（※①②）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
新たな財源の確保	単位	目標		42	42	42	42
	百万円	実績	11	11	28	—	—
		達成率		26.2%	66.7%	—	—
土地売払収入	単位	目標		20	20	20	20
	百万円	実績	26	41	81	—	—
		達成率		205.0%	405.0%	—	—
土地建物貸付収入	単位	目標		43	43	43	43
	百万円	実績	42	42	38	—	—
		達成率		97.7%	88.4%	—	—
ふるさと笠岡思民寄附件数	単位	目標		40,000	40,000	40,000	40,000
	件／年	実績	37,898	42,998	29,664	—	—
		達成率		107.5%	74.2%	—	—
ふるさと笠岡思民寄附金額	単位	目標		800	800	800	800
うち基金積立金額	百万円				369	369	369
		実績	508	600	405	—	—
			216		150	—	—
		達成率		75.0%	50.6%	—	—
				—	40.7%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	732,364	千円	523,048	千円	609,742	千円	407,655	千円
うち一般財源	732,358	千円	523,030	千円	609,712	千円	407,614	千円

1 新たな財源の確保

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
新たな財源	事業実施に見合った財源を確保する。	国等の補助金・助成金の積極的な活用やクラウドファンディング，広告収入等の財源を確保する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・国等の補助金・助成金の確保			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

2 土地売払収入

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
保有する必要性のない公有財産	積極的に売却処分を進め，財源の確保を行う。	処分可能財産の掘り起こしを行うとともに，公有財産利活用検討委員会を中心に処分に向けた検討を進め，民間等への売却処分を図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・処分可能財産の掘り起こし ・公有財産活用検討チームを中心に処分の検討			⇒ ⇒			⇒ ⇒			⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	4,145	千円	決算額	4,016	千円	決算額	1,934	千円	決算額	1,060	千円
	うち一般財源	4,145	千円	うち一般財源	4,016	千円	うち一般財源	1,934	千円	うち一般財源	1,060	千円

3 土地建物貸付収入

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
供用予定のない公有財産	民間等への貸付による有効活用を図り，財源の確保を行う。	供用予定のない財産については，民間等への貸付による有効活用を図る。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	供用予定のない財産の貸付			⇒			⇒			⇒		
直接事業費	決算額	6,563	千円	決算額	10,174	千円	決算額	7,375	千円	決算額	908	千円
	うち一般財源	6,563	千円	うち一般財源	10,174	千円	うち一般財源	7,375	千円	うち一般財源	908	千円

4	ふるさと納税推進事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
市外の住民	寄附してもらい財源を確保する	納税サイト等を活用することで寄附金による財源を確保するとともに，返礼品の送付による地場産業の育成，さらに全国へのシティセールスを展開する。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・新たな記念品の開発 ・新たなふるさと納税ポータルサイトへの登録 ・ガバメントクラウドファンディングの推進 ・企業版ふるさと納税の推進→			⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	721,656	千円	決算額	508,858	千円	決算額	600,433	千円	決算額	405,687	千円
	うち一般財源	721,650	千円	うち一般財源	508,840	千円	うち一般財源	600,403	千円	うち一般財源	405,646	千円

【達成目標2】	適正な市税収納の推進(※③)

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
市県民税等の未申告件数	単位	目標		115	84	82	80
	件／年	実績	86	79	83	—	—
		達成率		145.6%	101.2%	—	—
償却資産(固定資産税)の未申告件数	単位	目標		220	295	290	280
	件／年	実績	305	91	65	—	—
		達成率		241.8%	453.8%	—	—
市税収納率(国民健康保険税除く)	単位	目標		96.41	97.70	97.90	98.00
	%	実績	96.40	98.11	98.32	—	—
		達成率		101.8%	100.6%	—	—
国民健康保険税収納率	単位	目標		79.74	89.92	89.82	91.12
	%	実績	89.12	92.28	92.18	—	—
		達成率		115.7%	102.5%	—	—
市税滞納分の収納額	単位	目標			38	44	24
	百万円	実績	43	154	39	—	—
		達成率			102.6%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	19,552	千円	12,921	千円	15,661	千円	10,996	千円
うち一般財源	19,552	千円	12,921	千円	15,661	千円	10,996	千円

2	税徴収強化事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
担税能力がある納税義務者	必ず納付に導く	催告書を年2回送付，財産調査の徹底，差押・捜索の強化，コールセンターによる電話催告，窓口延長(毎週木曜日)，岡山県滞納整理推進機構・岡山県市町村税整理組合との連携，税務職員併任人事による捜索，休日臨戸訪問

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・電話催告，催告書等の送付 ・財産調査・差押・捜索の徹底 ・岡山県との連携 ・岡山県市町村税整理組合の有効活用 ・他市町と連携強化（併任職員派遣）	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	19,552	千円	決算額	12,921	千円	決算額	15,661	千円	決算額	10,996	千円
	うち一般財源	19,552	千円	うち一般財源	12,921	千円	うち一般財源	15,661	千円	うち一般財源	10,996	千円

【達成目標3】債権を含めた市有財産の適正管理(※④)

達成目標3の指標

指標名	単位		目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
債権未収金額	百万円	目標		474	478	454	410
		実績	617	427	390	—	—
		達成率		111.0%	122.6%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
うち一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円

3	債権管理対策事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
庁内全体の債権	管理を徹底し，早期完納に導く	債権管理の適正化を図るため，徴収計画・徴収目標を策定する。 収納対策課が各債権所管課に助言を行うとともに，滞納者との交渉に同席する。 徴収見込みがない不良債権を放棄する。 債権管理に係る研修を開催する。また，各債権所管課の職員に対して，他団体主催の研修への参加を促す。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	・収納対策本部会議の開催 ・ワーキンググループ会議の開催 ・各債権所管課への助言 ・滞納者との交渉に同席，同行 ・債権管理研修の開催，参加 ・債権放棄の適否を審査（債権管理検討委員会）	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

		令和元年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
直接事業費	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円	決算額	0	千円
	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	751,916	千円	535,969	千円	625,403	千円	418,651	千円
うち一般財源	751,910	千円	535,951	千円	625,373	千円	418,610	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
笠岡市税の収納取組に努力が見られ，収入も上がっています，それに加えて，ふるさと納税の対策にも頑張っていただいています。そして，財源の確保やふるさと納税の取組にも，返礼品などにより市内地域生産者の向上につながれば良いと思います。	→	市税収納の取組については，今後も課税客体を適正に把握して公正公平な賦課に努め，歳入の根幹である市税の確保を図り，納税者に積極的なアナウンスを行い納期内納付を促すとともに，滞納者に対しても収入状況等を勘案し，早期解決に向けた納付相談等を実施し，また，納税者の多様な生活スタイルに適合した納付手段を検討してまいります。 ふるさと納税の取組については，今後も引き続きふるさと納税を通じた，笠岡の魅力などを伝えるシティプロモーションをはじめ，ふるさと納税を活用した事業の実施等により地場産業の育成につなげ，寄附金など財源の確保に努めてまいります。
新たな財源の確保については，国庫補助金がなかったとのことでしたが，必要な新規事業についてはしっかりと確保いただきますようお願いいたします。 ふるさと納税については，果物など好評だったようで素晴らしい結果をもたらされたと思います。ありがとうございます。他市では返礼品といっしょにお礼状のようなものを同封されているようですが，笠岡市もされていますか？市をイメージした面白いイラスト入りカレンダータイプなどもあるようで面白い市だなと感じました。県外の方に贈り物をする際，私も笠岡のパンフレットなどを同封するようにしていますが，とても喜ばれ関心を持たれたり，特産品を購入されたり，実際来られる方もいらっしゃいました。経費をかけずにでもお礼や紹介の文書が入っていたら，笠岡ファンやリピーターも増えそうですが。	→	必要な新規事業については，庁内部署間の連携を図り，より広い視点で情報収集に努め，国庫補助金などの財源確保できるよう努めてまいります。 ふるさと納税については，本市においても寄附者に受領証明書を送付するとき，お礼状を同封しており，そのお礼状には，寄附に対する感謝の言葉とともに，寄附の使い道を一部掲載しております。また，笠岡市の観光スポットや，ご当地グルメ等も案内しており，これを見た寄附者の多く方に，笠岡市を訪れていただきたいと思います。今後もより工夫を凝らしたお礼状や笠岡の魅力の発信の仕方を検討し，笠岡のファンやリピーターを増やすよう努めてまいります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	【新たな財源の確保】 国等の補助金・助成金の申請が減っているため，事業の企画提案を行い，新規事業について補助金等を確保してまいります。 【ふるさと笠岡思民寄附金額】 サイト作成を中間事業者に委託するなどし，各商品へのアクセス数および転換率を上昇させ，ふるさと笠岡思民寄附金額を確保してまいります。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B

コメント	・ふるさと納税に財源確保の期待が大きいように感じましたが，年によって額の変動が激しいようで，少し不安に思います。 ・自主財源の確保（総合計）が昨年度よりも減っているのが気がかりです。 ・ふるさと納税についてはご苦労の中模索してくださっておりご尽力に感謝いたします。米の市場に乗り切れていないとのことでした。六島麦酒は品切れするほど人気のようなので，追加でお願いしたいところですが難しいのでしょうか。宿泊券はペアが主流のようですがお一人でというニーズは少ないのでしょうか。他市町では離れて暮らす家族を見守るサービスなどもあるようです。地元に縁のある方が必要とするような返礼品はニーズがないでしょうか。白石島のシーカヤック体験などの体験型もあると面白そうです。 10月からのルール見直しは大変かと思いますが，頑張ってください。市税収納については着実に推進されているので良いと思います。 ・公有財産については，教育改革などの計画もあり，地域移管の要望もあるかとも思いますが，全体を移管するより，地域に移管する部分と民間への売却も市にとっては大きな財源確保になると思います。 ・財源の確保について日々ご尽力いただきありがとうございます。これほどまでにふるさと納税の影響が大きいものとは思いませんでした。笠岡ブランドから農業の推進など様々なことの必要性や時代の流れに対応することの大切さがよくわかりました。引き続き，時代を読みながら稼げる笠岡市を支えてくださるように願っています。 ・ふるさと納税に制度見直しによる逆風が吹いていますが，財源確保と笠岡市のPRが行える一石二鳥の制度だと思いますので，引き続き自治間競争に勝てるようによろしくお願いします。

令和5年度　施策評価シート

＜1.施策の概要＞

施策No.	5－4	施策名	計画管理	主担当課	企画政策課
戦略の柱	計画推進戦略				
基本方針	総合計画の目標達成に向け，限られた行政資源の有効活用と効率的な行政運営を実践します。			関係課	デジタル推進課 人事課 財政課

＜2.総合指標＞

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
施策評価の総合評価がA（計画どおり進行している）の施策数	単位 施策	目標		3	4	4	5
		実績	3	3	3	—	—
		達成率		100.0%	75.0%	—	—

＜3.施策を構成する事務事業の概要＞

【達成目標1】行政評価の有効活用（※①）

達成目標1の指標

指標名			目標・実績の推移 R2実績	R3実績	R4実績	R5目標	R7目標
「市民の意見や提案が市政に反映されている」と感じている市民の割合（市民意識調査）	単位 %	目標		—	17.0	—	17.5(R6)
		実績	16.5	—	14.2	—	—
		達成率		—	83.5%	—	—

達成目標1の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	121	千円	1,474	千円	1,835	千円	1,460	千円
うち一般財源	121	千円	1,474	千円	1,835	千円	1,460	千円

1　行政運営管理業務

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
職員	担当する施策や事務事業の目的を明確にしたうえで目標を設定し，施策評価において検証することで進行管理を行い，業務改善を進める。	・実施している施策について，外部委員を含めた委員による施策評価を実施して，事業効果の検証や進行管理を行う。 ・施策評価結果を市政報告書としてまとめる。 ・市民意識調査により，市民ニーズを把握し，施策や事務事業，仕事のやり方を常に改善していく。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組内容	施策評価の実施 36施策（うちﾋｱﾘﾝｸﾞ実施15施策） A評価：1施策，B評価：28施策 C評価：7施策，D評価：なし 施策評価報告書の作成	⇒ 36施策（うちﾋｱﾘﾝｸﾞ実施18施策） A評価：3施策，B評価：30施策 C評価：3施策，D評価：なし ⇒ ・市民意識調査の実施	⇒ 36施策（うちﾋｱﾘﾝｸﾞ実施17施策） A評価：3施策，B評価：29施策 C評価：4施策，D評価：なし ⇒ ○第７次総合計画後期基本計画策定	⇒ 36施策（うちﾋｱﾘﾝｸﾞ実施17施策） A評価：3施策，B評価：29施策 C評価：4施策，D評価：なし ⇒ ・市民意識調査の実施

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	決算額	121	千円	1,474	千円	1,835	千円	1,460	千円
	うち一般財源	121	千円	1,474	千円	1,835	千円	1,460	千円

【達成目標2】	行政改革の推進（※②）

達成目標2の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
行財政改革年間効果額	単位	目標		5.0	5.0	5.0	5.0
	億円	実績	7.4	15.5	12.3	—	—
		達成率		310.0%	246.0%	—	—

達成目標2の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	78,930	千円	110,832	千円	745,464	千円	150,114	千円
うち一般財源	78,930	千円	110,832	千円	745,464	千円	150,114	千円

2	行政改革推進事業

事務事業の目的 対象（誰を）	事務事業の目的 意図（どのようにしたいのか）	事務事業の内容
行政経営	持続可能な行政経営の基礎となる財政基盤の安定，行政システムの見直し，取り組むべき施策や事業の効率的かつ効果的な推進を図る。	行政改革大綱に基づき，実施計画を作成し，計画的に推進するとともに，PDCAサイクルの中で見直し，改善に取り組む。笠岡市行政改革推進本部を中心に全庁的に推進し，さらに笠岡市行政改革推進委員会において，市民の意見を反映しつつ，進行管理を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	行政改革大綱に基づく取組の推進			⇒行政改革大綱に基づく取組の推進			⇒行政改革大綱に基づく取組の推進			⇒行政改革大綱に基づく取組の推進		
直接事業費	決算額	78,930	千円	決算額	110,832	千円	決算額	745,464	千円	決算額	150,114	千円
	うち一般財源	78,930	千円	うち一般財源	110,832	千円	うち一般財源	745,464	千円	うち一般財源	150,114	千円

【達成目標3】	適正な公共施設の維持・管理（※③）

達成目標3の指標

指標名			目標・実績の推移 R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
ハコモノ施設総量の増減	単位	目標		△ 1,690	△ 1,260	△ 1,041	△2,016
	㎡	実績	△ 351	△ 1,377	△ 3,791	—	—
		達成率		81.5%	300.9%	—	—

達成目標3の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	29,281	千円	23,875	千円	39,006	千円	188,586	千円
うち一般財源	6,681	千円	13,201	千円	7,706	千円	57,686	千円

3	ハコモノ施設総量の増減

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
公共施設 (ハコモノ施設)	財政状況や人口減少に応じて施設総量を縮減し，安定した財政運営を目指す。	・施設総量を縮減するとともに新規整備を抑制し，施設の複合化と効率化を図る。 ・PPP等の事業手法を用いた施設運営への民間活力の導入に向けた検討を行う。

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・ハコモノ施設の建替，施設の除去，複合化の検討 ・PPP等のによる民間活力活用の検討			⇒ ⇒			⇒ ⇒			⇒ ⇒		
直接事業費	決算額	29,281	千円	決算額	23,875	千円	決算額	39,006	千円	決算額	188,586	千円
	うち一般財源	6,681	千円	うち一般財源	13,201	千円	うち一般財源	7,706	千円	うち一般財源	57,686	千円

【達成目標4】	職員の育成(※④)

達成目標4の指標

指標名			目標・実績の推移				
			R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R7 目標
研修の実施種類	単位	目標		11	15	15	15
	種類	実績	11	11	15	—	—
		達成率		100.0%	100.0%	—	—

達成目標4の事業費

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	27,277	千円	20,895	千円	21,975	千円	29,165	千円
うち一般財源	26,245	千円	20,878	千円	21,003	千円	28,107	千円

4	人事管理事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
職員	職員を適材適所に配置するとともに，その職責に応じた人事管理を行う。福利厚生事業の充実を図り，職場環境の整備に努める。	・定員の適正化及び適材適所の人事配置 ・人事評価制度の適正な運用及び有効活用 ・給与の適正化及び給与支給事務

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・業務の目的と特性に応じた組織編制 ・定員管理計画による計画的な組織配置と採用 ・適材適所の職員配置と能力に応じた任用 ・人事評価の実施・検証			⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒(※) ⇒(※) ⇒(※) ⇒ (※)「第8次笠岡市定員適正化計画」を策定		
直接事業費	決算額	20,905	千円	決算額	16,106	千円	決算額	17,229	千円	決算額	22,517	千円
	うち一般財源	20,905	千円	うち一般財源	16,106	千円	うち一般財源	17,229	千円	うち一般財源	22,517	千円

5	人材育成事業

事務事業の目的		事務事業の内容
対象(誰を)	意図(どのようにしたいのか)	
職員	管理監督者のマネジメント能力を向上させるとともに，職員の意識改革により能力のレベルアップを図り，職務に関する課題の解決に向けて，積極的に挑戦する人づくりを進める。	・人材育成基本方針に沿った研修の実施 ・人事評価結果を活用して職員の能力開発を促進する研修の実施 ・資格取得に関する助成

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
取組内容	・研修計画に基づく職員研修 ・管理・監督者による職員研修を通しての指導育成 ・職員一人一人の自己研鑽への支援 ・さまざまな組織との人事交流			⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒ ⇒ ⇒ ⇒			⇒(※) ⇒(※) ⇒(※) ⇒(※) (※)「笠岡市人材育成基本方針」を改定		
直接事業費	決算額	6,372	千円	決算額	4,789	千円	決算額	4,746	千円	決算額	6,648	千円
	うち一般財源	5,340	千円	うち一般財源	4,772	千円	うち一般財源	3,774	千円	うち一般財源	5,590	千円

＜4.施策の直接事業費(3の合計)＞

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
直接事業費	135,609	千円	157,076	千円	808,280	千円	369,325	千円
うち一般財源	111,977	千円	146,385	千円	776,008	千円	237,367	千円

＜5.前年度の委員コメントに対する対応・回答＞

委員コメント		対応・回答
ハコモノ施設総量が大幅に減少しており，担当課の積極的な取組によるもののと思います。残ったハコモノの管理について，積極的に民間活力を導入されるなど適正に行われたい。また，行財政改革年間効果額も倍増しており，引き続き，堅実な行政運営を期待します。	→	ハコモノ施設総量縮減の指針となる笠岡市公共施設等総合管理計画は，現在までの取組状況，人口動態及び社会経済状況等の変化を反映させ，今後の適正管理等を実施していくため，令和4年度に改訂を実施します。また，行政改革大綱に基づき，引き続き健全な行政運営を進めてまいります。
今回施策評価委員会の中でA評価が3あり，課題意識が努力に向けられた結果だと思います。ある課のヒアリングで委員よりCをAにするにはどの項目に力を入れますかとの問いに，「それは〇〇です」とはっきり答えられました。そのように具体的な目標を掲げることが大切だと思います。	→	施策評価シートにございます「未達成の指標への対応策」にしっかりと記述していくことで，総合指標や達成目標の指標達成の向けての意識付けをしてまいります。

行政改革推進事業については昨年度より決算額がかなり増えています。御説明ください。 幼稚園の跡地利用など今後増えてきます。地域からの要望など出てくると思いますが，要望があればケースバイケースで進むのでしょうか。市としての方針等お示しいただかなくてもよろしいのでしょうか。 職員の皆様の日々の御尽力に心より感謝しております。様々な課にわたり，様々な知識を身につけ日々対応してくださっており本当に頭が下がる思いです。ただ，時に市民から対応についての不満の声が聞こえてきた時に感じるのですが，もう少し市民の視点に立った対応であればありがたいということ。補助金を確保したり，市民には分からない大変さの中で働かれているお立場なので発言の中にこういったことが起こるのかと思います。市民感覚を持った職員でいていただけると更に市民に愛される市役所になるのではないかと感じております。引き続き，どうぞよろしくお願いいたします。	→	行政改革推進事業について，昨年度より決算額が増えている件ですが，歳入では，収納対策に係ります約1億5千万円の市税等の徴収対策の取組の増額と，それ以外の主なものとしましては，市有地の売却やふるさと納税の約2億9千万円の歳入，更に市民病院の入院・外来患者数の増と，診療単価見直しアップによります約2億8千万円の増収などで，歳入全体としまして7億9,230万8千円の効果があったもです。また，歳出につきましては，各種団体への補助金等の見直しによる約1億7百万円，それから将来の財政負担への備えとして，各種の基金への積み立てによる約5億4千万円，更に市民病院の経営健全化として，医療事務委託内容の見直しや会計年度任用職員の適正配置に係ります約9千7百万円の取組などで，歳出全体としまして7億5,317万6千円の削減効果があったものです。このことから，今年度につきましては歳入歳出を合わせまして，15億4，548万4千円の効果額があったものです。本市におきましては，令和3年度に第8次行政改革大綱の終期を迎え，令和4年3月に次期大綱となります第9次行政改革大綱を策定いたしました。今後も第8次の大綱を引き続き推進し，「市民第一・現場第一」を基本とした効果的な行政サービスの提供を推進することで，正のスパイラルの実現に向けて，これからも取り組んでまいります。 また，幼稚園等の学校施設につきましては，子どものための教育だけではなく，地域住民の暮らしに根ざし支えられてきた歴史と文化を持つものであり，廃園・廃校後も市民共通の貴重な財産であることに変わりはありません。そのため，これらの跡地利用につきましては，地域住民の意向を最大限尊重することを原則としますが，公共施設マネジメントの観点，地域経済発展などの視点から，市民全体の利益に適うものとする必要がありますので，笠岡市公共施設等総合管理計画との整合を図りながら，個別の施設ごとに利活用を検討してまいります。 市職員の市民の皆様への対応につきましても，市職員は「市民福祉の向上」を目的として勤務するものであり，役所の視点ではなく市民の視点に立った対応を行うことは当然のことだと考えております。日頃から「市民第一・現場第一」をスローガンにして市民感覚を持った職員の育成に努めているところですが，引き続き，研修や職場での指導などを通じて更なる職員の意識啓発を行っていくこととします。
総合指標，達成目標は継続的に確認できる指標・目標による結果を施策評価シートに記載し，指標の達成により目指している状況を記述すべき。 また，計画の途中で数値目標を変更したものは，対象の指標・目標とともに，その理由も併せて記述すべき。	→	総合指標や達成目標の変更につきましては，原則行っておりませんが，令和4年度にスタートしました後期基本計画の策定にあたり，前期計画4年間の間で非公表になった数値や，社会情勢の変化等により指標や目標に適さなくなったものについては変更したものがございます。そのような指標等につきましては，総合計画審議会委員の皆様に御説明し御了解をいただいているところです。また，施策評価報告書に「取組内容の記述があいまい」との御指摘もいただいておりますので，記述も含め今後も分かりやすい施策評価に努めてまいります。

＜6.令和4年度の振返り＞(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A:施策を構成する事業が順調に進行している。 B:施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C:施策を構成する事業が一部遅れている。 D:施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B

＜7.未達成の指標への対応策＞

未達成指標への対応策	行政評価について，指標（結果）を意識した施策の実施を庁内に周知する。

＜8.委員による評価結果＞

総合評価	A：計画どおり進行している。 B：おおむね計画どおり進行している。 C：計画より一部遅れている。 D：計画より遅れている。	B	（参考） 昨年度の評価結果	B
コメント	・行財政改革は市民福祉の向上に大事な要素だとは思いますが，それに真摯に取り組む職員への福祉が蔑ろにされていないか心配です。 ・行政改革年間効果額は令和3年より少なく成っていますが，目標より大幅に増えています。 ・市民の意見や提案が市政に反映されていると感じている市民の割合が低下しました。市民の声を拾う機会が必要でしょうか。広報での「市長への提案」，Eメールの状況はいかがでしょう？市の会議についても公募にて多くの希望者が参加できればと思います。今回も施策評価会議に参加させていただきました。市役所の皆様のご尽力を感じ，感謝する機会となっています。昨年度は3日を通して多くの課よりご説明いただいたのですが，今回は1日で限られた課の説明しか聞けませんでした。不明点に関してはとても親切にお答えいただき，詳しく文書でご返答いただいた課もあり担当課の熱心さが伝わりました。文書のみでの評価では数値，達成率のみでの評価となり申し訳なく感じました。取組内容，実績値など具体的にあるとありがたいです。評価前に質問もできませんでしたのでコメント欄に書かせていただいた次第です。また今回は達成率の計算など誤りが多かったので，文書のみでの評価の課に関しては誤った達成率で判断された可能性もあったのではないかと心配しています。目標値については第7次笠岡市総合計画と同じ数値の記載をお願いします。少しでも適正な評価につながるよう来年度に反映していただければと思います。引き続き，笠岡市民のためよろしくお願いいたします。 ・行政施策については，評価検討委員会において，４段階の評価をしています。ビジョンを作り，それに向かっての目標値を掲げ，それに向かって努力していくものです。時として，昨年度の達成率から目標値を査定しがちであるが，あくまでも，高いビジョンに向かっての値であると思います。			